

始良郡加治木町



「Ⅰ」

概要・縄文時代遺構

1997年3月



序 文

この報告書は、隼人道路建設に先立って、平成2・3年度に鹿児島県教育委員会が実施した干迫遺跡の発掘調査記録です。

干迫遺跡では縄文時代から江戸時代にわたる時期の遺構・遺物が発見され、多大な成果を収めました。

なかでも、縄文時代後期の遺構・遺物は九州における縄文時代研究の貴重な資料として注目されています。

本書が南九州の古代文化解明の一助となるとともに、文化財保護や学術研究の分野において活用していただければ幸いです。

おわりに、調査にあたりましてご協力いただいた建設省九州建設局鹿児島国道工事事務所や関係者の方々、ならびに地元の皆様に心から感謝いたします。

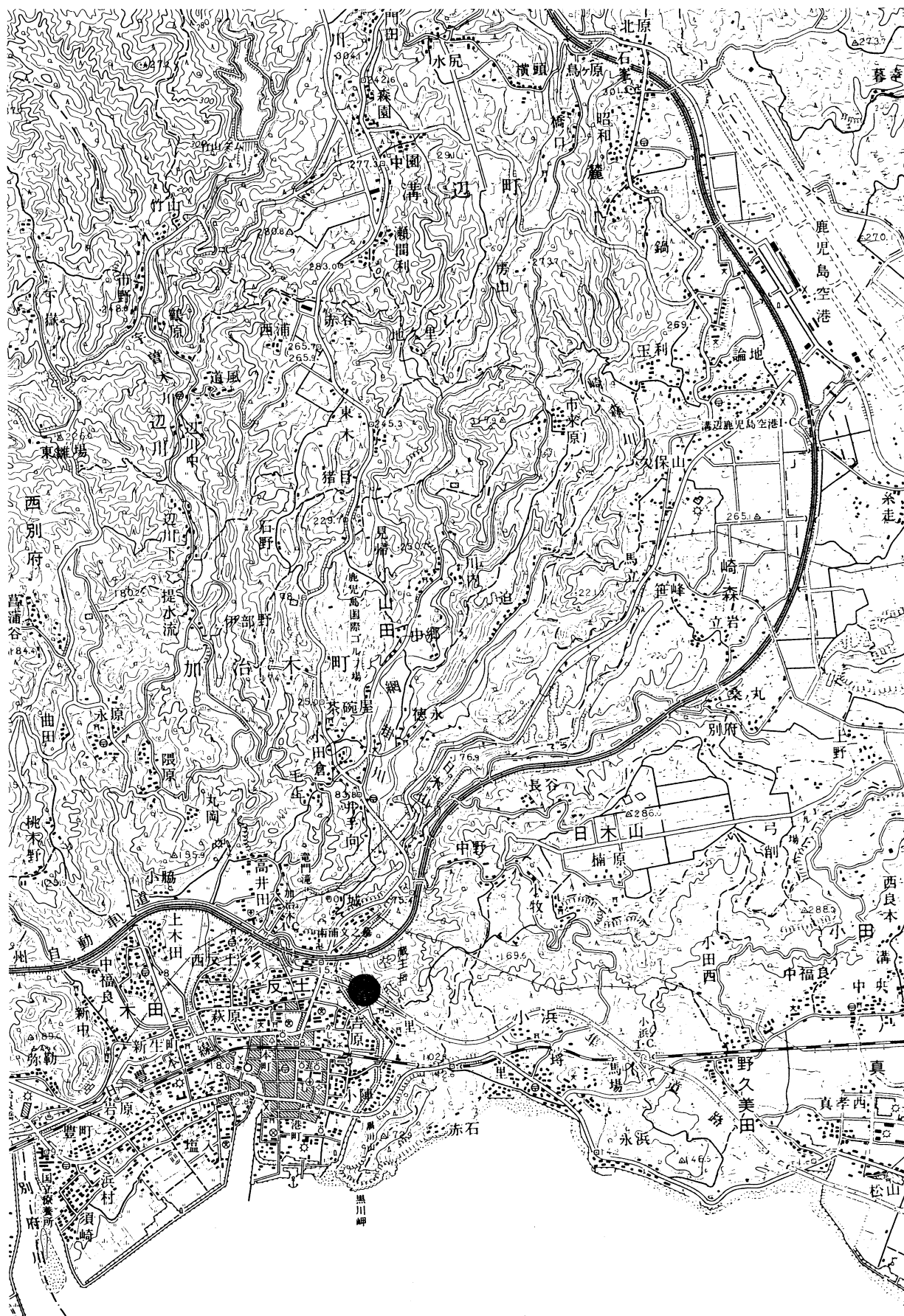
平成9年3月

鹿児島県立埋蔵文化財センター

所 長 吉 元 正 幸

報告書抄録

ふりがな	ほしごこ いせき							
書名	干 迫 遺 跡							
副 書 名	隼人道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻 次								
シリーズ名	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書							
シリーズ番号	2 2							
編 集 者 名	池畑耕一・前迫亮一							
編 集 機 関	鹿児島県立埋蔵文化財センター							
所 在 地	〒899-56 鹿児島県始良郡始良町平松6 2 5 2 番地							
発行年月日	西暦1 9 9 7 年 3 月 3 1 日							
所収遺跡名	所 在 地	コ ー ド		北 緯	東 経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ほしごこ い せき 干迫遺跡	か ご し ま け ん あ い ら ぐ ん 鹿児島県始良郡 か じ き ち ょ う ひ き や ま 加治木町日木山 ほしごこ 干迫	464414	91	31度45分	130度40分	確認調査 19900925 ～ 19901008 全面調査 19910225 ～ 19920301	140㎡ 14, 000㎡	道路建設
所収遺跡名	種 別	主 な 時 代		主 な 遺 構	主 な 遺 物		特 記 事 項	
干迫遺跡	集 落	縄文時代前期 縄文時代後期 弥生時代 古墳時代 古代 中世・近世		竪穴住居跡 土坑 集石遺構 埋設土器 掘立柱建物跡 道路状遺構 溝状遺構	曾畑式土器，深浦式土器， 鐘崎式土器，北久根山式土 器，辛川式土器，納曽式土 器，西平式土器，市来式土 器，丸尾式土器，石鏃，磨 製石斧，打製石斧，石匙， 石錐，スクレイパー，石皿， 磨石，凹石，敲石ほか 弥生土器 土師器 土師器，須恵器，磁器 土師器，陶磁器			



第1図 干迫遺跡の位置 (1/50,000)

例 言

1. 本報告書は隼人道路建設に伴う干迫遺跡の埋蔵文化財発掘調査報告書である。
2. 発掘調査は建設省鹿児島国道工事事務所からの受託事業として鹿児島県教育委員会文化課が実施した。
3. 本書に用いたレベル数値は海拔絶対高である。
4. 本書に用いた遺物番号は縄文時代の遺構から出土したものはF, 土製品はD, 石器はS, 石製品はS s, 弥生土器はY, 土師器はH a, 須恵器はS u, 陶器はT o, 磁器はJ の略記号を番号の前に付してある。
5. 発掘調査, 報告書作成にあたり次の方々から御指導・御教示を得た。
犬飼徹夫・上村俊雄・河口貞徳・高橋護・千葉豊・富田紘一・西健一郎・西中川駿・本田道輝・森脇広 (50音順, 敬称略)
6. 報告書作成にあたって自然科学的分析を依頼し, それぞれに玉稿をいただいた。これらは付篇として「干迫遺跡」Ⅲに掲載した。
7. 本書の執筆分担は次のとおりである。
池畑耕一…第1章～第3章, 第4章第1節, 第2節2-2), 3)
第3節～第6節, 第5章
前迫亮一…第4章第2節1, 2-1), 第5章
8. 現地調査での実測および写真撮影は, 主として池畑・前迫・上地克哉がおこなった。遺構の製図, 遺物の実測・製図は池畑・前迫を中心にしておこない, 石器実測・製図の一部および台付皿形土器の実測の大部分については, 北海道文化技研に依頼した。また台付皿形土器の製図は長野真一, 顔料図示については黒川忠広が中心におこなった。遺物の写真は鶴田静彦が撮影し, 横手浩二郎の協力を得た。各種表の作成にあたっては永濱功治の協力を得た。
9. 出土遺物・図面・写真の管理は, 鹿児島県立埋蔵文化財センターで一括して取り扱っている。
10. 本書の編集は, 鹿児島県立埋蔵文化財センターで池畑・前迫がおこなった。

目 次

序文

報告書抄録

例言

第1章 発掘調査の経過

第1節 発掘調査に至るまでの経過	1
第2節 全面調査の経過	2
第3節 整理作業の経過	7

第2章 遺跡の環境

第1節 地理的・自然的環境	10
第2節 歴史的環境	10

第3章 層序

第1節 基本土層	14
第2節 主要な地層	14

第4章 調査の概要

第1節 概要	16
第2節 縄文時代	20
1. 遺構	20
1) 竪穴住居跡	21
2) 土坑	55
3) 集石遺構	117
4) 集積遺構	119
5) 埋設土器	121
6) 柱穴群	132
7) 自然流路跡	132
8) 地層横転	134

挿 図 目 次

第1図 干迫遺跡の位置	12	第7図 道路範囲と調査区域	18
第2図 周辺の遺跡分布図	12	第8図 調査区の概要	19
第3図 層序模式図	14	第9図 縄文時代の遺構概要	20
第4図 主要な地層断面図	15	第10図 1号竪穴住居跡実測図及び出土土器 ..	22
第5図 グリッド設定模式図	16	第11図 1号竪穴住居跡実測図	23
第6図 工事着手前の周辺地形図	17	第12図 2号竪穴住居跡実測図	25

第13図	3号竪穴住居跡実測図1	26	第50図	土坑実測図12	73
第14図	3号竪穴住居跡実測図2	27	第51図	土坑実測図13	74
第15図	4号竪穴住居跡実測図1	30	第52図	土坑実測図14	75
第16図	4号竪穴住居跡実測図2	31	第53図	土坑実測図15	77
第17図	5号竪穴住居跡実測図1	32	第54図	土坑実測図16	78
第18図	5号竪穴住居跡実測図2	33	第55図	土坑実測図17	79
第19図	6号竪穴住居跡実測図1	34	第56図	土坑実測図18	81
第20図	6号竪穴住居跡実測図2	35	第57図	土坑実測図19	82
第21図	7号竪穴住居跡実測図1	36	第58図	土坑実測図20	83
第22図	7号竪穴住居跡実測図2	37	第59図	土坑実測図21	84
第23図	8号竪穴住居跡実測図1	38	第60図	土坑出土の土器1	85
第24図	8号竪穴住居跡実測図2	39	第61図	土坑出土の土器2	86
第25図	9号竪穴住居跡実測図1	40	第62図	土坑出土の土器3	87
第26図	9号竪穴住居跡実測図2	41	第63図	土坑出土の土器4	88
第27図	10号竪穴住居跡実測図	43	第64図	土坑出土の土器5	89
第28図	竪穴住居跡出土の土器1	44	第65図	土坑出土の土器6	90
第29図	竪穴住居跡出土の土器2	45	第66図	土坑出土の土器7	91
第30図	竪穴住居跡出土の土器3	46	第67図	土坑出土の土器8	92
第31図	竪穴住居跡出土の土器4	47	第68図	土坑出土の土器9	93
第32図	竪穴住居跡出土の土器5	48	第69図	土坑出土の土器10	94
第33図	竪穴住居跡出土の土器6	49	第70図	土坑出土の土器11	95
第34図	竪穴住居跡出土の土器7	50	第71図	土坑出土の土器12	96
第35図	竪穴住居跡出土の土器1	51	第72図	土坑出土の土器13	97
第36図	竪穴住居跡出土の土器2	52	第73図	土坑出土の土器14	98
第37図	竪穴住居跡出土の土器3	53	第74図	土坑出土の土器15	99
第38図	竪穴住居跡出土の土器4	54	第75図	土坑出土の土器16	100
第39図	土坑実測図1	56	第76図	土坑出土の土器17	101
第40図	土坑実測図2	57	第77図	土坑出土の土器1	102
第41図	土坑実測図3	59	第78図	土坑出土の土器2	103
第42図	土坑実測図4	60	第79図	土坑出土の土器3	104
第43図	土坑実測図5	61	第80図	土坑出土の土器4	105
第44図	土坑実測図6	63	第81図	土坑出土の土器5	106
第45図	土坑実測図7	64	第82図	土坑出土の土器6	107
第46図	土坑実測図8	66	第83図	土坑出土の土器7	108
第47図	土坑実測図9	67	第84図	土坑出土の土器8	109
第48図	土坑実測図10	69	第85図	集石遺構位置図（集中区）	117
第49図	土坑実測図11	71	第86図	集石遺構	118

第87図	集積遺構 1	119	第98図	9号埋設土器	129
第88図	集積遺構 2	120	第99図	10号埋設土器 1	130
第89図	3号集積遺構内出土の土器	120	第100図	埋設土器内出土の遺物 1	130
第90図	埋設土器位置図（集中区）	121	第101図	埋設土器内出土の遺物 2	131
第91図	1号埋設土器	122	第102図	10号埋設土器 2	131
第92図	2号埋設土器	123	第103図	グリッド別 R 1 内出土遺物点数	132
第93図	3号埋設土器	124	第104図	自然流路跡（＝R 1）	133
第94図	4号埋設土器	125	第105図	地層横転分布図	134
第95図	5号埋設土器	126	第106図	地層横転 1, 2	135
第96図	6, 7号埋設土器	127	第107図	地層横転 3	136
第97図	8号埋設土器	128			

表 目 次

第 1 表	周辺遺跡地名表	11	第24表	柱穴状ピット計測表 2	138
第 2 表	竪穴住居跡観察表	21	第25表	柱穴状ピット計測表 3	139
第 3 表	1号竪穴住居跡内ピット計測表	23	第26表	柱穴状ピット計測表 4	140
第 4 表	2号竪穴住居跡内ピット計測表	25	第27表	柱穴状ピット計測表 5	141
第 5 表	3号竪穴住居跡内ピット計測表	28	第28表	柱穴状ピット計測表 6	142
第 6 表	4号竪穴住居跡内ピット計測表	31	第29表	柱穴状ピット計測表 7	143
第 7 表	5号竪穴住居跡内ピット計測表	33	第30表	柱穴状ピット計測表 8	144
第 8 表	6号竪穴住居跡内ピット計測表	35	第31表	柱穴状ピット計測表 9	145
第 9 表	7号竪穴住居跡内ピット計測表	37	第32表	柱穴状ピット計測表 10	146
第10表	8号竪穴住居跡内ピット計測表	39	第33表	柱穴状ピット計測表 11	147
第11表	9号竪穴住居跡内ピット計測表	41	第34表	竪穴住居跡出土遺物観察表 1	148
第12表	10号竪穴住居跡内ピット計測表	43	第35表	竪穴住居跡出土遺物観察表 2	149
第13表	土坑観察表 1	110	第36表	竪穴住居跡出土遺物観察表 3	150
第14表	土坑観察表 2	111	第37表	土坑出土遺物観察表 1	151
第15表	土坑観察表 3	112	第38表	土坑出土遺物観察表 2	152
第16表	土坑観察表 4	113	第39表	土坑出土遺物観察表 3	153
第17表	土坑観察表 5	114	第40表	土坑出土遺物観察表 4	154
第18表	土坑観察表 6	115	第41表	土坑出土遺物観察表 5	155
第19表	土坑観察表 7	116	第42表	土坑出土遺物観察表 6	156
第20表	集石遺構観察表	117	第43表	土坑出土遺物観察表 7	157
第21表	集積遺構観察表	119	第44表	土坑出土遺物観察表 8	158
第22表	埋設土器観察表	121	第45表	土坑出土遺物観察表 9	159
第23表	柱穴状ピット計測表 1	137	第46表	土坑出土遺物観察表 10	160

第 1 章 発掘調査の経過

第 1 節 発掘調査に至るまでの経過

1. 発見から確認調査へ

日本道路公団（福岡建設局）と建設省鹿児島国道工事事務所（以下、鹿児島国道工事事務所と略す）は、鹿児島県始良郡加治木町反土と隼人町住吉との間に隼人道路の建設を計画し、工事予定路線内の埋蔵文化財の有無について鹿児島県教育庁文化課（以下、県文化課と略す）に照会した。

これを受け、県文化課では昭和63年度に分布調査を実施した。その結果、工事予定路線内において石塚遺跡・坂ノ下遺跡・春田遺跡の3遺跡が存在することを確認し、平成元年度・2年度に3遺跡の発掘調査および整理・報告書作成作業が実施され、報告書が平成3年3月に刊行された。

一方、加治木町の加治木ジャンクション一帯は、遺跡の所在が確認されなかったため、鹿児島国道工事事務所によって、高架橋工事などが施工された。

平成2年9月、一町民から工事中の排土に多量の土器が包含されているという連絡を受けた県文化課は、遺跡の範囲を確認するための調査を9月25日から10月8日まで実質8日間実施した。調査は2m×4mのトレンチを主として15か所にもうけたが、一部は拡張した。調査面積は約140㎡であった。9月25日に発掘用具を搬入し、作業員へ調査に関する諸々の説明をした。この日は雨のため調査は26日から開始。10月8日まで各トレンチを掘り下げ、断面図作成・出土状況等の写真撮影・平板実測・遺物取り上げなどをした。各トレンチとも埋めもどしまで実施する。この調査の結果、調査を必要とする面積は14,000㎡に及ぶことを確認した。

この結果を受け、県文化課は鹿児島国道工事事務所とその対応について協議を行い、隼人道路の開通が平成4年3月に予定されていることから、平成3年2月には全面調査を開始した。

2. 確認調査の組織

事業主体者	建設省鹿児島国道工事事務所		
調査主体者	鹿児島県教育庁教育長		太田 務
調査責任者	鹿児島県教育庁文化課課 長		吉井 浩一
調査企画担当者	"	" 課長補佐	濱松 巖
	"	" 主 幹	立園多賀生
	"	" 主任文化財研究員兼埋蔵文化財係長	吉元 正幸
事務担当者	"	" 主幹兼企画助成係長	浜崎 琢也
	"	" 主 査	平山 章
	"	" 主 事	末永 郁代
	"	" 文化財調査員	原口 雅恵
調査担当者	"	" 主 査	弥栄 久志
	"	" 主 事	児玉健一郎

第2節 全面調査の経過

1. 全面調査の組織

事業主体者	建設省鹿児島国道工事事務所		
調査主体者	鹿児島県教育庁教育長		太田 務
調査責任者	鹿児島県教育庁文化課課 長		吉井 浩一（平成2年度）
	” ”		向山 勝貞（平成3年度）
調査企画担当者	” ” 課長補佐		濱松 巖
	” ” 主 幹		立園多賀生（平成2年度）
	” ” 主任文化財研究員兼埋蔵文化財係長		吉元 正幸
調査事務担当者	” ” 主幹兼企画助成係長		浜崎 琢也
	” ” 主 査		平山 章（平成2年度）
	” ” ”		杷枇 雄二（平成3年度）
	” ” 主 事		末永 郁代（平成2年度）
	” ” ”		新屋敷由美子（平成3年度）
調査担当者	” ” 主 査		弥栄 久志（平成2年度）
	” ” 文化財研究員		湯之前 尚（平成2年度）
	” ” 主 査		池畑 耕一（平成3年度）
	” ” 文化財研究員		前迫 亮一（平成3年度）
	” ” 文化財調査員		上地 克哉（平成3年度）

発掘調査に従事された人々

（加治木町）有川トシ子・池ノ上シズ子・池ノ上美代子・石原トシ子・石原豊志・市来邦子・市成ミヨ子・今別府スミ・今村敏子・岩崎ハル子・萩弘子・音之宮里美・川添ムツ子・久保蘭ヒロ子・坂本ヨシエ・迫田ノリ子・酒匂君江・白坂スミエ・新福ユリ子・瀬戸ロ一清・田中久子・水流道子・水流田マサエ・津崎鈴子・津崎ユキエ・東條トミ・當銘ミチ子・徳永洋子・中村玲子・西真由美・橋本良子・早渕ミツエ・福島紀子・福田秋江・別府不二夫・松田フク・松尾ヨシ子・南美千代・宮地享・三浦スズ子・盛満テル子・矢野与吉・山崎梅子・若松秀子・脇門ミサ子

（隼人町）安達ヨツ子・石野ヨシ子・岩下カズ子・内金よし子・大庭春代・門田ヒサエ・是枝逸雄・是枝キミ子・坂口シズエ・阪元一志・塩屋尚子・田中章・寺園ヒサ子・藤浪チエ子・福重ヨシ子・福重レイコ・前村美代子・森永フミエ・山下シヅ子

（始良町）岩爪美津子・白井アサ子・大迫光子・田知行光江・畠中清子・浜崎和子・春山ナル子・森静江・米満みどり ※特別参加：三浦創一（蒲生高3年）

2. 調査の経過

試掘調査の結果、調査対象面積が広大となり、工事完成期もせまっていたため、平成2年度の調査を平成3年2月25日から開始した。

2月25日（月）～3月1日（金） この週はほとんど弥栄ひとりが担当。26日午前のみ児玉が

参加。11～15E区の表土剥ぎおよび包含層掘り下げ。15E区で多くの土器が出土。

3月4日(月)～3月8日(金) この週から湯之前参加。8日は雨のため外はできず。11～15E区の包含層掘り下げ。12～15E区の表土剥ぎおよび掘り下げ。13・14G区, 14H区表土剥ぎ。15F区, 14・15E区に大きい破片出土。

3月11日(月)～3月15日(金) 月曜日から水曜日まで湯之前に替わり, 長野・新東・富田が担当。12～15E区, 13～15F区, 13～15G区, 13～15H区の掘り下げ。17E区表土剥ぎ。一部は清掃・写真撮影・平板測量・遺物取り上げ。

3月18日(月)～3月22日(金) 21日は祝日。22日は雨のため外はできず。12F区・12～15G区・12～15H区の表土剥ぎおよび包含層掘り下げ。G区は遺物が多い。13F区・15G区の出土状況写真撮影。14・15E区, 14G区の平板測量および遺物取り上げ。

3月25日(月)～3月29日(金) 26日と27日の午前中雨のため土器洗い。11・12・16・17E区, 15・17F区, 12G区, 13～15H区の包含層掘り下げ。28日と29日はロープ張りや荷物の移動など整理。

平成3年度の調査は4月24日から開始した。

4月24日(水)～4月26日(金) 24日はプレハブ建設, ベルコン搬入などのあと加治木町教委へ開始の挨拶に出かける。25日から作業員50名近くで調査開始。発掘用具の搬入, 説明などのあと16G・F区の盛土・表土剥ぎ。14・15F・G区北壁の清掃・写真撮影・断面実測。26日は16E～G区の表土剥ぎを始めたが, 雨のため中止し, 遺跡の説明・連絡網調査などのあと, 午後帰す。建設省加治木維持出張所・始良教育事務所へ開始の挨拶。

4月30日(火), 5月1日(水) 16・17E区, 16・17F区包含層掘り下げ。土器・石斧・石鏃など出土。14～17F区, 15G区北壁の写真撮影・実測・アゼはずし。16F区・14G区東壁写真撮影・実測。

5月7日(火)～5月10日(金) 建設省との打ち合わせを現地で行う。11E区, 10・11F区, 12G区, 16G・H区, 13・14I区の掘り下げ。アゼはずしを続けて面調査へ移る。12G区・14I区で古道・溝がみられる。

5月13日(月)～5月17日(金) 10・11E区, 10・11F区, 11・13・16G区, 12・16H区, 15・17I区掘り下げ。壁の実測, アゼはずし。10F区から11G区に古道, 10E区に溝がある。

5月20日(月)～5月24日(金) 24日は矢板借上げに係る現地説明会。14・15E区, 11・13～15F区の掘り下げ。壁の清掃・写真撮影・実測・取りはずし。全面清掃, 写真撮影。

5月27日(月)～5月31日(金) 仮農道に水たまりができ, 地区民から苦情。その後, 雨のたびに夕方は道路造りに追われる。29日から調査区の北側に矢板を打つ。16H区, 17I・J区の掘り下げ, 16・17E・F区の遺物取り上げ。16H区に埋設土器があり, 写真撮影・実測。

※5月の雨による中止日: 8日, 15日, 20日, 22日, 29日午後

※5月の主な見学者: 立神次郎(加世田市教委), 下鶴弘(始良町教委), 重久淳一(隼人町教委), 関一之(加治木町教委), 佐原真(奈良国立文化財研究所), 小池一徳(黎明館), 福永裕暁(鹿児島大学)

6月3日(月)～6月6日(木) 9E区, 9・10F区, 10・11G区, 12H区, 15～17J区の

掘り下げ。10～12E・F区, 11・12G区, 14・15E・F区, 15G・H区, 16F～I区遺物取り上げ。12～15I区からは多くの遺物。9区は海岸跡の様相。

6月10日(月)～6月14日(金) 9～13D区表土剥ぎ。14・15E～I区, 16・17E・F区, 16G区掘り下げ。13・14E～H区, 14I区, 16・17E区, 17F区, 遺物取り上げ。土器多く, 14F区付近には貝あるいは骨片も粉末状になって散在している。11日, 遺跡だより「ざおう」第1号発行。

6月17日(月)～6月21日(金) 10・11E区, 11F区, 12～15E～I区掘り下げ。14-E～G区, 15E区, 16・17E・F区, 16G・H区の遺物取り上げ。遺物が多く写真撮影に時間がかかる。10～12E区に海岸線がある。16G区では溝を確認。

6月24日(月)～6月28日(金) 24日・27日井ノ上秀文, 26日児玉健一郎, 27日青崎和憲, 28日中村和美交替で担当。プレハブ1棟増設。10・11・14～17E区, 11・14・16・17F区, 14・16G区包含層掘り下げ。10～13C・D区, 16・17F区, 16G区表土剥ぎ。10E区, 11E・F区, 12E～G区, 13E～H区, 14F・G区, 15E～I区, 16・17E・F区遺物取り上げ。

※6月の雨による中止日: 3日, 10日, 17日, 21日, 25日午後

※6月の主な見学者: 関一之(加治木町教委), 岡元満子(鹿児島市教委), 上村俊雄(鹿児島大学)

7月1日(月)～7月5日(金) 2日に森脇広氏指導。11・13・16・17E区, 11・12・14F区, 15G～I区包含層掘り下げ。15～17E区, 14・16F区, 12・14・16G区, 12～14H区, 14・16I区の遺物取り上げ。14～17D区表土剥ぎ。道路跡検出, 写真撮影。

7月8日(月)～7月11日(木) 10F区, 10～12G区, 11～15H区, 13～15I区, 15J区包含層掘り下げ。14～17C・D区表土剥ぎ。14F区遺構検出。遺物の出土状況など写真撮影, 実測。自然流路跡出土の土器が多い。

7月15日(月)～7月19日(金) 19日弥栄久志参加。13～17E区, 15・16F区, 11・12・15・16G区, 11～16H区, 14・15I区, 15J区の包含層掘りあげ。その付近の自然流路跡掘り下げ。並行して遺物取り上げ。多くの土器・石器が出土し, 自然流路跡の北側がはっきりしてきた。14E区からは炭化したドングリも出土。15F区には掘立柱建物跡がある。16G区で鹿角・朱が出土。18日南日本新聞社取材。

7月22日(月)～7月28日(日) 23日河口貞徳氏指導。28日『古代とのふれあい』で体験学習, 13時～14時現地説明会(約50名)。11E区, 12E・F区, 15・16F区, 12～16G区, 12～16H区, 13・14・16・17I区, 15～17J区の包含層掘りあげ, 自然流路跡・溝の掘りあげ。15G区の礫群写真撮影・実測。14G・H区に掘立柱建物跡と多くの柱穴。相変わらず多量の遺物。28日南日本・読売・毎日・鹿児島新報の各社取材。

7月30日(火)～8月2日(金) 30日繁昌正幸参加。溝(11E区, 12E～G区, 13G区, 14H・I区, 15I・J区), 自然流路跡(14～16G区)の掘りあげ。16H～J区, 17I・J区遺構検出, 溝・柱穴掘りあげ。15G区の集石遺構写真撮影・実測。17J区で石冠出土。

※7月の雨による中止日: 3日

※7月の主な見学者: 田村陽子(沼津市), 岩山益男・関一之(加治木町教委), 松永幸男・

福永裕暁・森脇広（鹿児島大学）、加治木町婦人学級16名、田中自治会15名、松園政夫他1名（鹿屋市）、岡村道雄（文化庁）、加治木町新任者研修17名、出口浩（鹿児島市教委）、雨宮端生（筑波大学）、野口淳他4名（明星学園高校）

8月5日（月）～8月7日（水） 溝（11・12E・F区、12G区、13F・G区）、自然流路跡（14～16G区）掘り下げ。16・17I・J区包含層掘り下げ。15G区の集石遺構実測。

※8月の主な見学者： 松田誠（栗野工高）、上東克彦（加世田市教委）、岡元満子（鹿児島市教委）、熊崎明恵他4名（谷山北中）

8月8日（木）から9月16日（月）の日誌は9月27日のプレハブ倒壊によって紛失した。この間G～I区の自然流路跡の掘り下げを中心として、8月中に完了予定となっていた9～16E～I区を調査した。多量の遺物の取り上げと土坑などの遺構掘り下げに多くの時間を要した。そのため、9月1日工事着工が延期となった。9月10日には加治木町敬老会歩こう会50名が見学した。

9月17日（火）～9月20日（金） 延び延びとなっていた9～16E～I区の工事が17日開始された。遺物収蔵庫がいっぱいになったため17日に埋文センターへ2トントラック4台分の遺物を運んだ。5～7B区、19～24C・D区の表土剥ぎ。

9月24日（火）～9月28日（土） 7～9、13～16B区、17～22C・D区の表土剥ぎおよび包含層掘り下げ。柱穴・土坑が見つかり、遺物も多い。27日午後、台風によりプレハブ3棟倒壊。28日は文化課職員と近くの作業員の手伝いをもらい、水田に飛んだプレハブ器材の撤去などをする。

※9月の雨による中止日： 26日午後、27日、30日

※9月の主な見学者： 中摩浩太郎（佐賀県三日月町教委）、松山友子（黎明館）、上村俊雄他1名（鹿児島大学）

10月1日（火）～10月4日（金） 1日午前はプレハブ跡地のものを外に出し、2日まで外の作業はできなかった。2日にプレハブ3棟が完成。3日・4日で電話・ガス・水道修理。机等交換。なんとか3日から再開にこぎつける。12・13・19～22C・D区の包含層掘り下げ、遺構検出、実測。

10月7日（月）～10月11日（金） 12～15・19～22C・D区の包含層掘り下げ、遺構検出、実測。19C・D区で住居跡を検出（H3と呼ぶ）。他に柱穴や土坑。

10月14日（月）～10月18日（金） 15・16B区、16～23C区、12～15C・D区、11・19・20D区、22E・F区の掘り下げ、遺構検出、実測。H3の掘り下げ。自然流路跡の南東の続きをさがしたがわからず。

10月21日（月）～10月24日（木） 5A・B区、15～17B区、10～17・19～21C・D区の掘り下げ、遺構検出および掘り下げ。

10月28日（月）～11月1日（金） 5A・B区、6・7B区、10・11・14～21C・D区、21C区、13D区、17・18D・F区、20E・F区、19F区の掘り下げ、遺構検出および掘り下げ。10・11C・D区の溝、17D区の溝掘り下げ。

※10月の雨による中止日： 17日、30日

※10月の主な見学者： 松山友子（黎明館）、加治木町郷土史研究会25名、加治木町郷土史学級30名、賀川光夫（別府大学）、福永裕暁・中村由美子（鹿児島大学）

11月5日(火)～11月8日(金) 柁城小6年生 148名が5日に体験学習。5A・B区, 14・15C区東壁実測。10～15B区, 17～22C区, 17～20D～F区の掘り下げ, 遺構検出および掘り下げ。自然流路跡の掘り下げ, 遺物取り下げ。

11月11日(月)～11月15日(金) 6～11・13A・B区, 10・11・18～21C区, 10～12・14・17・18D区, 18・21・22E・F区の掘り下げ, 遺構検出・掘り下げ・実測。自然流路跡から遺物が多く出土。

11月19日(火)～11月22日(金) 6・7A・B区, 8・10・14～16B区, 8・9C・D区, 7・14～17・19・20C区, 10・14～18・20D区, 17・18E区, 18F区の掘り下げ, 遺構検出・掘り下げ・実測。

11月25日(月)～11月29日(金) 7・19・21C区, 8・9・13・14C・D区, 17・18C～E区, 18・21・22F区の掘り下げ, 遺構検出および掘り下げ・実測。

※11月の雨による中止日: 27日, 28日

※11月の主な見学者: 重久淳一(隼人町教委), 吾平町遺跡調査団瀬戸口望他30名, 加治木町文化財審議員4名, 中村由美子(鹿児島大学)

12月2日(月)～12月6日(金) 遺跡北側の清掃・写真撮影。6～10B～D区, 17～22C～F区掘り下げ, 遺構掘り下げ・写真撮影・実測。

12月9日(月)～12月13日(金) 7～9B～D区, 17～22C～F区の掘り下げ, 遺構掘り下げ・写真撮影・実測。

12月16日(月)～12月20日(金) 7～9C・D区, 18～22C～F区の遺構掘り下げ・写真撮影・実測。16～18I～M区の掘り下げ, 遺構掘り下げ。

12月24日(火)～12月25日(水) 7C・8D区の建物2棟の清掃・写真撮影・実測。18～21C～F区の遺構掘り下げ・写真撮影・実測。17L～N区掘り下げ。

※12月の雨による中止日: 6日午後, 11日

※12月の主な見学者: 始良教育事務所所長他5名, 江原健二(山口県萩教育事務所), 中村由美子・園田淑子・崎村紀子・松永幸男・上村俊雄(鹿児島大学), 上東克彦(加世田市教委), 新納教義, 清田純一(城南町歴史民俗資料館), 宮下貴浩(金峰町教委), 田中良之(九州大学), 小田富士雄(福岡大学), 加治木町長・町議他3名

1月6日(月)～1月10日(金) 17～21C～F区遺構掘り下げ・写真撮影・実測。21・22J・K区, 16～18L～O区掘り下げ。21・22J・K区の砂層中に曾畑式・条痕文土器が多い。17L区には埋設土器。土器が相変わらず多い。

1月13日(月)～1月17日(金) 17～21C～F区掘り下げ, 遺構掘り下げ・写真撮影・実測。自然流路跡からドングリの炭化物が多く出土。17日に町道部分を明け渡す。21J・K区掘り上げ。16～18L～O区掘り下げ, 遺構掘り下げ。21L・M区表土剥ぎ, 掘り下げ。

1月20日(月)～1月23日(木) 19C区, 21・22D～F区, 23E・F区掘り下げ。21・22J～L区掘り下げ, 清掃・写真撮影, 15～18J～O区, 21～23M～O区, 遺構掘り下げ・写真撮影・実測。

1月27日(月)～2月1日(土) 31日は雨のなか終日実施。重機も残業。17～22D～F区, 15

～18J～O区，21～23J～O区掘り下げ・遺構掘り下げ・写真撮影・実測。

※1月の雨による中止日： 6日

※1月の主な見学者： 関一之他2名（加治木町教委），上村俊雄（鹿児島大学），鈴木敏昭（埼玉県埋蔵文化財調査事業団），榎畑光博・横山哲英（都城市教委）

2月3日（月）～2月7日（金） 19～21D区土器だまり清掃・写真撮影・取り上げ。20～22E～L区掘り下げ，谷の土器写真撮影・取り上げ・土坑実測・掘り下げ・写真撮影。21～23M～O区掘り下げ。曾畑式土器の完形品が21J区で出土。谷頭や川状落ち込みには土器が多い。

2月10日（月）～2月15日（土） 12日に河口貞徳氏指導，鹿児島大学生2名研修。15日に第2水路部分明け渡し。19～22D～F区掘り下げ，遺構掘り下げ・実測。22・23K～O区谷の土器掘り下げ・清掃・写真撮影。19・20L区掘り下げ。20区東部には西平式土器が多く出土している。

2月17日（月）～2月21日（金） この週から2週間，吉内素子支援。19・20D～F区掘り下げ，遺構掘り下げ・写真撮影・実測。19・20J～M区掘り下げ。東側に西平式土器の埋設土器があり，写真撮影・実測・取り上げ。19K区に完形の弥生土器。

2月24日（月）～2月29日（土） 28日に新東晃一・青崎和憲，29日に児玉健一郎支援。26日にプレハブ2棟撤去，電気・電話取り外し。29日に道具等を埋蔵文化財センターへ運び，作業を終了。19・20E・F区，J～L区掘り下げ，遺構掘り下げ・写真撮影・実測。埋設土器実測。全体写真撮影。地形測量。17N区表土剥ぎ，住居跡掘り下げ・実測・谷部分掘り下げ。

※2月の主な見学者： 加治木町議15名，関一之（加治木町教委），岡元満子（鹿児島市教委），上村俊雄・中村由美子・園田淑子・本田道輝（鹿児島大学），重久淳一（隼人町教委），岩原地区自治会27名，加治木町史談会約20名，柁城小学校3年生約60名，西健一郎他4名（九州大学）

3月1日（日） 17N区住居跡断面実測。プレハブ2棟撤去し，調査完了。

第3節 整理作業の経過

干迫遺跡で出土した遺物は膨大なもので，調査中にもプレハブが満杯となったため，トラックで収蔵庫あるいは新設された埋蔵文化財センターへ運搬した。それらの数は収納するパンケースが足りず，ダンボール箱などに納めたため当初約1200箱程度と認識していたが，最終的には約3000箱となった。整理作業は1年間をおいて平成5年度から開始した。

1. 整理作業の組織

事業主体者	建設省鹿児島国道工事事務所		
整理作業主体者	鹿児島県教育委員会		
企画・調整	鹿児島県教育庁文化課		
整理作業責任者	鹿児島県立埋蔵文化財センター所	長	大久保忠昭（平成5年度）
	”	”	内村 正弘（平成6・7年度）
	”	”	吉元 正幸（平成8年度）
	”	次長兼総務課長	水口 俊雄（平成5年度）
			川原 信義（平成6・7年度）
整理作業企画者	”	”	”

	〃	次長兼総務課長	尾崎 進	(平成8年度)
	〃	主任文化財主事兼調査課長	戸崎 勝洋	(平成5～8年度)
整理作業担当者	〃	主任文化財主事	池畑 耕一	(平成6年度・7年度後半・8年度)
	〃	文化財研究員	前迫 亮一	(平成5年度・7年度前半・8年度)
事務担当者	〃	主 査	成尾 雅明	(平成5～8年度)
	〃	〃	前屋敷裕徳	(平成8年度)
	〃	主 事	中村 和代	(平成5・6年度)
	〃	〃	迫立ひとみ	(平成7・8年度)

整理作業は

岩爪美津子・後堂悦子・郷司山いつ子・小山君子・高木照子・竹添つるえ・富田恵子・永田よしえ・中原己美子・浜田幸江・早川孝子・東志津子・森静江・行船順子を中心におこない、以下の方々の協力を得た。

今村むつみ・岩城カヨ子・白井綾子・大保悦子・岡部安代・鎌迫美千代・木田安江・税所美由起・四丸久美子・下畠セツ子・志和池和恵・高倉晴美・田畑きみ代・徳永郁代・中屋弘子・西清子・沼時子・野口久子・福屋民江・前田裕子・前之園俊子・松元雅子・馬渡晶子・宮地涼子

2. 平成5年度の作業概要

発掘作業が忙しかったため遺物の水洗作業はほとんどできていなかった。そのため4月から11月まで水洗作業を重点的に行った。5月・6月には石器の注記をし、7月から9月まで遺構内遺物の分類整理をした。9月から土器の接合作業を開始し、12月からは注記と分類作業も始め、ようやく本格的な整理作業がスタートした。

3. 平成6年度の作業概要

土器の注記・接合作業は引き続き行った。11月から遺物台帳の整理を始め、12月からは石器の接合・分類を始めた。1月になって土器・石器の実測を一部開始した。石器500点の実測は北海道文化技研に委託した。また、次に挙げる7名の先生方に指導をいただいた。

鹿児島県考古学会会長河口貞徳氏、ノートルダム清心女子大学教授高橋護氏、鹿児島大学教授上村俊雄氏、鹿児島大学教授西中川駿氏、熊本博物館富田紘一氏、九州大学助手西健一郎氏、鹿児島大学助手本田道輝氏。

4. 平成7年度の作業概要

土器の接合を11月まで続け、これらのうち完形復元のできるものの復元作業を6月から3月まで実施した。8月まで土器の分類作業をし、全容が判明できた。5月から土器の拓本採取を始め3月までかかった。ドット図をまとめる作業も同時に行った。10月から石器の実測にかかり分類もあわせて行った。1月から仕上がった図面のレイアウト、トレース作業を行い、原稿執筆も実施した。本年度も石器500点の実測を北海道文化技研に委託した。また、整理作業にあたり日本

考古学協会員犬飼徹夫氏，京都大学埋蔵文化財研究センター助手千葉豊氏の指導を得た。

5. 平成8年度の作業概要

報告書刊行まで原稿執筆，挿図作成，写真撮影などをし，入札にこぎつけた。

調査・整理・報告書作成にあたっては，下記の方々からの指導ならびに協力を得た（50音順，敬称略，所属は指導時点）。

雨宮瑞生（筑波大学）・犬飼徹夫（日本考古学協会員）・今田秀樹（天瀬町教育委員会）・今村啓爾（東京大学）・上田 耕（ミュージアム知覧）・上東克彦（加世田市教育委員会）・江坂輝彌（松坂大学）・大塚達朗（東京大学）・岡村道雄（文化庁）・岡元満子（鹿児島市教育委員会）・小田富士雄（福岡大学）・賀川光夫（別府大学）・金丸武司（田野町教育委員会）・上村俊雄（鹿児島大学）・河口貞徳（鹿児島県考古学会）・清田純一（城南町歴史民俗資料館）・木村剛朗（日本考古学協会員）・桑畑光博（都城市教育委員会）・小林謙一（目黒区大橋遺跡調査会）・小林達雄（国学院大学）・佐原 眞（奈良国立文化財研究所）・重久淳一（隼人町教育委員会）・下鶴 弘（始良町教育委員会）・下山 覚（指宿市教育委員会）・鈴木保彦（日本大学）・関 一之（加治木町教育委員会）・瀬戸口望（日本考古学協会員）・高橋 護（ノートルダム清心女子大学）・橘 昌信（別府大学）・田中良之（九州大学）・千葉 豊（京都大学）・出口 浩（鹿児島市教育委員会）・戸田哲也（玉川大学）・富田紘一（熊本博物館）・中摩浩太郎（指宿市教育委員会）・中村由美子（鹿児島大学）・榑崎彰一（名古屋学院大学）・成尾英仁（鹿児島県立博物館）・西健一郎（九州大学）・西中川駿（鹿児島大学）・新田栄治（鹿児島大学）・福永裕暁（加世田市教育委員会）・本田道輝（鹿児島大学）・松永幸男（北九州市立考古博物館）・松山友子（黎明館）・宮下貴浩（金峰町教育委員会）・宮本一夫（九州大学）・水ノ江和同（福岡県教育委員会）・森脇 広（鹿児島大学）

第2章 遺跡の環境

第1節 地理的・自然的環境

加治木町は姶良カルデラの東端近くに位置し、鹿児島県のほぼ中央部にある。南は鹿児島湾に接し、北・東・西の三方は台地・山地に囲まれている。市街地は盆地状を呈し、その周辺は多く山地となっており、一部台地という地勢である。その間をぬって西から別府川・網掛川・日木山川が流れ、下流に狭い平野をつくっている。

干迫遺跡は加治木町日木山字干迫に位置する。鹿児島湾を前面に望む盆地の北東隅近くにあり、標高10～15mの微高地上にある。北背後には加治木町のシンボルともいわれている標高164mの烏帽子形をした蔵王岳があり、その東にある谷から流れ出た扇状の微高地上が遺跡である。西側には弓削・楠原台地に源を発する短い川、日木山川が流れており、東側は山が迫っている。日木山川の西側には溝辺・横川などを経て大口・水俣、あるいはえびの・人吉などへ抜ける道があり、海岸との間には鹿児島、あるいは隼人から国分へ抜ける道がある。古くから交通の要衝であった。網掛川の河口と日木山川の河口との間には鹿児島と福山間を結ぶ船の寄った港もある。

第2節 歴史的環境

干迫遺跡周辺ではいまだ旧石器時代の遺跡は発見されていないが、山間部では今後発見される可能性はある。縄文時代早期の遺跡は多い。前半の前平式・石坂式土器など貝殻文系円筒土器を出土する遺跡には日木山の三代寺・日木山洞穴、小山田の高峠・下市来原・笹原や、溝辺町の石峯・桑ノ丸などの遺跡がある。後半の塞ノ神式土器は、三代寺、辺川の木原や、石峯・桑ノ丸などの遺跡で出土している。三代寺遺跡では集石遺構5基も発見されており定着した生活跡だったことを示している。日木山洞穴は昭和12年に調査された洞穴遺跡で、土器とともにハマグリ・マガキガイなどの貝殻、イノシシ・シカなどの獣骨、カニのツメなども多く出ており貝塚の性格ももっている。点線文の土器は日木山式土器と呼ばれている。前期は日木山の楠原Aや小山田の屋所などの遺跡で轟式土器が出ている。中期の土器は楠原A遺跡で出ているが、詳細は不明である。後期には、小山田の佛石・東木迫遺跡で岩崎上層式土器などの土器が出土している。こうした遺跡のほかに詳細は不明だが、日木山の楠原A・B・C・D遺跡では縄文土器とともに石鏃・石匙・石斧・敲石などの石器が発見されており、辺川の上岳・中原遺跡などでも縄文土器が採集されている。

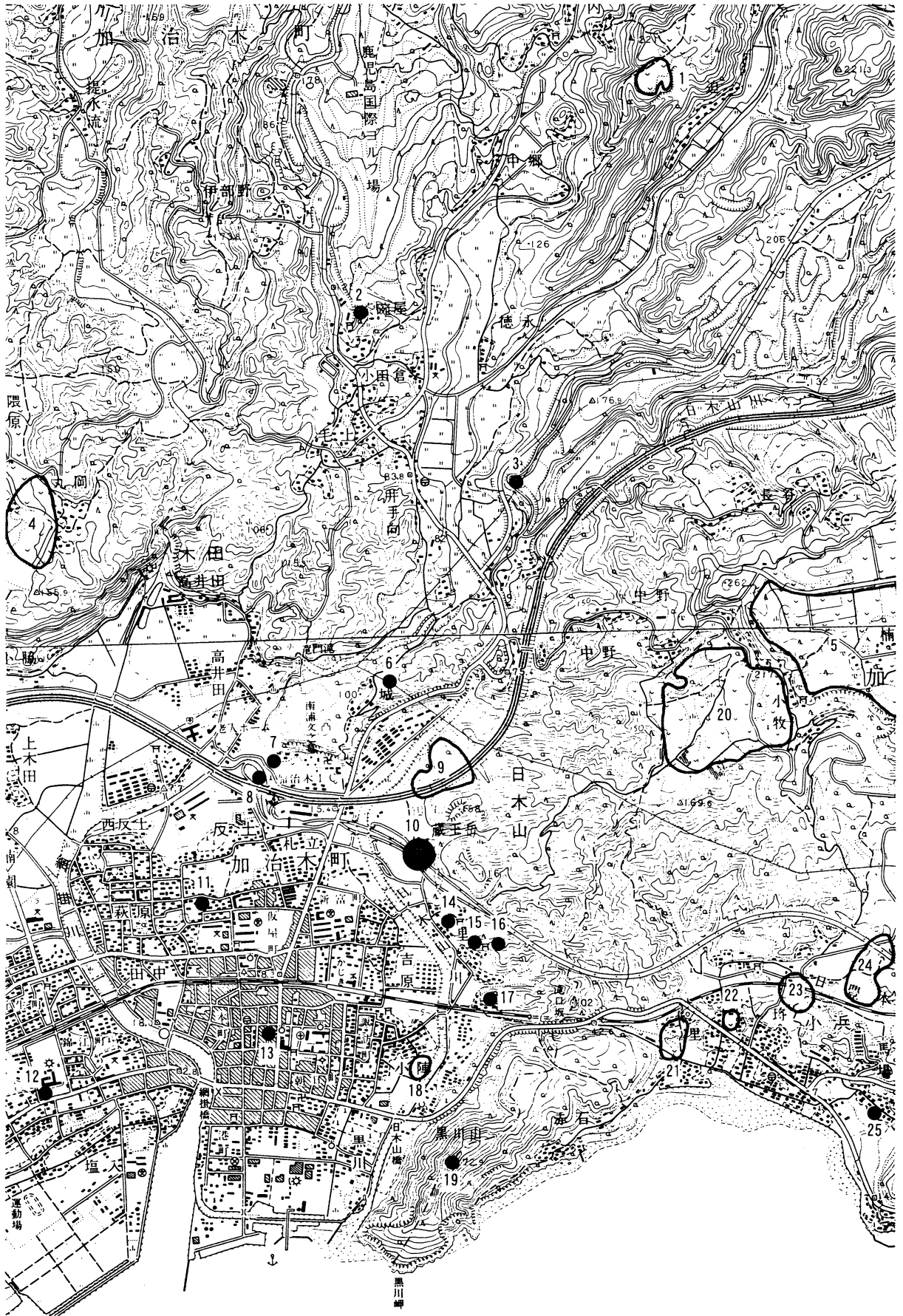
弥生時代の遺跡は少なく、わずかに盆地にある木田の木田遺跡、反土の建馬場遺跡や、その背後の三代寺遺跡、日木山の黒川山遺跡で土器の出土が知られるだけである。黒川山遺跡では後期の免田式土器が採集されている。

古墳時代の遺跡も詳細は不明であるが、各地で土器が発見されている。木田の岩原・三代寺・建馬場・木原・中原、小山田の流松・上中原、西別府の前牟田・鎮ノ平・丸岡などの遺跡で出土しており、その広がりがわかる。

古代の土師器も各地で出土している。西別府の曲田遺跡や、日木山から隼人町にかけての弓削原台地では平安時代の土師器・須恵器製蔵骨器が出土しており、このあたりで火葬の始まったことを示している。姶良町小倉畑遺跡では刀の副葬された円形周溝墓が発見されており、火葬とともに従

番号	遺 跡 名	所 在 地	時 代	出 土 品 な ど	文献No.
1	上ノ原	加治木町小山田上ノ原	歴史	土師器	
2	竜門司焼古窯跡	" " 6095	江戸	(県指定史跡)	
3	梶城跡	" " 上学力	中世	山城	
4	丸岡	" 西別府丸岡・下原	古墳・歴史	土師器	
5	楠原	" 日木山楠原他	縄(前・中)・弥	土器, 石鏃, 石匙, 石斧, 敲石	
6	加治木城跡	" 反土城	中世	山城	
7	山元古窯跡	" " 棚目	江戸	連房式登窯1基, 陶器, 磁器多量	1
8	建馬場	" " 建馬場	古墳～江戸	土師器, 須恵器, 磁器	2
9	三代寺	" 日木山三代寺	縄(早・晩) 古墳・平安・中世	集石5, 前平・吉田・石坂・塞ノ神A・塞ノ神B式・押型文土器, 石鏃, 石匙, 搔器, 石斧, 磨石, 石皿, 凹石, 敲石, 土師器, 須恵器, 備前焼, 掘立柱建物, 青磁, 白磁	3
10	干迫	" " 干迫	縄文～近世		本報告
11	御里古窯跡	" 反土仮屋町	江戸		4
12	木田	" 木田 240	弥生	土器	
13	加治木鑄銭所跡	" 本町 185	江戸		
14	曲田	" 西別府曲田	平安	蔵骨器(土師器)	
15	日木山窯跡	" 日木山 281	江戸～明治		
16	経塚	" " 308-1	江戸		
17	日木山洞窟	" " 243	縄(前)	日木山式土器	5
18	向陣跡	" 反土小陣	中世		
19	黒川山	" 日木山49～126	弥(後)	免田式土器	
20	小牧	隼人町小浜小牧他	縄・古墳・歴	黒曜石, 土師器	
21	坂下	" " 坂下他	縄・古墳・歴	黒曜石, 土師器	
22	上里	" " 上里他	縄・古墳・歴	縄文土器, 土師器	
23	畠山	" " 畠山他	古墳・歴	土師器	
24	春田	" " 春田	縄(前～晩)・ 古墳～中世	曾畑・船元・出水・黒川式土器, 石鏃, 石匙, 搔器, 石斧, 土師器, 須恵器, 陶磁器など	6
25	馬場	" " 馬場	縄文	半磨製石斧	

第1表 周辺遺跡地名表



第2図 周辺の遺跡分布図 (1/25,000)

来の土葬もあったことがわかる。また、始良町小瀬戸遺跡・小倉畑遺跡や溝辺町山神遺跡では墨書土器や越州窯青磁なども出土しており、当地において名主的立場にいた人々の居住地だったことがうかがえる。

中世には各地に城が築かれ、戦国時代の戦いが行われた。反土の加治木城・木田の岩屋城・小山田の柵城・日木山の奴久良城などがある。また三代寺などでは寺もつくられたが、その詳細は不明である。

江戸時代、朝鮮半島から陶工が呼び寄せられ、山元窯、御里窯など各地に初期の薩摩焼窯が築かれ、今の龍門寺窯へと続いている。

【表 文 献】

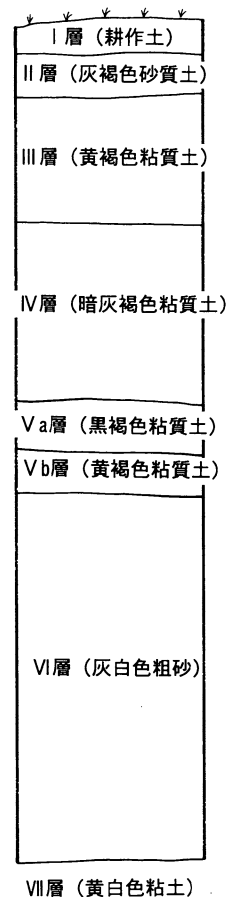
1. 関 一之 1995 「山元古窯跡」『加治木町埋蔵文化財発掘調査報告書』(1) 加治木町教育委員会
2. 立神次郎 1982 「建馬場遺跡」『鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書』(19) 鹿児島県教育委員会
3. 新東晃一・弥栄久志・牛ノ濱修 1979 「三代寺遺跡」『鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書』(11) 鹿児島県教育委員会
4. 佐藤進三 1943 「古薩摩お里窯発掘に就て」『陶磁』第14巻第1号 東洋陶磁研究所
5. 樋口清之・乙益重隆 1938 「加治木町日木山洞窟遺跡」『史前学雑誌』10-2
6. 鶴田静彦 1991 「春田遺跡」『鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書』(59) 鹿児島県教育委員会

第3章 層 序

第1節 基本土層

低地に立地しており、永く水田として使用されていたために、地点によって色調や土質に微妙な違いが見られ、削平・流失などによって層の欠落などがみられるが基本的には次のような層序となっている。

I層は耕作土で、灰褐色、あるいは暗灰褐色をしたこまかい砂質土である。この上に盛土のある場所もある。II層は灰褐色、あるいは明灰褐色をしたこまかい砂質土で、場所によっては下部に鉄分を多く含んでいる。III層は黄褐色の粘質土を主体としているが、場所によってはその下にパミス・軽石のまざった暗灰褐色粘質土、パミスのまざった黄色みをおびた灰褐色砂質土のある所もある。IV層はパミスや軽石を含んだ暗灰褐色あるいは黄みがかかった茶褐色・暗茶褐色の粘質土である。場所によってはその下に小礫の多い黒色土がある。Va層はパミスを多く含む黒褐色砂質土である。Vb層は黄褐色あるいは灰白色粘質土で、マンガンや鉄分を多く含んでいる。V層が縄文時代後期の土器を多く含む包含層となる。VI層は灰白色あるいは黄褐色の中砂あるいは粗砂である。この層が縄文時代前期の包含層の中心である。VII層は黄白色粘土である。



第2節 主要な地層

1. 7B区付近

IV層がない。III層の下にパミス・軽石を含む暗灰褐色粘質土があり、その下がVa層あるいはVb層になっている。Vb層の下に砂層がずっと続くが、1mほどの中砂の下には細砂がみられる。Vb層上面でみると東から西へゆるやかに下降しており、西端部はかなりの傾斜で落ちている。中世とおもわれる溝はVb層を掘り込んでおり、溝が埋没後にIII層が堆積している。

2. 11D区付近

II層の下に同じ色調であるが、鉄分を多く含む層がある。IV層・Va層が欠落している。VI層上面は北から南へ向かってやや上昇している。

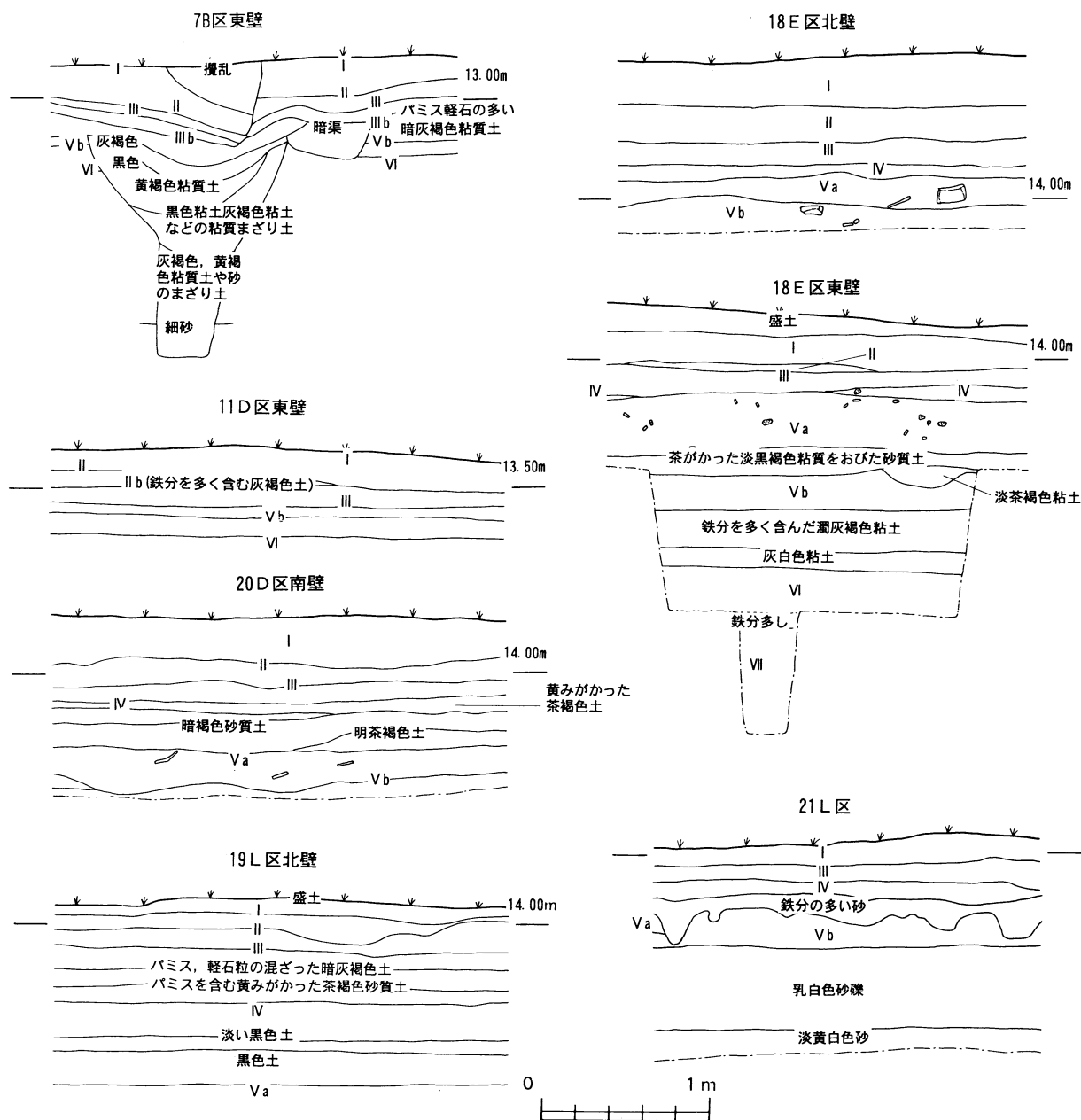
3. 18E区付近

IV層が欠落している。Va層には多くの縄文土器が含まれており、こまかく分けると色調やパミスまじりなどで3層に分かれる。Va層の下は茶がかかった淡黒褐色粘質をおびた砂質土、黄みをおびた灰褐色粘質土、鉄分を多く含む濁灰褐色粘土、灰白色粘土、鉄分を多く含む緑がかかった灰褐色細砂、同じ色調の粗砂へと続く。

4. 20D区付近

III層の下に黄茶褐色土、黒褐色土、部分的に白っぽくなる暗褐色砂質土があり、IV層は欠落している。Va層は多くの遺物を包含している。

第3図 層序模式図



第4図 主要な土層断面図

5. 19L区付近

盛土が10cmほどあって、その下は安定した堆積状況を呈している。

6. 21L区付近

溝や地層横転などがあって複雑な層序を呈している。Va・Vb層が欠落しており、VI層の砂層が厚く堆積しており、色調によって3層以上に分かれる。

第4章 調査の概要

第1節 概 要

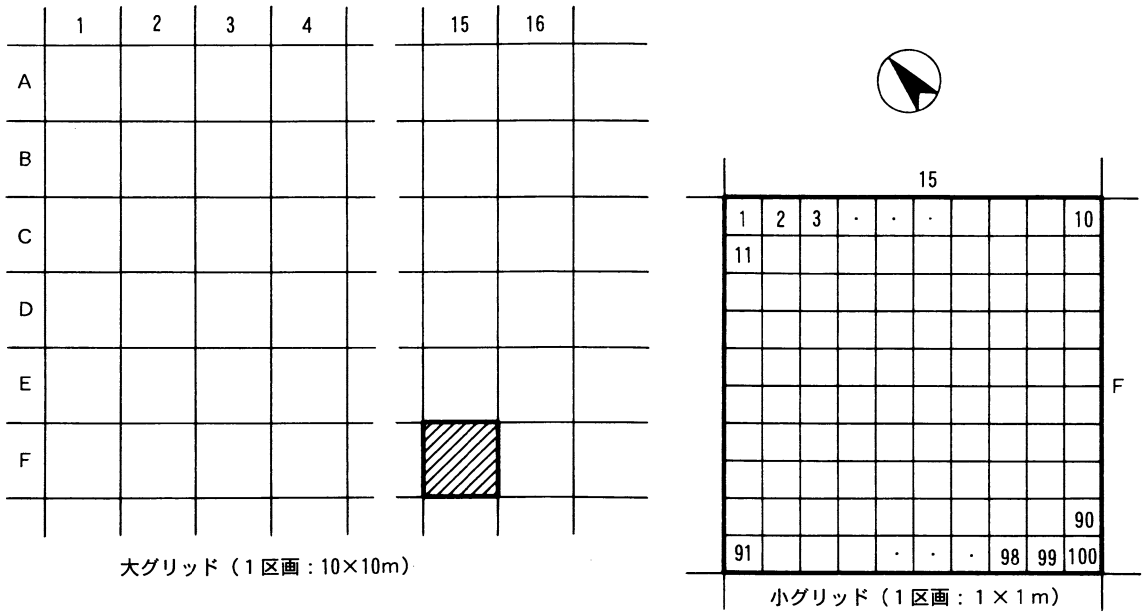
干迫遺跡は工事中に発見されたため、その全容は不明である。加治木ジャンクションの工事は大半が終了しており、調査対象地は北東側に限定された。調査対象地のうち一部は橋脚工事によって破壊されており、対象面積は約14,000㎡である。

調査は対象地に10m四方の方眼を組んだ。主軸は真北に対し約45度ふれている。西側から東へ向け1・2・3…、北側から南へ向けA・B・C…と呼んだ。調査区は5区から25区まで、A区からO区までである。なお自然流路の部分はさらに1m四方区画に細分し、北西隅から北へ1・2・3とし、南東隅が100となるようにした。水田土壌のために地層は複雑である。

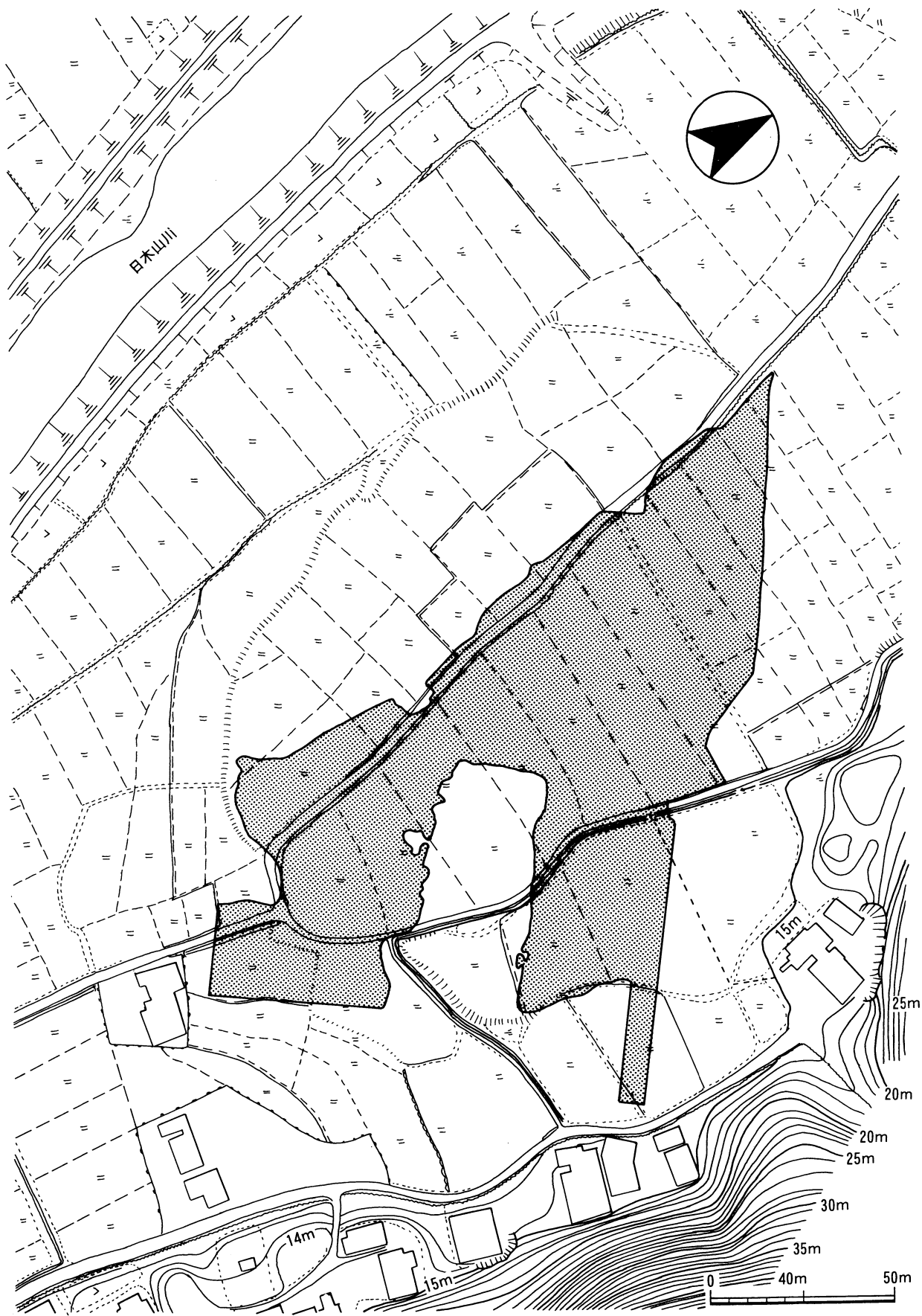
縄文時代の地形は19～21区のJ～L区がもっとも高くここから東西へ緩やかに下降している。この高い部分に前期の人々が住み始め、包含層を形成している。その北から西にかけて自然流路跡があり、多量の土器が含まれていた。

縄文時代後期の集落は削平されたようで、住居は19～21C・D区、10・11E・F区、16～18N区だけしか残っていない。もっとも高い地点には埋設土器が集中しており、地点による使い分けの様相がみられる。

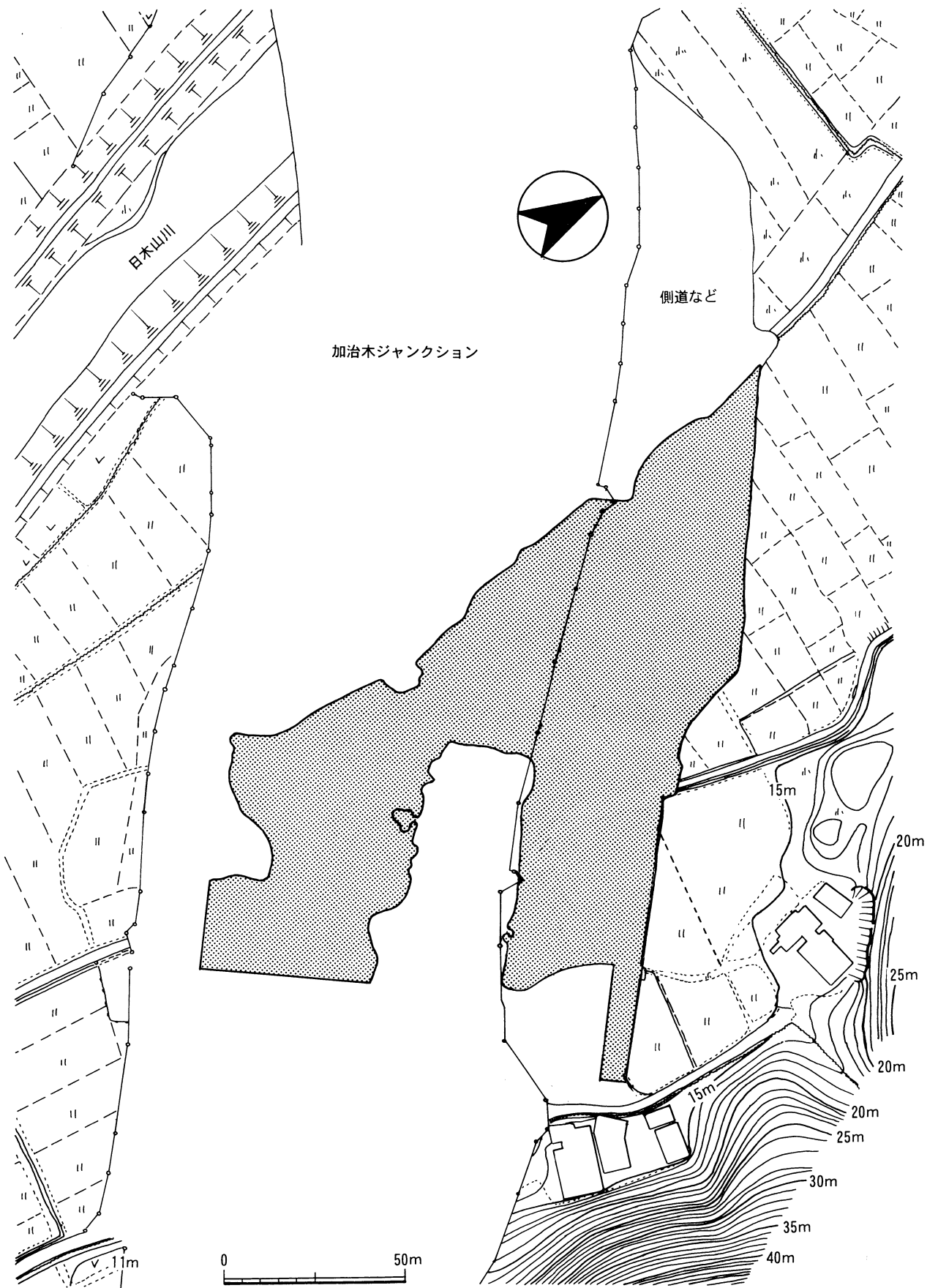
縄文時代後期中頃に盛行した集落はその後すたれ、再び人が訪れるのは弥生時代であるが、遺物量は多くない。平安時代になって6～8C・D区あたりに規模の大きい建物があり、特殊な遺物も出土し、官衙の様相を呈する。さらに南・西へ延びているために、全容は不明であるが、南西側で発見された道路とともに今後注目したい。中世には整然とした用水路がつくられており、管理された耕作地があったようだが、同時に、全国広範囲にわたる陶磁器等が出土しており、交易の広さを示している。



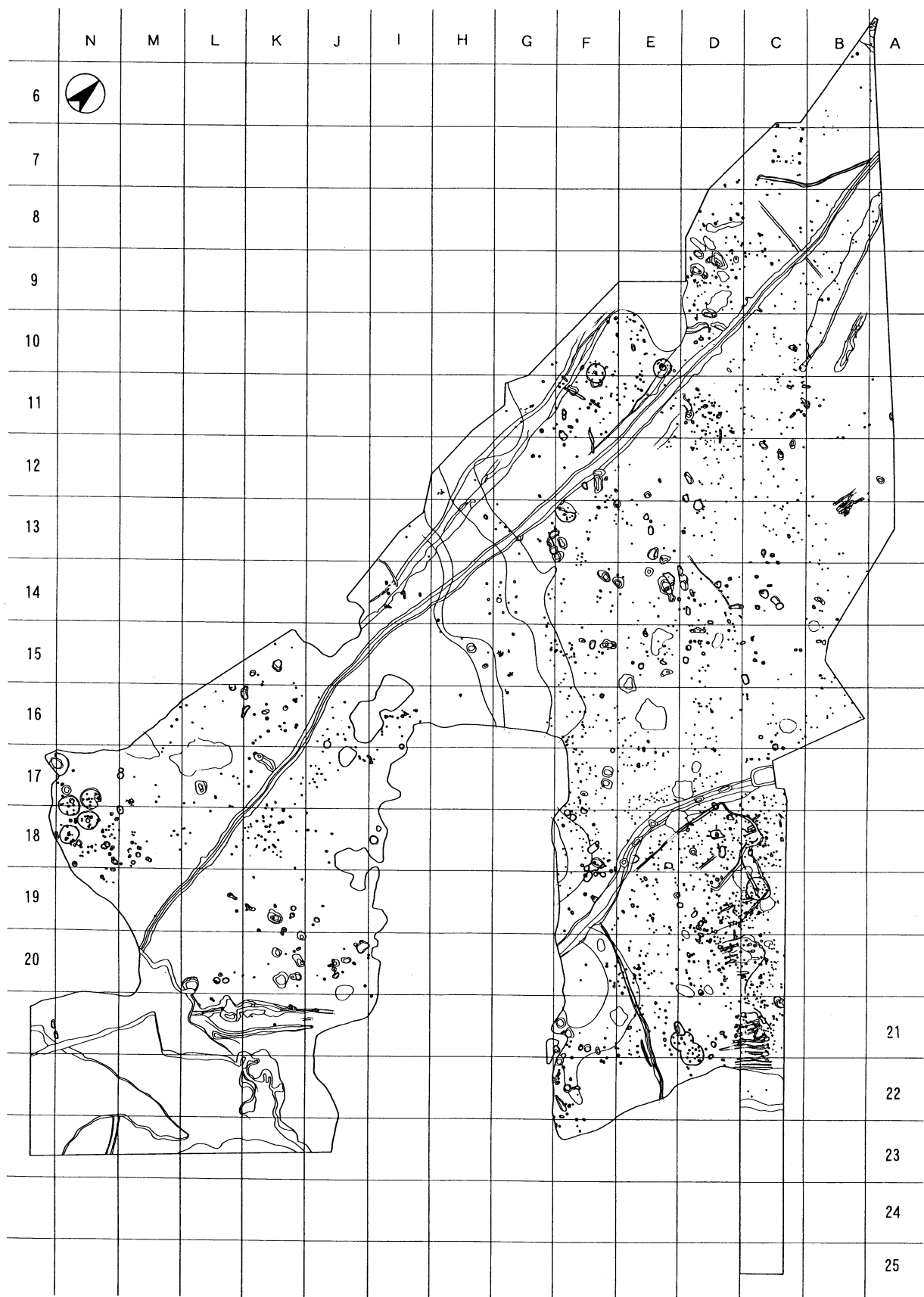
第5図 グリッド設定模式図



第6図 工事着手前の周辺地形図（網かけ部：調査区域）



第7図 道路範囲と調査区域（網かけ部：調査区域）

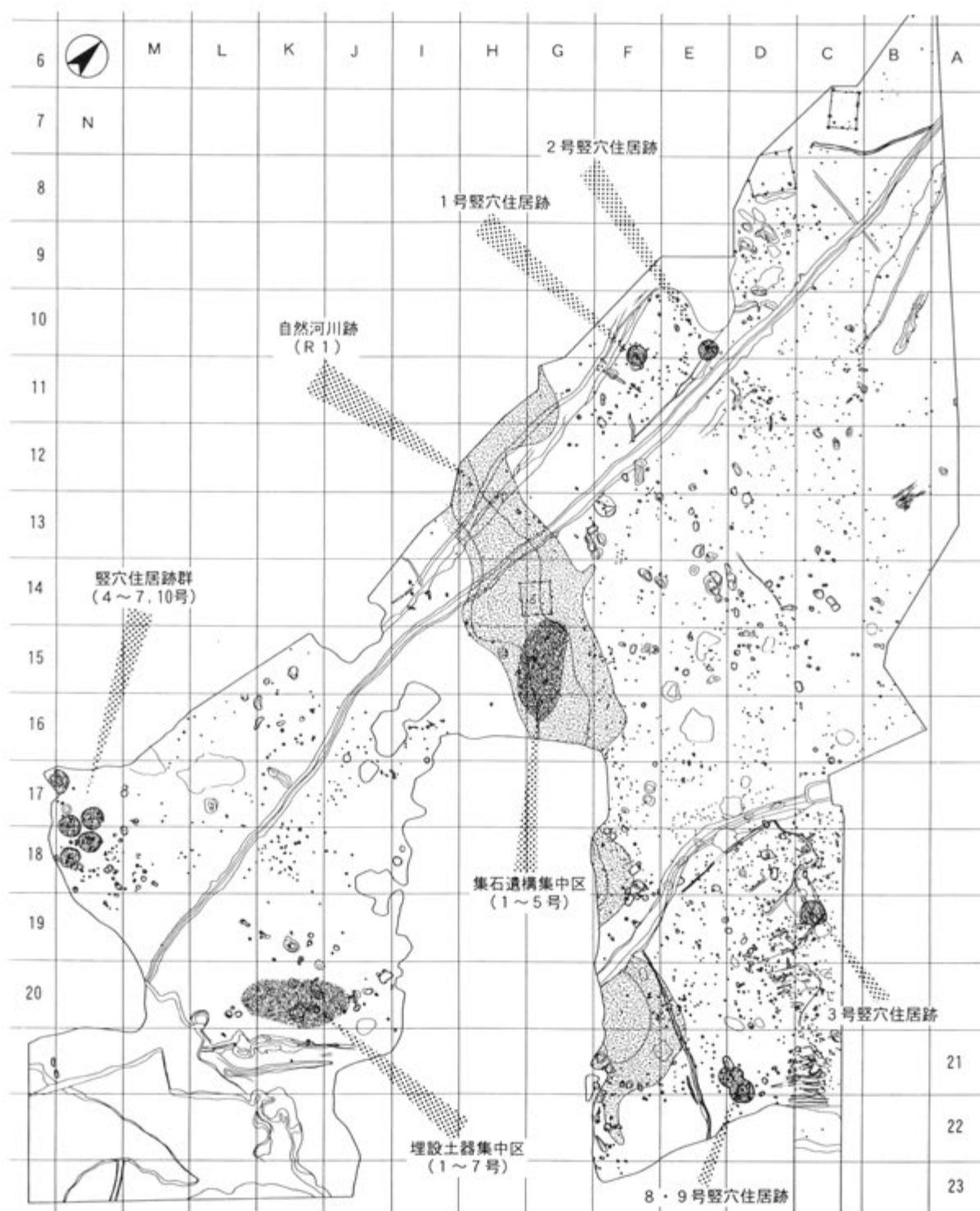


第8図 調査区の概要（1区画：10×10m）

第2節 縄文時代

1. 遺構

縄文時代の所産と考えられる遺構としては、竪穴住居跡10基、土坑143基、集石遺構6基、集積遺構4基、埋設土器10、多数の柱穴状ピットなどが検出された。これらのほとんどが縄文時代後期中葉のもので、本遺跡の主体をなす時期のものである。



第9図 縄文時代の遺構概要 (1区画: 10×10m)

1) 竪穴住居跡

竪穴住居跡は総数10基検出することができた。これらはすべて直径3m前後の円形で、中央の炉跡と考えられるピットを数本の柱穴状ピットが取り囲むタイプを基本とする住居跡である。それぞれの時期の設定については後述するが、住居跡は大きく3か所に分かれて検出されており、集落の形成という点から注目される。

No.	検出区	平面形	長軸・短軸・直径cm		検出面 からの 深さcm	床面積㎡	炉跡	付 属 ピット	主柱	挿図No.	遺物総数	市丸鐘	辛納西	磨打	磨磨	蔽石	石石	砥石	くさ	剥	貼					
												来尾崎	北久根	川曾	平斧	斧	石石	石石	核	さ	片	加工品				
1	10, 11F	円形	296	48	6.07	○	11	5	10, 11	274	14	13	1	3	7	14	11	1	1	2	1	6	28	2		
2	10, 11E	略円形	310	278	20	6.38	△	8	5	12	30	2	1						1			1				
3	19C	略円形	404	358	24	10.52	○	24	5or6	13, 14	404	29	5	1		13	3			2		6		21		
4	17, 18N	円形	314	12	7.94	○	10	4 ?	15, 16	38	3	2			4	5				1	1	2	2	12		
5	18N	楕円形	340	274	18	6.79	○	8	2 ?	17, 18	32	3	2		1		1							7		
6	18N	略円形	310	268	12	6.20	○	7	2 ?	19, 20	103	1	1			9		1					1	6		
7	17, 18N	円形	318	26	7.09	△	9	4 ?	21, 22	51	4	3		1		8				4	1			3	1	
8	21, 22D	円形	360	17	(8.44)	○	13	4or5	23, 24	63	12	1	1	2	1		1							1	4	
9	21E, D	楕円形	368	318	10	(8.24)	△	9	4or5	25, 26	12	4		1			1					1	1		1	2
10	17N, O	円形	354	15	(5.81)	△	1	0	27	2	1														1	

第2表 竪穴住居跡観察表

(1) 1号住居跡（第10, 11図）

1号住居跡は、10F区と11F区の境界線上で検出されたもので、直径3m弱のほぼ円形を呈するものである。当初は遺構ラインが明瞭でないものの、掘り下げても遺物の出土が続くことから遺構を想定し、中心部と考えられるやや黒褐色の部分を中心に十字のベルトを残し中央部から掘り下げた。まず、床面を確認し次に壁を追いかけるという作業工程をくり返した。結果的に中央に地床炉をもち、壁際に5本の柱がめぐる本遺跡で最も安定した形の住居跡を検出することになった。

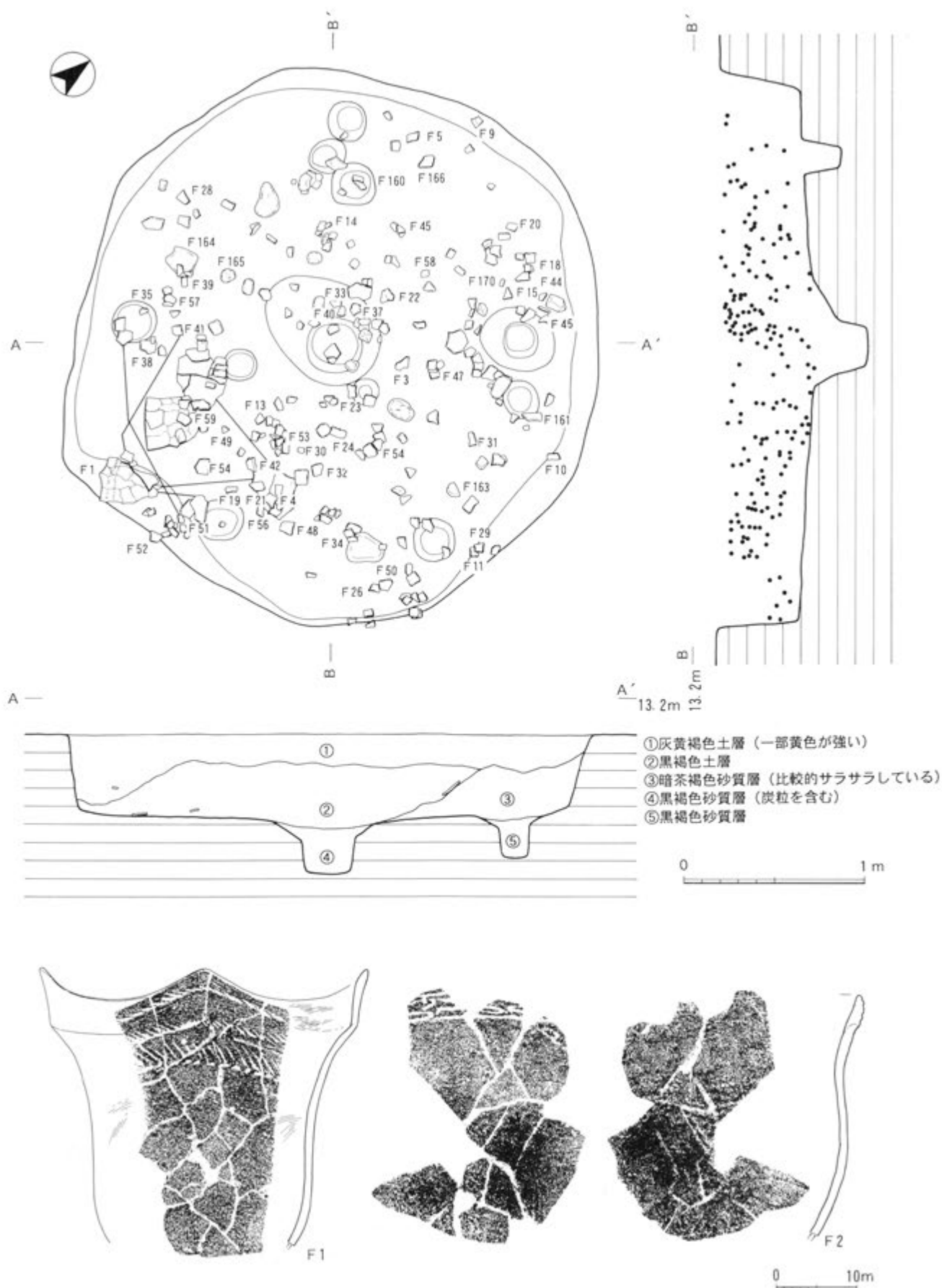
床面積が6.07㎡。検出面からの深さが48cmと本遺跡で検出された住居跡の中では格段に深い。

遺物は総数274点出土した。中でも丸尾式土器(F1)と辛川式土器(F2)の大片が床面直上で出土したことは同時性を検討する上で注目される資料である。また、F1は南側の壁上部段付近から出土したものと、床面から出土したもの（いずれも大片）が接合しており、廃棄パターンを知る好資料である。

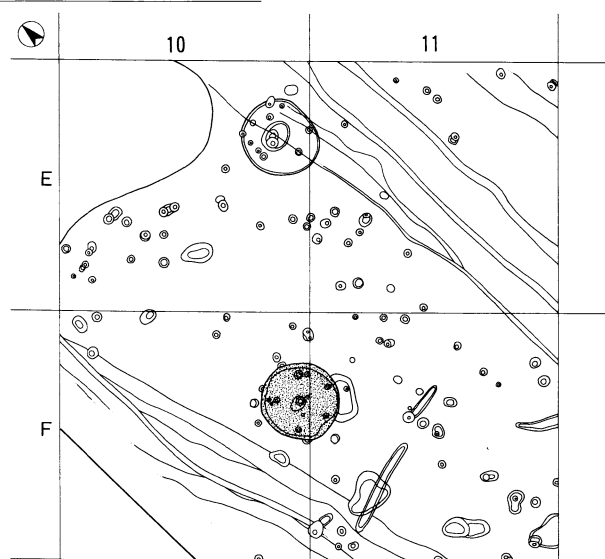
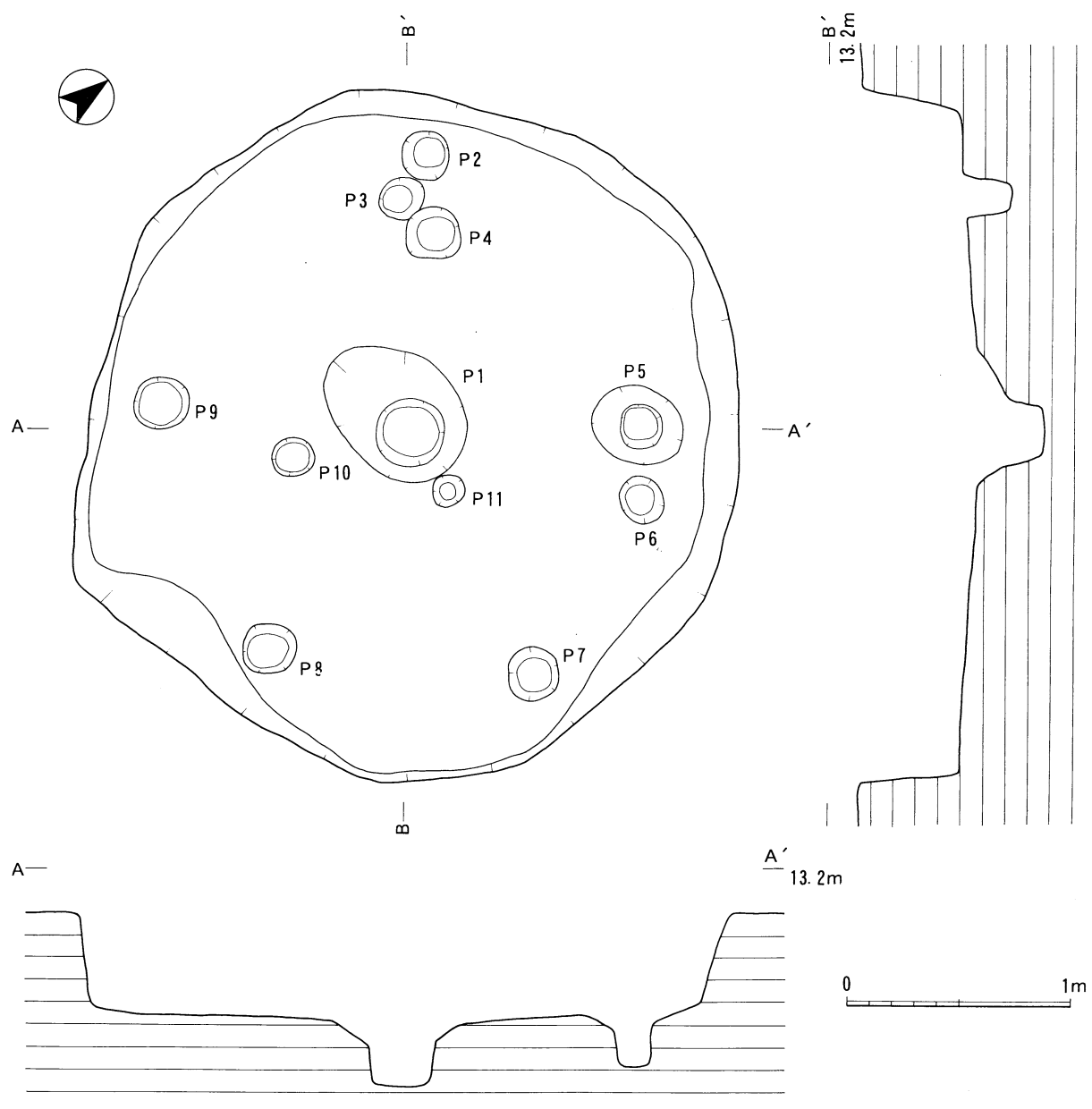
土器型式の判別できるものでは納曽式土器がもっとも多く、丸尾式土器、西平式土器がこれに続く。市来式土器も出土しているが、前述のように丸尾式土器の大片が床面直上から出土し、さらに丸尾式土器と時間的に極めて近いと考えられる納曽式土器が多く出土していることから、この住居跡の時期は、丸尾式土器期のものとするのが妥当と考える。F58とF59は円盤形土製加工品（通称メンコ）である。F59は床面直上で出土した。

石器としては磨製石斧1点、打製石斧1点、石錘1点、磨石1点、石皿2点、剥片28点（黒曜石18点、メノウ3点、フリント3点、安山岩4点）、石核6点（黒曜石）、礫18点（うち1点は焼石）がある。

磨製石斧（F160）は頭部が欠けており、長さ8.8cm、最大幅5.5cm、厚さ1.6cmのバチ形を呈した



第10図 1号竪穴住居跡実測図及び出土土器



第11図 1号竖穴住居跡実測図

両刃石斧である。扁平な安山岩を使用しており、2次的に火を受けている。全面に部分的な研磨を施しているが、軟質な石材のため、刃部なども磨滅が目立つ。打製石斧（F161）は使用中に基部が折れたとみえ、刃部のみが残っている。幅が11.5cmと広く、使用度が激しいため刃部の磨耗がひどく、刃部は丸くなっている。安山岩製である。石錘（F162）は厚さが約1cmある四角形の安山岩の4か所にえぐりを入れてひもかけとしている。磨石（F163）は一部欠けているが、楕円形を呈した安山岩製である。平面部は研磨され、側辺部は敲打痕が全面にある。石皿（F164・F166）はともに安山岩製である。F164は片面が剥脱しており、平面も一部欠けている。長さ20cm、最大幅17.5cmで表面も部分的に剥脱している。平坦である。F166は小さな破片であるため、研磨面の形等は不明である。剥片28点のうち加工痕のあるものが1点、使用痕のあるものが2点ある。F170は三船産黒曜石の横長剥片を使用している。大剥離面の残っている面の外反する長辺に押圧剥離を加え、スクレイパー状に仕上げている。F171は石英質メノウの縦長剥片の一長辺の一部に使用痕がみられる。F172は2か所欠けている硬質安山岩の剥片であるが、一長辺に刃こぼれの痕がみられる。

石製品では、三角形を呈する軽石に一条の筋のある石製品（F165）と、一側辺をすった軽石製品（F167）が出土している。F165は表面に3か所、裏面に1か所の筋がみられる。F167は長さ19cm、幅11.5cm、厚さ7cmと大型である。この他に加工のない軽石が4点ある。

(2) 2号住居跡（第12図）

2号住居跡は、10E区と11E区の境界線上から検出されたもので、長軸310cm、短軸278cmの略円形を呈している。後世の溝状遺構がからんでいたため確認に手間取ったが、中央に直径1m余りの比較的大きなピットを持ち、その周囲を柱穴状のピットがめぐるタイプの住居跡が検出された。中央ピットが大きいのが、基本的には1号住居跡と同じタイプのもので、床面積も6.38㎡とほぼ同じ規模である。この付近は、後世の削平のために、遺物包含層もなく、住居跡自体も20cmの深さしかなかった。そのためか出土した遺物も総数30点と少なかった。

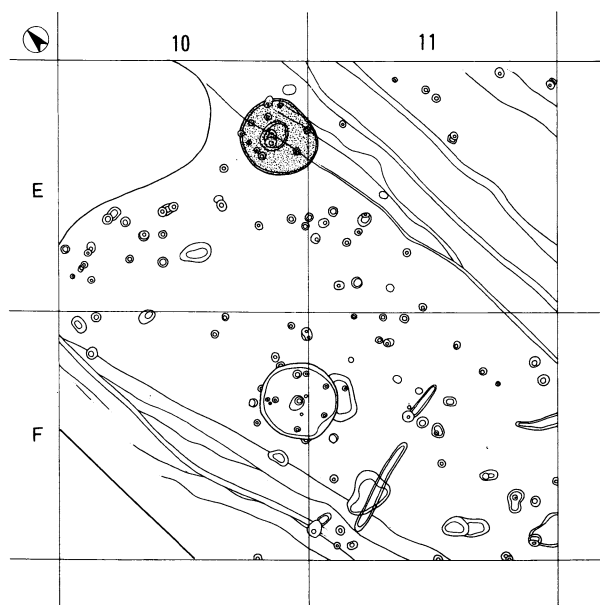
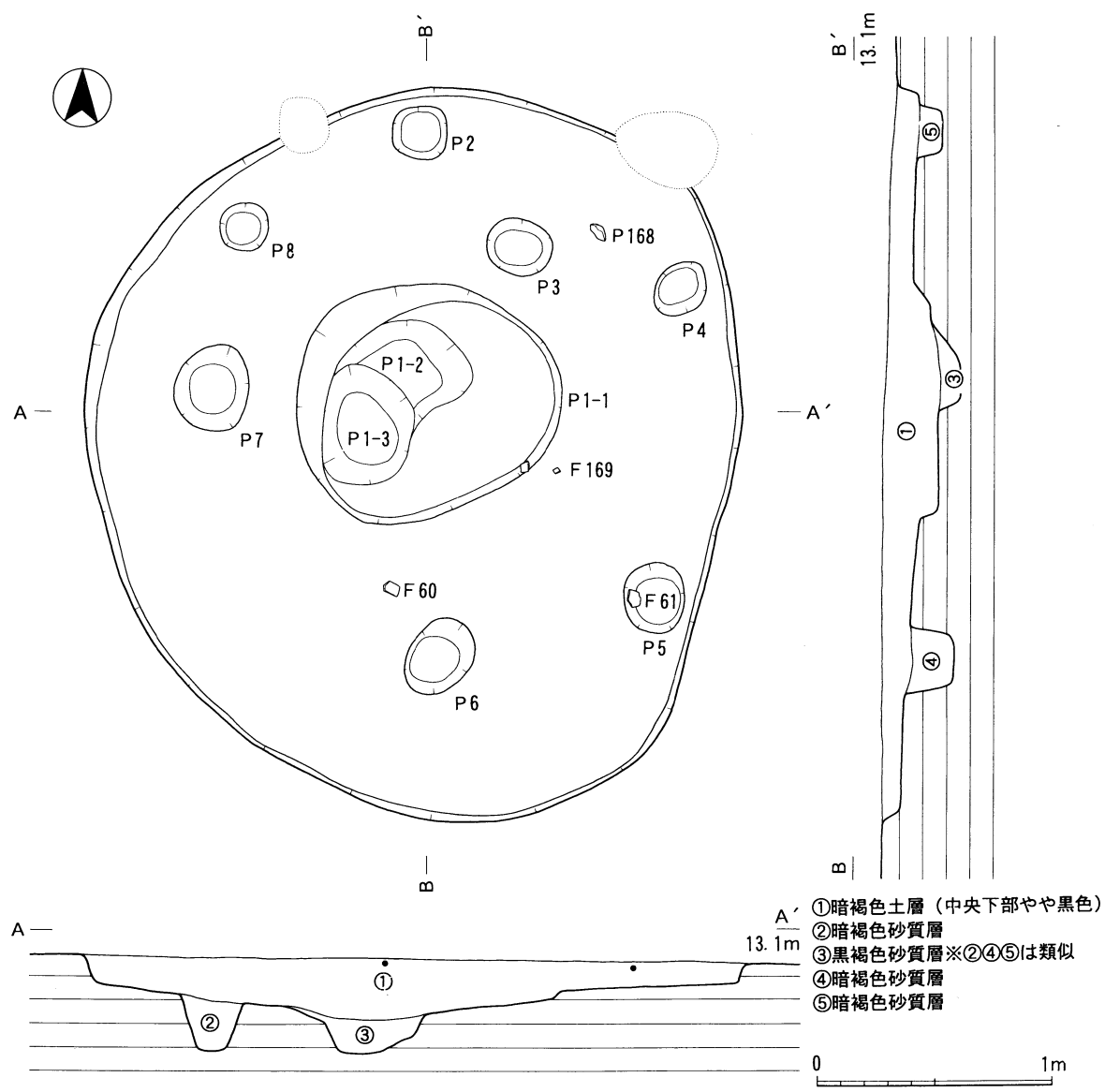
F60とF61は市来式土器である。F60は断面三角形の口縁部に横位の貝殻刺突文を施すもので本遺跡で大量に出土している市来式土器の中では比較的少ないタイプのものである。

石器には、石皿1点、砥石1点、軽石（加工なし）1点がある。石皿（F168）は紡錘状の形状をした破片で両面を使用している。安山岩製。砥石（F169）は厚さ7mmほどの扁平な粘板岩を利用したすり切り用砥石で、刃部は欠けている。一面は横方向の擦痕がみられるが、片面は鉄分が付着して使用痕等は不明である。

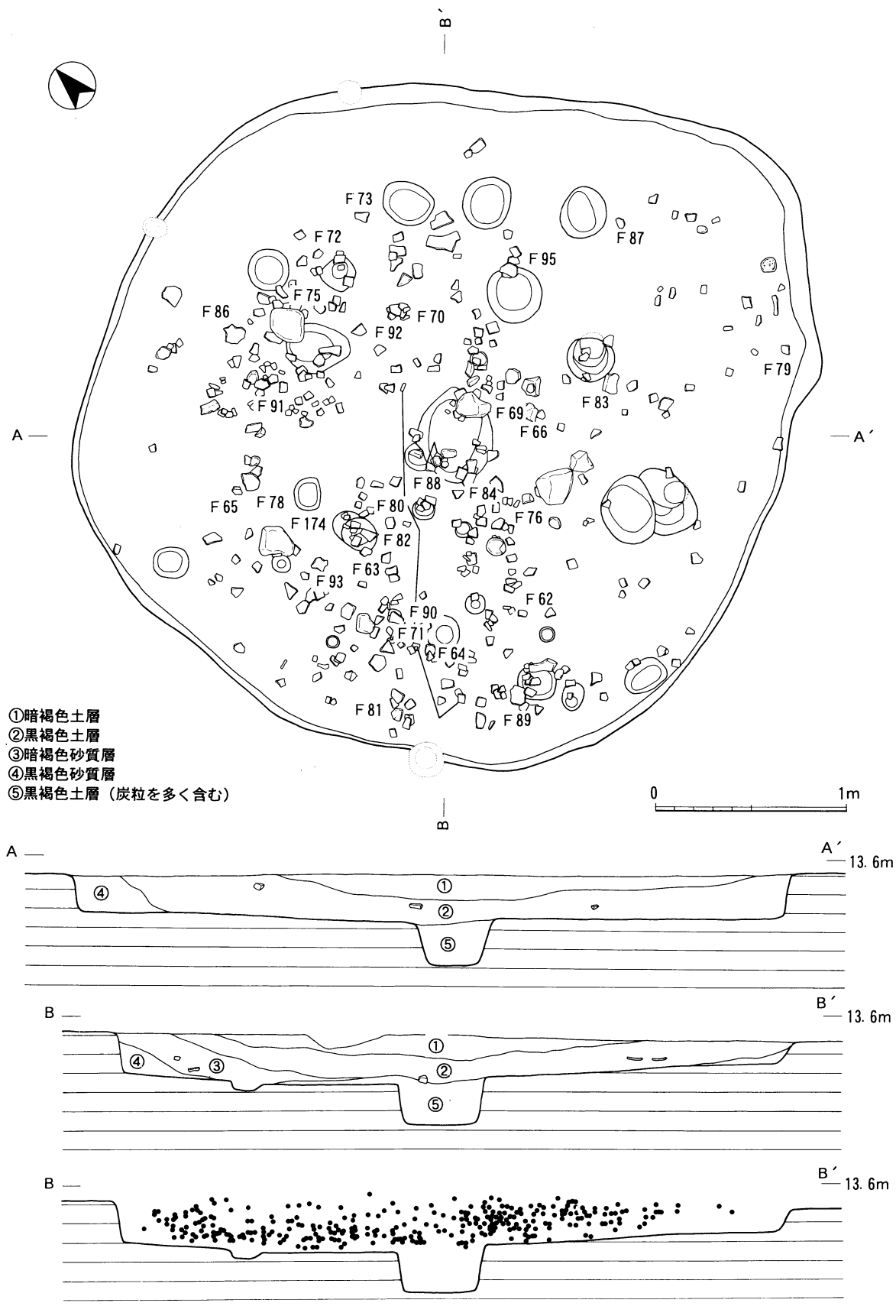
(3) 3号住居跡（第13, 14図）

3号住居跡は、19C区で検出されたもので、長軸404cm、短軸358cmの略円形を呈している。床面積が10.52㎡と本遺跡で検出された住居跡の中では最大のものである。中央にあるピットは、埋土に炭化物を多く含むことから炉跡と考えられる。柱穴状のピットが総数24個も検出されており、主柱配置がやや不明瞭であるが、おそらく1号住居跡と同様なタイプで、5ないし6本柱の建物であろう。なお、炉の両サイドにある直径8cm程度の小ピットは、炉との関連で注意しておきたい。

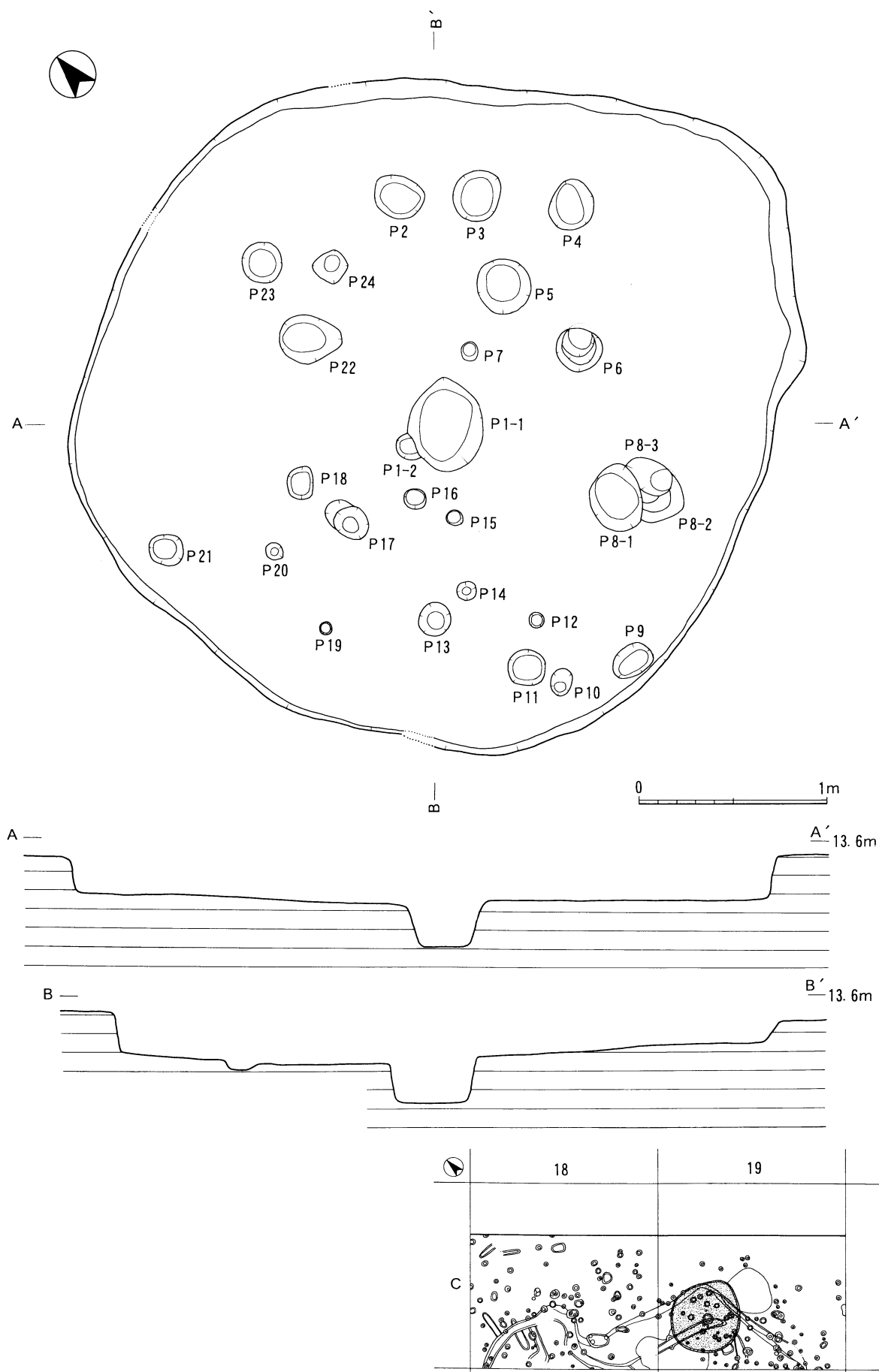
ところで、この住居跡の東西には地層横転がからんでいる。特に東側の横転は単純なもので、



第12図 2号竪穴住居跡実測図



第13図 3号竪穴住居跡実測図1



第14図 3号竖穴住居跡実測図2

平面での地層観察が容易なものである。住居はその横転を切って作られている。

出土遺物の総数も404点と住居跡の中でも最も多い。土器の多くは市来式土器であるが、丸尾式土器や辛川式土器も比較的多いことから、1号住居跡とほぼ同じ時期のもの（丸尾式ないし辛川式期）ではないかと考えられる。F77は台付皿形土器の皿部である。F94とF95は円盤形土製加工品で、1号住居跡のものと共に住居跡内出土の例として好資料である。

石器は、石皿2点（内1点はP4で出土）、剥片21点（黒曜石6点、メノウ4点、フリント9点、安山岩2点）、石核6点（黒曜石4点、フリント2点）、原石（フリント）1点がある。F174は幅約21cm、厚さ約9cmの隅丸方形をした石皿の破片で、片面だけをほぼ平坦に使用している。

番 号	長軸・短軸・直径cm			深さcm	備 考
H3P01-1	51	40		26	P1
H3P01-2	14	(10)		9	
H3P02	27	22		10	
H3P03	29	25		13	
H3P04	28	24		15	P3 2段
H3P05			29	48	
H3P06			23	28	
H3P07			9	24	
H3P08-1	36	28		18	P2
H3P08-2	30	(24)		8	
H3P08-3	26	18		46	P4
H3P09	22	16		13	
H3P10	15	11		10	
H3P11			20	14	
H3P12			8	12	2段
H3P13			17	4	
H3P14			10	19	
H3P15			9	12	
H3P16			12	34	
H3P17	25	16		17	
H3P18	17	14		9	
H3P19			6	19	
H3P20	11	9		24	
H3P21	19	16		13	
H3P22	33	26		11	
H3P23			22	7	
H3P24	17	15		47	やや方形

第5表 3号竪穴住居跡内ピット計測表

(4) 4号住居跡（第15、16図）

4号住居跡は、17N区と18N区の境界線上から検出されたもので、直径314cmの円形を呈している。5基集中して検出された住居群のうちの1基である。中央にピットをもち、周囲に柱穴状ピットがめぐるタイプのものである。床面積は7.94㎡である。遺構の北側には直径70cm前後、深さ60cm弱の土坑がある。磨石や石皿状の扁平な礫が出土しており注目される。貯蔵穴等の機能も考えられよう。

土器は市来式土器（F96、F97）、丸尾式土器、辛川式土器（F98～F101）もあるが、西平式土器（F102～F106）が最も多く出土している。

石器は磨石1点、敲石1点、砥石2点、剥片12点（黒曜石11・安山岩1）、石核（黒曜石）2点の他、安山岩礫と軽石が各1点ある。

磨石（F175）はだ円形をした安山岩で、半分ほど欠けている。側面部は一面敲打痕がみられ、平面部はツルツルなるほどすれている。敲石（F177）は逆台形を呈する砂岩円礫の下部に敲打痕がみられる。側辺の一部と、平面の中央部にも敲打痕があり、くぼみ石状を呈する。砥石は厚さ4cm足らずの扁平な安山岩を用いたもの（F176）と、厚さ10cm足らずの厚い溶結凝灰岩を用いたもの（F178）とがある。F176は欠けており、片面だけを使用している。F178は片面に2条の凹線がある砥石みたいだが、軟質であり石製品の可能性もある。F173は縦長剥片の長軸一側辺に

使用痕があるものである。安山岩製。

(5) 5号住居跡（第17, 18図）

5号住居跡は住居跡集中区の1基で、長軸340cm、短軸274cmの楕円形を呈する住居跡である。中央に炉跡らしいピットがあり、その周囲を柱穴状のピットが7個めぐっている。床面積は6.79㎡である。

検出面からの深さが18cmと浅く遺物は比較的少ないが、市来式土器（F108, F109）、丸尾式土器（F110）、北久根山式土器（F111）、西平式土器（F112）などの土器が出土している。F107は縄文時代前期の深浦式土器の胴部片である。このような混入例は6号住居跡にも見られる。F110は貝殻刺突文の下位に連点文を施していることから、辛川式土器との関係が伺える資料である。F111は台付皿形土器で皿部の端部にW字状の貼付文があることから、北久根山式土器と考えられる。F112は西平式土器の無文タイプである。

石器は剥片7点（黒曜石5点、メノウ2点）があるのみである。

(6) 6号住居跡（第19, 20図）

6号住居跡も住居跡集中区で検出された1基で、長軸310cm、短軸268cmのやや楕円形を呈するものである。中央に炉跡と考えられるピットをもち、7個の柱穴状ピットが存在するものの、主柱の配置等は明確でない。強いて言えばP2とP6の2本柱の可能性もある。

出土土器の圧倒的な多さから、西平式土器期の住居跡であると考えられる。

石器には打製石斧1点、砥石1点、剥片6点（黒曜石2点、メノウ2点、フリント1点、安山岩1点）がある。

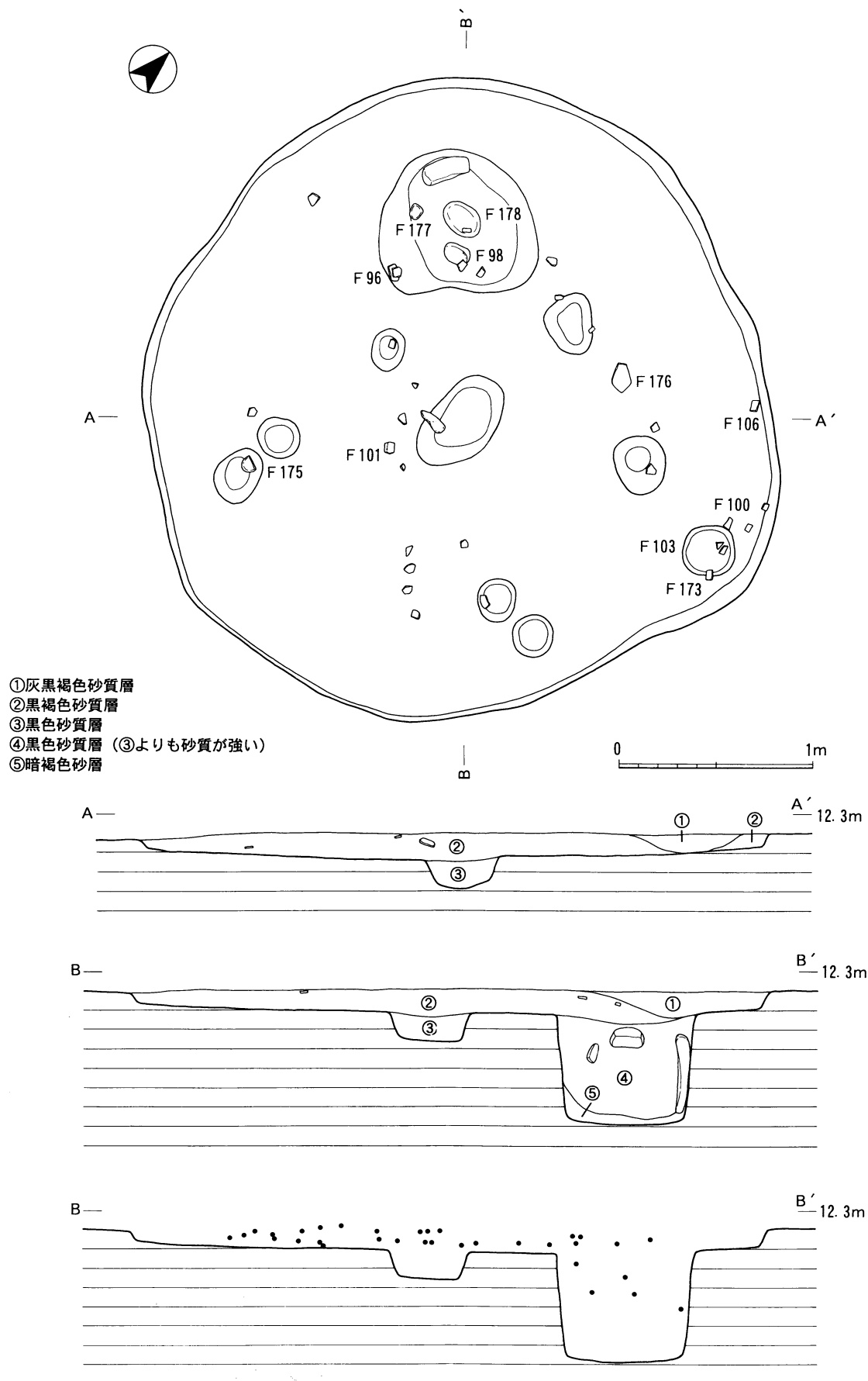
F179は安山岩製挟り入り打製石斧の頭部である。最大の厚さが1.4cmしかない薄手の剥片を利用している。砥石（F180）は砂岩製で、2方が欠けている。表面も欠けている部分があるが、表裏面に研磨痕がある。

(7) 7号住居跡（第21, 22図）

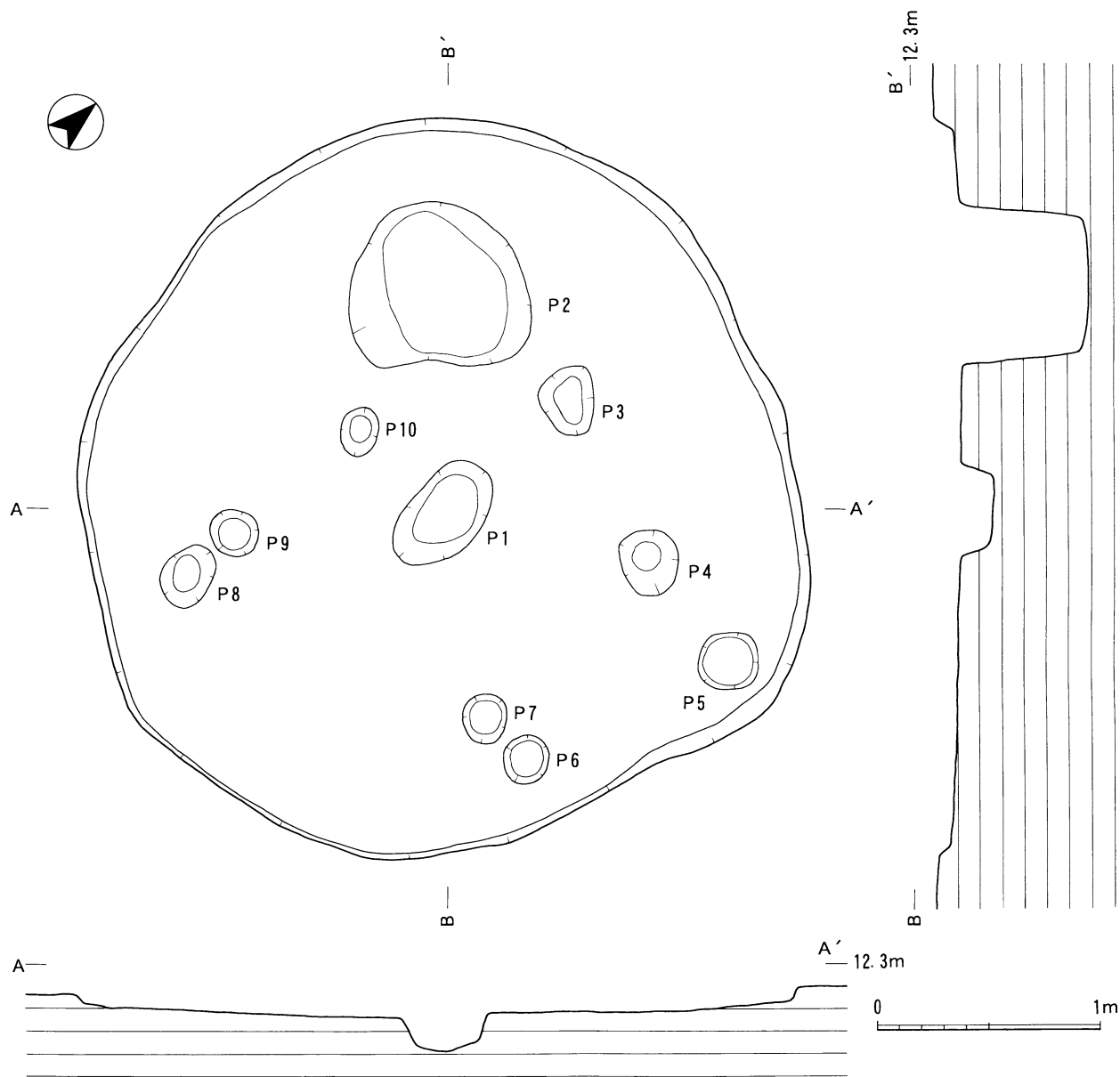
7号住居跡は直径318cmを測るほぼ円形の住居跡で、床面積が7.09㎡と本遺跡の中では平均的なサイズのものである。炉跡については不明瞭であるが、中央部分にある柱穴状のピットのいずれかがそれに該当するのかもしれない。炭化物等の検出はなかった。本遺構は東側の一部に突出部がありその役割が注目される。

土器は市来式土器（F122～F125）や丸尾式土器（F128）も出土しているが、6号住居跡同様、圧倒的に多いのが西平式土器（F131～F138）であった。F121は深浦式土器の口縁部である。押引き状の連点文を施している。F125は台付皿形土器の脚台部である。F128は丸尾式土器の大片で、平縁の外反タイプである。F129は北久根山式土器の口縁部である。文様は貝殻刺突文を主とするものである。F137西平式土器の無文タイプである。

石器には磨石4点、敲石1点、剥片3点（メノウ1点、フリント2点）、円礫6点（うち4点は大きい）がある。

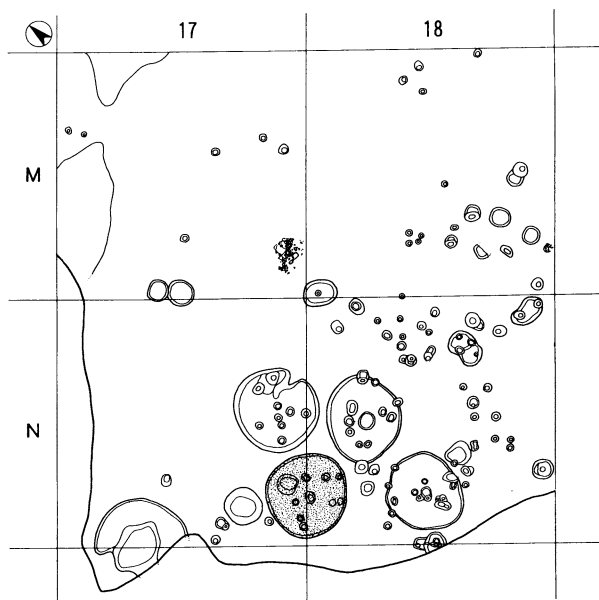


第15図 4号竪穴住居跡実測図1

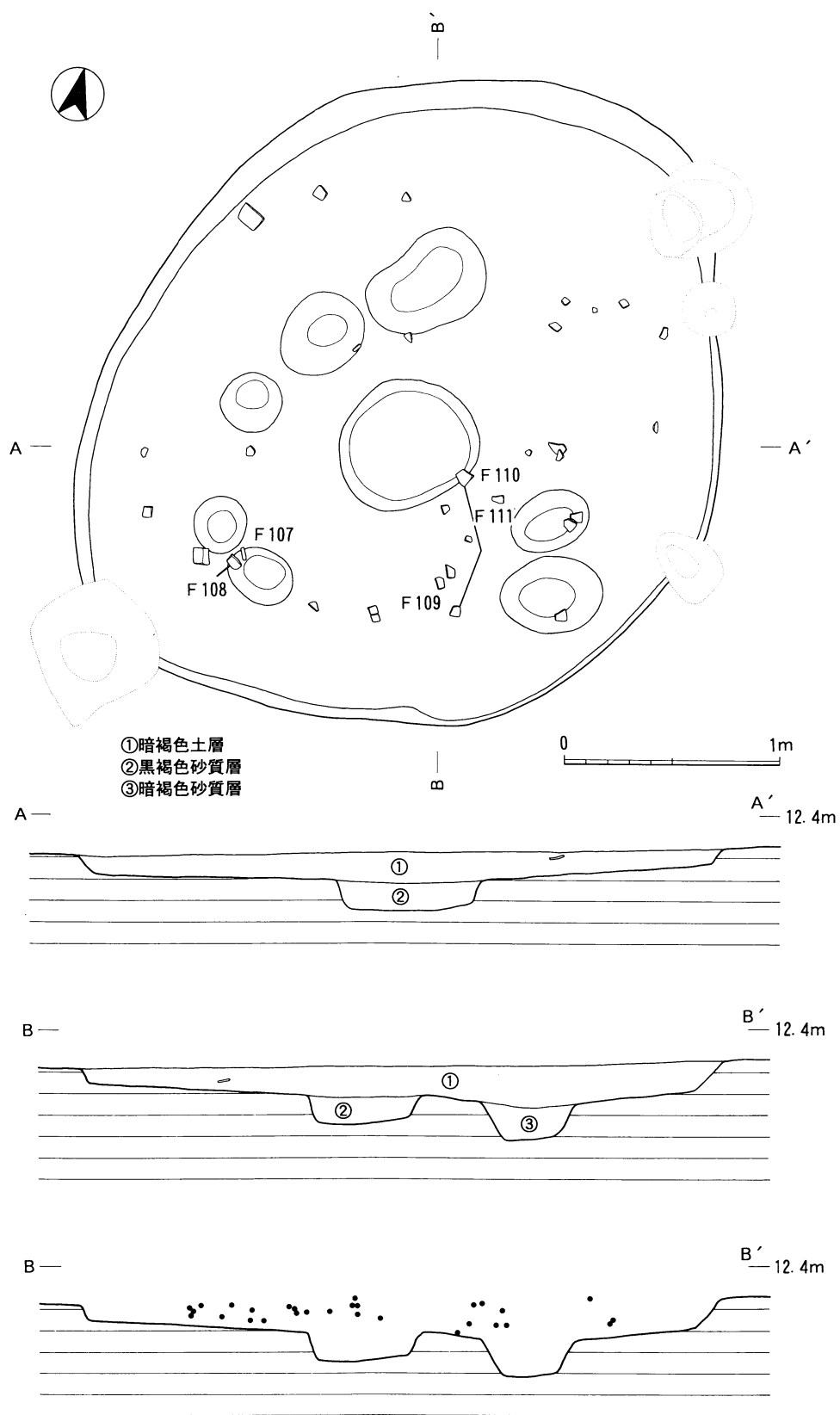


番 号	長軸・短軸・直径cm		深さcm	備 考
H4P01	51	31	18	P 1
H4P02	82	72	57	
H4P03	31	26	13	
H4P04	30	26	17	
H4P05		27	—	
H4P06		21	16	
H4P07		20	13	
H4P08	28	22	17	
H4P09		22	12	
H4P10	22	17	14	

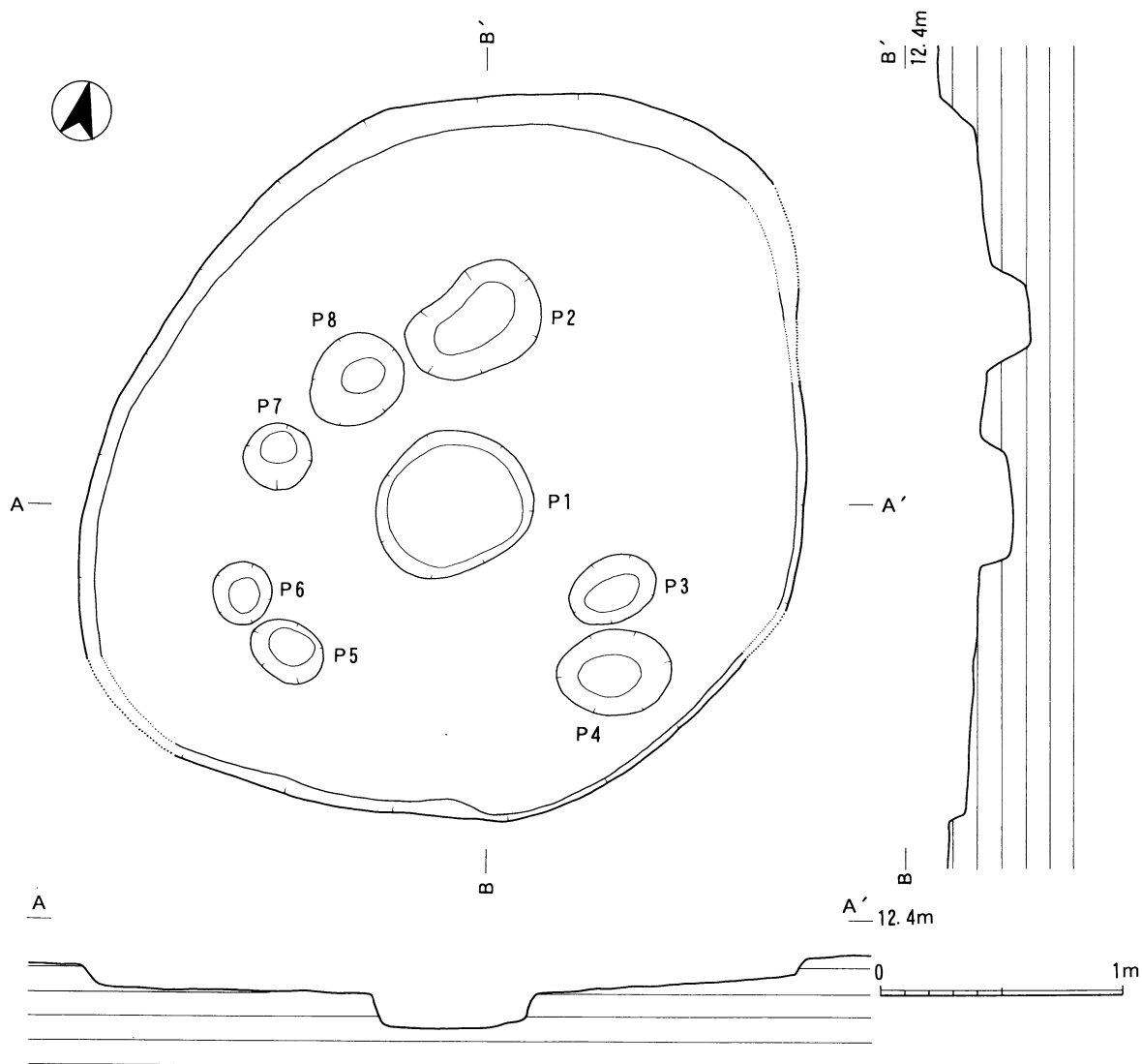
第6表 4号竪穴住居跡内ピット計測表



第16図 4号竪穴住居跡実測図2

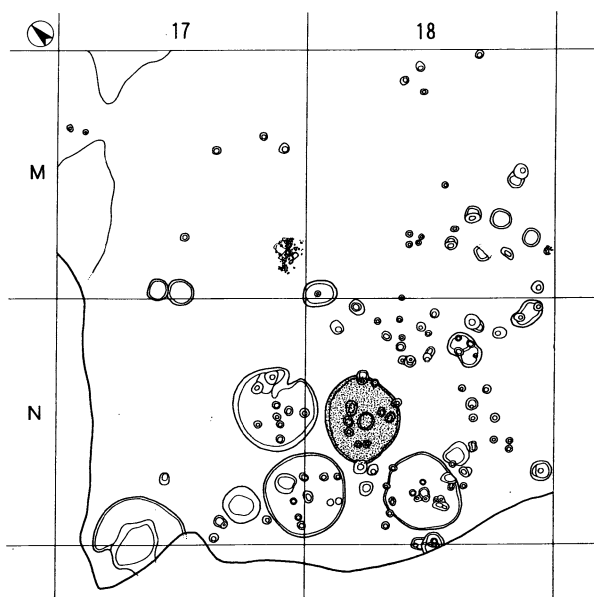


第17図 5号竪穴住居跡実測図1

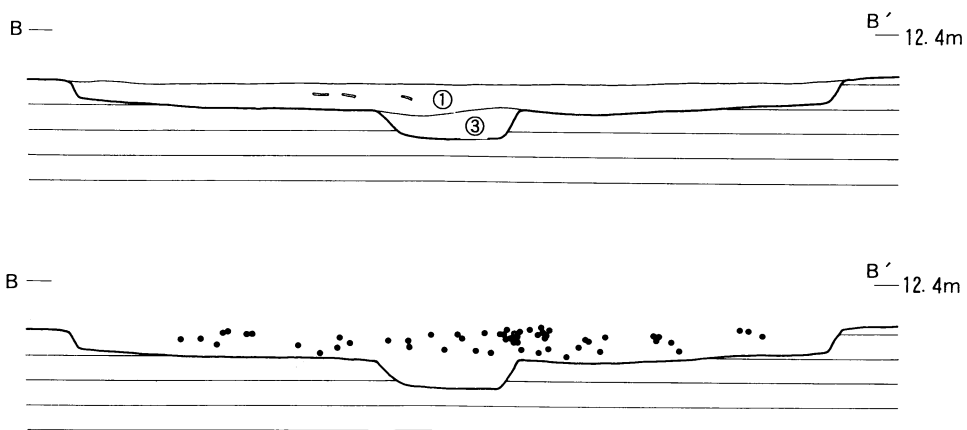
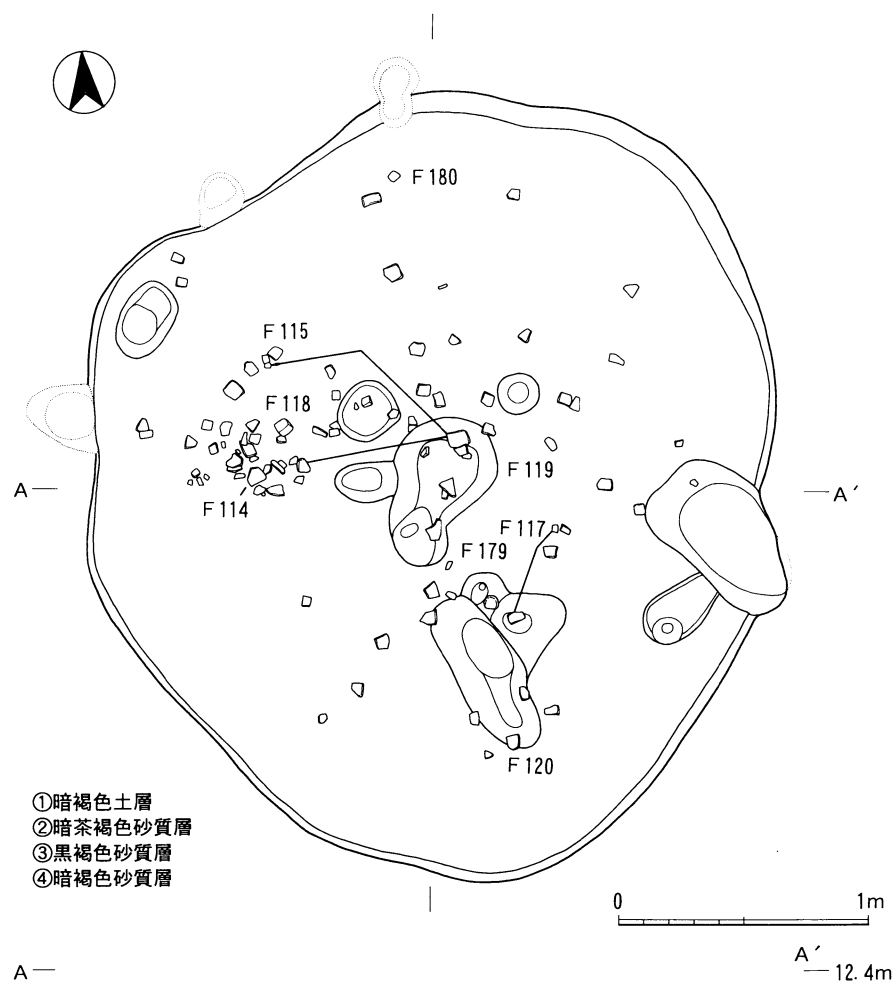


番 号	長軸・短軸・直径cm	深さcm	備 考
H5P01	67 58	20	P1
H5P02	60 41	18	P2
H5P03	38 27	10	
H5P04	46 33	79	
H5P05	31 25	10	
H5P06		26	P5
H5P07		27	
H5P08	42 34	31	

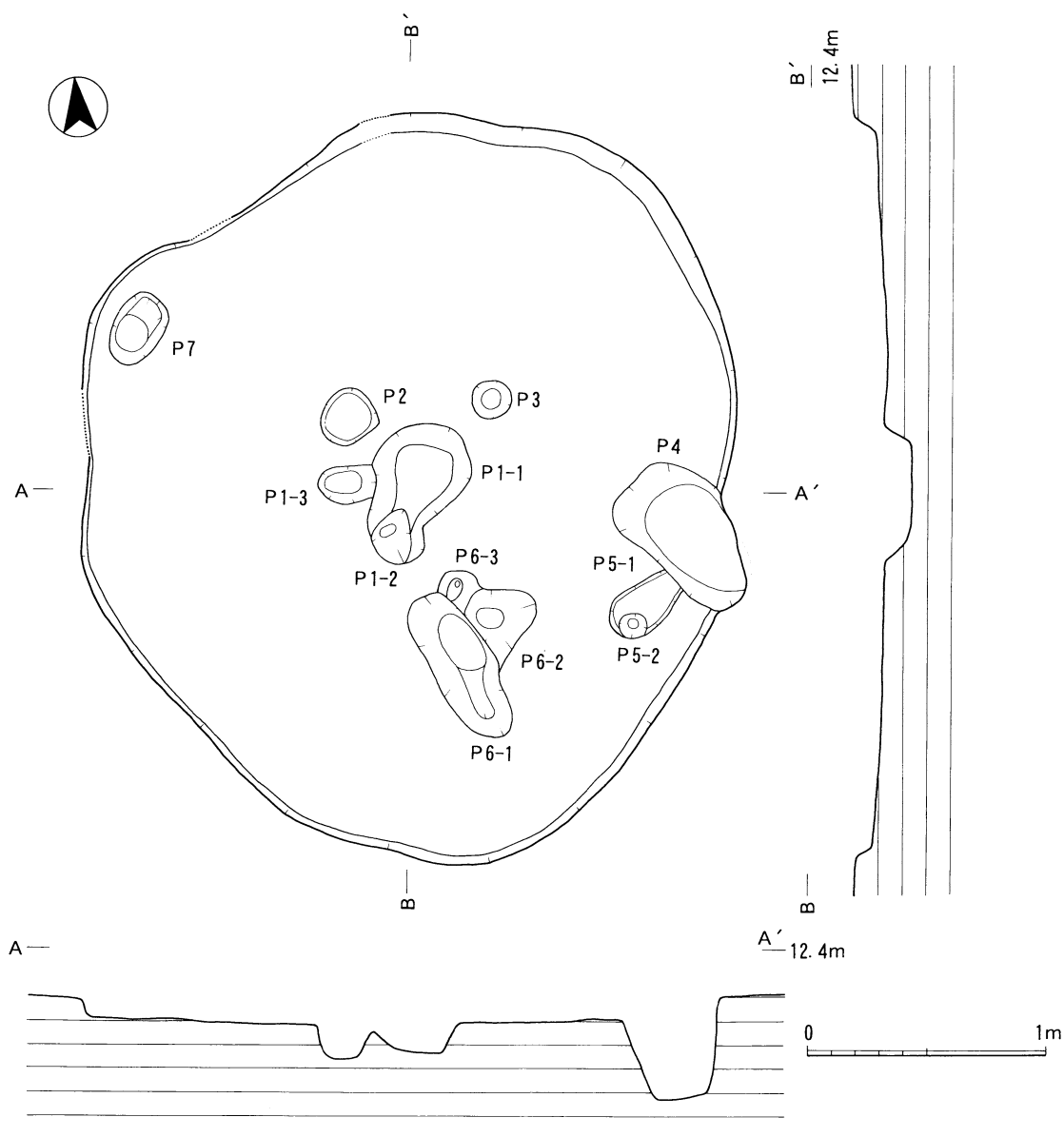
第7表 5号竪穴住居跡内ピット計測表



第18図 5号竪穴住居跡実測図2

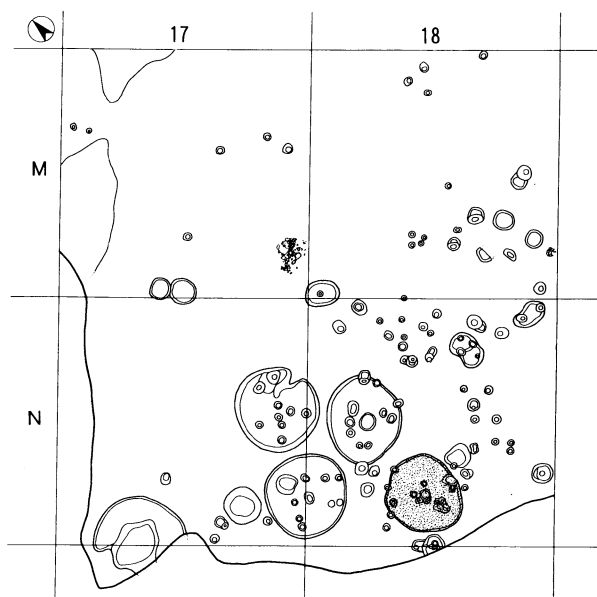


第19図 6号竖穴住居跡実測図1

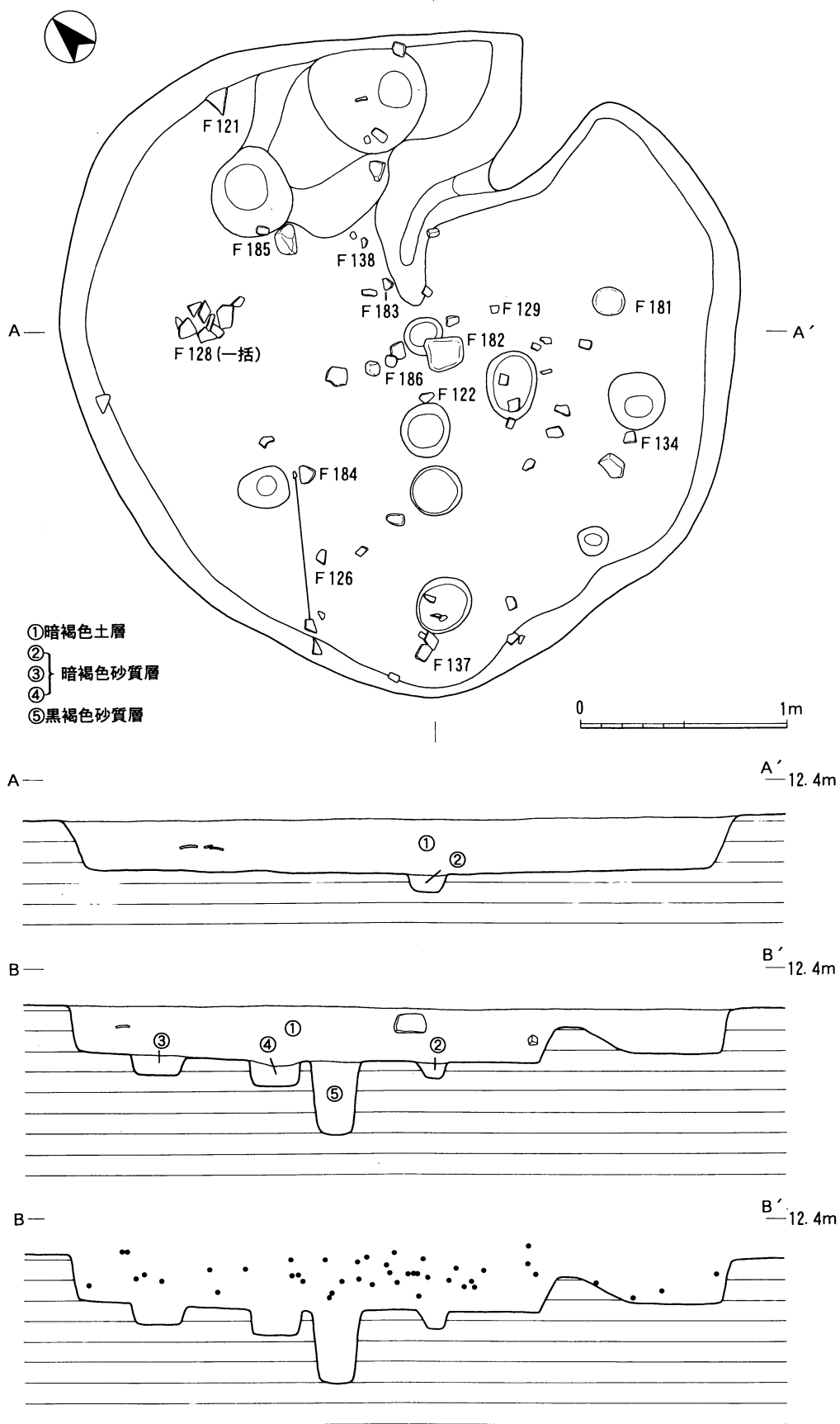


番 号	長軸・短軸・直径cm	深さcm	備 考
H 6 P 01-1	(41) 3 8	1 3	P 1
H 6 P 01-2	2 4 1 6	1 6	
H 6 P 01-3	(26) 1 6	1 5	
H 6 P 0 2	2 3 1 7	1 4	
H 6 P 0 3		1 5	
H 6 P 0 4	6 7 4 0	3 3	
H 6 P 05-1	(32) 2 0	7	
H 6 P 05-2	1 2 1 0	1 7	P 2 2 段
H 6 P 06-1	6 6 2 6	1 7	
H 6 P 06-2	(36) (32)	—	
H 6 P 06-3	(18) 1 7	9	
H 6 P 0 7	3 2 2 0	1 5	

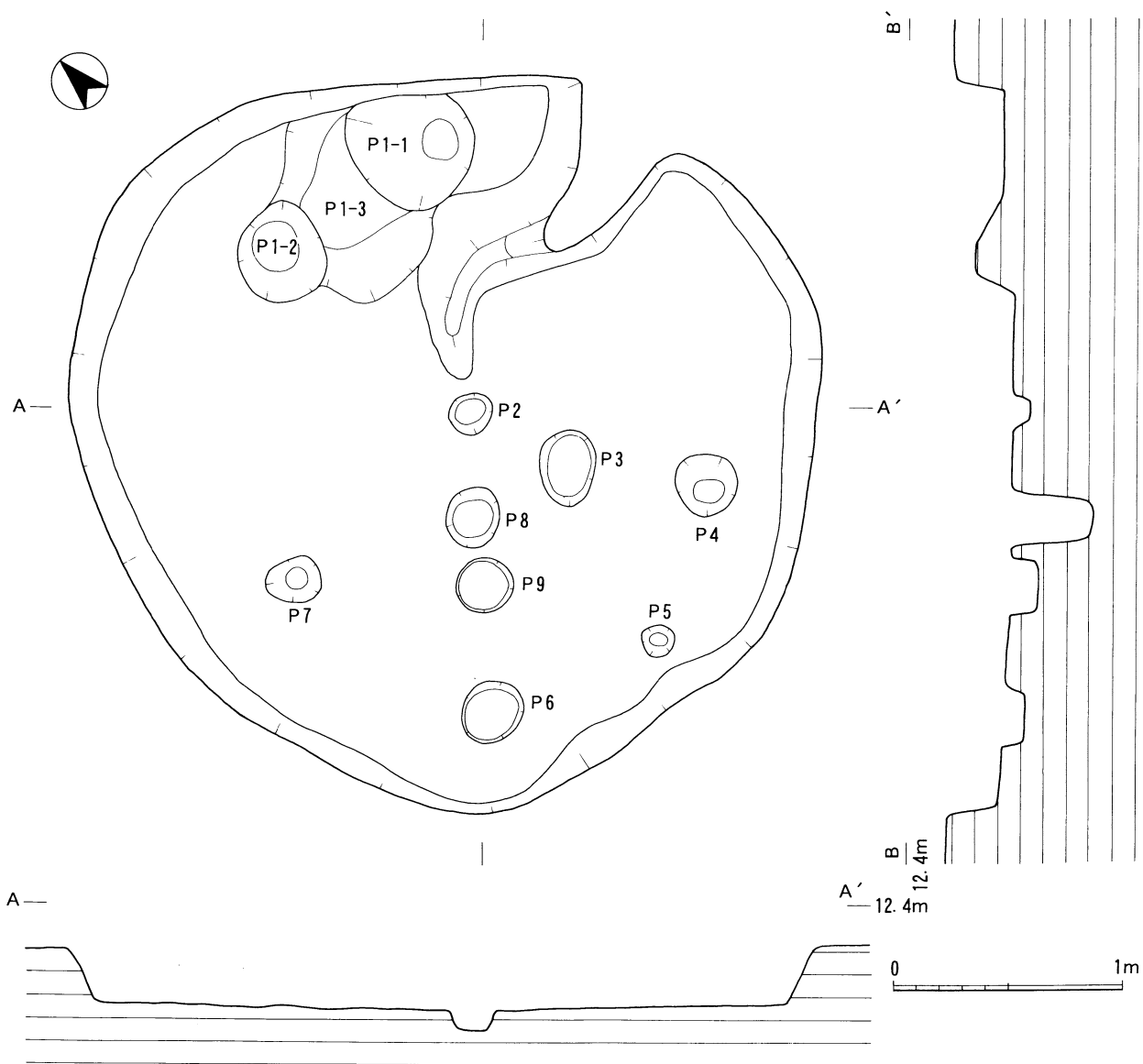
第8表 6号竖穴住居跡内ピット計測表



第20図 6号竖穴住居跡実測図2

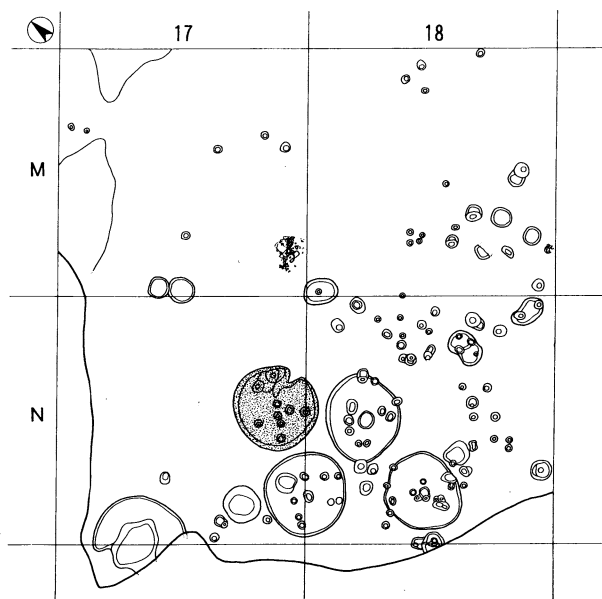


第21図 7号竖穴住居跡実測図1

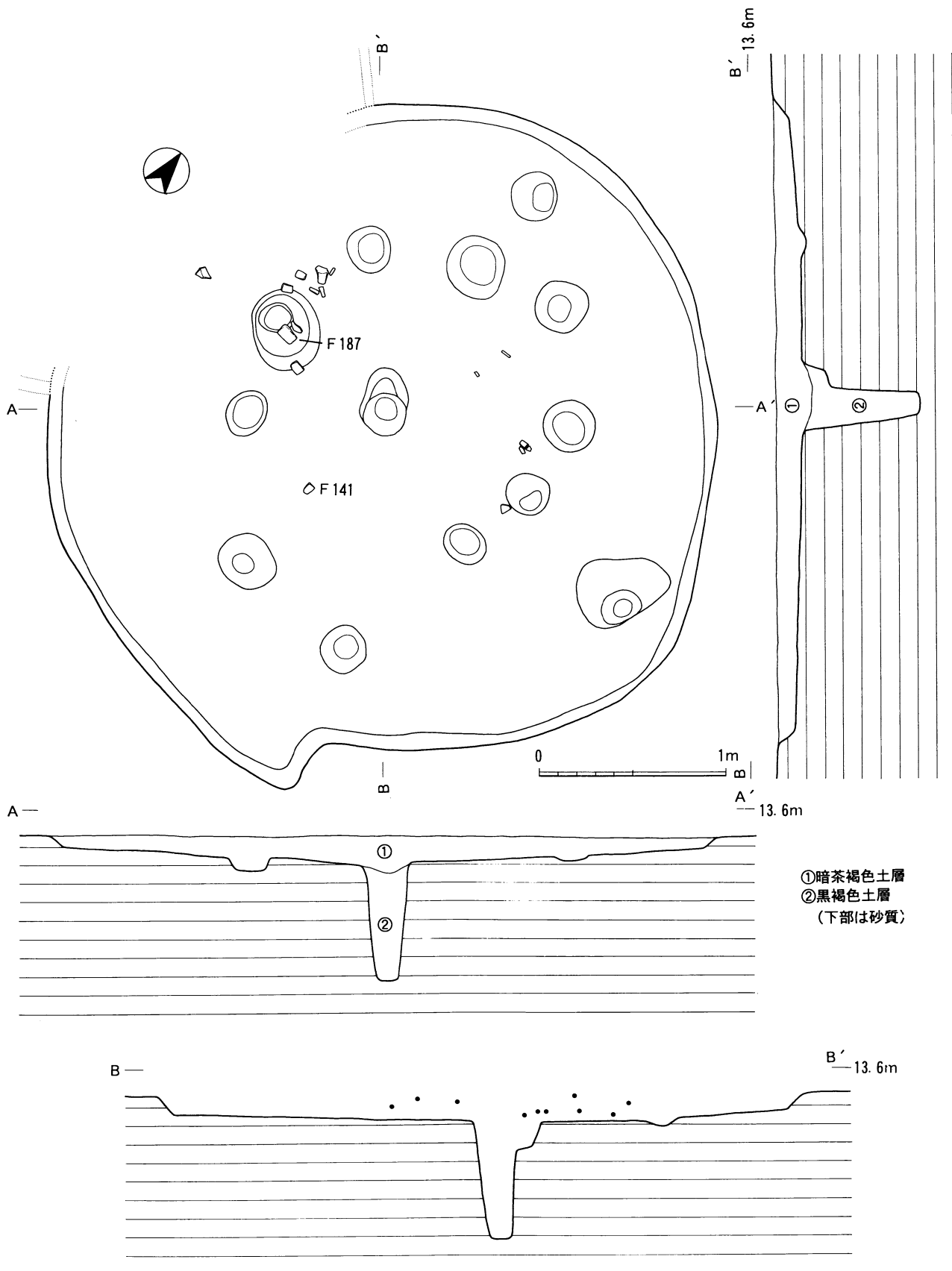


番 号	長軸・短軸・直径cm			深さcm	備 考
H7P01-1	58	52		48	P 2
H7P01-2	44	38		13	
H7P01-3	85	(31)		12	
H7P02			19	11	P 1
H7P03	33	24		7	
H7P04			28	18	
H7P05			14	10	
H7P06	29	26		11	
H7P07	25	21		10	
H7P08			26	36	
H7P09			25	13	

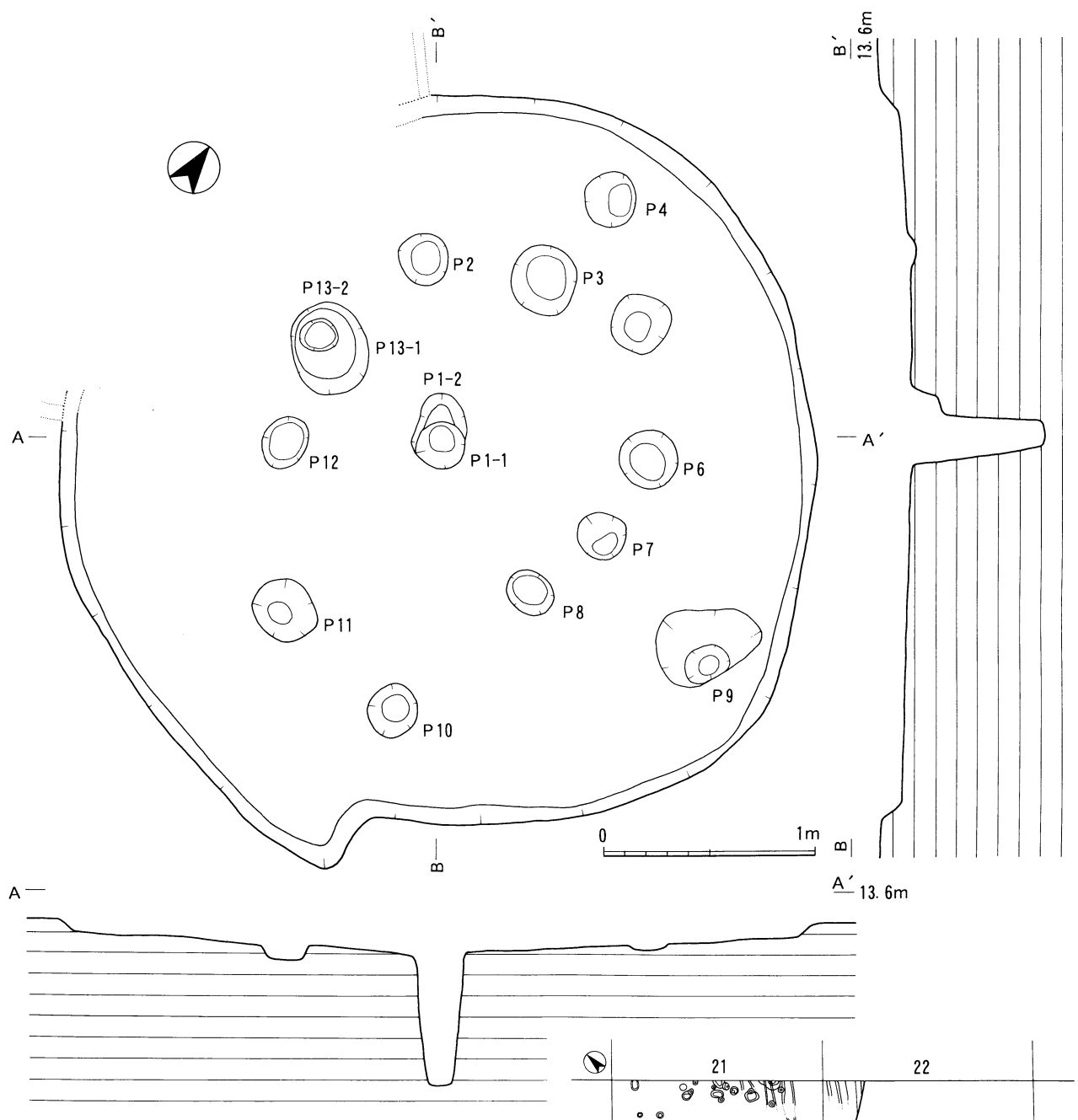
第9表 7号竪穴住居跡内ピット計測表



第22図 7号竪穴住居跡実測図2

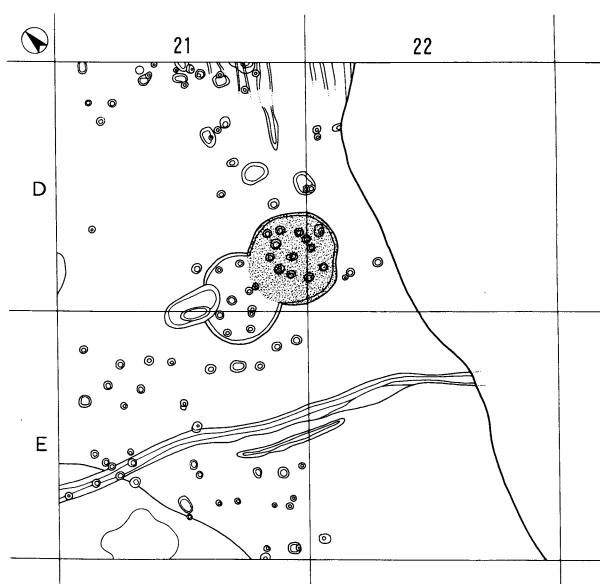


第23図 8号竪穴住居跡実測図1

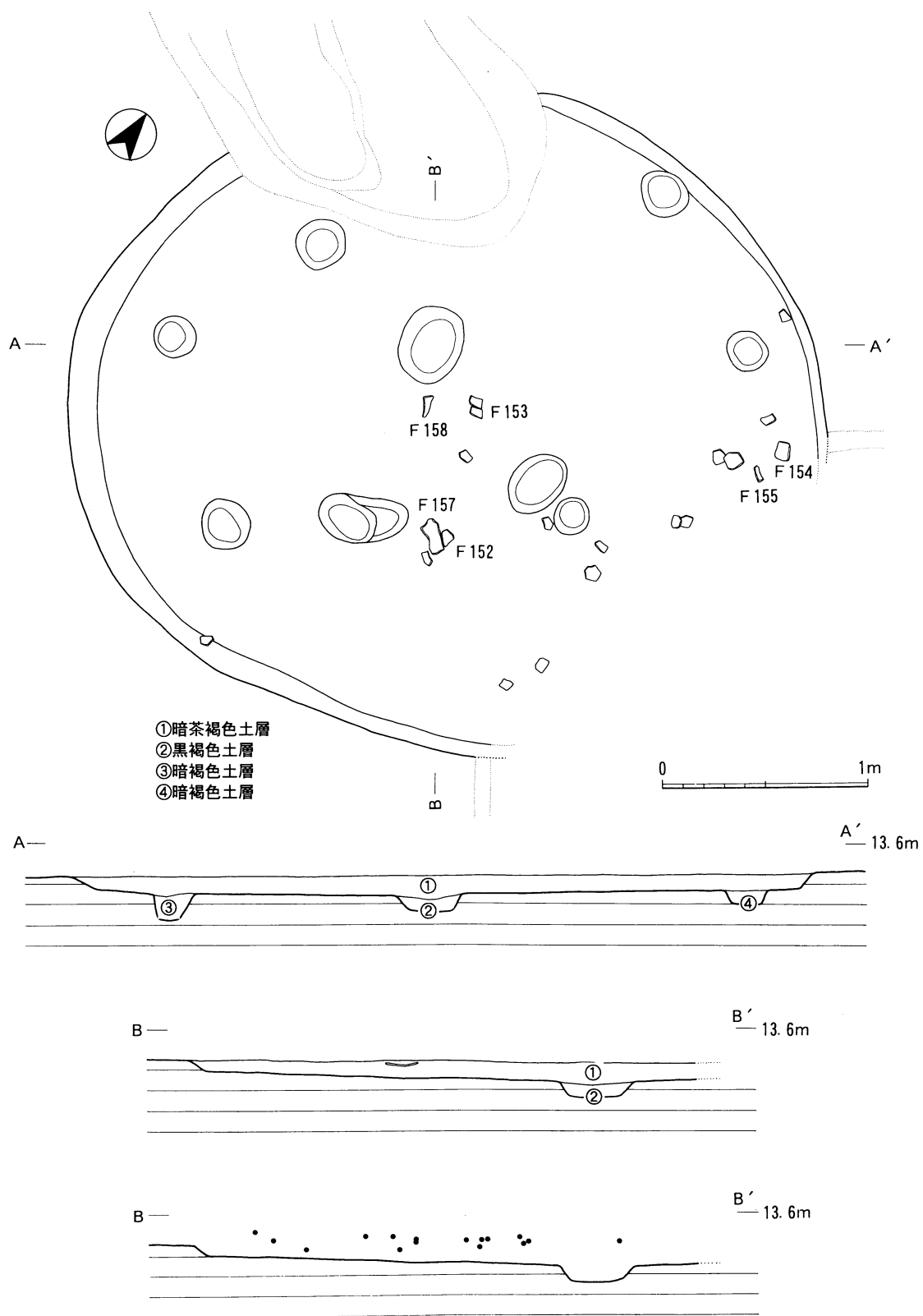


番 号	長軸・短軸・直径cm	深さcm	備 考
H8 P01-1	(22) (14)	13	P 6
H8 P01-2	23	65	
H8 P02	24	13	P 2
H8 P03	34	19	P 3
H8 P04	27	25	P 4
H8 P05	27	32	P 5
H8 P06	28	19	P 7
H8 P07	24	22	P 8
H8 P08	23 20	18	P10
H8 P09	51 37	36	P 9 2段
H8 P10	24	38	P11
H8 P11	32 27	52	P12
H8 P12	27 21	8	
H8 P13-1	44 35	9	
H8 P13-2	19	13	P 1

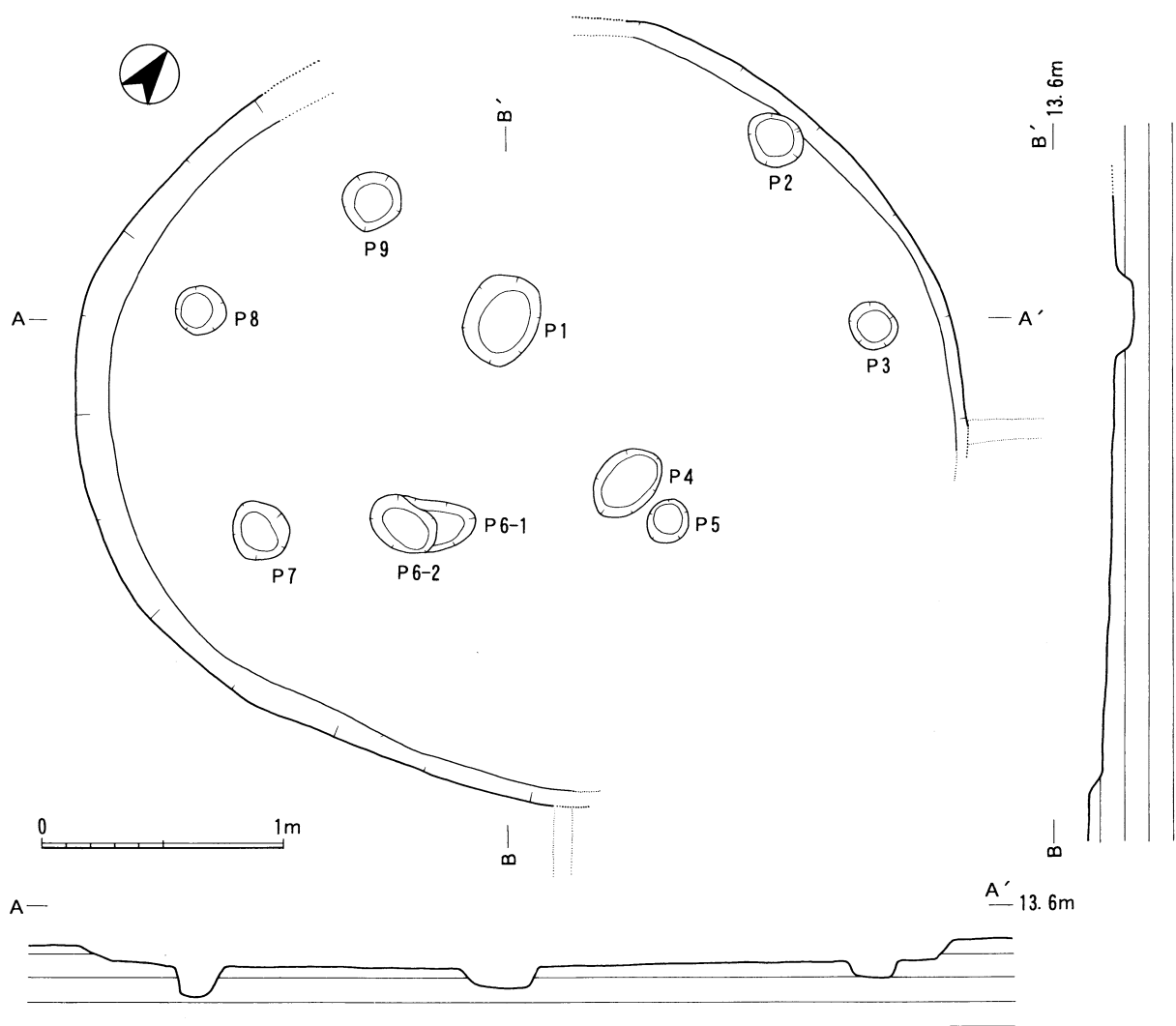
第10表 8号竪穴住居跡内ピット計測表



第24図 8号竪穴住居跡実測図2

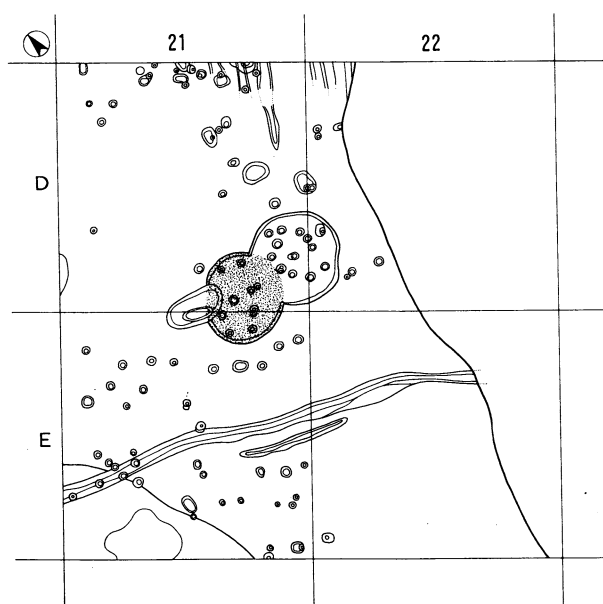


第25図 9号竪穴住居跡実測図1



番 号	長軸・短軸・直径cm		深さcm	備 考
H9P01	38	31	9	
H9P02	25	21	12	
H9P03		19	8	P1
H9P04	33	23	9	P2
H9P05		19	25	P3
H9P06-1	21	(16)	13	
H9P06-2	30	20	11	P4
H9P07		26	15	
H9P08		22	14	
H9P09		24	29	

第11表 9号竪穴住居跡内ピット計測表



第26図 9号竪穴住居跡実測図2

磨石は安山岩 2 点 (F181・F183)、砂岩 1 点 (F184)、球礫岩 1 点 (F185) である。F181は14～15cmの円形に近い完形品で、厚さも 9 cmもある大型品であるが、周辺の敲打痕がほとんどない。

F183は半欠品であり使用していない。F184は10～11cmの円形に近い完形品で、周辺敲打がほとんどなく稜ははっきりしない。F185は楕円形を呈し、周辺に研磨がみられるが、右側片は自然面が残っている。敲石 (F182) は楕円形をした扁平に近い球礫岩製で、一端を使用している。

石製品として軽石製品 1 点と軽石 3 点 (うち 2 点は大きい) がある。軽石製品 (F186) は周辺を磨いて三角形に作っている。

(8) 8 号住居跡 (第23, 24図)

8 号住居跡は、自然流路跡 (R 1) の北側で検出された遺構で、9 号住居跡と重複している。直径360cmの円形を呈し、検出面からの深さが17cmと浅い。推定床面積が8.44㎡と本遺跡の平均よりやや大きい。中央の深いピットを取り囲むように12個の柱穴状ピットがめぐっている。

土器は比較的多く出土しているが、そのほとんどが市来式土器 (F139～142) である。

石器はくさび 1 点、剥片 4 点 (黒曜石 1 点、フリント 2 点、安山岩 1 点)、石核 4 点 (黒曜石 3 点、フリント 1 点)、軽石 1 点がある。

F187は厚さ 1 cm余りの安山岩製くさびで、下部を中心に側片などに刃こぼれが目立つ。下半の稜はつぶれ、下半には擦痕がみられる。

(9) 9 号住居跡 (第25, 26図)

9 号住居跡は東側を 8 号住居跡、西側を102号土坑と重複して検出されたもので、長軸368cm、短軸318cmの楕円形を呈する住居跡である。推定床面積は8.24㎡で 8 号住居跡とほぼ同じ規模である。柱穴状のピットは 9 個と多いが、その配置等については炉跡の存在も含めて不明瞭である。

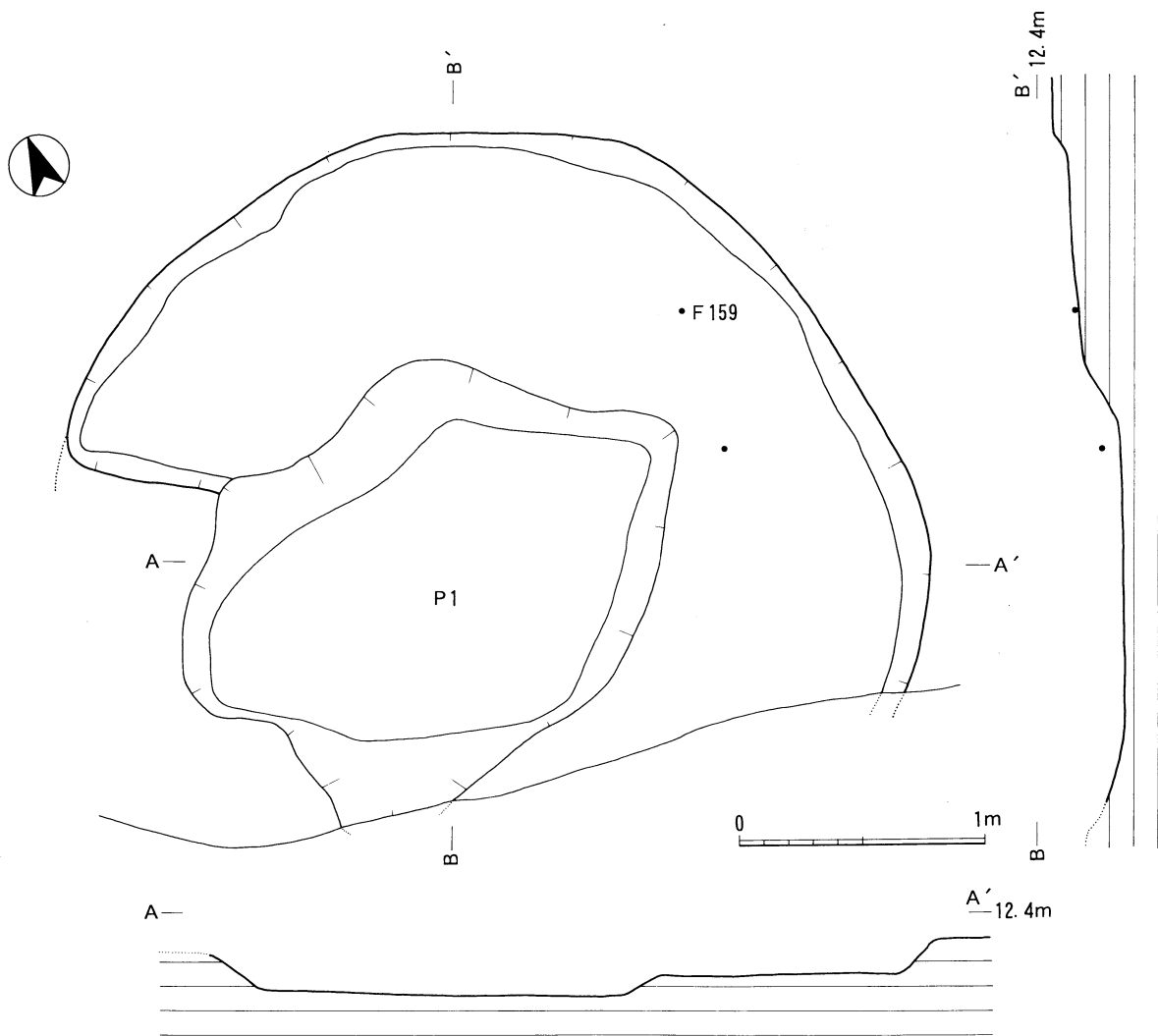
土器は少ないが、市来式土器 (F151～F154) が最も多く出土している。F154は台付皿形土器の皿部の口縁部である。また、鐘崎式土器 (F155) の口縁部も出土している。

石器はくさび 1 点、石錘 1 点、剥片 2 点 (黒曜石・メノウ各 1 点)、石核 (黒曜石) 1 点がある。F188はピット 3 で出土した安山岩製くさびの頭部で、一側面は両面から打ち欠いて刃を作っている。大剥離面には擦痕がみられる。F189はだ円形をした砂岩製石錘で、両側辺にひもかけがみられる。

(10) 10号住居跡 (第27図)

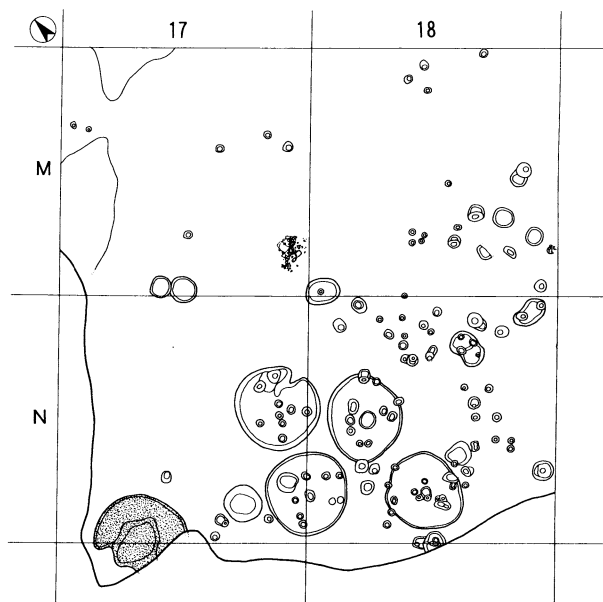
10号住居跡は、調査区的最東南部で検出されたもので、一部削平されているが推定直径354cmを測る略円形の住居跡である。検出地点は確認調査で遺物包含層が確認されなかったため、調査対象からはずされていた区域であった。そのため調査事務所のプレハブを 3 棟建てていた場所でもあった。しかし、隣接して 4～7 号住居跡が検出されたために調査事務所撤去後、ただちに拡張した結果確認できたのが本住居跡である。中央に大きな土坑状の落ち込みがあることから、住居の床面はベッド状になっている。炉跡や柱穴については不明である。

遺物は 2 点出土している。1 点は市来式土器 (F159)、もう 1 点は剥片 (黒曜石) である。



番 号	長軸・短軸・直径cm	深さcm	備 考
H10P 0 1	225 158	1 4	

第12表 10号竪穴住居跡内ピット計測表



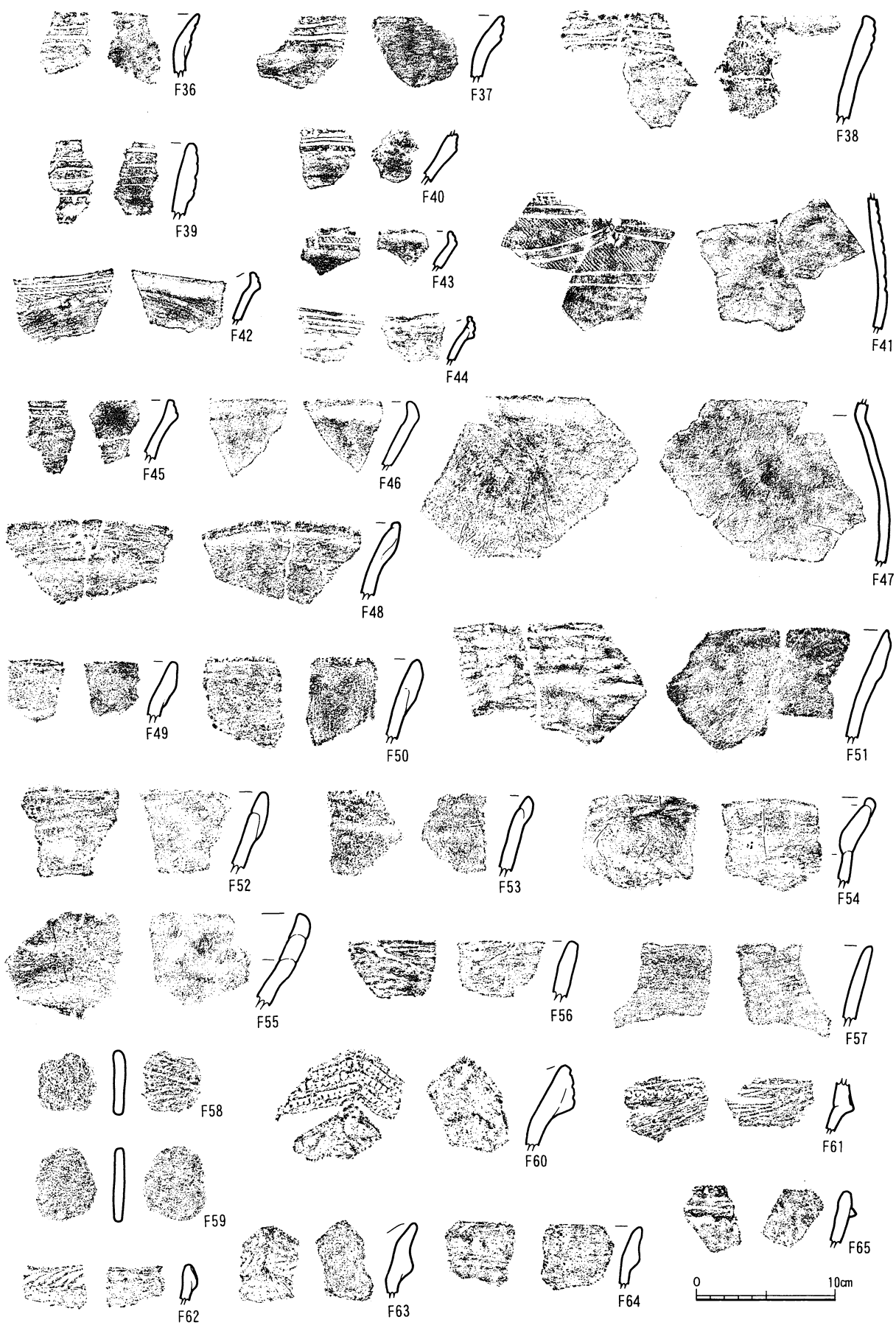
第27図 10号竪穴住居跡実測図



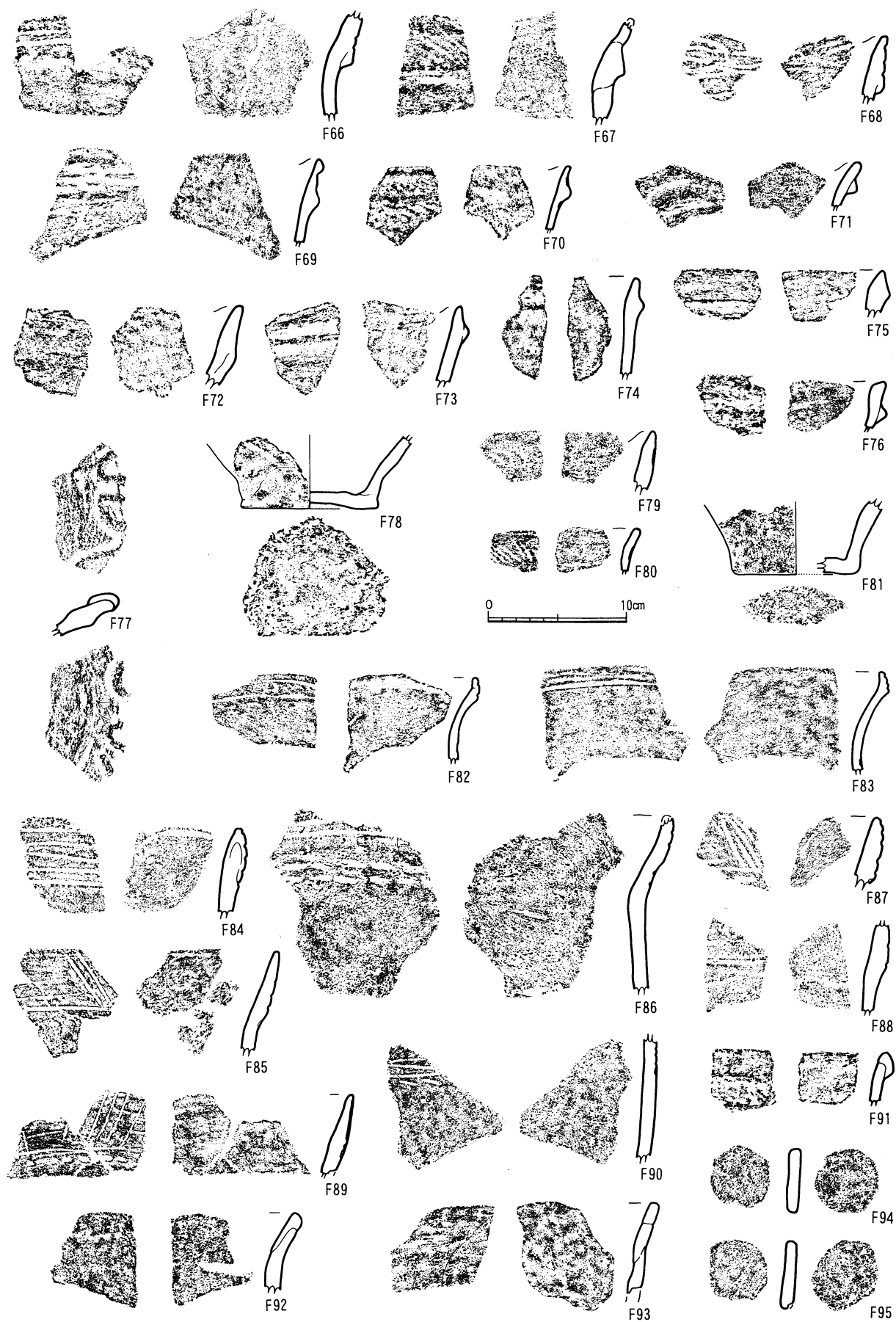
第28図 竪穴住居跡出土の土器 1



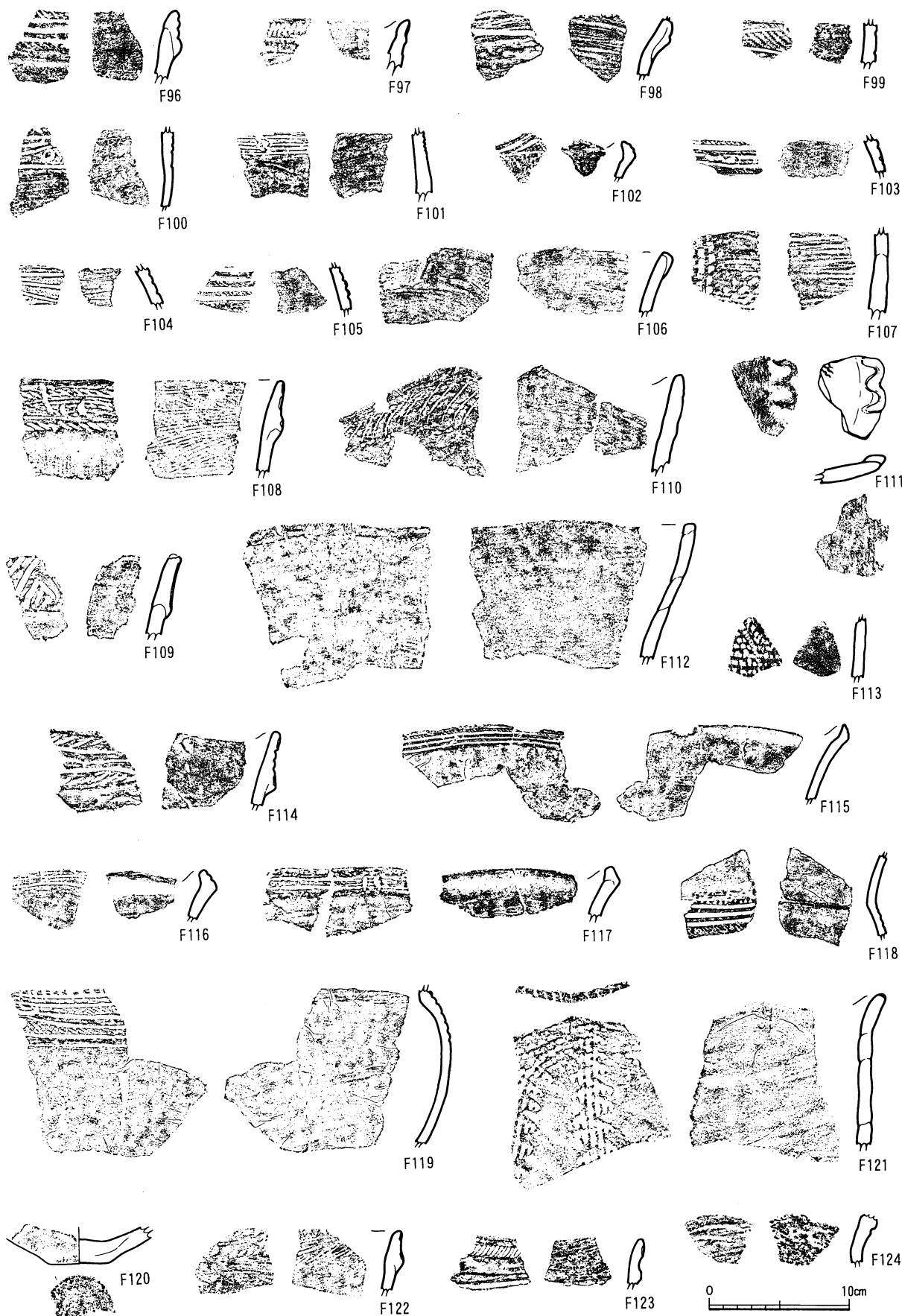
第29図 竪穴住居跡出土の土器 2



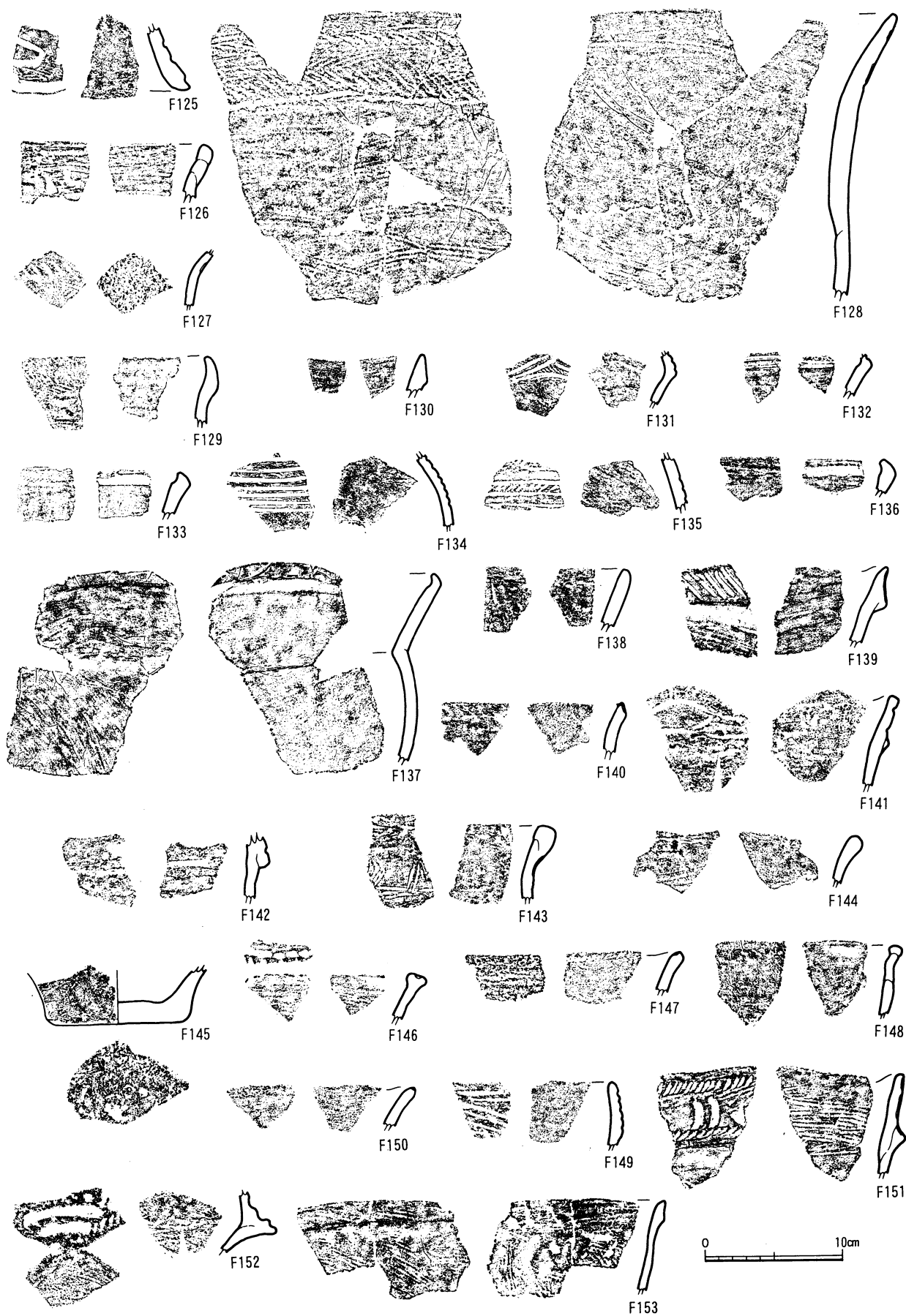
第30図 竪穴住居跡出土の土器 3



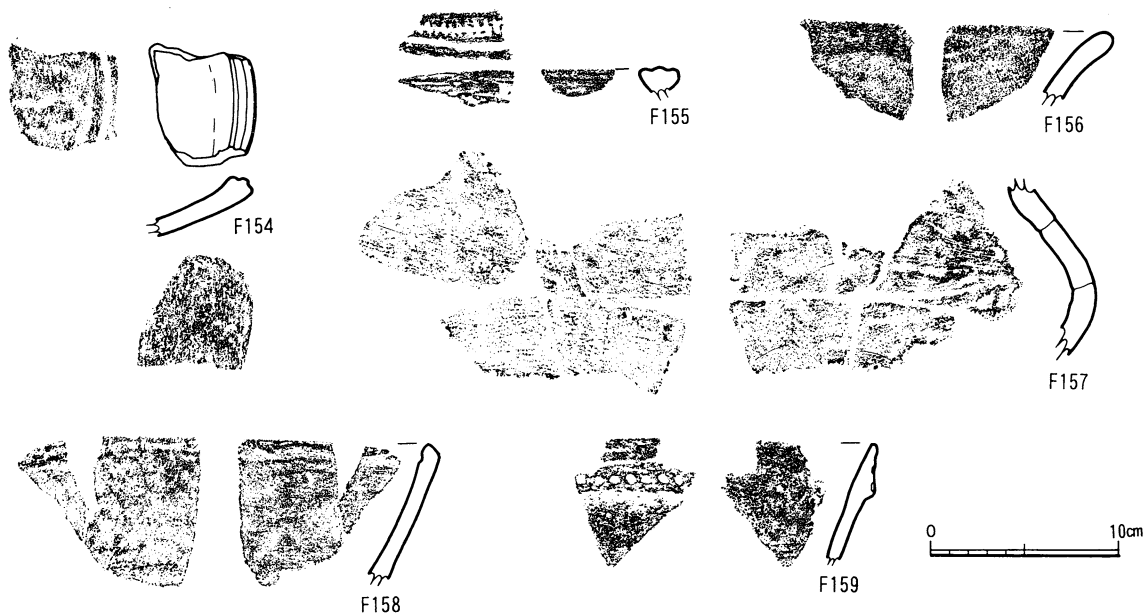
第31図 竪穴住居跡出土の土器 4



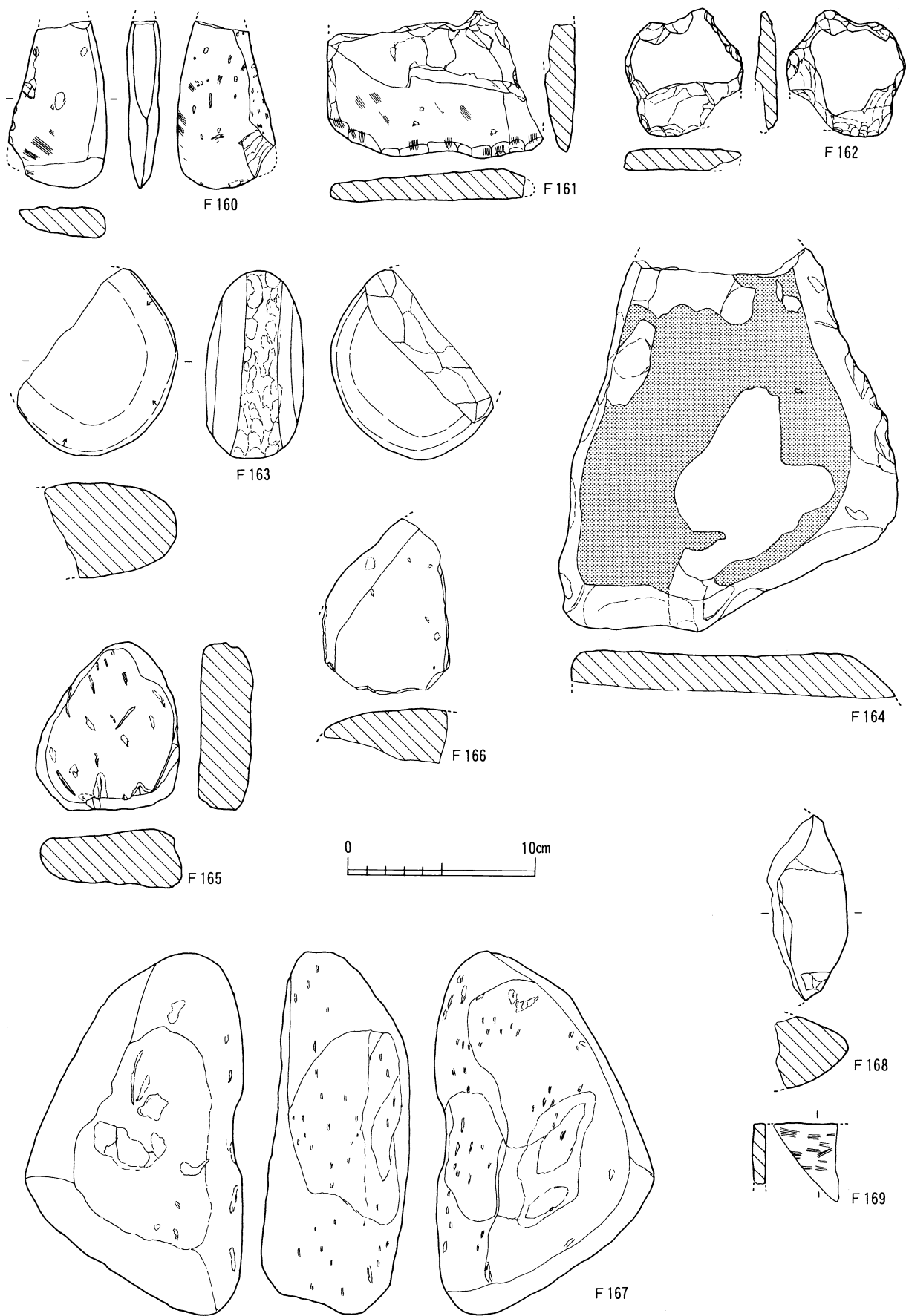
第32図 竪穴住居跡出土の土器 5



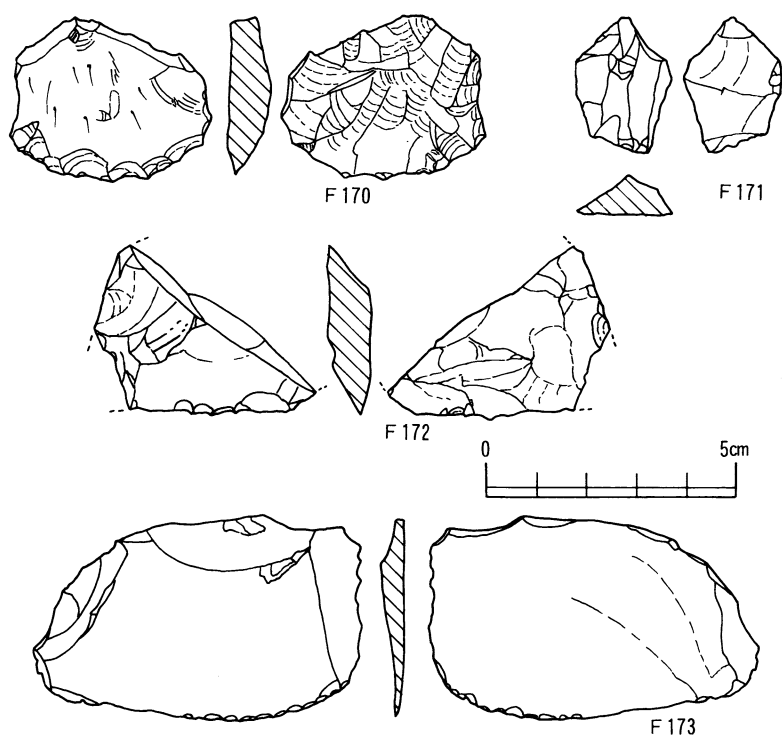
第33図 竪穴住居跡出土の土器 6



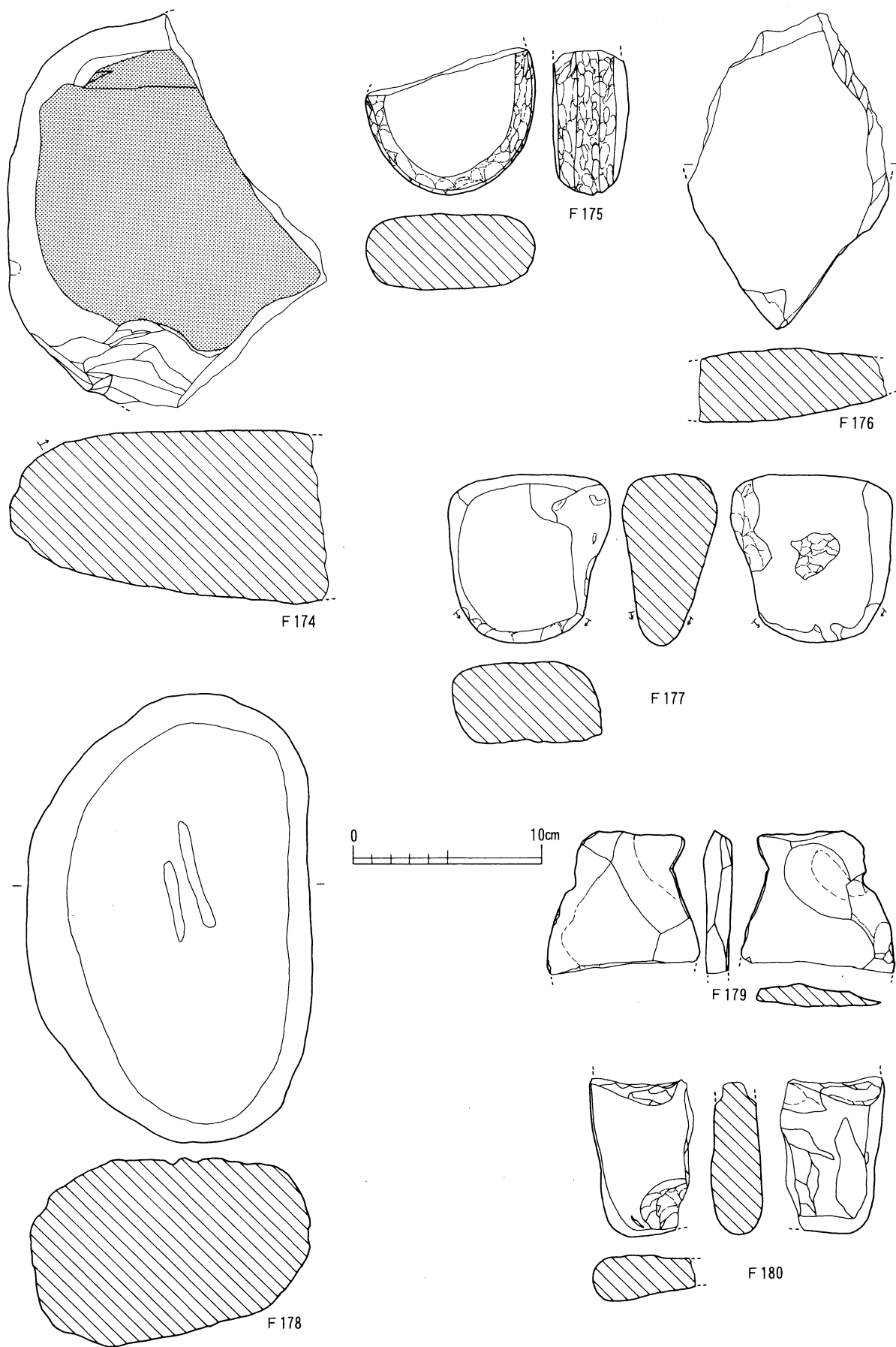
第34図 竪穴住居跡出土の土器 7



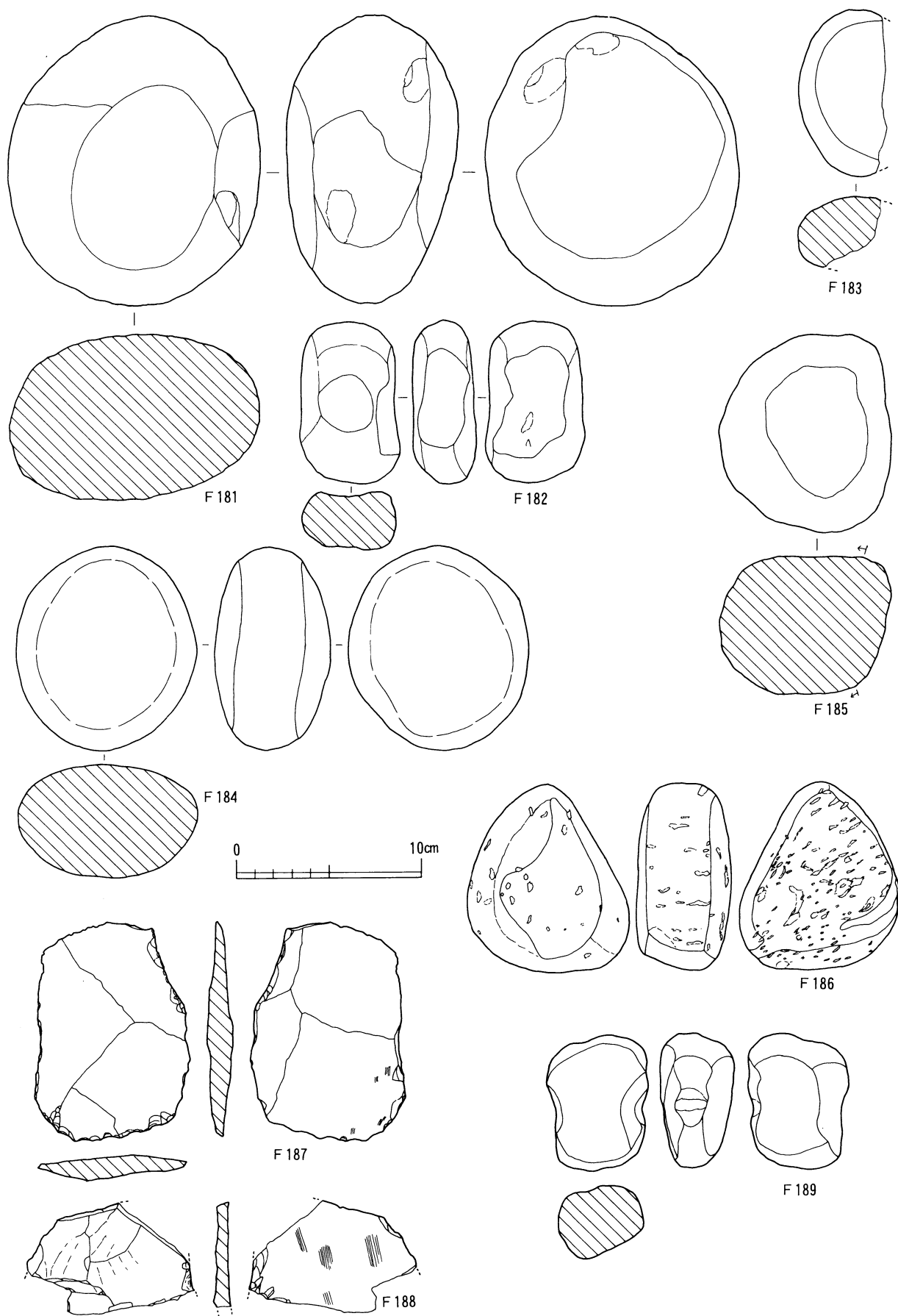
第35図 竪穴住居跡出土の石器 1



第36図 竪穴住居跡出土の石器 2



第37図 竪穴住居跡出土の石器 3



第38図 竪穴住居跡出土の石器4

2) 土 坑

本遺跡で検出された土坑は146基にのぼる。これらのうち3基（1号、22号、144号）については歴史時代の所産として、詳細については本報告「Ⅲ」で取り上げ、残りの143基について本項（縄文時代の土坑）で取り扱うことにする。ただし、上記3基の土坑から出土した縄文遺物についてはここで触れることにする。

それぞれの土坑についてのデータは、第13表～第19表にまとめてあるのでここでは特徴的なもの、あるいは遺物が出土しているものについて取り上げていきたい。

(1) 1号土坑（第39図）

1号土坑は中世該当の遺構であるためにここでは縄文期の遺物について述べておきたい。総数47点の遺物が出土しているが、市来式土器（F191）や西平式土器（F195）などの土器に加え、円盤状土製加工品も1点（F196）出土している。1本の沈線がかりうじて観察できるが、器形等から類推して辛川式土器期あたりが考えられる。

石器には磨石2点（F773, F774）、加工した痕のある黒曜石製剥片1点がある。磨石は2点とも安山岩を使用しており、F774は半欠である。F773は一部欠けているがほぼ完形で、片面は自然面を残し使用痕跡がない。一方の面は長軸とほぼ並行に中央にはっきりしない稜があり、側縁へ向かって下がっている。側面には敲打痕と研磨痕とがみられる。F774は表面・裏面ともによく使用しており、側面も敲打痕がみられるが、磨り痕も顕著である。

F744は片面の弧状を呈する一辺に押圧剥離を施した剥片で、逆の面は自然面を広く残している。厚さ約1cmと分厚く、スクレイパーとしての用途が考えられる。

(2) 3号土坑（第40図）

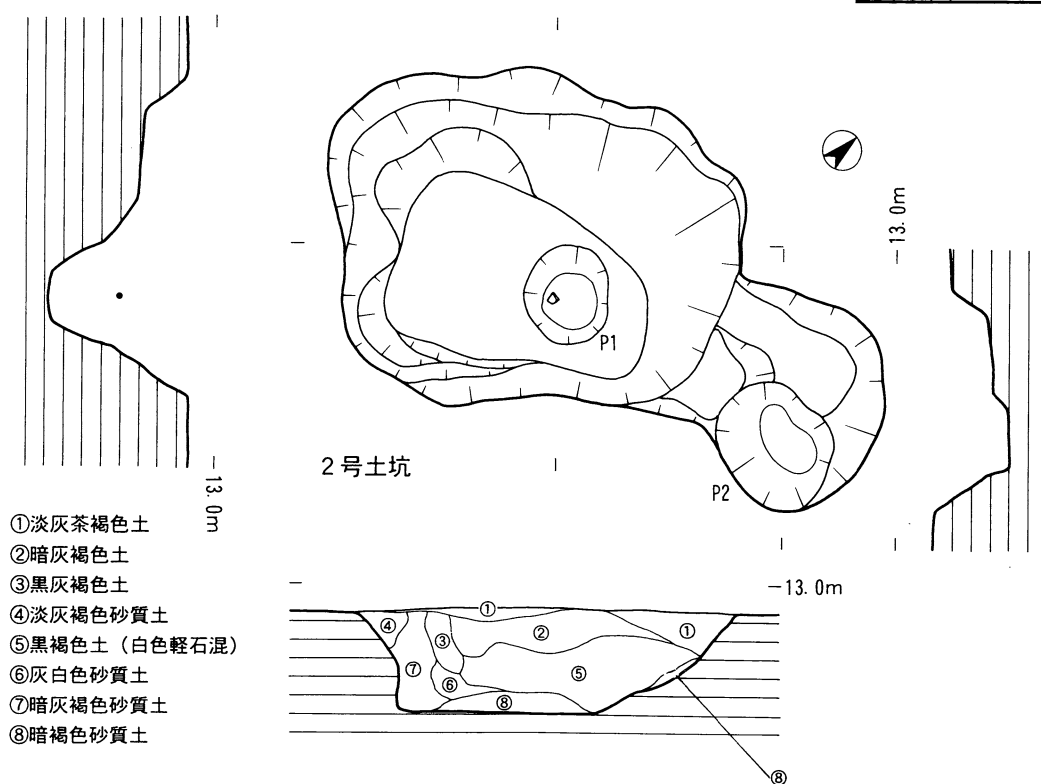
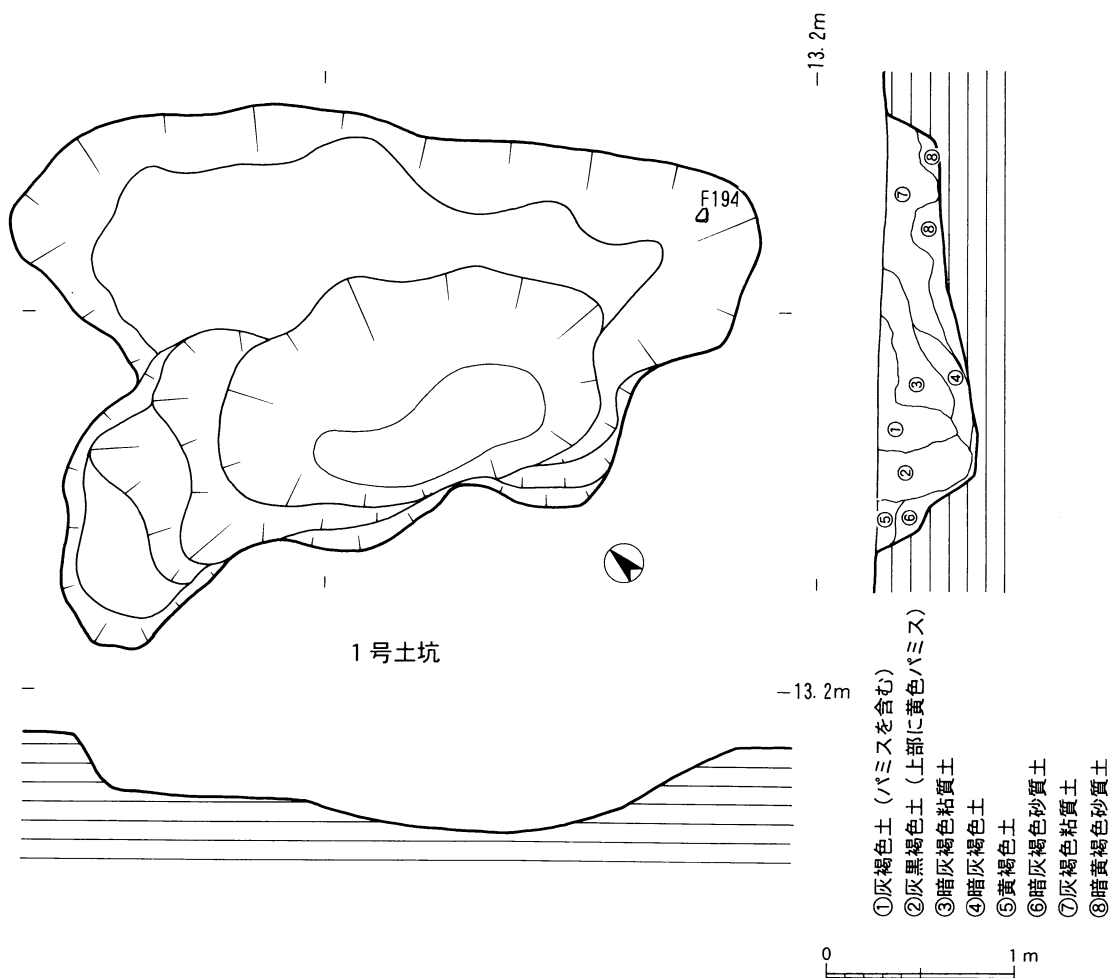
3号土坑は、長軸108cm、短軸52cmの楕円形を呈するもので、土坑としたものの中では最もサイズの小さいタイプである。F198は埋土のやや上部から出土した台付皿形土器である。平面形が円形を呈するもので、口縁部にやや段をもち、市来式土器期のものと考えられる。

(3) 4号土坑（第40図）

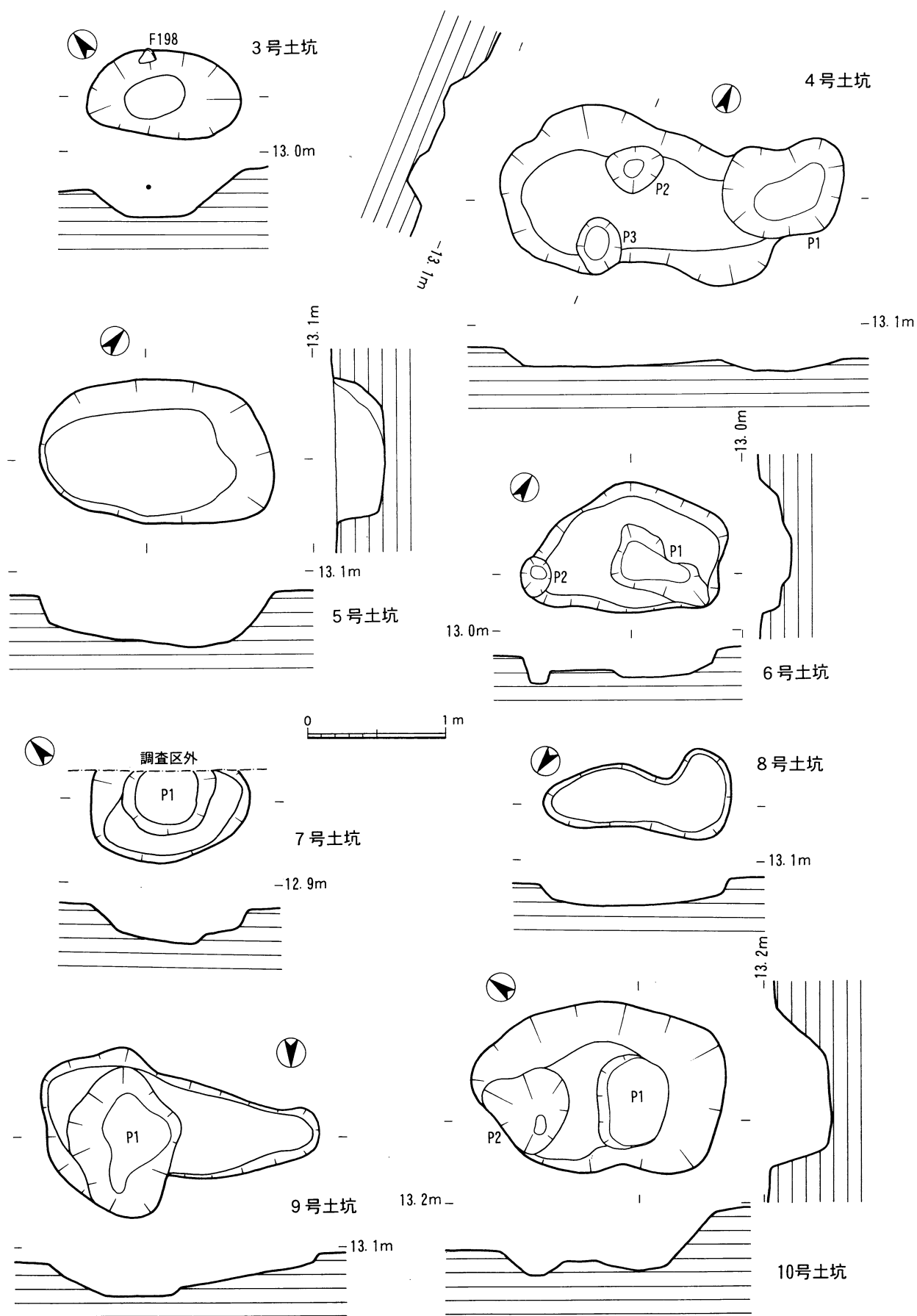
4号土坑は隅丸長方形の土坑にピット3個を有するもので、総数40点の遺物が出土している。市来式土器（F201～F203）や丸尾式土器（F204～F207）が出土しているが、混入と考えられる深浦式土器（F199, F200）も2点出土している。F208は市来式土器の大片である。断面三角形を呈する口縁部は稜線の上下に文様があり、市来式土器の中でも新しいタイプのものと考えられる。沈線の細線化、多条化は次の丸尾式土器への繋がりを伺わせる土器である。F209は北久根山式土器の鉢の胴部片である。

(4) 9号土坑（第40図）

9号土坑は11B区と11C区のライン上で検出されたもので、長軸204cm、短軸122cmとやや細長い形状を呈している。2基の土坑が重複した可能性もある。遺物としては打製石鏃が1点（F745）



第39図 土坑実測図1



第40図 土坑実測図2

出土している。二等辺三角形を呈し、浅い抉りを有する。メノウ製である。

(5)10号土坑（第40図）

10号土坑は11D区で検出されたもので不定形を呈する。遺構の西側に延びる溝状の落ち込みを切るような形で検出されているが、両者の関係は不明瞭である。遺物は27点と少ないが、鐘崎式土器（F212）などの土器や、それぞれ黒曜石・フリント・メノウ・砂岩と種類の違う4点の剥片、あるいはフリント製の残核などが出土している。

(6)16号土坑（第41図）

16号土坑は直径28cmのピットを有する土坑で、市来式土器2点（F226, F227）が出土している。石器としては、磨石1点（F775）、石皿1点（F780）、フリントの残核1点が出土している。F775は半欠の安山岩製磨石で、表面・裏面・側面とも研磨痕が顕著にみられる。F780は安山岩製石皿の半欠品で、残存部も2点に割れている。かなり大形のもので、片面だけを平坦に使用している。

(7)25号土坑（第42図）

25号土坑は12E区で検出された土坑で、一辺が1m前後の略方形を呈する。埋土の上位で安山岩製石皿の半欠品が1点（F781）出土している。長楕円形をしており、両面とも使用しややくぼんでいる。端部はやや下がっていることから、注ぎの場所とも考えられる。

(8)27号土坑（第43図）

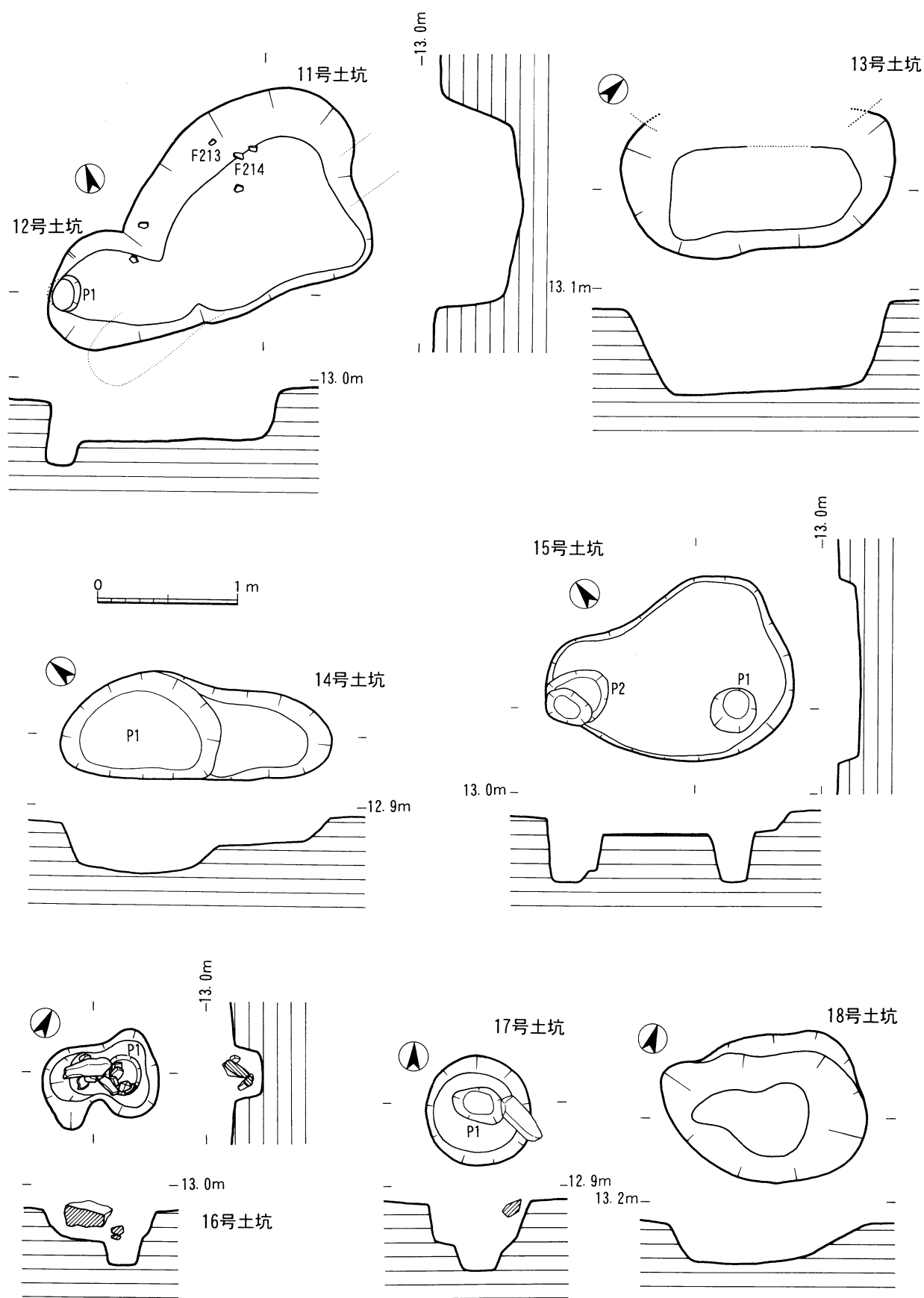
27号土坑は、最大長397cm、最大幅185cmを測る大形の土坑で、深さも67cmと規模が大きい。ただし、平面形状や断面からは2つの土坑が重複している可能性もある。出土遺物の総数が173点と多いが、多くは市来式土器（F236～F241）で、若干西平式土器（F243～F245）もみられる。

石器としては石鏃1点（F746）、礫器1点（F776）、スクレイパー2点（F778, F779）、くさび1点（F777）、剥片10点（黒曜石6点・フリント3点・粘板岩1点）、黒曜石の残核4点がある。

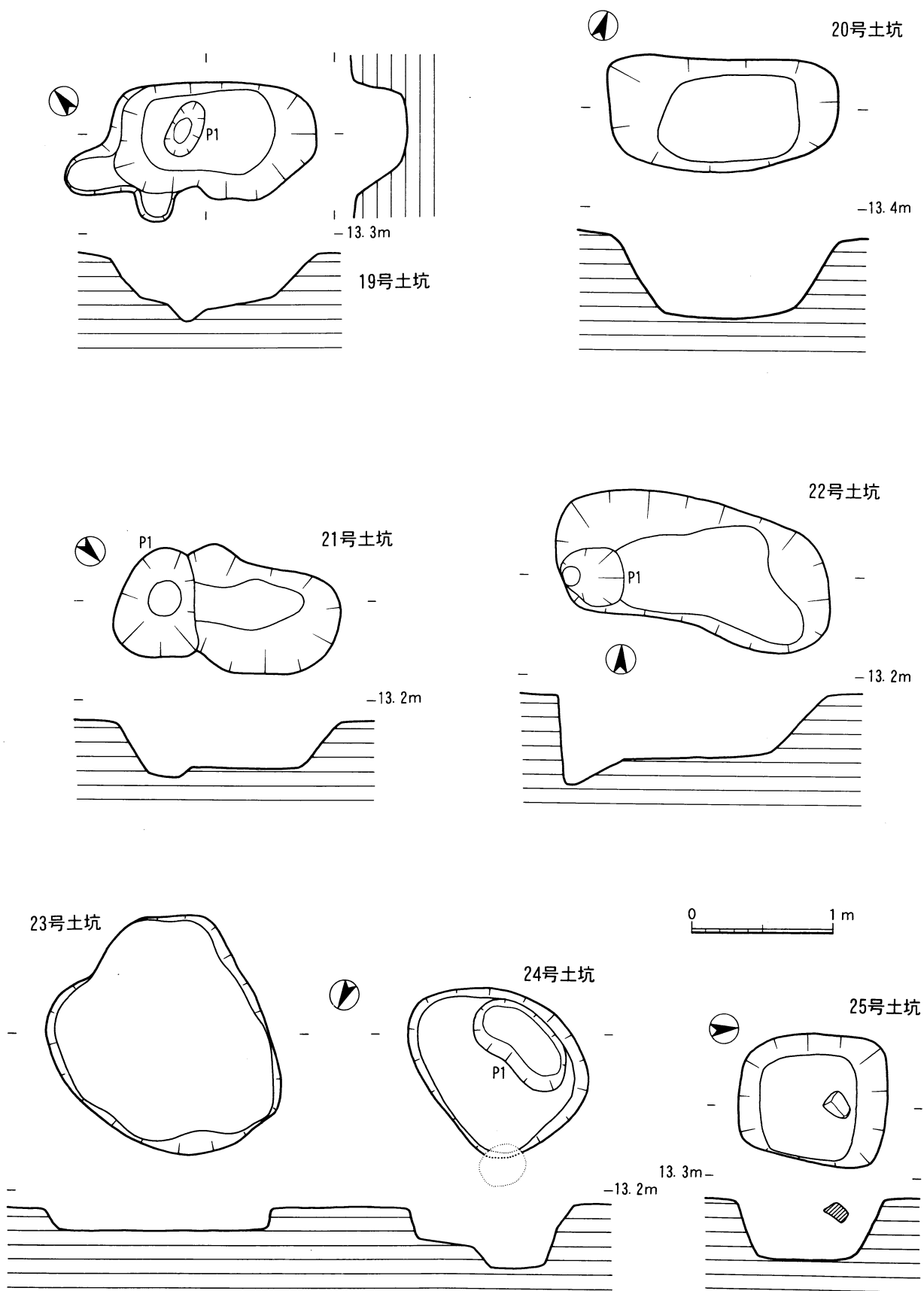
F746は片脚の折れた二等辺三角形の鋭い打製石鏃である。メノウ製。F776は自然面を多く残す楕円形の砂岩の短辺に片方から大きく剥離を加えた礫器である。一方の側縁には両面から打撃が加えられており、頭部にも一撃加えられている。F778とF779は扁平な安山岩に加工をして刃部をこしらえたスクレイパーで、F778は片方のみ加工されている。F777は安山岩製のくさび破片で、上下とも欠けている。片面に稜を残し、一面は平らである。

(9)28～31号土坑（第43図）

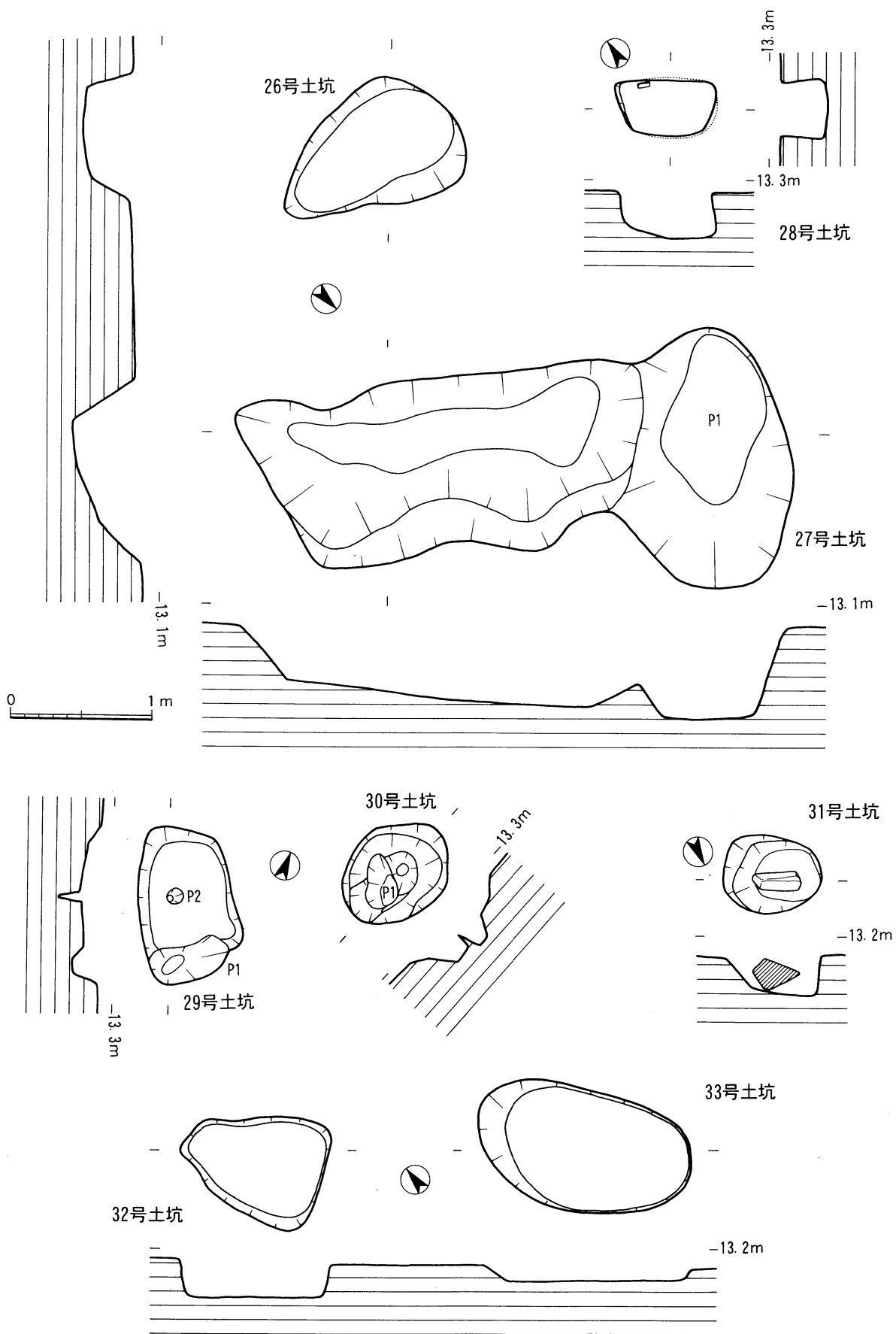
28～31号土坑は長軸が100cm前後、短軸が60cm前後を測る土坑で、1号土坑と同様に本遺跡では最も小さいタイプの土坑である。28号は断面形がやや袋状を呈するものである。29、30号土坑は床面にピットを有するタイプである。図化できるような遺物は出土していないが、31号土坑に石皿状の角礫がほぼ底面に出土している。



第41图 土坑实测图 3



第42图 土坑实测图 4



第43図 土坑実測図5

(10)33号土坑（第43図）

33号土坑は13E区で検出された楕円形プランの土坑で、長軸155cm、短軸87cmを測る。遺物としては安山岩製の磨石が1点（F782）出土している。半欠で側面は敲打痕もみられるが、よく研磨している。面は両方ともツルツルになるほど使われており、稜ははっきりしない。面の端はやや斜めになっている。

(11)37号土坑（第44図）

37号土坑は直径350cm前後の円形を基本とするもので、一見竪穴住居状の平面形を有するものである。西側を中世の溝状遺構、北側を現代の攪乱で削平されていることから全容は明らかでない。遺構の北側半分が一段下がっていることから、2基の竪穴住居が重複しているか、建て増しの可能性も考えられる。柱穴状のピットも9個と多い。

遺物には市来式土器（F259～F262）もあるが、丸尾式土器（F263, F264）、納曽式土器（F265）、西平式土器（F266, F267）も含まれることから、本遺跡の縄文時代後期の中では比較的后出のものと考えられる。

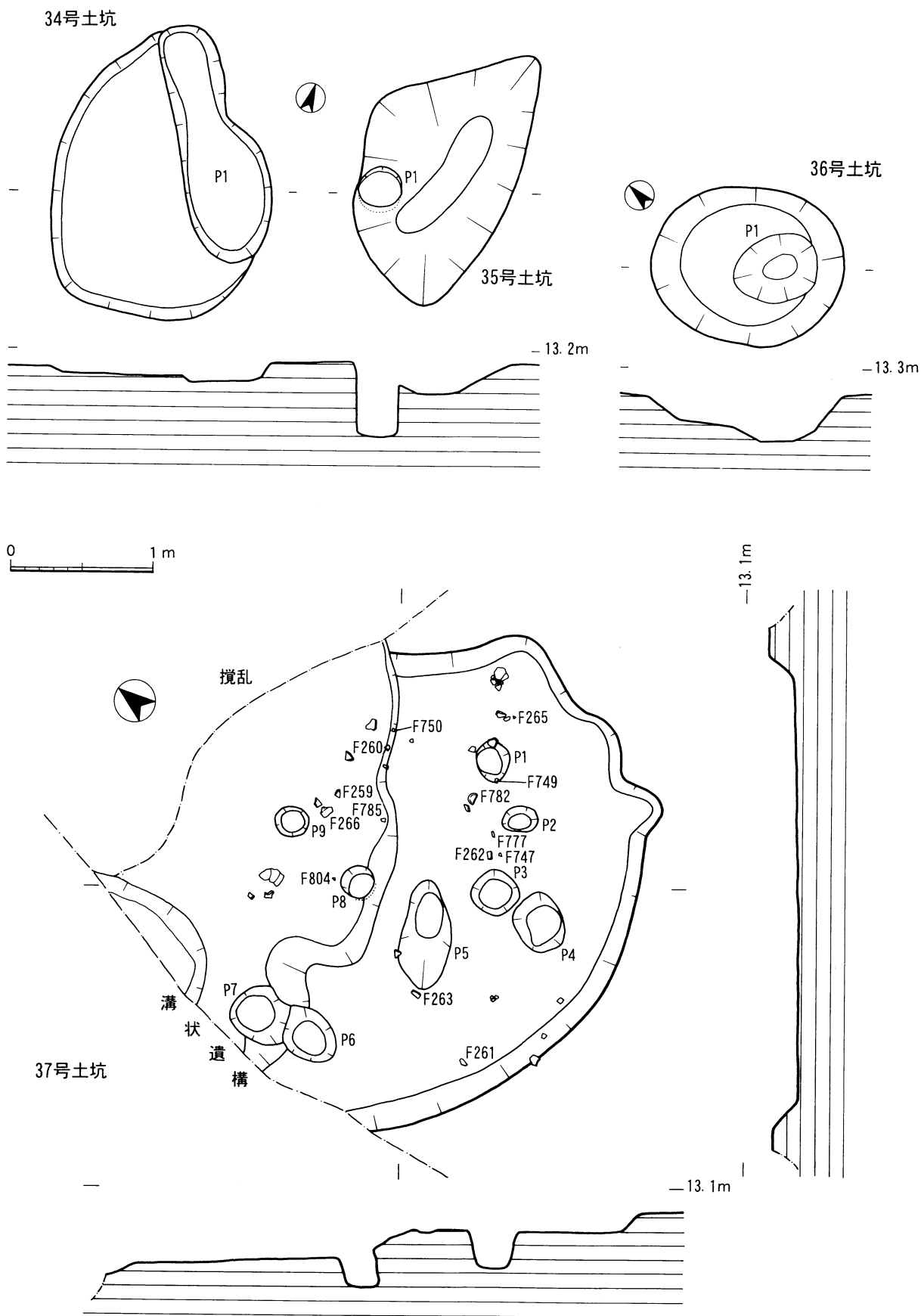
石器は打製石鏃が2点（F747, F748）、スクレイパー3点（F749～F751）、磨石1点（F783）、メノウ剥片1点がある。打製石鏃はともに頭部が欠け、二等辺三角形をした挟りのあるタイプである。メノウ製。F749は一部欠けたサイド・スクレイパーで、片面のみ刃部を加工している。黒曜石製である。F751は逆台形をしたエンド・スクレイパーで、片面のみに刃部を粗く加工している。メノウ製である。F750は円形をしたサムエンド・スクレイパーで、両面を丁寧に加工している。メノウ製である。磨石は半欠品で、側面には敲打痕がみられる。

(12)38～43号土坑（第45図）

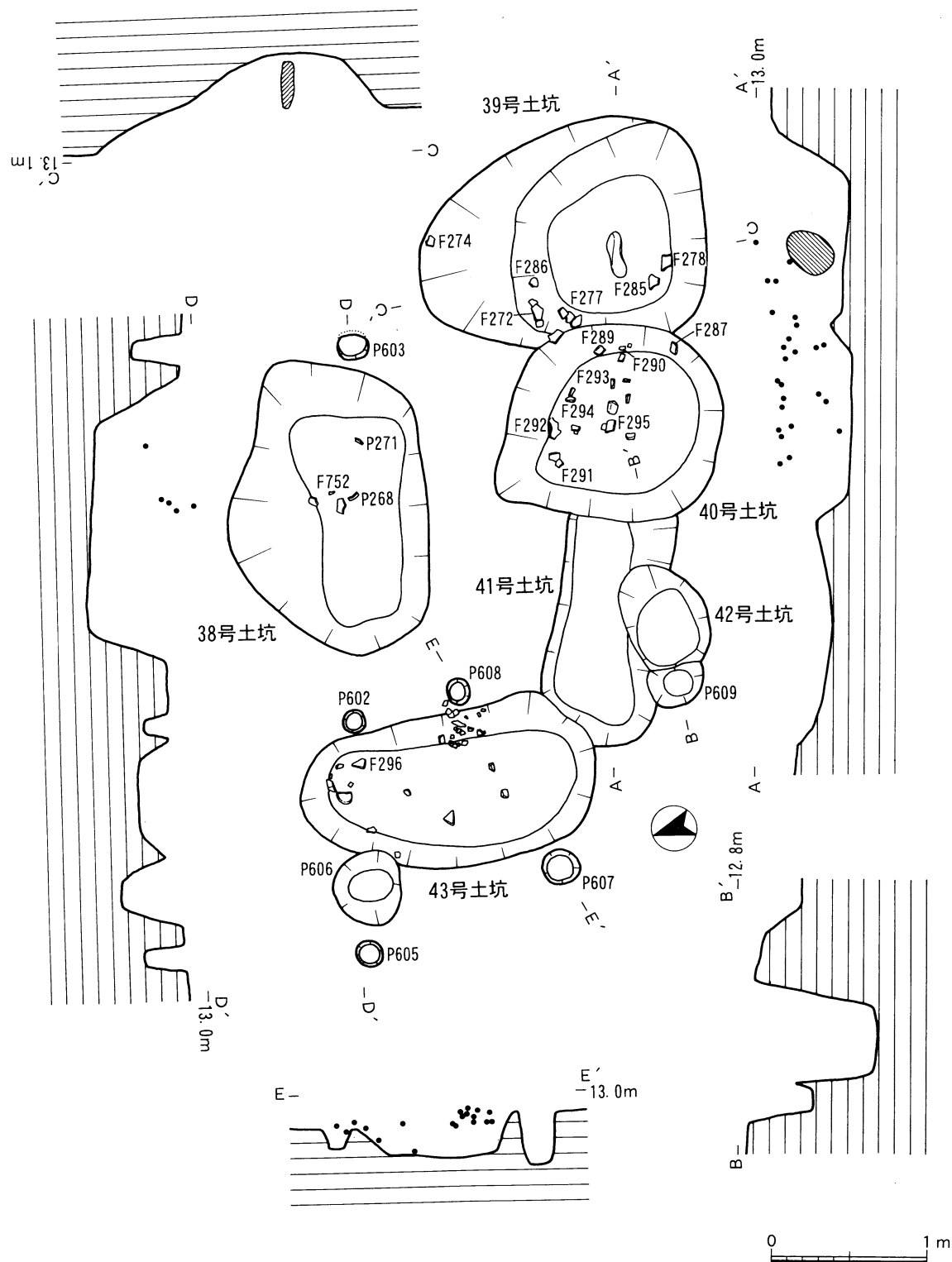
38～43号土坑は13F区と14F区にかけ集中して検出された土坑群である。北西部には37号土坑が近接している。小形の42号土坑を除くと、この土坑群はそれぞれの形状から大きく2つのタイプに分けることができる。1つは38号、41号、43号で、長軸が2m弱、短軸が1m前後の隅丸長方形を呈するもの。もう1つは一辺が150cm前後の隅丸方形を基本とするものである。38号土坑を除きすべての土坑が重複しているが、それぞれの関係については明確でない。

出土土器をみると、38号土坑では市来式土器（F268～F271）が、39号土坑で市来式土器（F273～F277）、丸尾式土器（F280～F282）、辛川式土器（F283, F284）などが出土し、出土遺物総数も261点と多い。また、40号土坑では市来式土器（F287～F291）のほか鐘崎式土器（F292）、西平式土器（F293～F295）が出土している。F283は辛川式土器の口縁部である。幅広の口縁部文様帯は縄文を施した後に沈線を施したもので、下位に横位の連点をめぐらしている。

石器としては、38号土坑で石匙1点（F752）、剥片8点（黒曜石4点・フリント1点・メノウ2点・安山岩1点）がある。また、39号土坑では剥片22点（黒曜石16点・メノウ2点・安山岩4点）と黒曜石製石核4点が出土した。さらに43号土坑では黒曜石製の剥片が2点、同製の残核が2点出土している。



第44図 土坑実測図6



第45图 土坑实测图 7

(13)46号土坑（第46図）

46号土坑は14C区で検出された土坑で、47号土坑と重複して検出された。分厚い花崗岩の一面を使用した砥石1点（F784）が出土している。

(14)51号土坑

51号土坑は最大長203cm、最大幅133cmを測る溝状の土坑である。東南端部が一段下っており重複の可能性もある。出土遺物総数が1261点と爆発的に多いがその多くは胴部片であった。市来式土器（F300, F301）も若干含まれるが、多くは市来式土器よりも後出の丸尾式土器（F302～F304）や納曽式土器（F305～F307）、辛川式土器（F308, F309）、西平式土器（F310～F312）であった。

石器としては石鏃1点、石匙1点、異形石器1点、スクレイパー1点、磨石2点、石皿3点、石錘1点、剥片27点（安山岩9点・黒曜石8点・メノウ8点・フリント2点）、石核8点（黒曜石6点・メノウ2点）などが出土した。

F787は安山岩製磨石の破片で、側面は敲打痕のみである。F786は軟質の安山岩を用いた磨石で、側面は敲打痕と一部に磨った痕がある。平面の一方にはくぼみがあり、凹石としても使われている。また長側辺の両側にはへこみがあることから石錘につかわれた可能性もある。F788は砂岩製の石皿で、火を二次的に受けて風化が激しい。片面はくぼんでいるが、裏面は自然面を残している。

F785は花崗岩製の石錘で、片面は凸凹の自然面である。4か所に打ち欠きがみられ、2か所には紐ずれがある。F758はチャート製の異形石器である。弧状に曲がった棒状製品で、両端がこぶ状に広がっている。また外弯部に2か所の三角状突起がある。

(15)54号～56号土坑（第47図）

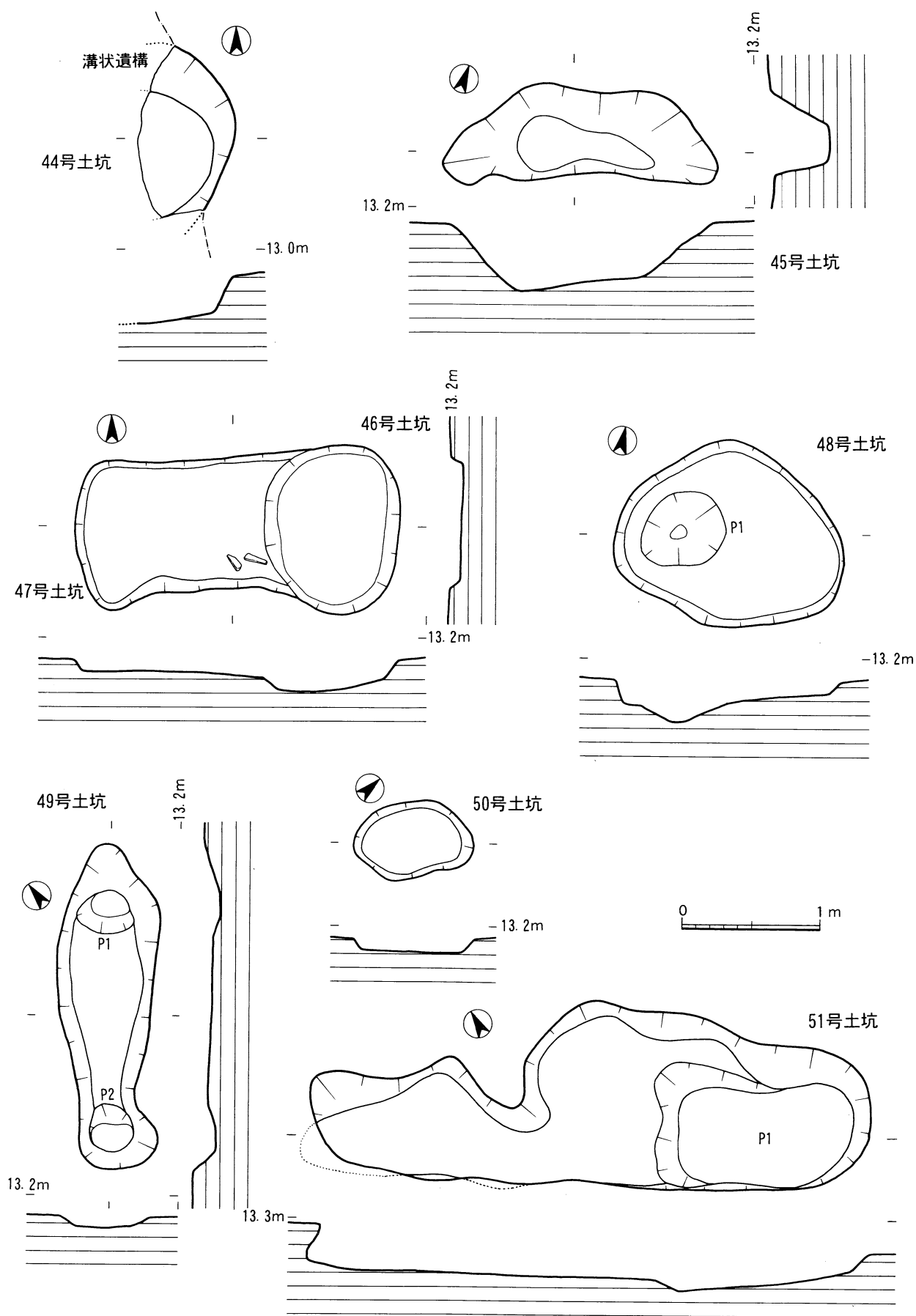
54号～56号の重複した3基の土坑は、14E区で検出されたもので、34号、35号、51号、53号などと合わせて土坑群を形成している。これらのうち54号土坑が最も規模が大きいもので、4個のピットを有する。55号土坑には斜に掘り込んだ直径13cmの小さな柱穴が2個ある。いずれの土坑も多くの遺物が出土しているが、特に54号土坑では総数641点の遺物が出土している。

54号土坑内出土の土器は丸尾式土器（F315～F319）や納曽式土器（F324）、あるいは辛川式土器（F322, F323, F325）、中ノ原タイプ（F320, F326～F328）、西平式土器（F321, F329～F335）など、本遺跡出土の縄文時代後期土器の中では比較的后出の土器群が出土している。この傾向は重複する55号、56号土坑でも同様であり、時間的に近接したものと考えられる。

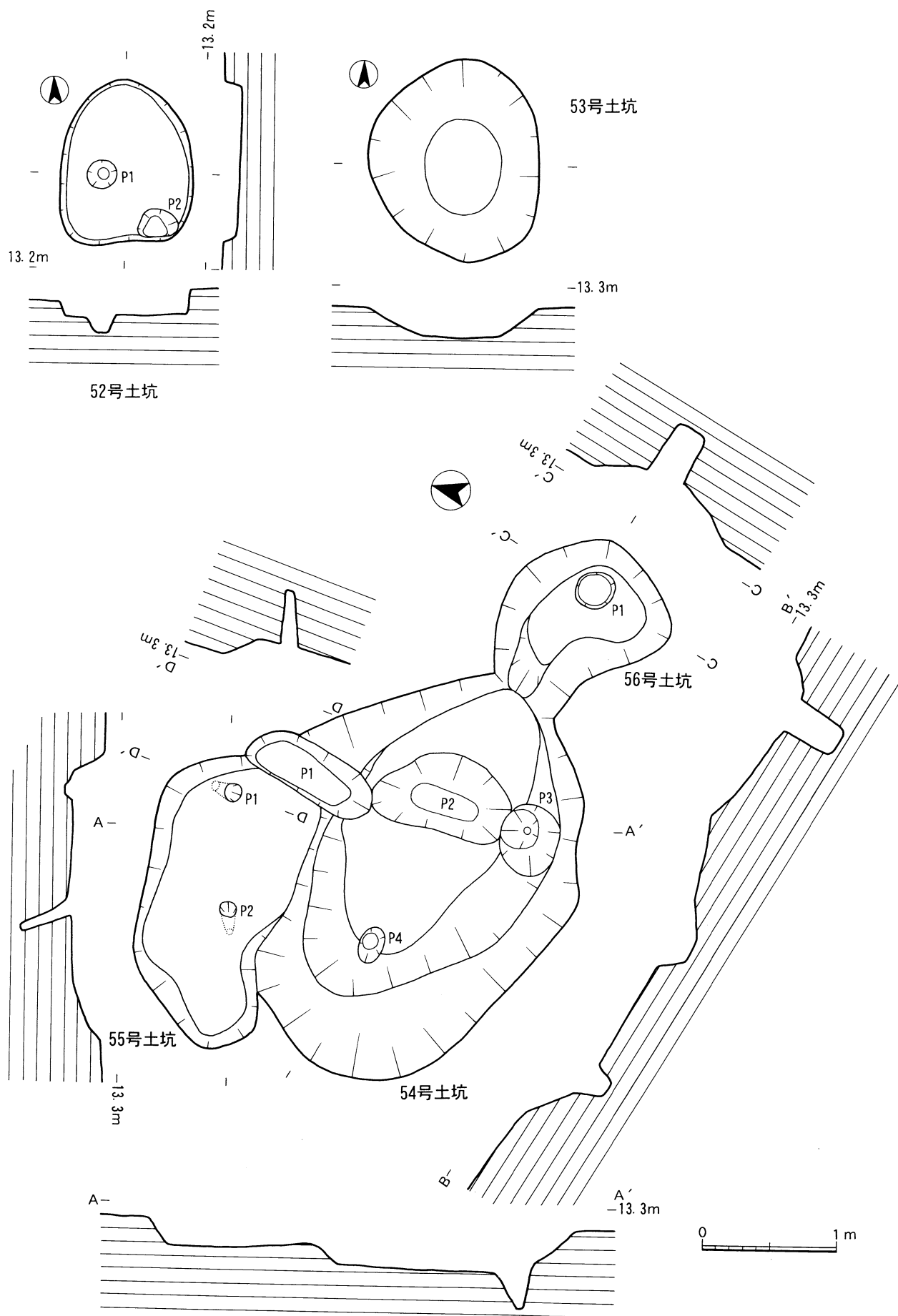
F320は幅広の口縁部文様帯に磨消縄文を施し、さらに文様帯下位に連点をめぐらすものである。このような文様は胴部文様として見かけることが多いが、口縁部にも施される同様な例が本遺跡で数例出土している。西平式土器の前段階に位置づけられるものであろう。

本土坑では円盤形土製品も3点（いずれも無文部）出土しており注目される。

石器としては石鏃1点、磨製石斧1点（F789）、磨石2点（F790, F791）、敲石1点（F792）、剥片15点（黒曜石9点・メノウ3点・フリント1点・安山岩1点）、黒曜石製の石核4点などが出土した。F789は砂岩製磨製石斧の頭部破片で、周辺は敲打仕上げを行っている。F790とF791は磨石で、ともに安山岩製である。F791は両面・側面とも良く使用しているが、角部は敲石としても



第46図 土坑実測図 8



第47图 土坑实测图 9

使用していたらしい敲打痕がみられる。F790は破片で側面も磨っている。F792は花崗岩の敲石で、片面は凹石としても使用している。

55号土坑では安山岩製の磨石破片1点が出土している。

(16)57号,58号土坑 (第48図)

57号,58号土坑は14F区から14E区にかけて隣接して検出されたもので、最大長がいずれも2mを越える比較的大形の土坑である。落ち込みラインが途中で屈曲し、2段ピット状を呈している。出土遺物総数もそれぞれ98点と151点と多い。特徴的な遺物についてみると、F350は丸尾式土器の口縁部である。「く」字状に屈曲する口縁部の上位に沈線を施すもので、丸尾式土器の中では古段階のものと考えられる。F351は北久根山式土器の鉢形土器の胴部である。F360の胴部片は西平式土器と考えられるもので、胴部文様帯最下部の沈線外に磨り残されたRLの縄文がみられる。

石器としては57号土坑において砂岩の石錘(F793)が出土している。扁平な丸い石の両側に打ち欠きがあり、紐掛けとしている。また、58号土坑では剥片4点(黒曜石3点・メノウ1点)、黒曜石製の石核1点が出土している。

(17)61号土坑 (第48図)

61号土坑は15C区で検出されたもので、長軸156cm、短軸99cmの楕円形プランを呈する土坑である。遺物は10点と少ないが、粘板岩製の扁平な砥石(F794)が1点出土している。片面は自然面を残したままで、一面だけを使用している。面だけでなく5状の筋があり細いものを研いでいるようである。

(18)63号土坑 (第48図)

63号土坑は15D区で検出された溝状の土坑である。遺物が188点と比較的多く出土しているが、丸尾式土器(F363)、石鏃1点(F762)、剥片7点(黒曜石3点・メノウ4点)などが含まれている。F760は黒曜石の剥片で長側辺部に刃こぼれがみられ、裏面には擦痕もある。

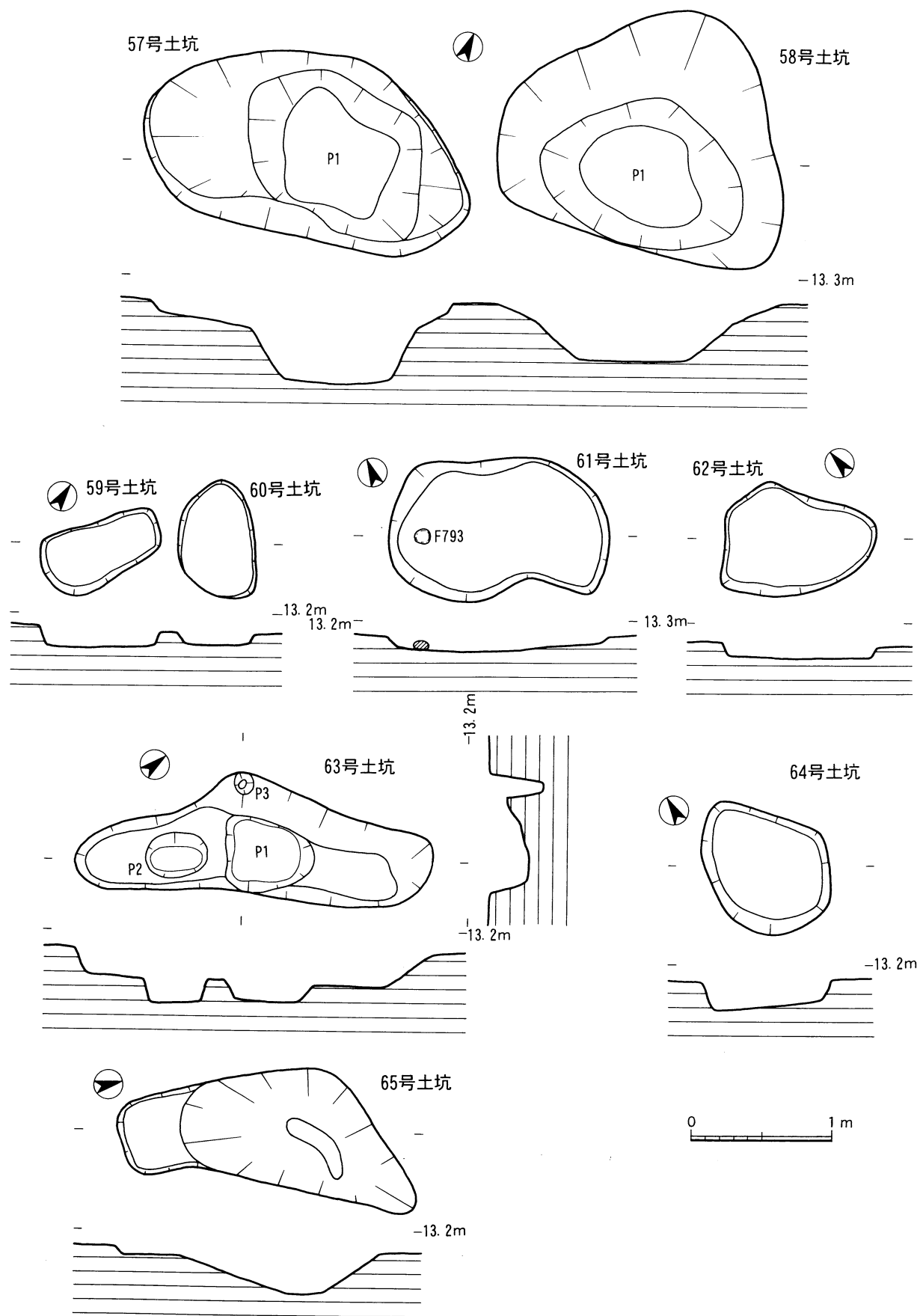
(19)65号土坑 (第48図)

65号土坑は15E区で検出されたもので、2つの土坑が重複したような形状を呈している。遺物は176点出土しているが、土器の中心は辛川式土器(F367, F369, F371～F373)と西平式土器(F366, F368, F370, F374～F378)である。石器としては加工痕のある剥片1点、黒曜石製石核1点がある。

(20)66号土坑 (第49図)

66号土坑は15F区と15E区の境界線上で検出された土坑で、最大長298cm、最大幅253cmの大形土坑である。規模から住居跡の可能性もあるが、検出面に比べ床面がかなり狭いことから、他の機能を考えた方がよさそうである。出土遺物は372点と多い。

土器は丸尾式土器(F379～F382)、辛川式土器(F384～F387, F392, F393)、中ノ原タイプ(F388～F392)、西平式土器(F394～F406)と本遺跡出土の縄文時代後期土器の中では後出の土器群が



第48図 土坑実測図10

主体である。円盤形土製加工品も1点出土している。

石器としては石鏃1点、剥片3点（黒曜石2点・メノウ1点）、黒曜石製の石核2点がある。

(21)67号土坑（第49図）

67号土坑は15F区で検出されたもので、長軸263cm、短軸133cmを測る大形の土坑である。出土遺物は320点と多く、丸尾式土器（F408～F410）や辛川式土器（F412, F413）、西平式土器（F414～F421）、また円盤形土製加工品（F422）も1点出土している。

石器には石錘1点、石皿の小破片1点、剥片12点（黒曜石10点・フリント2点）、フリント製の石核1点がある。F795は安山岩製の石錘である。分厚い円礫の上下を打ち欠いて整形し、さらに両側を打ち欠いて紐かけとしている。

(22)69号土坑（第49図）

69号土坑は長軸88cm、短軸60cm、深さ57cmを測る平面形が楕円を呈する土坑である。遺物は出土していない。自然流路跡（R1）の左岸斜面で検出された。

(23)70号土坑（第49図）

70号土坑は長軸160cm、短軸137cmを測る楕円形プランの土坑である。69号土坑と同様に自然流路跡（R1）の左岸斜面で検出されたもので、47cmの深さをもつ。出土土器には深浦式土器（F424）、市来式土器（F425～F427）、北久根山式土器（F428）がある。

石器には砂岩製の磨石半欠品（F797）がある。平面・側面とも良く使い込んでおり、かなりすりされている。

この土坑は隣接する69号土坑とともに自然流路跡（R1）の左岸斜面から出土している。後述する18F区や21, 22F区で検出された土坑群と同様、流路斜面に設けられた施設として注目される。貯蔵穴などの機能が考えられる。

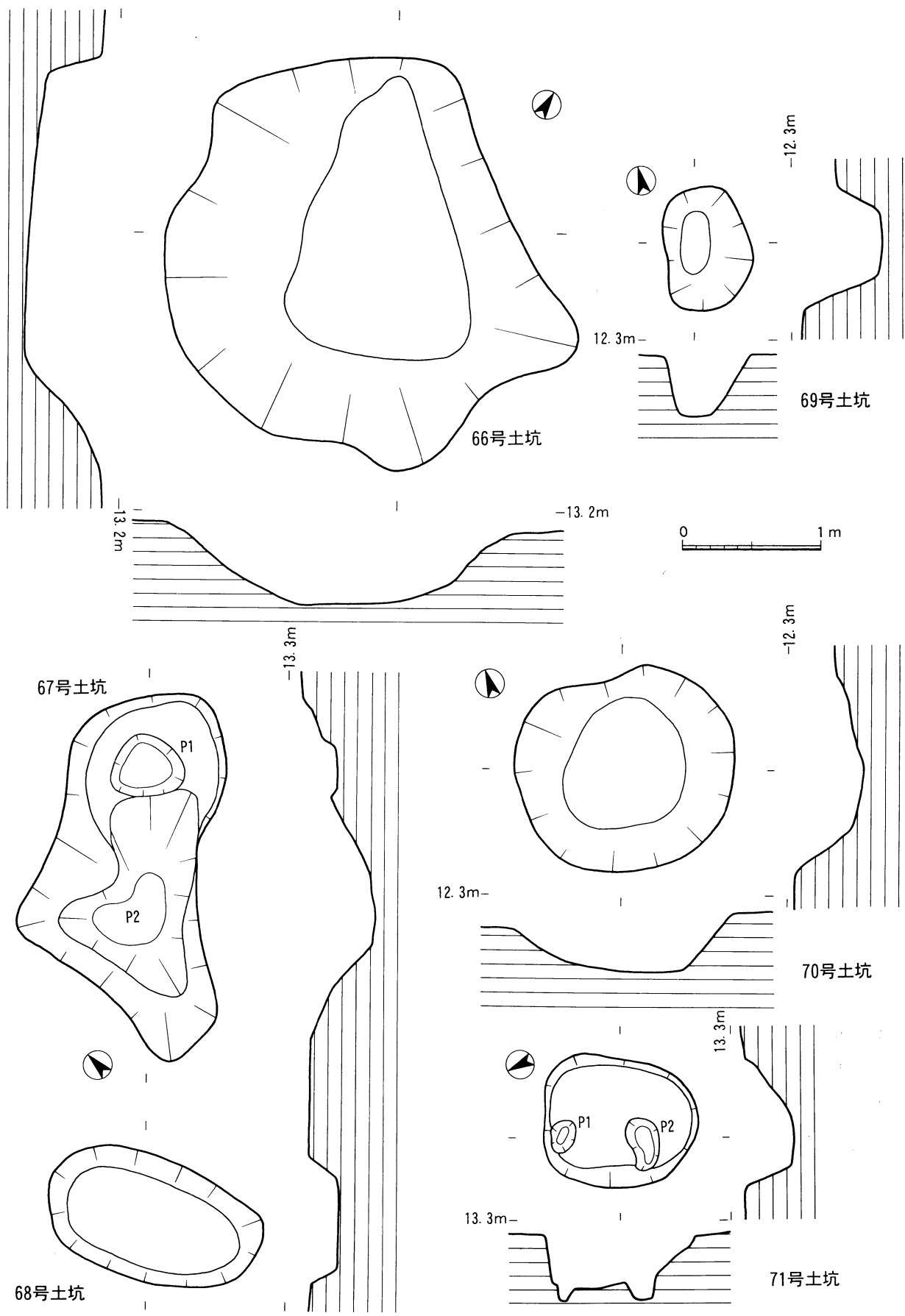
(24)74号土坑（第50図）

74号土坑は17D区に検出された土坑で、長軸132cm、短軸96cmの楕円形プランを呈し、深さが108cmもある。土坑上位に浅い段があるが、長軸84cm、短軸67cmを測る本体とも言える部分はほぼ垂直に掘られている。柱穴状の形状を呈するが、周辺に同様な例はない。単独のポール状のものかあるいは小動物用の陥し穴の可能性もある。遺物は土坑の上位で総数90点出土しているが、丸尾式土器（F430～F433）や辛川式土器（F434～F436）、西平式土器（F437・F438）などが出土している。

石器には安山岩製剥片1点、黒曜石製石核2点がある。

(25)75号, 76号土坑（第50図）

この2つの土坑は17F区で隣接して検出されたもので、本遺跡で検出されたものの中では大形の土坑である。特に75号土坑は長軸170cm、短軸156cm、深さ91cmを測るもので、出土遺物も総数747点と多い。遺物は市来式土器（F439～F442）、丸尾式土器（F443～F452）、辛川式土器（F456～F464）



第49图 土坑实测图11

などが出土しているが、圧倒的に多いのが西平式土器（F465～F495）である。

石器にはくさび 1 点、磨石 1 点、石皿 1 点、敲石 1 点、剥片 42 点（黒曜石 25 点・安山岩 7 点・フリント 6 点・メノウ 3 点・頁岩 1 点）、石核 3 点（黒曜石 2 点・フリント 1 点）がある。

F799は安山岩製くさびの先端部である。扁平で三角形に尖っている。表の稜は使用によってつぶれており、裏には斜方向の擦痕がみられる。F796は一部欠けている安山岩製の磨石で、加工が少ないために表面には点々とくぼみがあり、側面も自然面を使用している。F806は安山岩製の小形石皿片である。両面を使用しており、ともにほぼ平坦である。F798は球礫岩製の敲石で、下端部は敲きによってつぶれている。F800は頁岩の剥片で、曲線部の両面に刃こぼれがみられ、バルブはつぶしている。一部に自然面が残っている。

76号土坑も75号土坑と同様に、納曽式土器（F496, F501）や辛川式土器（F498, F499）、西平式土器（F500, F502～F504）などが出土している。

石器には石鏃 1 点、剥片 4 点（黒曜石 2 点・フリント 2 点）、黒曜石製の石核 1 点のほかメノウの原石 1 点がある。

(26)77号土坑（第50図）

77号土坑は18D区から検出されたもので、長軸262cm、短軸154cmを測り、中央に1か所、壁際に3か所のピットが見られる。また、土坑の北東部には柱穴状の突出部もある。出土遺物が498点と多いが、市来式土器（F505～F509, F511, F512）や丸尾式土器（F515～F519）あるいは西平式土器（F524～F527）と各時期のものが万遍なく含まれており、詳細な時期設定は困難である。

石器には敲石 1 点、剥片 7 点（安山岩 3 点・黒曜石 2 点・フリント 2 点）、安山岩製石核 1 点などがある。F801の敲石は小形の安山岩を用いており、側縁の広い範囲に敲打の痕がみられる。

(27)78号土坑（第50図）

78号土坑は不定形の土坑で18D区で検出されたものである。市来式土器（F528）や使用痕のある剥片 1 点が出土している。

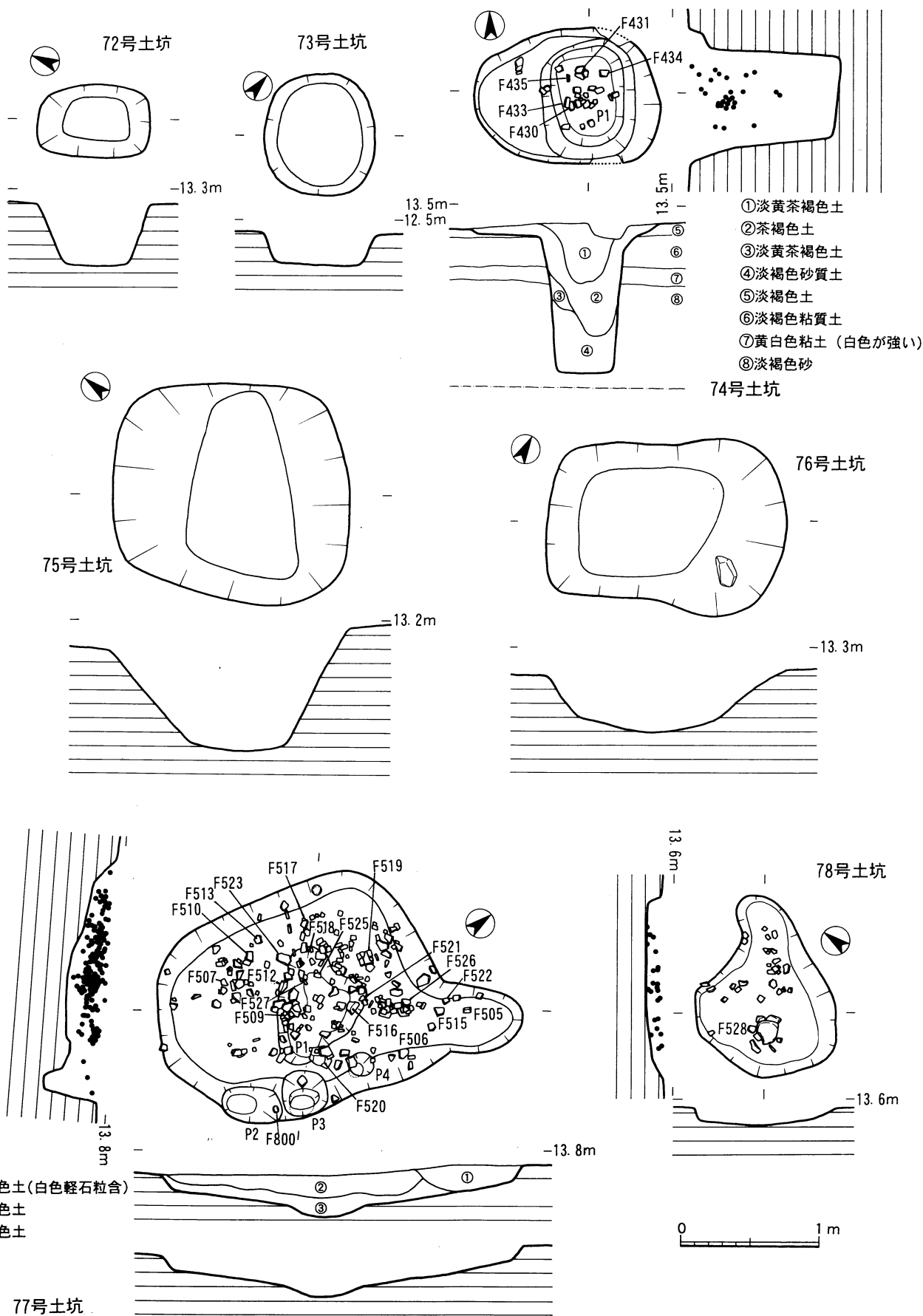
(28)83号～94号土坑（第51, 52図）

これらの土坑は自然流路跡（R 1）の右岸で検出されたもので、83号土坑と84号土坑、85～87号土坑、88～94号土坑の3か所に比較的集中して検出された。

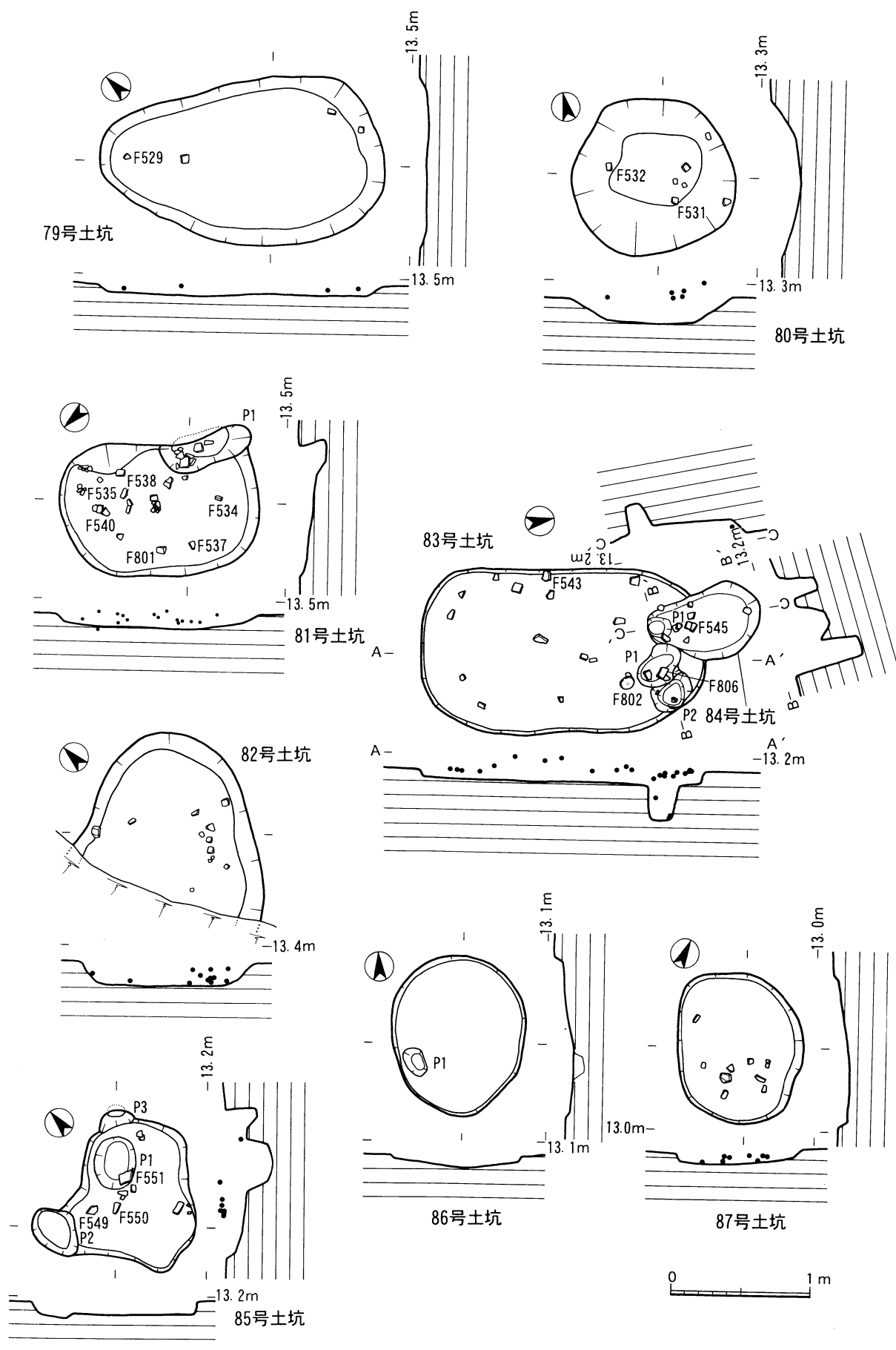
83号土坑と84号土坑は重複して検出されているが、その重複部で柱穴状のピットも集中しており何らかの関係が考えられる。83号土坑からは2点の円盤形土製加工品（F545, F546）が出土しており注目される。特にF545は市来式土器の口縁部を利用している好資料である。

85～87号土坑は、付属するピットの個数こそ違いがあるが、土坑本体のスケール・プラン共にほぼ同様で、機能の類似性が考えられる。

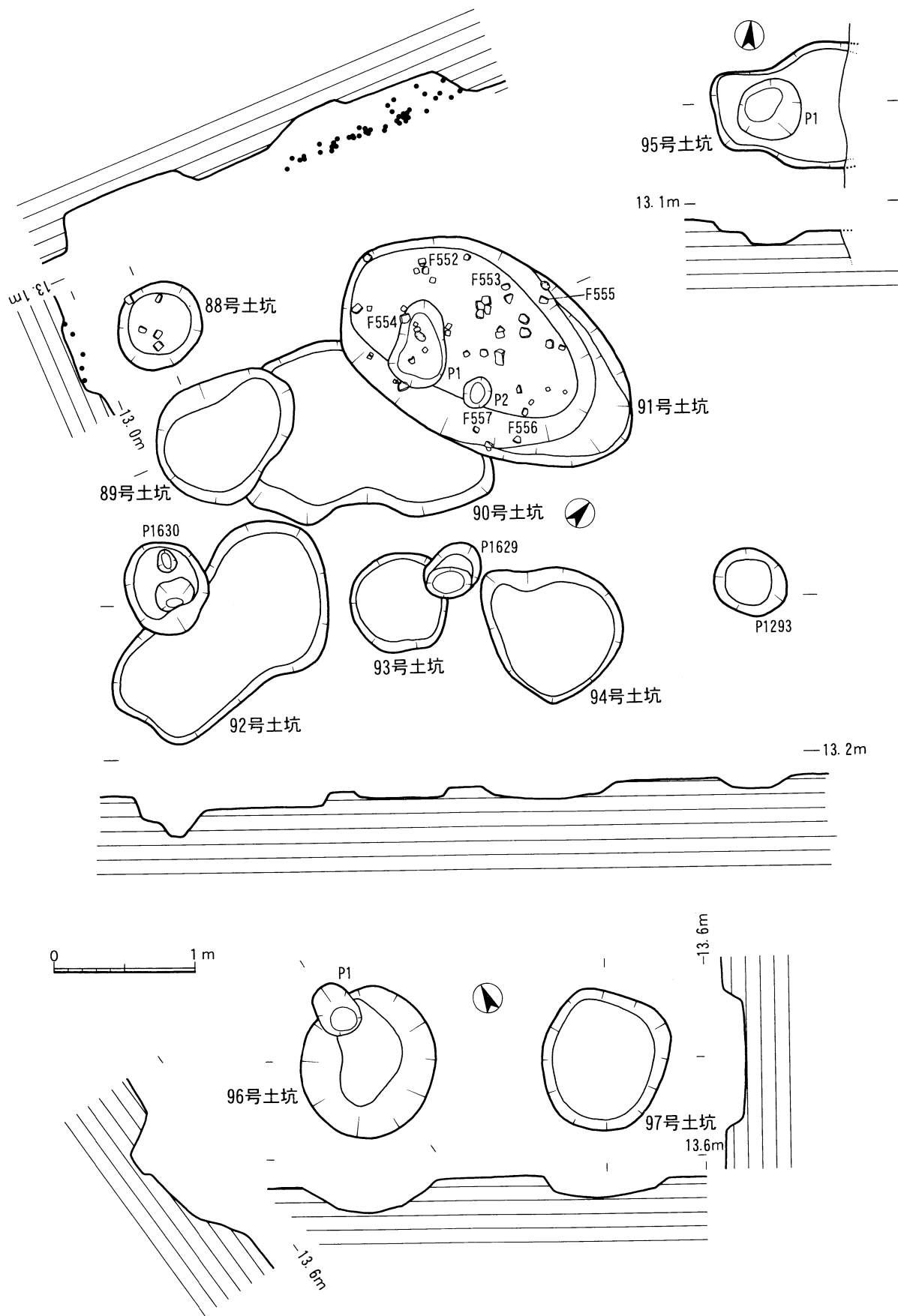
88～94号土坑は3m四方の中に密集して検出されたものである。大きく長軸が2m前後、短軸が1m強を測る大形の楕円形プランのものと、長軸が1m前後で略円形を呈する小形の2つのタイプに分類できる。遺物は少なく、91号土坑で市来式土器（F552～F557）を中心に116点の遺物



第50図 土坑実測図12



第51图 土坑实测图13



第52图 土坑实测图14

が出土している程度である。

(29)96号, 97号土坑 (第52図)

この2つの土坑は19D区ないし19E区のライン上でほぼ隣接して検出されたもので、いずれも長軸1m前後、短軸90cm前後を測る楕円形プランの土坑である。遺物は納曾式土器(F558, F559)や西平式土器(F560～F562)を中心にそれぞれ144点、57点出土している。

(30)101号土坑 (第53図)

101号土坑は一部調査対象外にかかる形で検出されたもので、長軸2m強、短軸151cmを測る楕円形プランの土坑である。土坑中位に段があるが最大の特徴は中央に柱穴状のピットが存在することである。検出面からの深さが72cmであるが、当時の掘りこみ面はさらに上にあると考えられることから、陥し穴の可能性もある。

(31)102号土坑 (第53図)

102号土坑は9号竪穴住居跡と重複して検出された楕円形プランを呈する土坑で、長軸が251cm、短軸が135cmを測る。出土遺物が369点と多いが、そのほとんどが市来式土器(F564～F574)や市来式土器に伴うと考えられる無文土器(F576～F581)である。

(32)104号土坑 (第53図)

104号土坑は北側にピットを有する土坑で、長軸110cm、短軸62cmの楕円形プランを呈するものである。埋土中に石皿状の大礫を含み注目される。

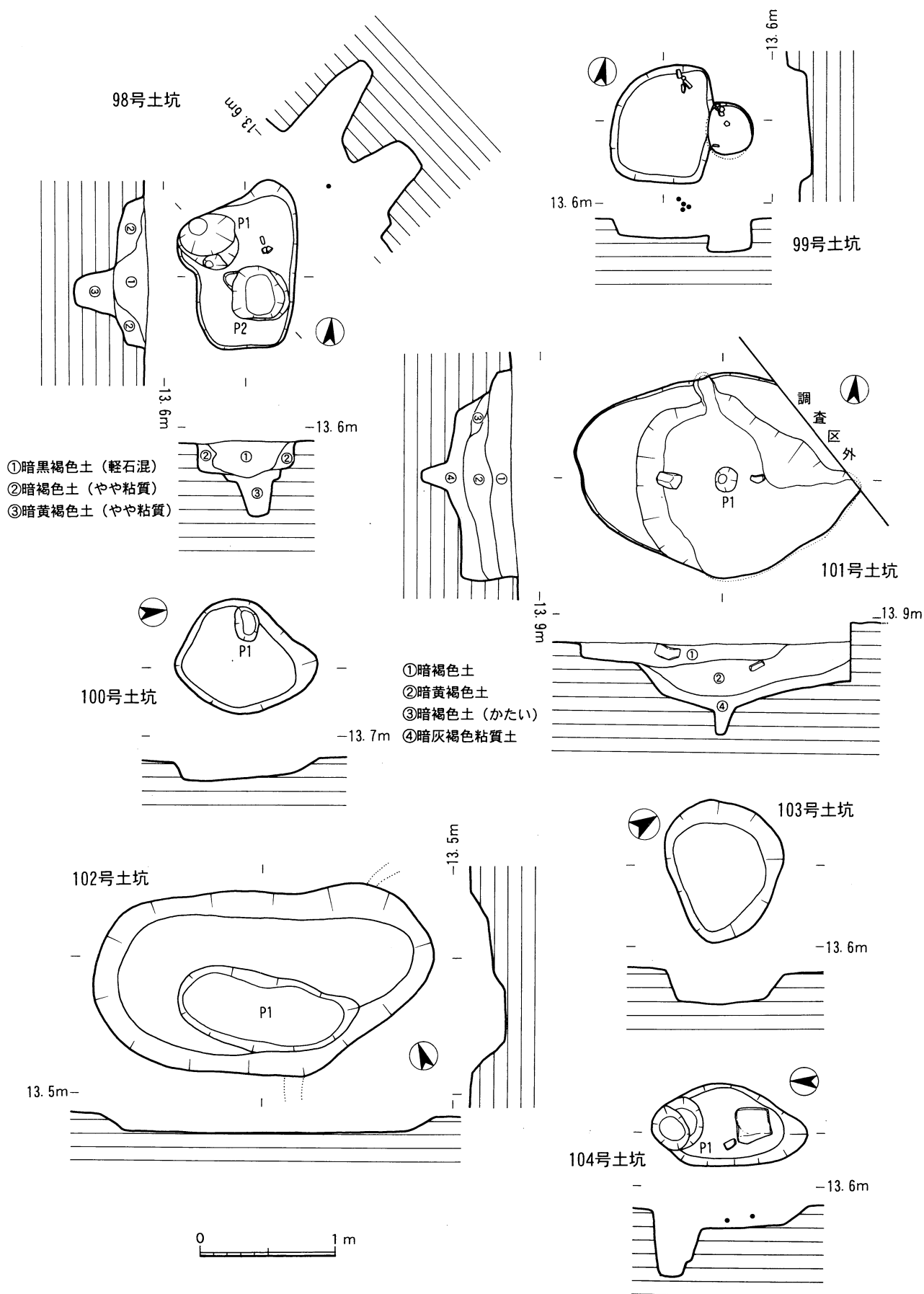
(33)107号～109号土坑 (第54号)

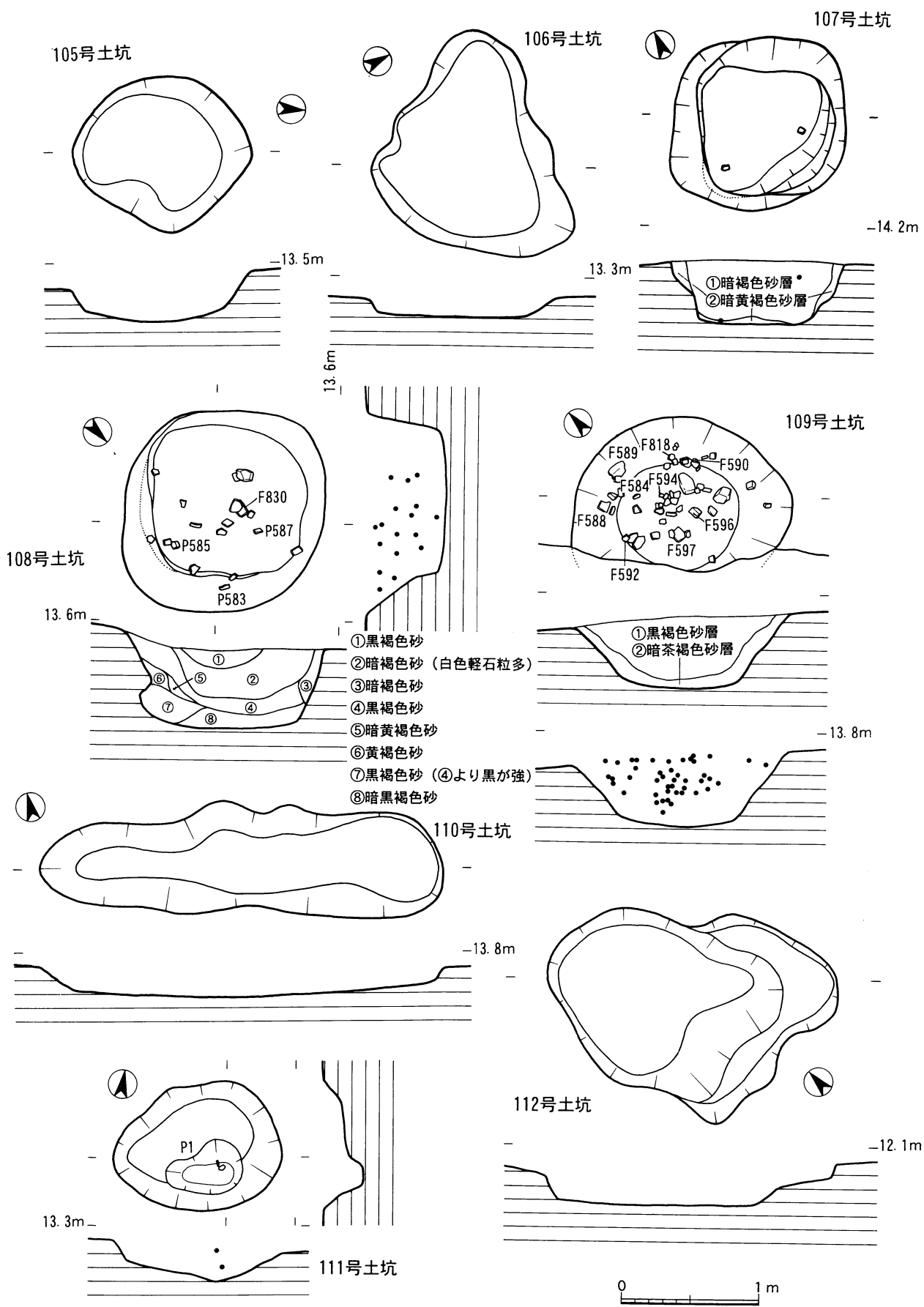
これら3つの土坑は自然流路跡(R1)の右岸から検出されたもので一辺ないし直径が150cm前後の略方形ないし略円形を呈するものである。検出面からの深さもほぼ50cm前後と類似している。108号土坑にはオーバーハングした部分があることから本来の断面が袋状を呈していた可能性もあるが、第Ⅵ層以下の砂層を掘り込んでいるために、原形については不明である。いずれにしても、ほぼ同様な形態を有することから、前述した70号土坑、86号土坑、87号土坑などと共に自然流路の岸辺に設けられた施設として注目される。

遺物はそれぞれ57点、15点、141点出土しているが、ほとんどが市来式土器(F583～F597)である。多くは口縁部文様の単純なものであることも注目されよう。

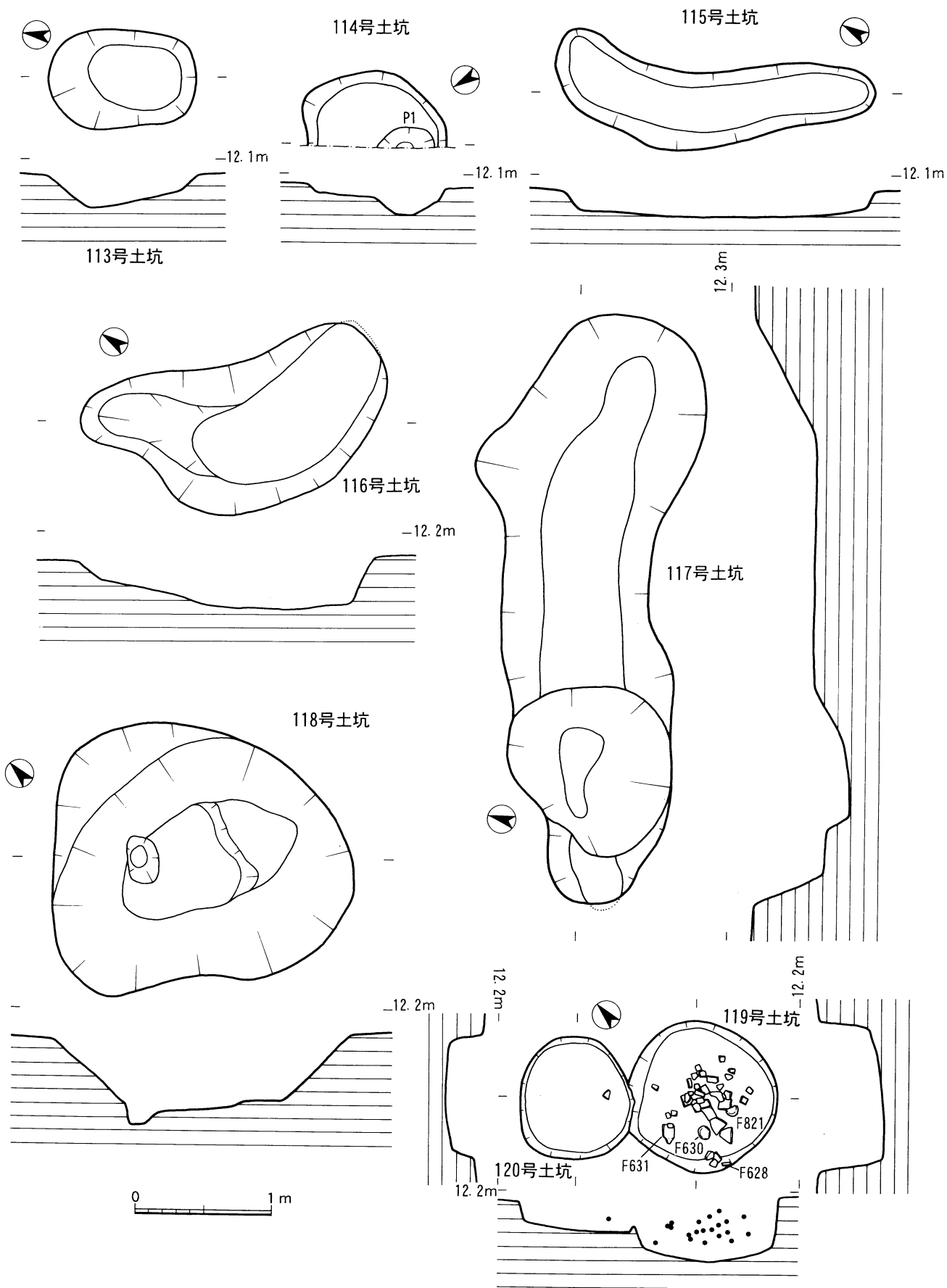
(34)119号, 120号土坑 (第55図)

この2つの土坑は17M区ないし17N区のライン上で検出されたもので、ほぼ略円形を呈し類似した規模をもつ。119号土坑からは233点の遺物が出土しているが、そのほとんどが無文を中心とした西平式土器(F624～F631)である。F628やF629は完形近く図上復元できた資料であるが、本遺跡から出土している無文の西平式土器に見られるバリエーションのいくつかが本土坑より出土





第54図 土坑実測図16



第55図 土坑実測図17

している点は注目される。

(35)121号土坑（第56図）

121号土坑は4号竪穴住居跡の西隣で検出されたもので、長軸161cm、短軸143cmを測る。遺物は総数24点出土している。F632は市来式土器である。5基の竪穴住居群の中に位置していることから何らかの関係が注目される。

(36)129号土坑（第57図）

129号土坑は19J区で検出されたもので、土坑中位に十数点の礫が集中して出土した。近くに6号集石があり何らかの関係が考えられるが、いずれの遺構も詳細な時期設定が不可能なため不明瞭である。

(37)133号土坑（第57図）

133号土坑は20J区で検出されたもので、不定形を呈するが長軸223cm、短軸190cmと比較的大形の土坑である。総数107点の遺物が出土しているが、F648の台付皿形土器（市来式土器期）を除いてほとんどが西平式土器（F649～F658）で、無文が多いのも特徴である。

(38)135号土坑（第57図）

135号土坑は20K区で検出されたもので、2つの土坑が重複したような形状を呈している。比較的まとまった遺物が出土しているが、その多くは西平式土器（F668～F676、F678）である。F676は完形近くまで復元できたもので、口縁部と胴部にそれぞれ磨消縄文が施されている。胴部から口縁部に立ち上がる屈曲部内面に明瞭な稜がみられ、胴部文様もほぼ横走る6本の沈線からなることなど、本遺跡で西平式土器と呼んでいるものの典型的な例として捉えている。

F677は頸部の屈曲が緩いタイプで、連続した「S」字状文を施した胴部などから、F676よりもやや古いタイプと考えられる。

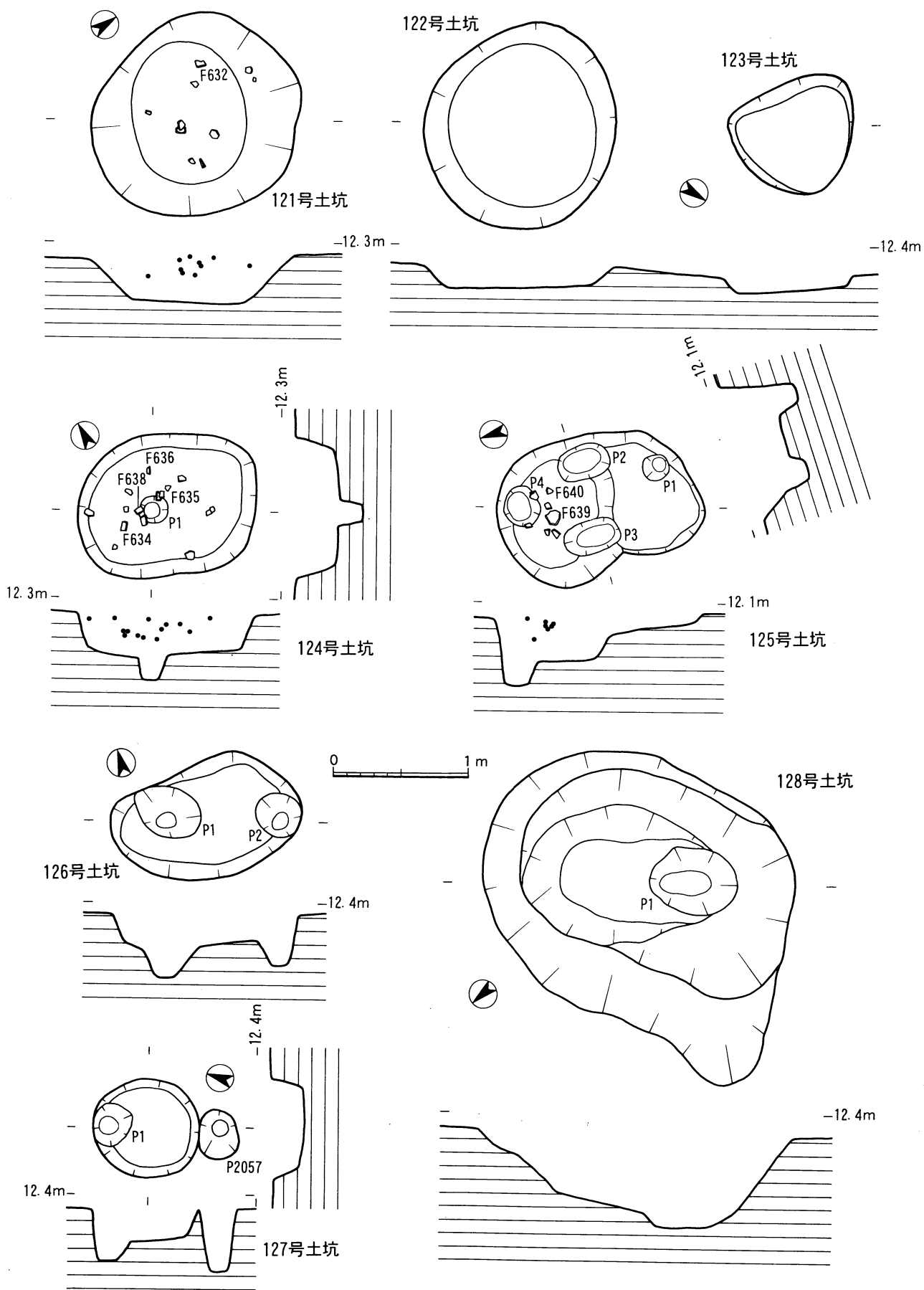
F678は無文の西平式土器である。頸部が屈曲するものの口縁部は直線的に立ち上がるもので、沈線等はみられない。

(39)136号土坑（第58図）

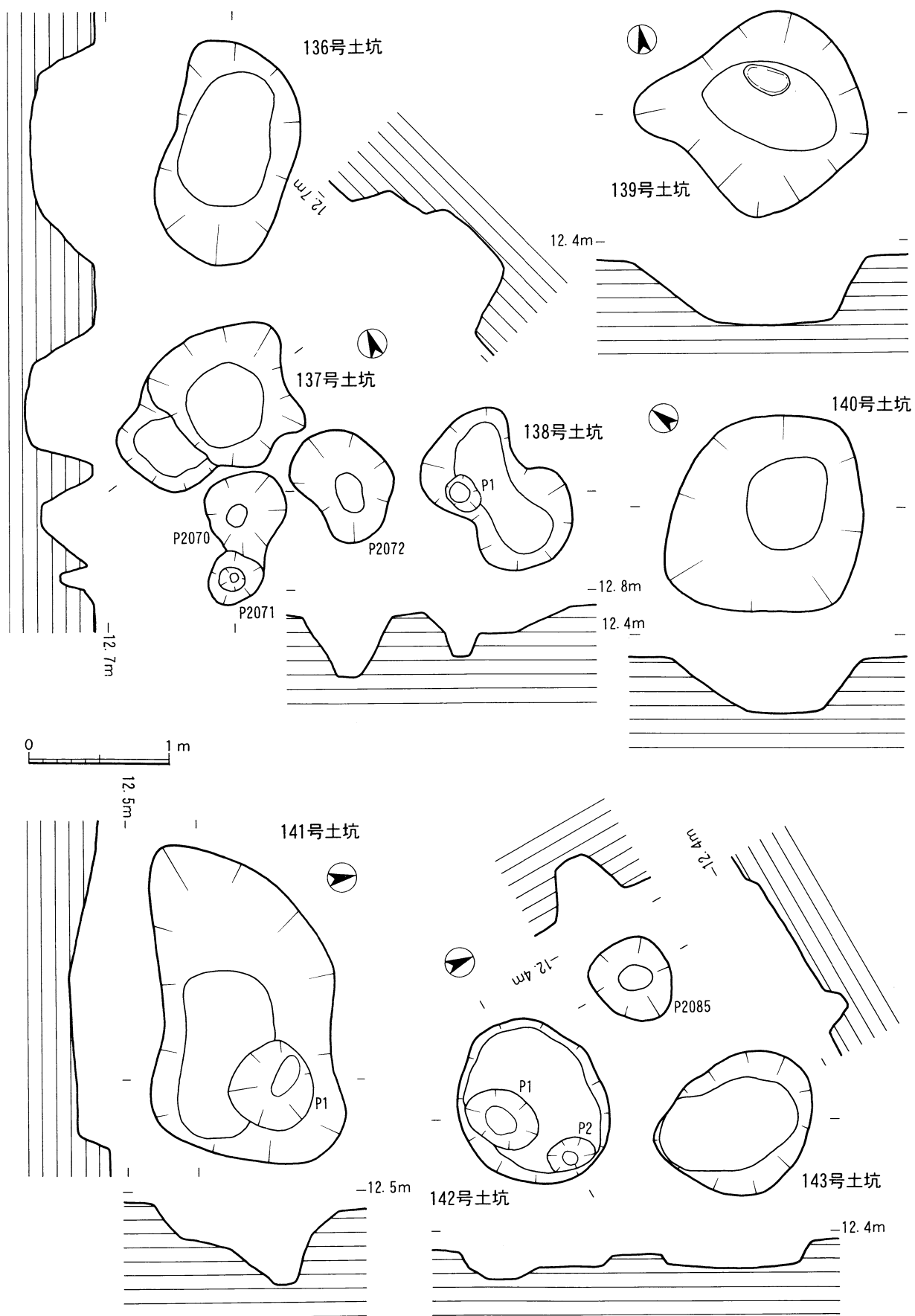
136号土坑は20J区において比較的集中して検出されたもののひとつで、長軸159cm、短軸87cmを測る楕円形プランの土坑である。遺物は91点出土しているが、すべて西平式土器（F679～F685）である。なかでもF684は完形に復元できた資料で、口径27.0cm、器高22.0cmを測る。底部からほぼ直線的に開く口縁部をもち、口縁部内側に1本の沈線がみられる。器面に文様はない。ただし、内外面と共に丁寧なミガキが観察できる。

(40)137号土坑（第58図）

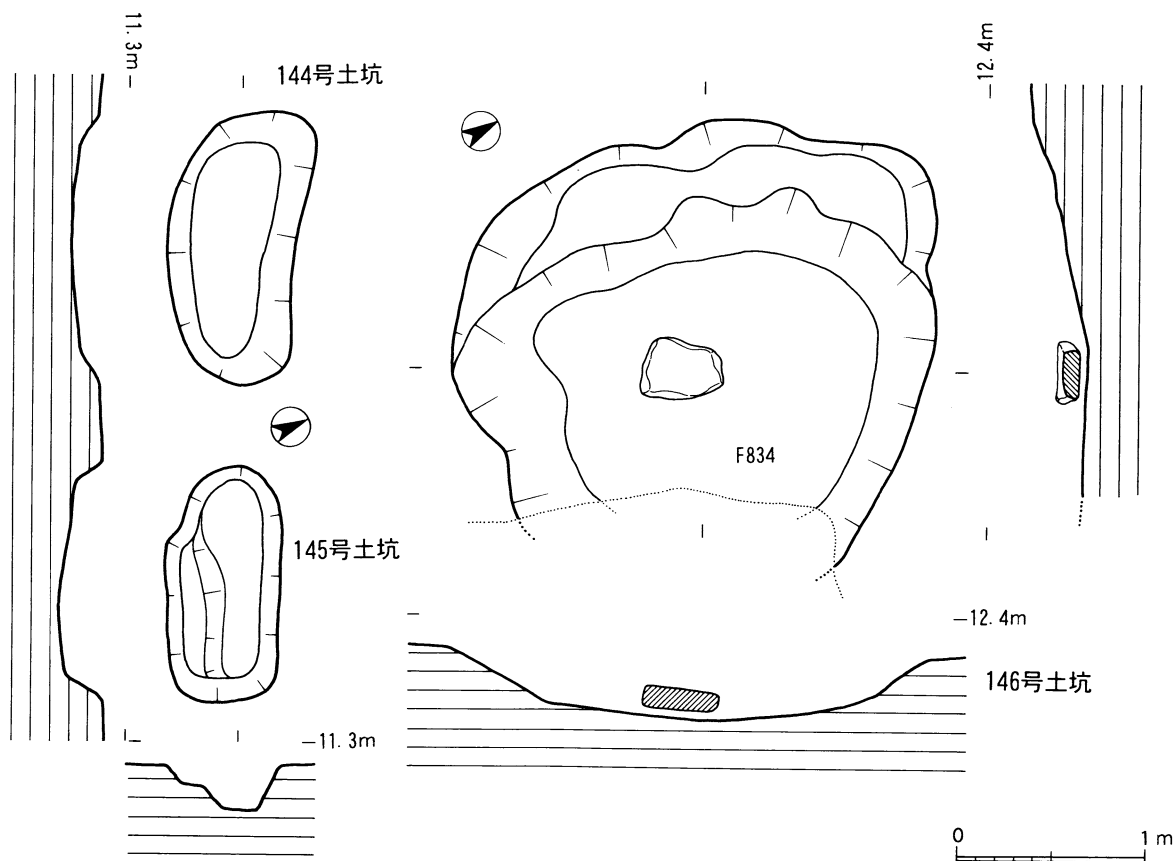
137号土坑は136号土坑にほぼ隣接して検出された土坑で、2つの土坑が重複したような形状を



第56图 土坑实测图18



第58图 土坑实测图20



第59図 土坑実測図21

呈している。遺物が120点出土しているが、丸尾式土器（F686）、納曽式土器（F687～F689）を含むものの、ほとんどが西平式土器（F690～F707）である。

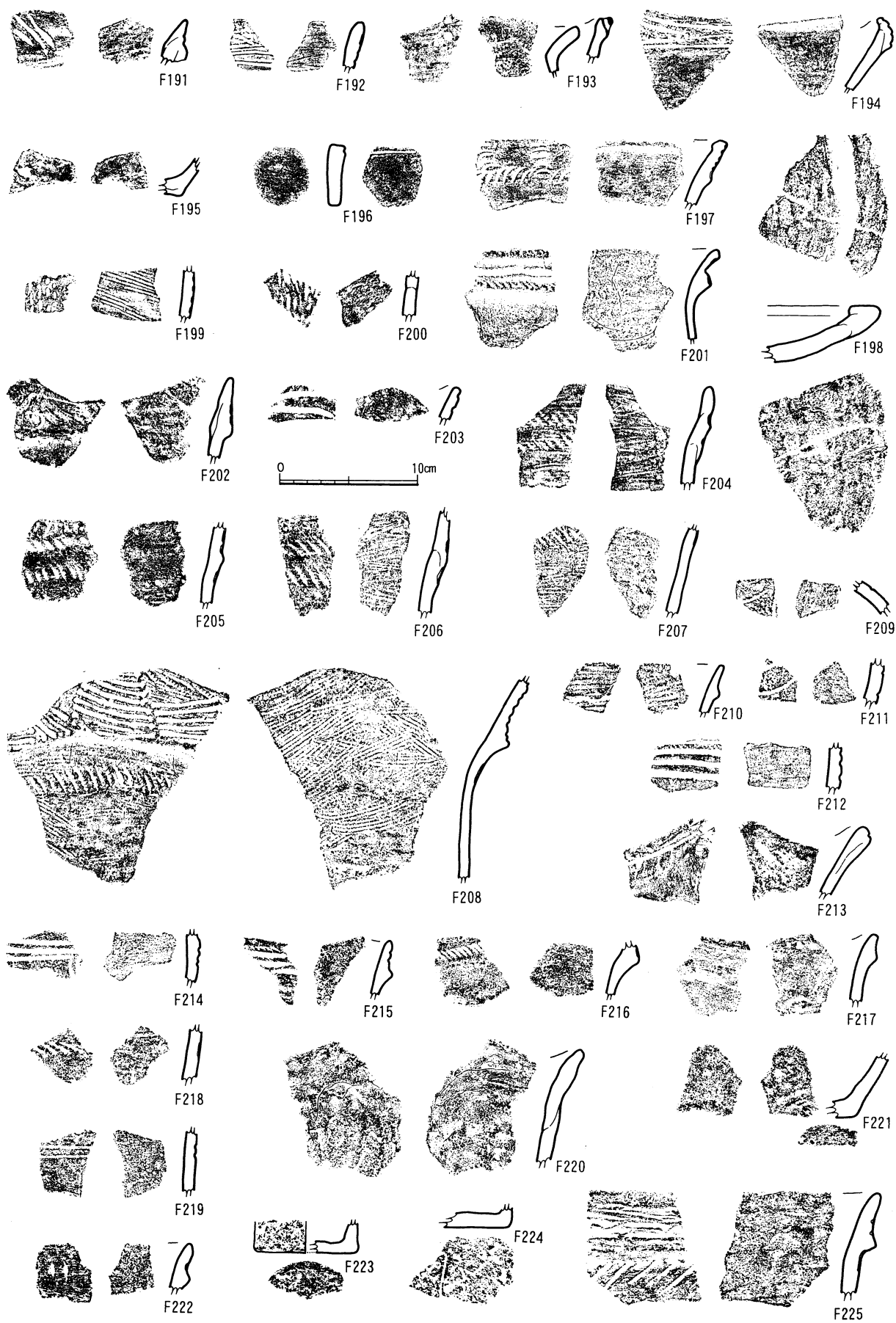
(41)142号土坑（第58図）

142号土坑は20L区で検出されたもので、径1m前後の略円形を呈する土坑である。南壁と東壁際に浅いピットがみられる。総数70点の遺物が出土しているが、多くは西平式土器である。

F721は頸部内面に屈曲の稜線がみられるものであるが、文様は本報告で中ノ原タイプとしたものに近い資料である。

(42)146号土坑（第59図）

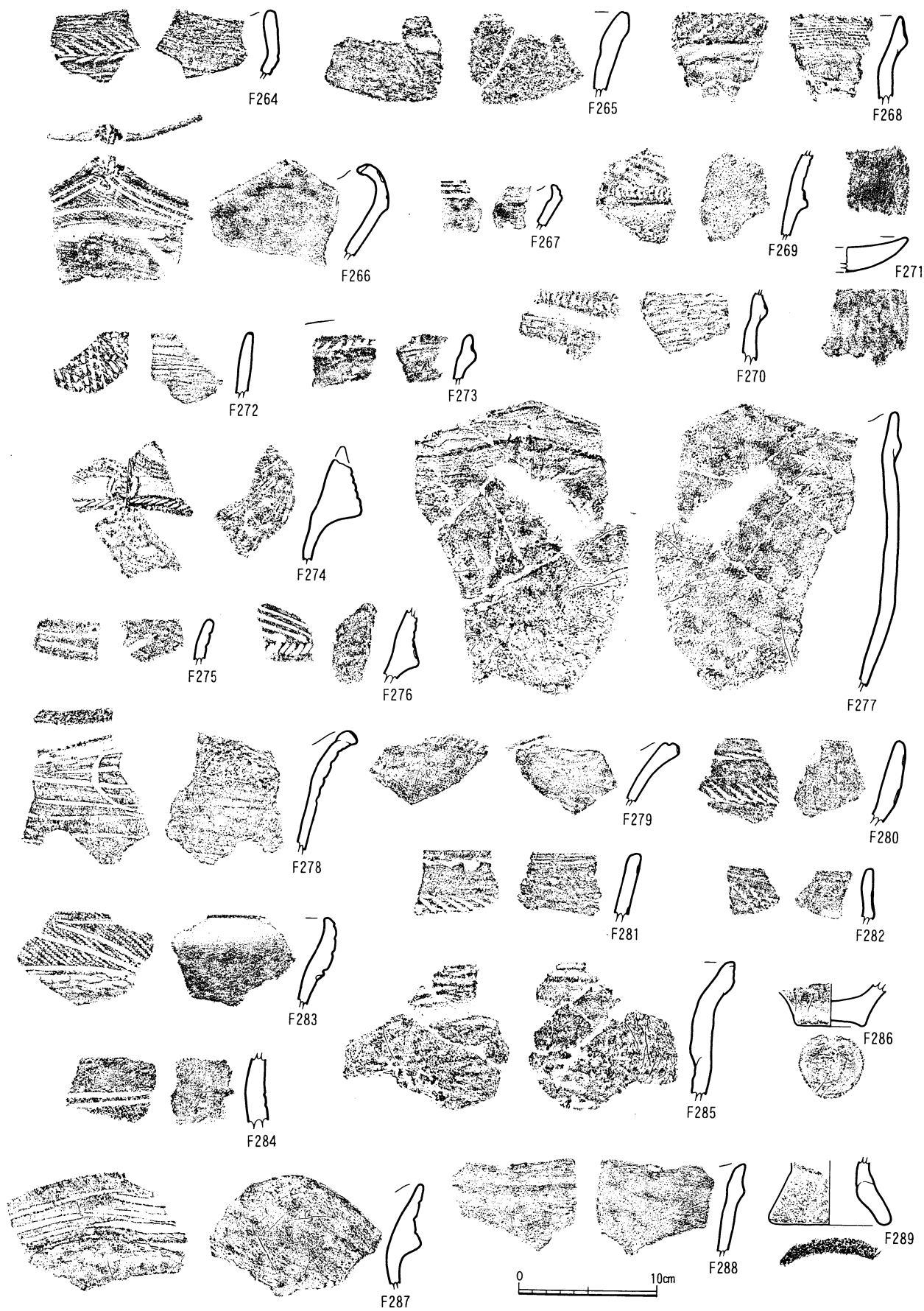
146号土坑は20L区の南端で検出されたもので、一部削平されているものの長軸が257cm、短軸が194cmと本遺跡検出の土坑の中では大形の土坑といえる。遺物は103点と多く、辛川式土器（F729～F731, F741, F743）や中ノ原タイプ（F732, F733, F737, F742）、西平式土器（F734～F736, F738）などの土器に加え、2点の円盤形土製加工品（F739, F740）などが出土している。



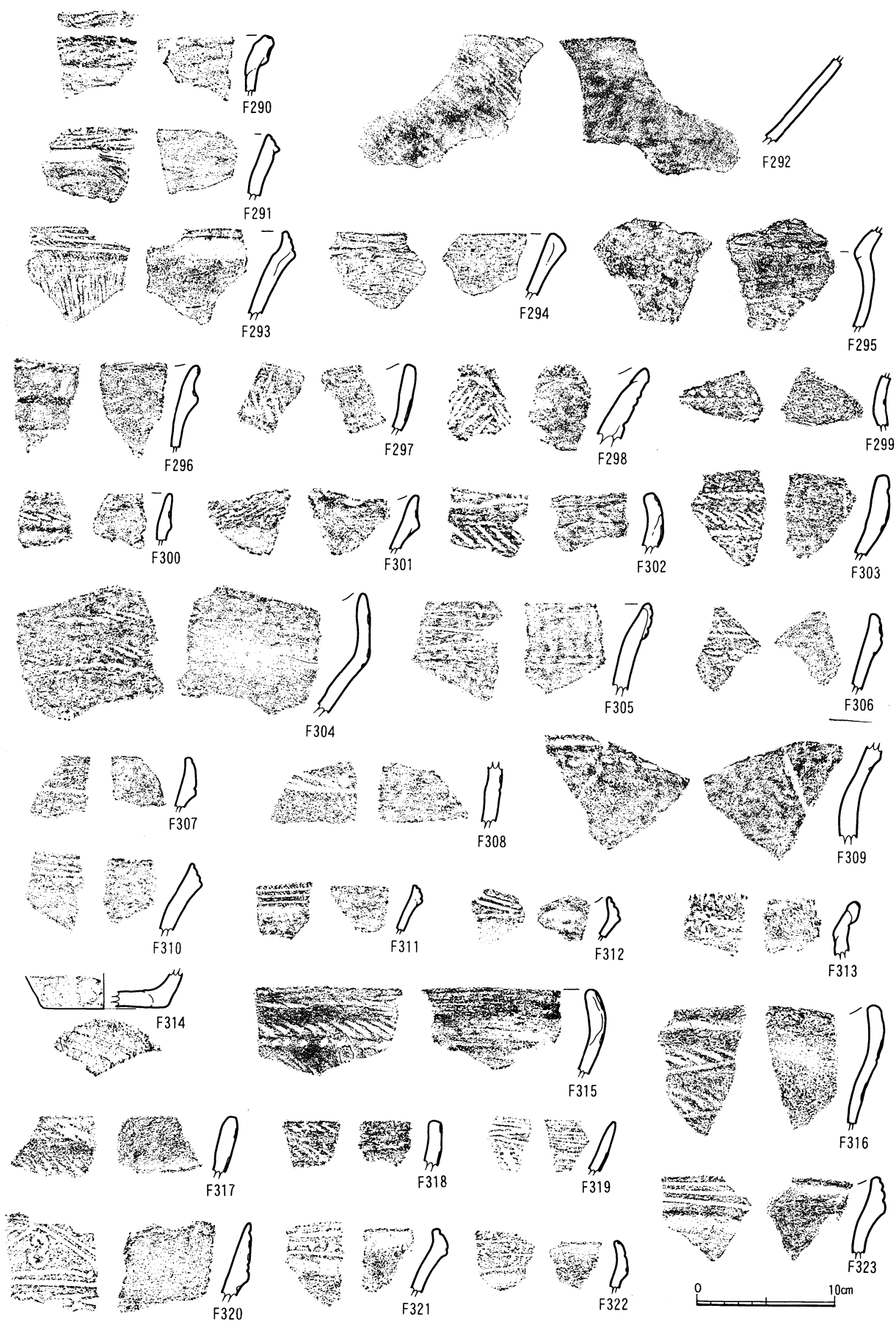
第60図 土坑出土の土器 1



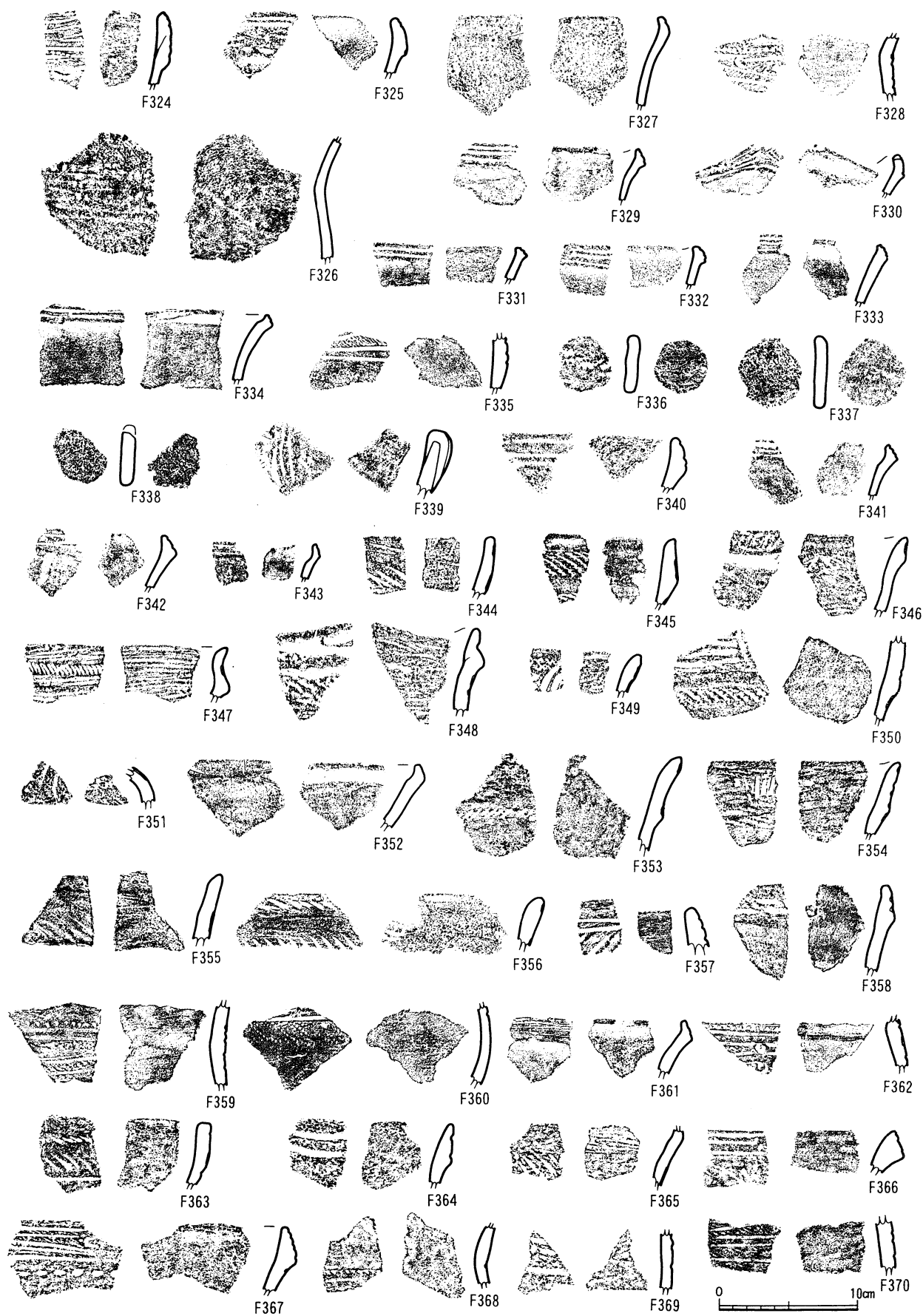
第61図 土坑出土の土器 2



第62図 土坑出土の土器 3



第63図 土坑出土の土器 4



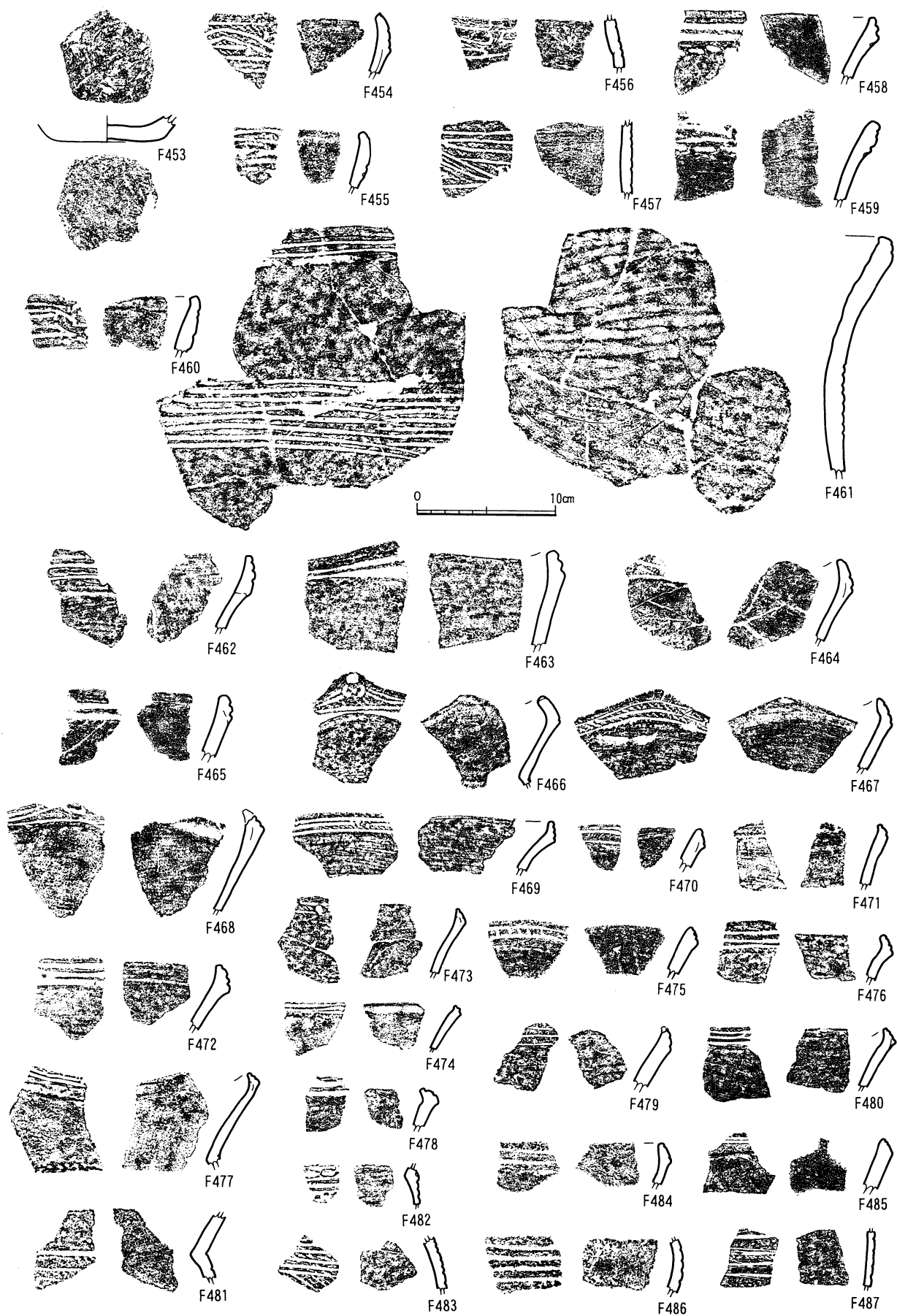
第64図 土坑出土の土器 5



第65図 土坑出土の土器 6



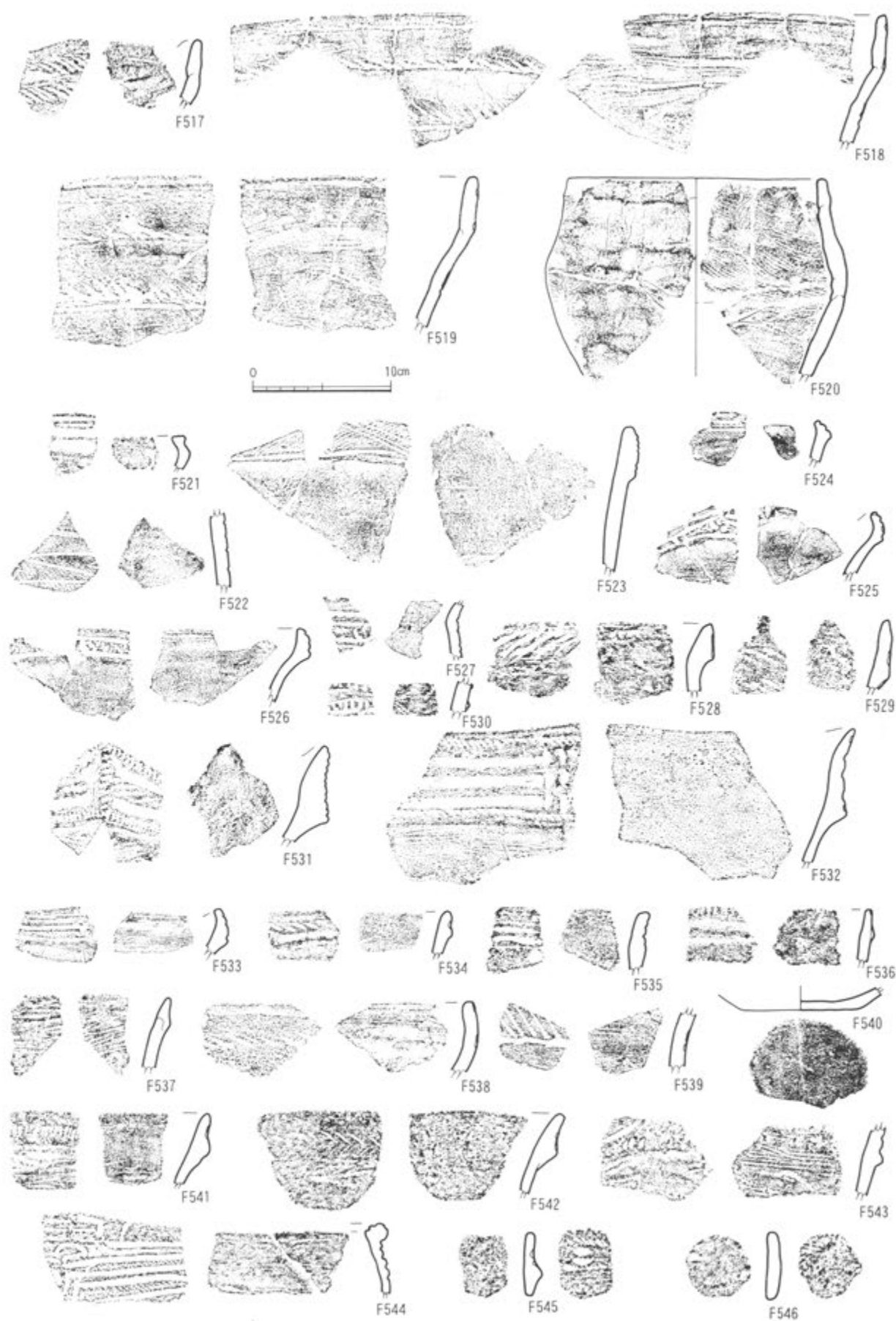
第66図 土坑出土の土器 7



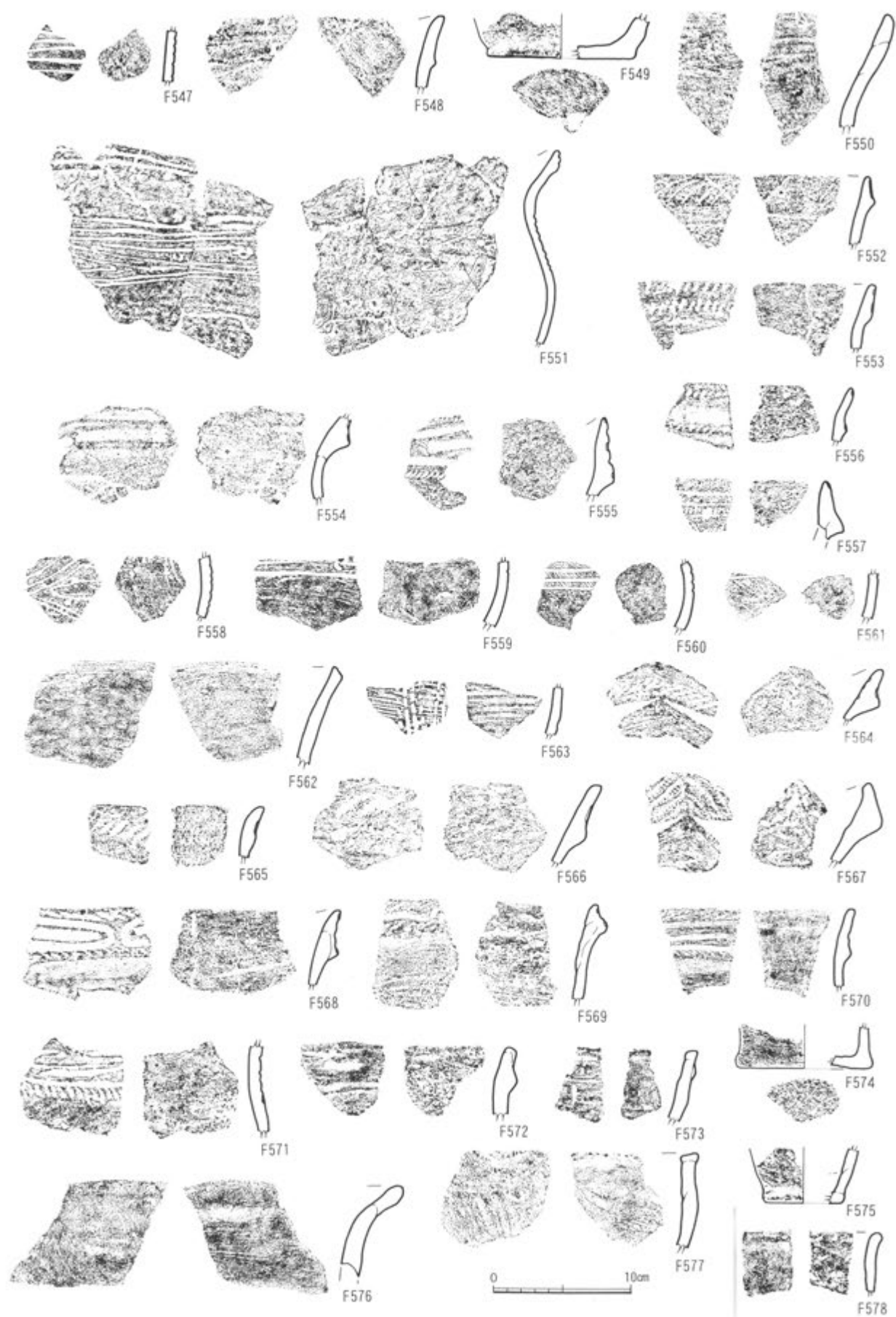
第67図 土坑出土の土器 8



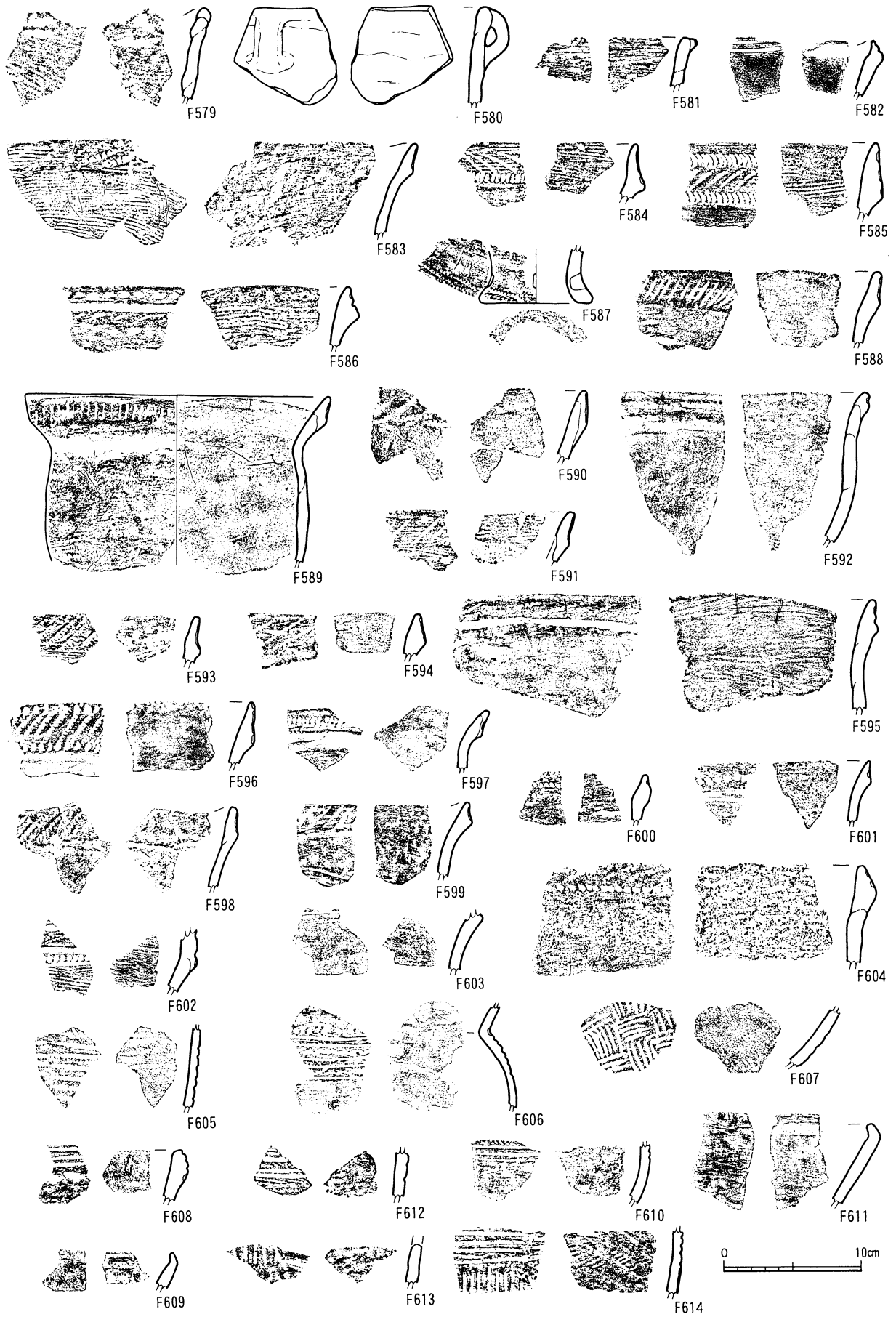
第68図 土坑出土の土器 9



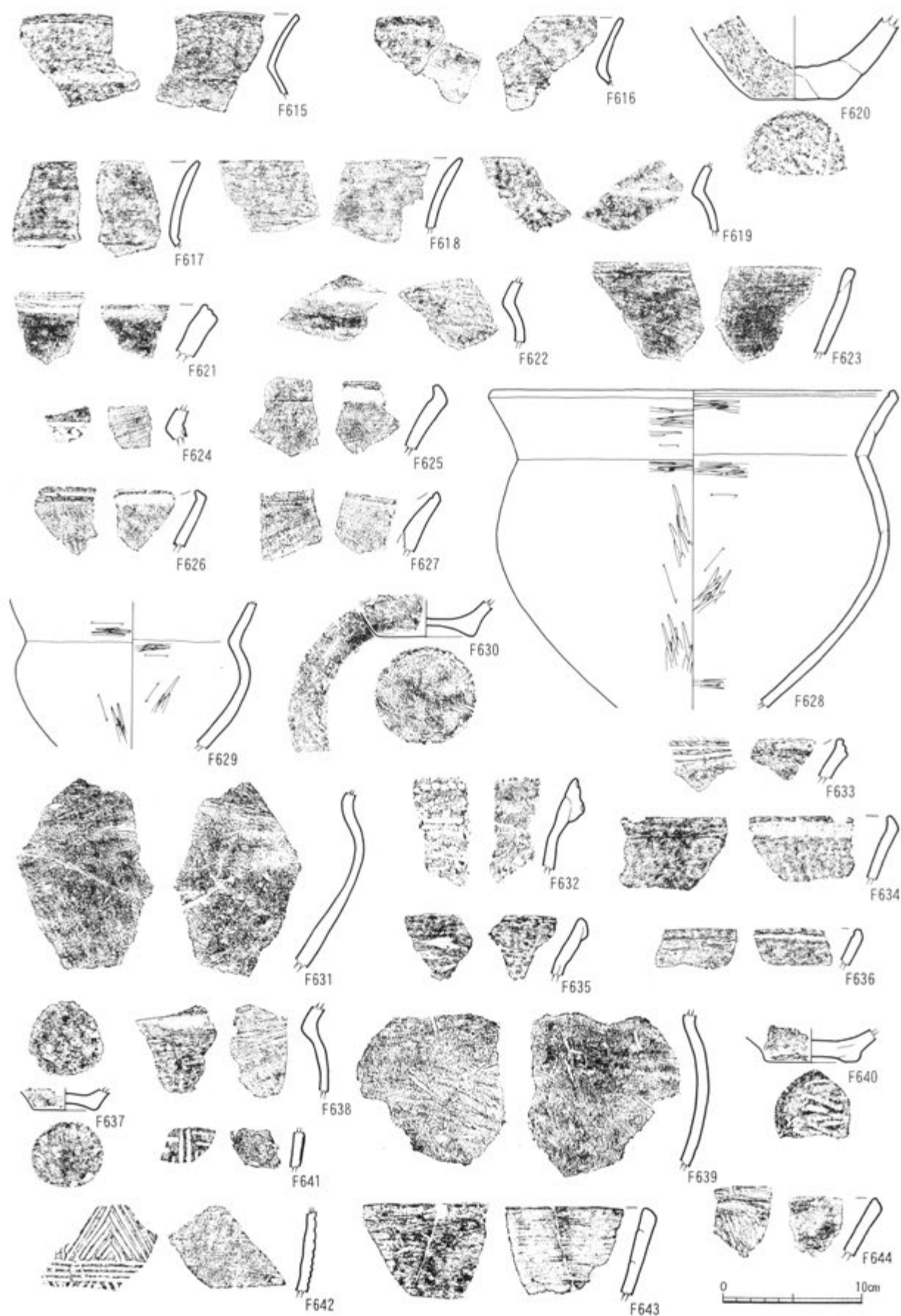
第69図 土坑出土の土器10



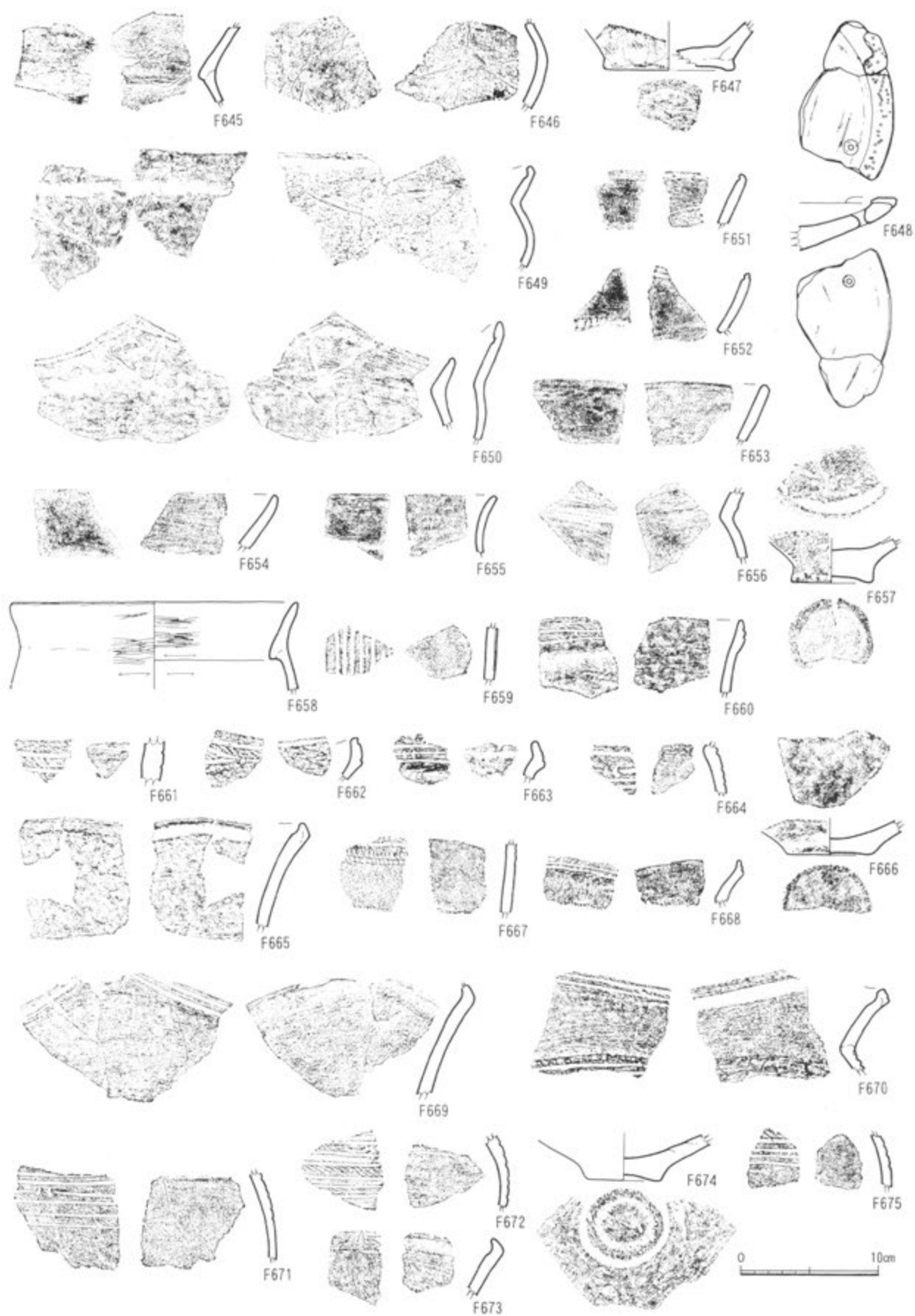
第70図 土坑出土の土器11



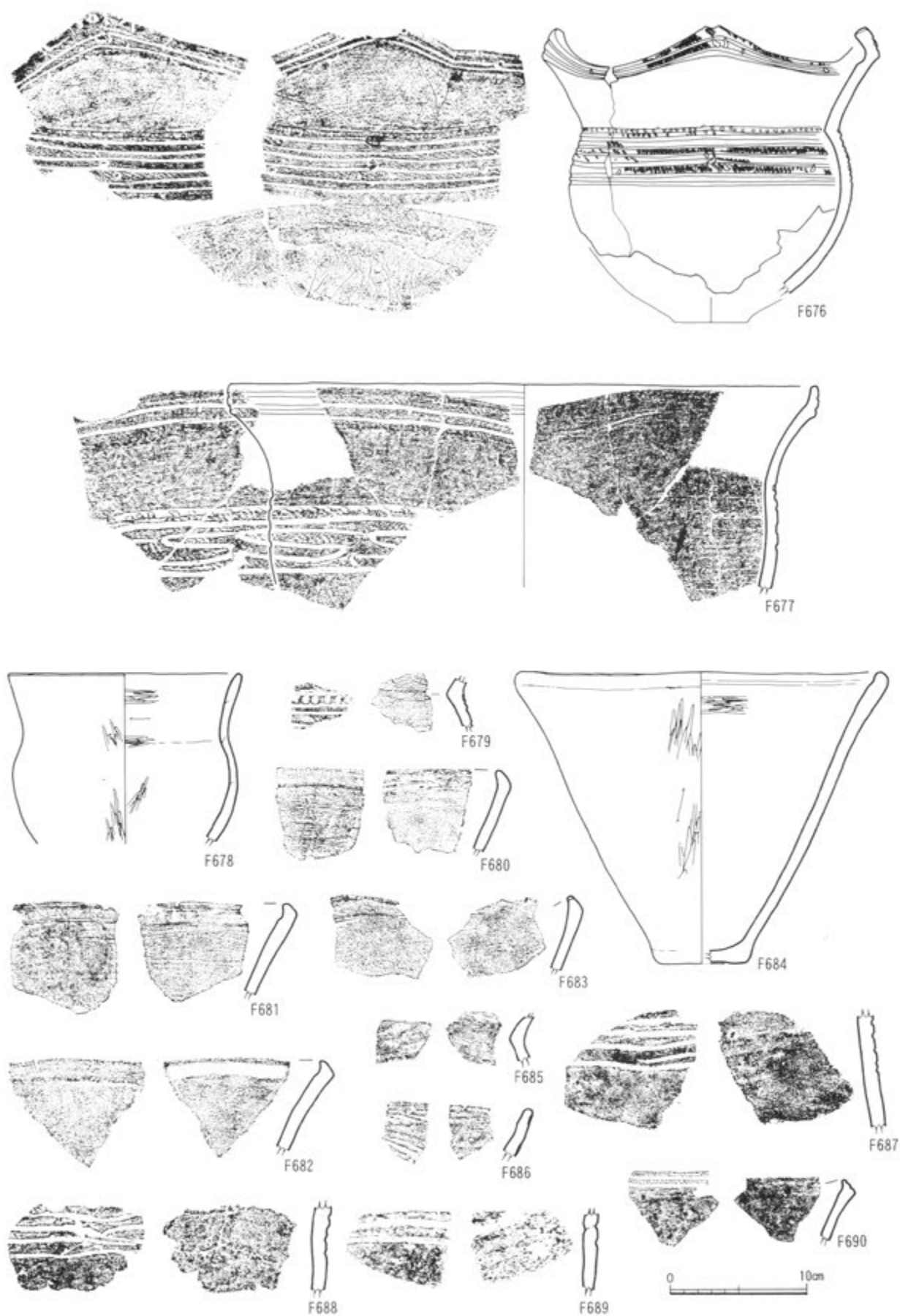
第71図 土坑出土の土器12



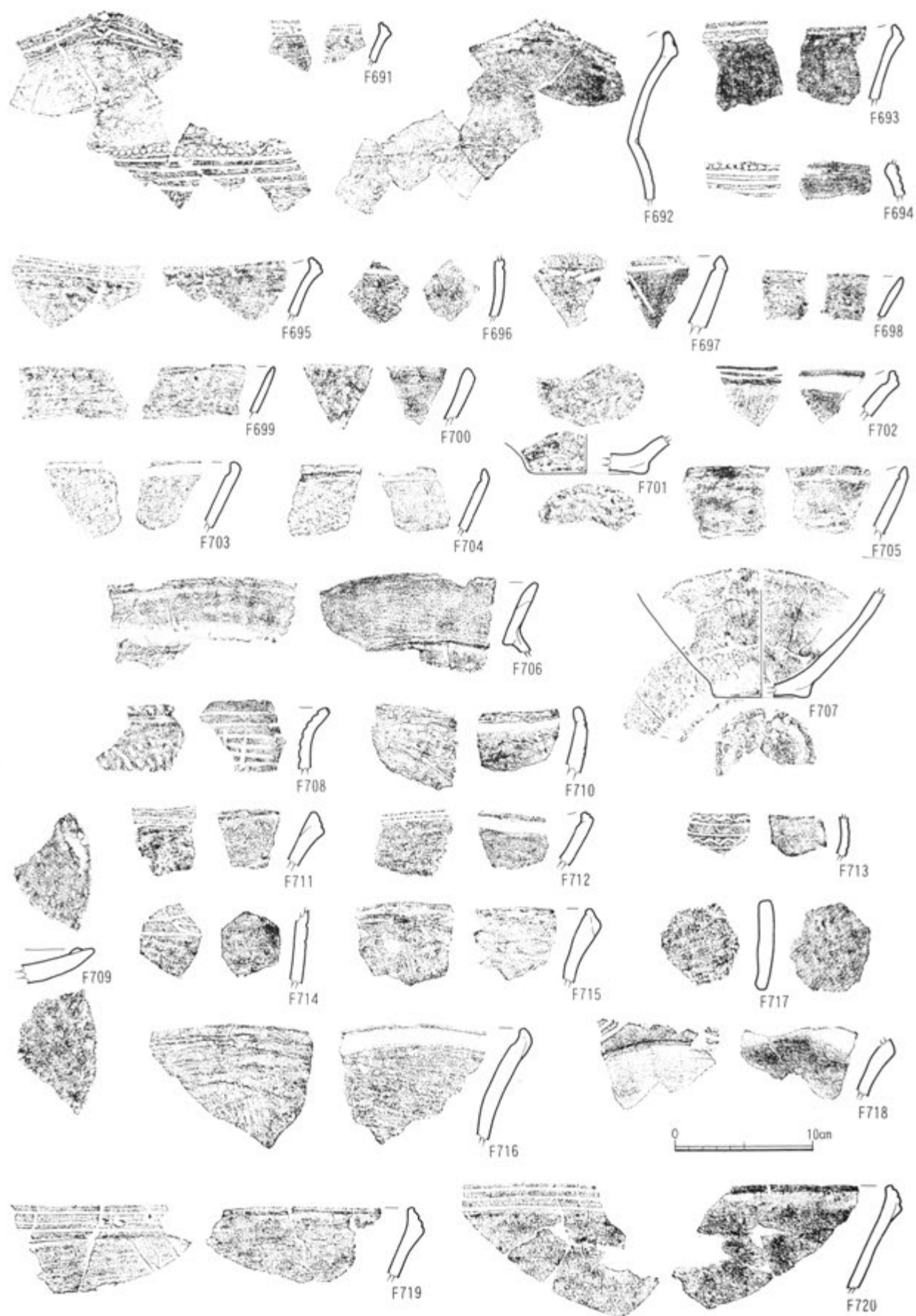
第72図 土坑出土の土器13



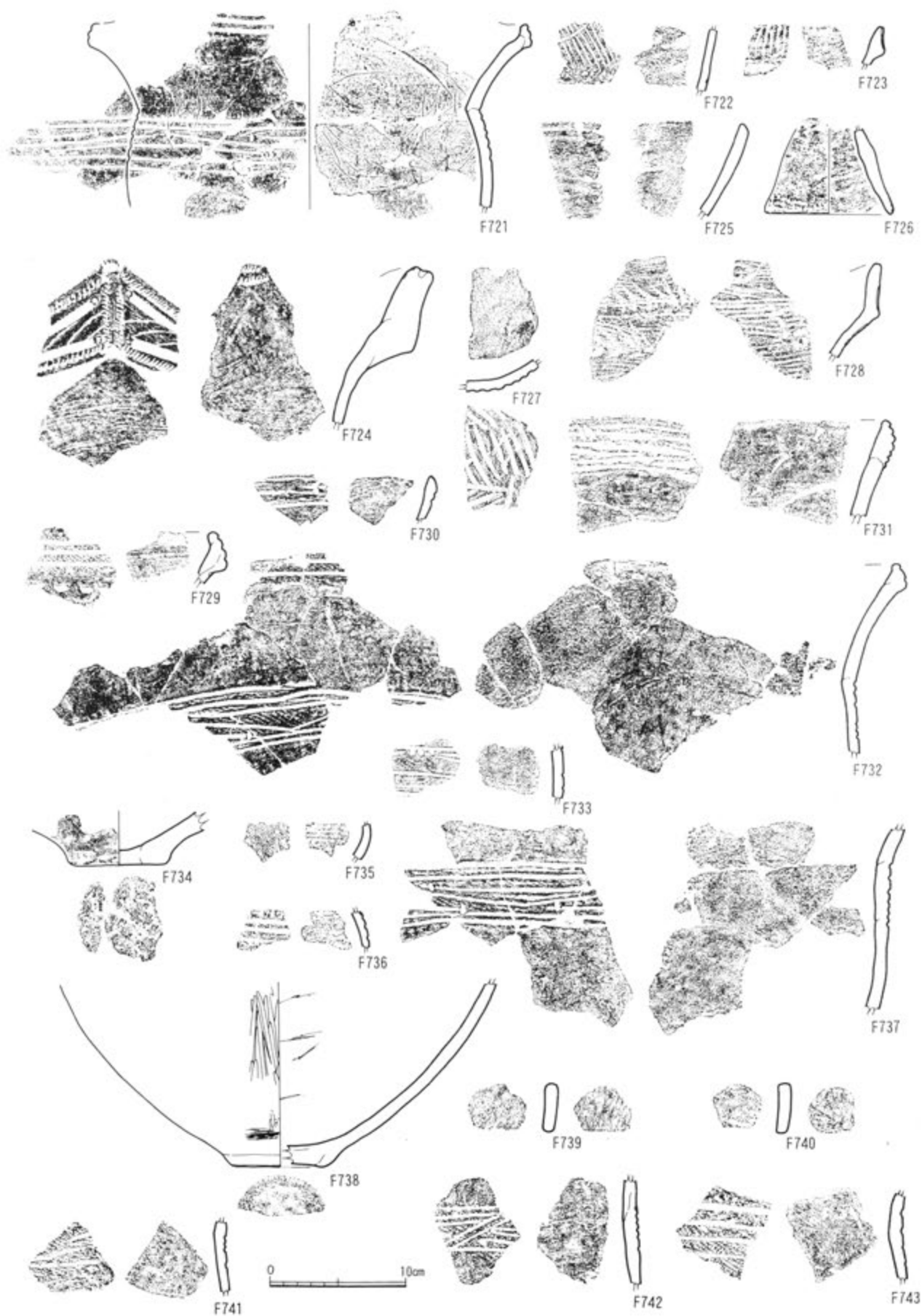
第73図 土坑出土の土器14



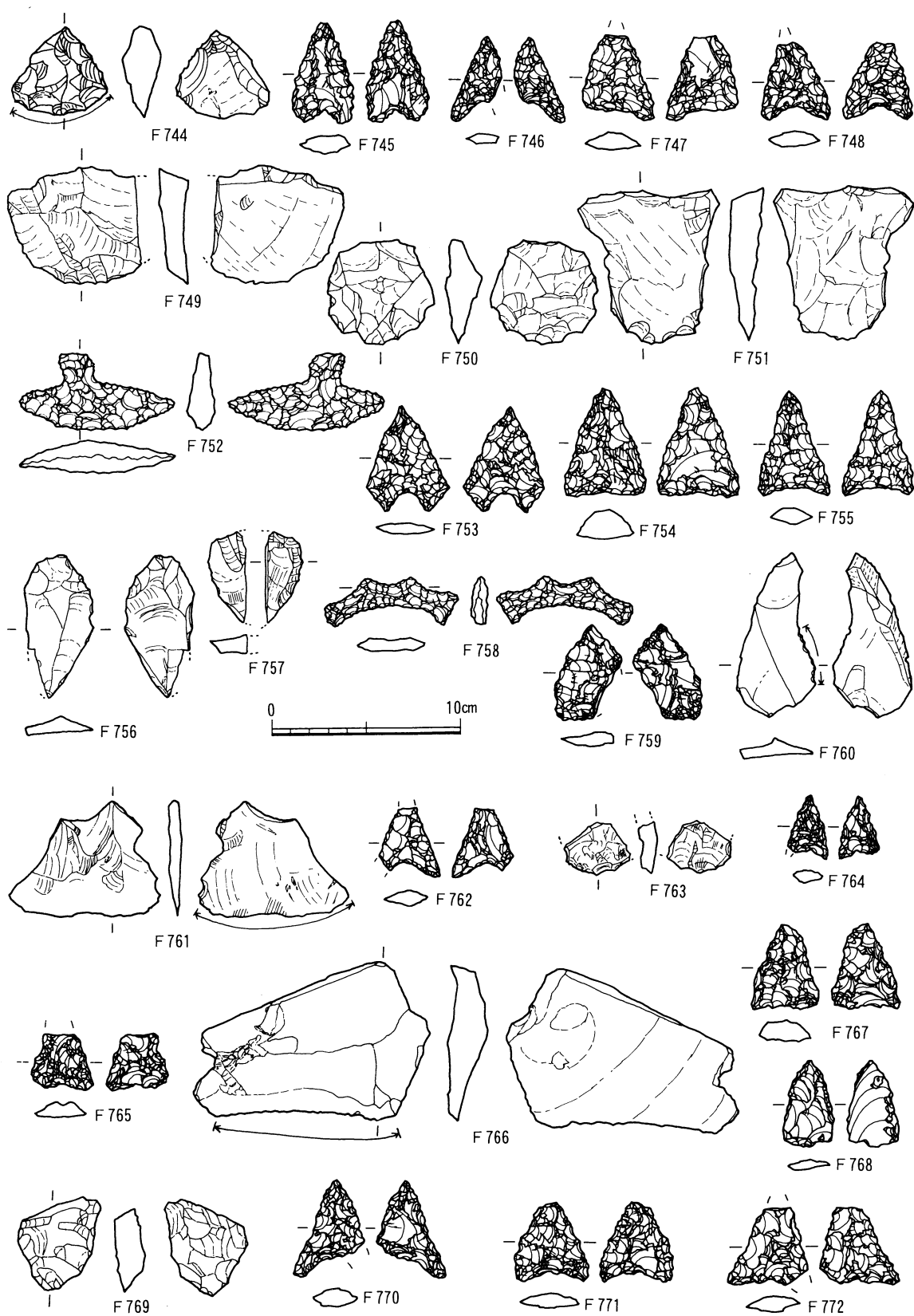
第74図 土坑出土の土器15



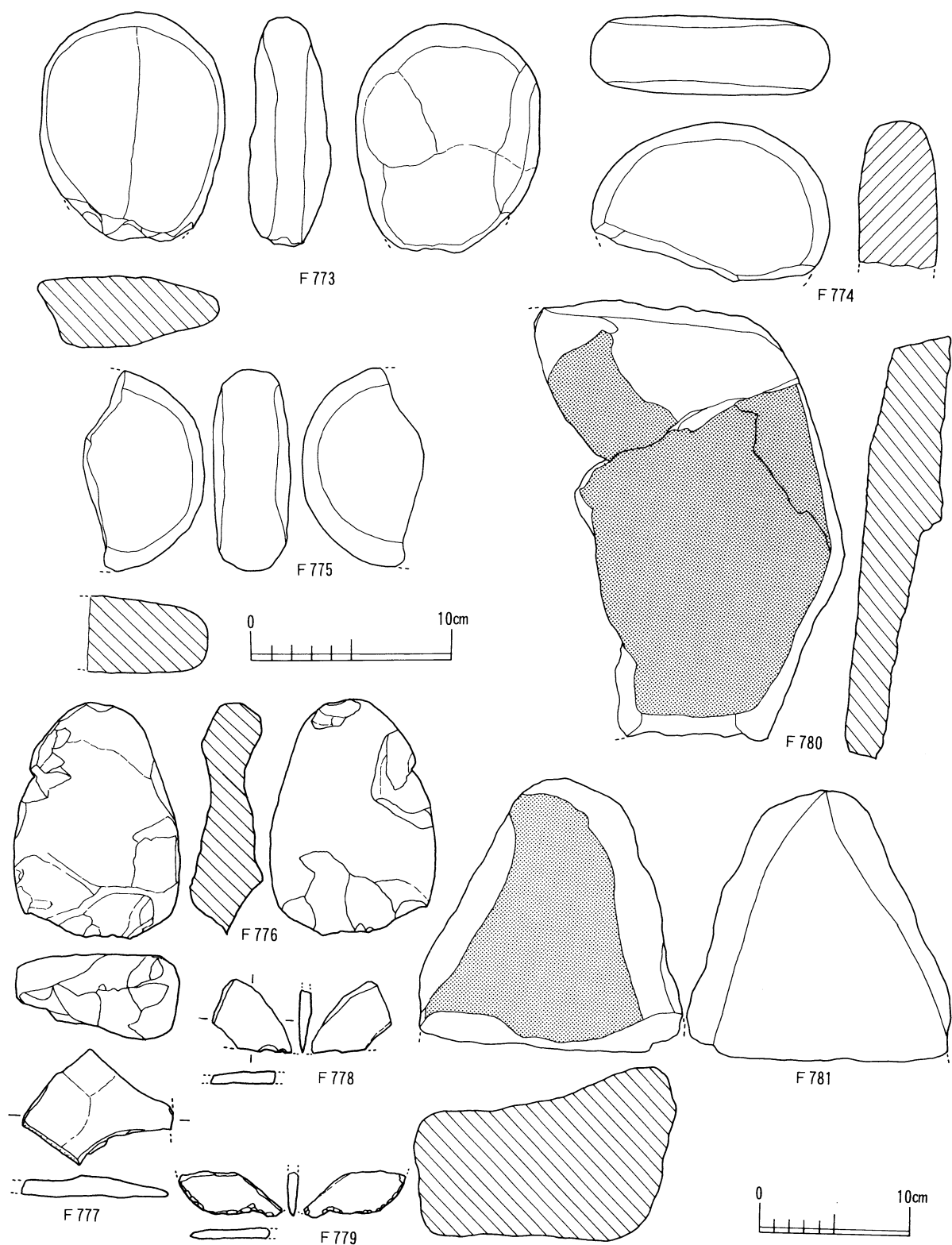
第75図 土坑出土の土器16



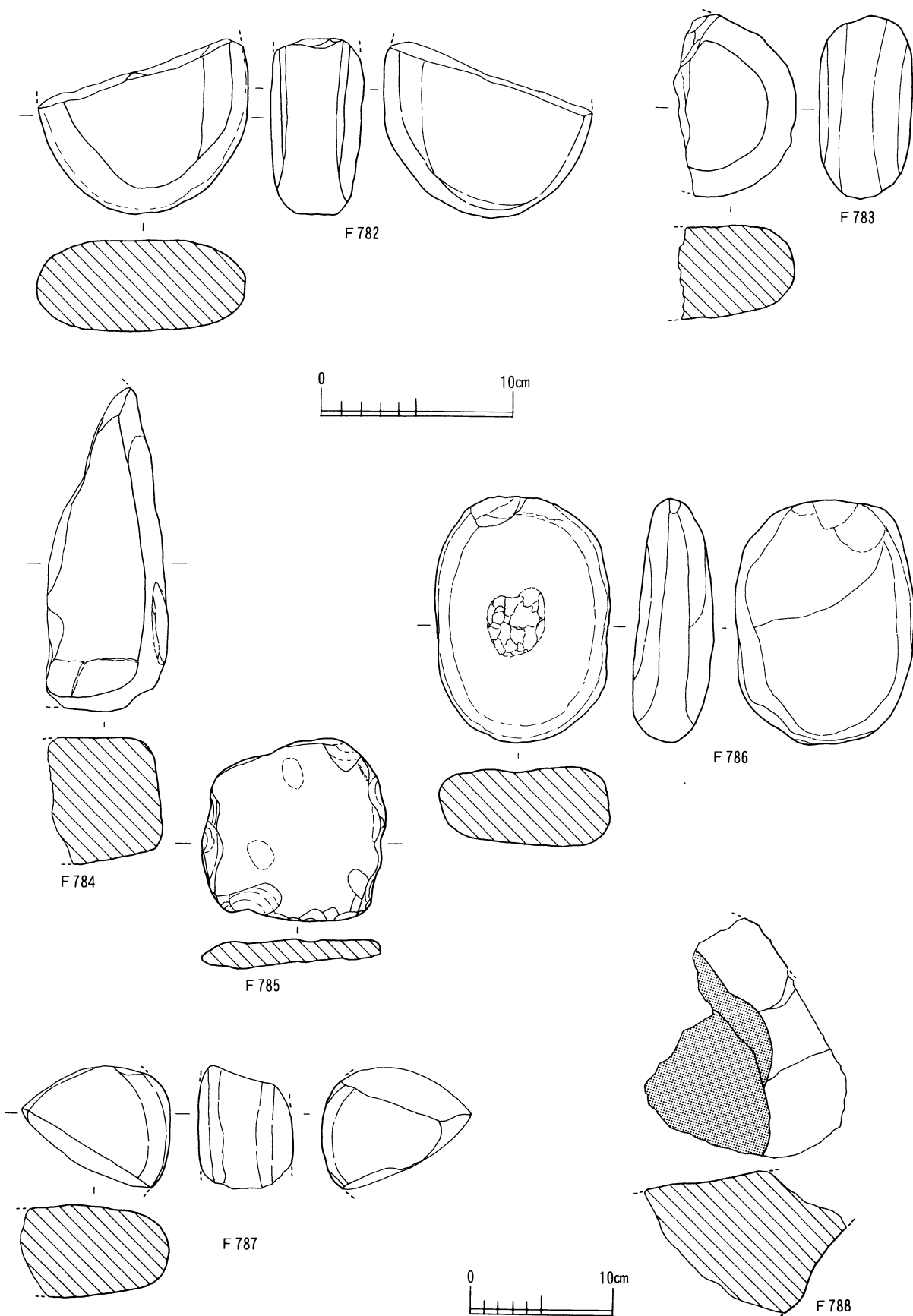
第76図 土坑出土の土器17



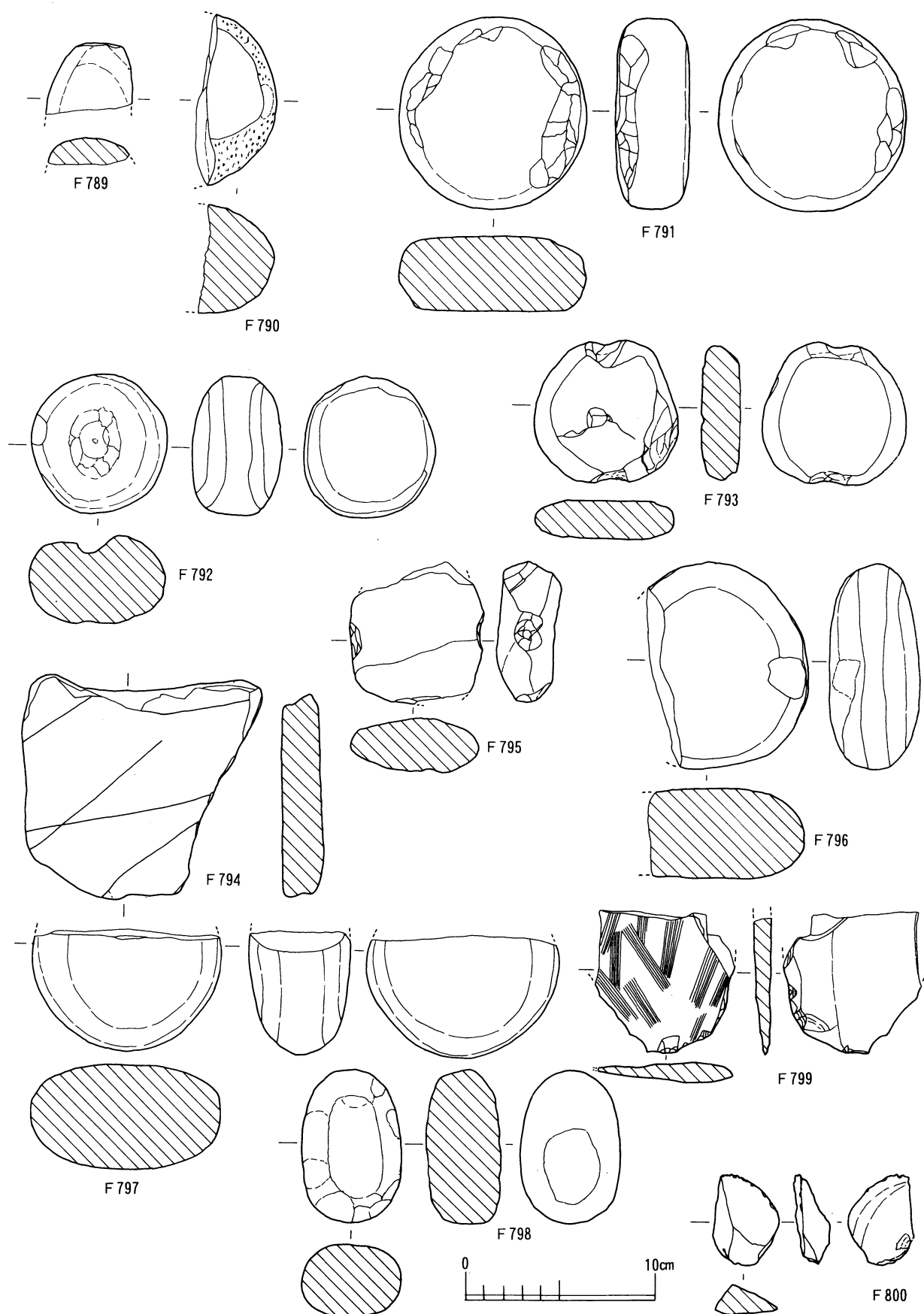
第77図 土坑出土の石器 1



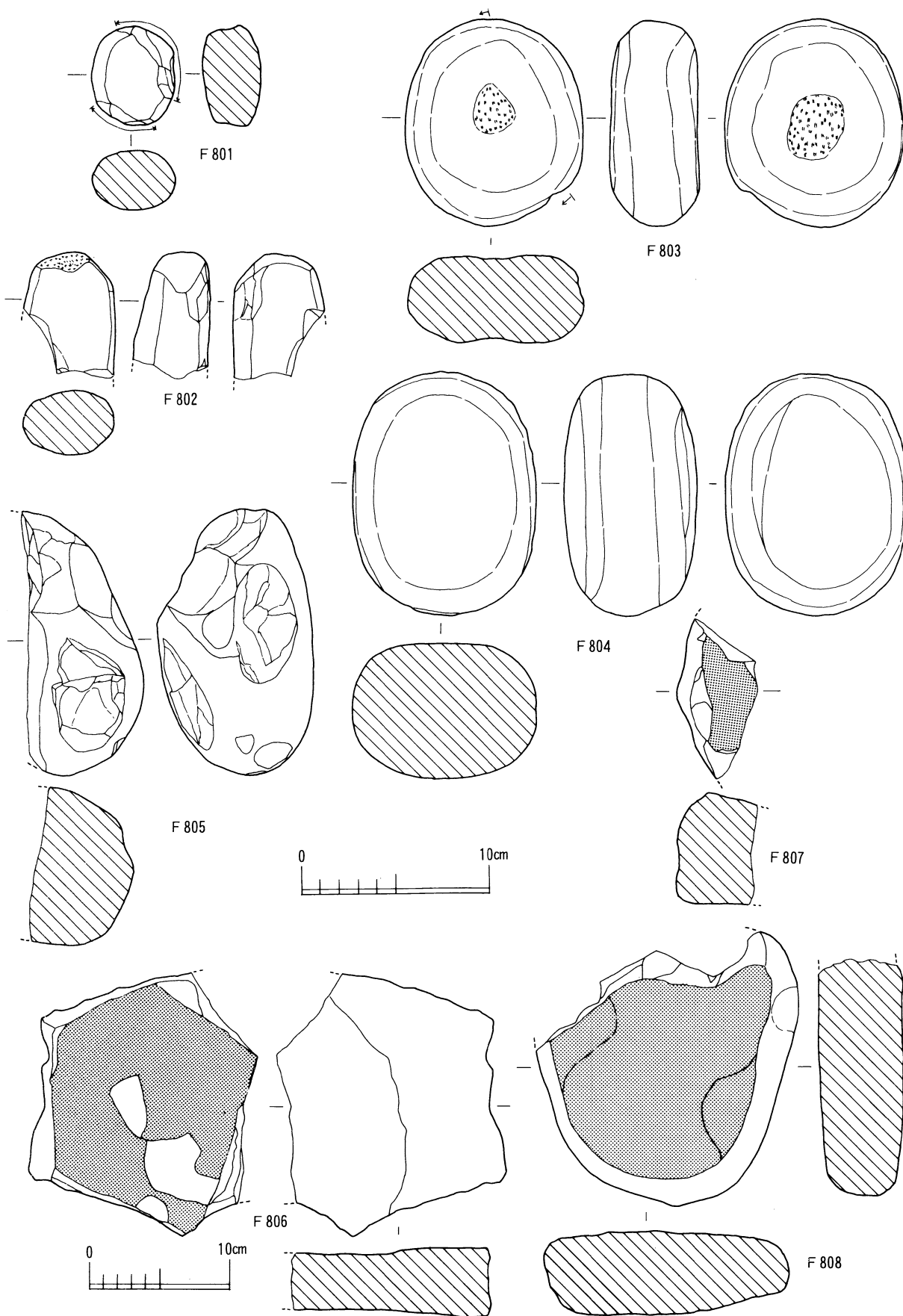
第78図 土坑出土の石器 2 F773~F779:1/3 F780, F781:1/4



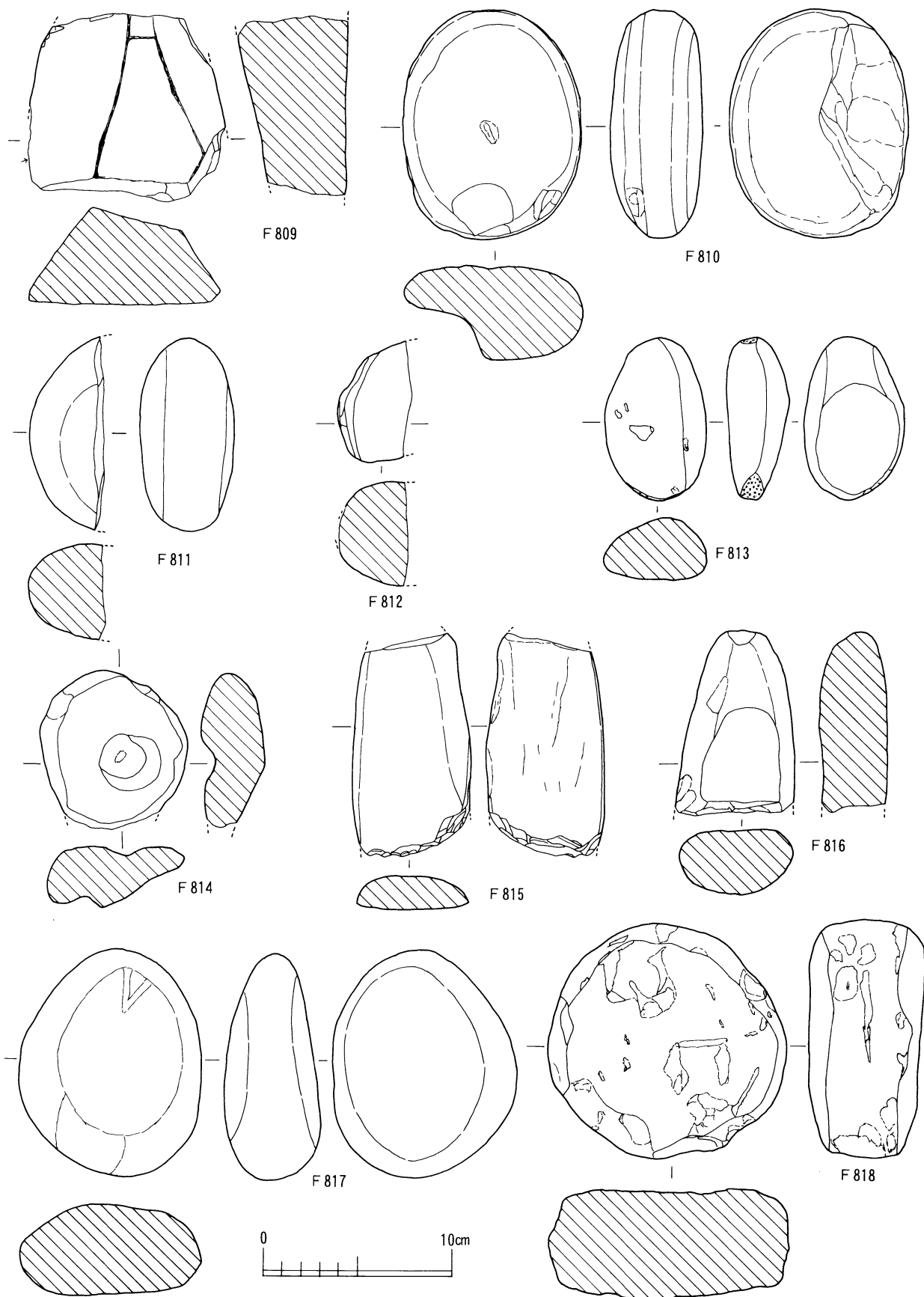
第79図 土坑出土の石器 3 F782~F787:1/3 F788:1/4



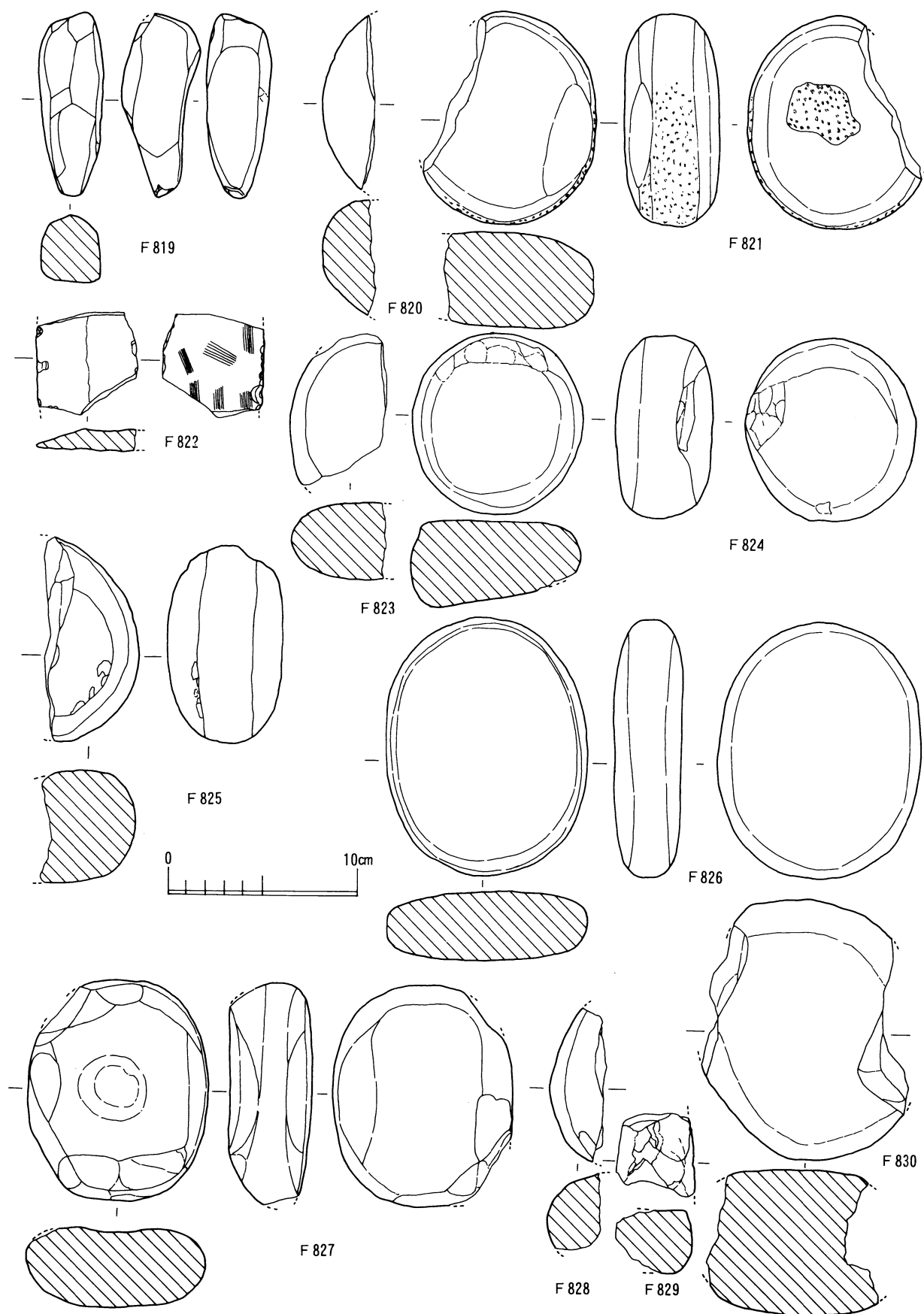
第80図 土坑出土の石器 4



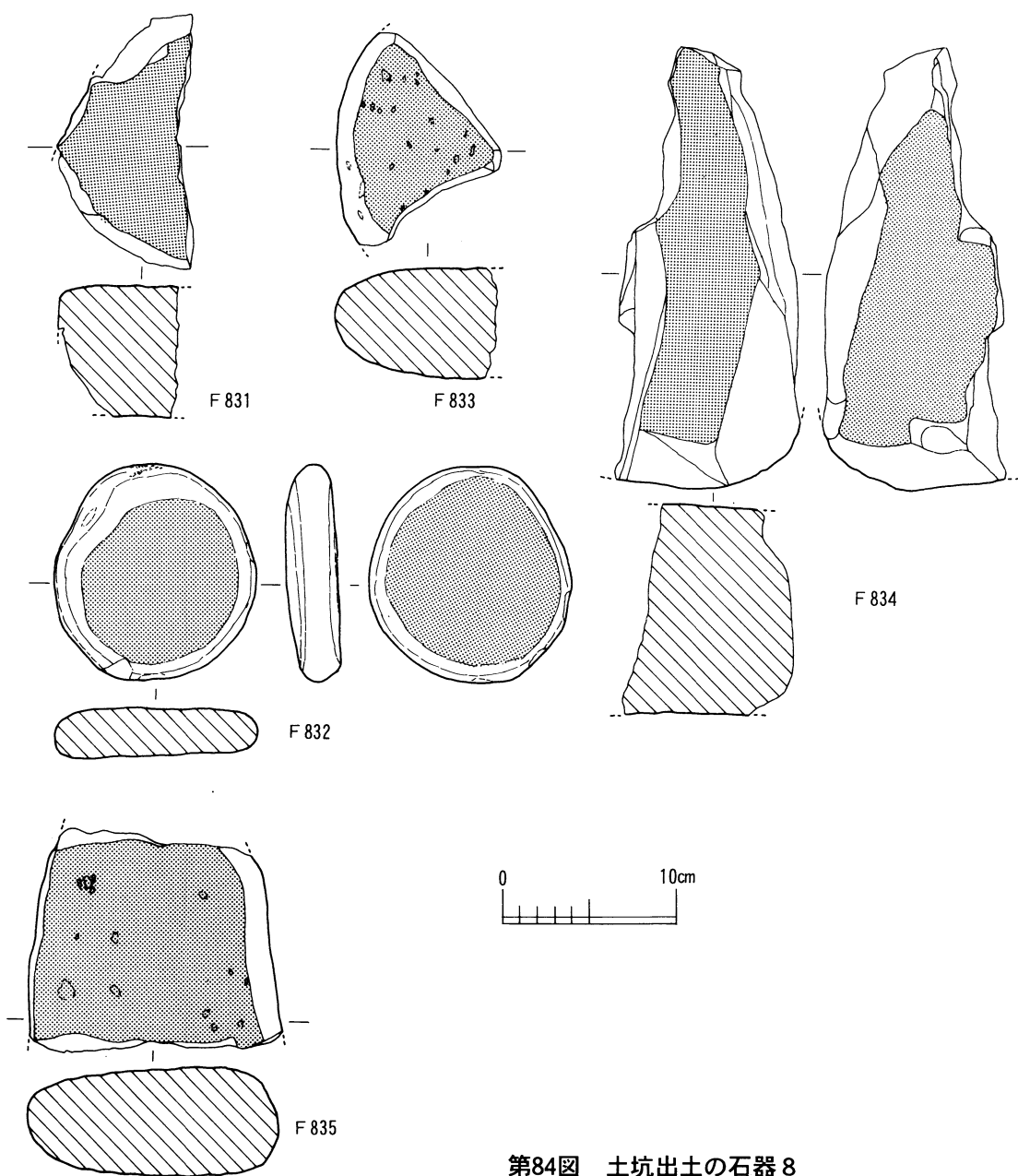
第81図 土坑出土の石器 5 F801~F805:1/3 F806~F808:1/4



第82図 土坑出土の石器 6



第83図 土坑出土の石器 7



第84図 土坑出土の石器 8

No.	検出区	平面形	最大長cm	最大幅cm	最大深cm	主な出土遺物とピット計測値	備 考	旧No.	遺物数	図No.
1	9 D	不定形	420	270	52	市来, 西平, メンコ, 磨石	重複の可あり	9 D 1	47	
							重複の可あり			
						PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm				39
2	9 D	不定形	330	130	75			9 D 3	1	
						P1 50 45 75				
						P2 70 56 38				
3	9 D	楕円形	108	52	52	台付皿		9 D 5	1	
						市来, 丸尾, 北久根山, 深浦	重複の可あり			
						PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm				
4	1 0 D	不定形	247	123	18			9 D 4	40	
						P1 93 72 17				
						P2 42 32 18				
						P3 41 33 17				
5	9 D	楕円形	168	105	37			9 D 2	0	
						PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm				
6	1 0 C	不定形	152	95	24			10 C 1	33	
						P1 73 46 9				
						P2 28 22 21				
										40
							調査区外へ			
7	1 1 A	楕円形	128	(64)	27	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm		11 A 1	0	
						P1 60 (45) 27				
8	1 1 C	不定形	134	65	12			11 C 2	5	
						石鏃	重複の可あり			
9	1 1 C	不定形	204	122	30	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm		11 B 1	0	
						P1 110 80 25				
						鐘崎, 剥片				
						PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm				
10	1 1 D	楕円形	180	122	49			11 D 1	27	
						P1 67 50 6				
						P2 60 58 11				
11	1 1 F	不定形	(154)	143	58		12号土坑と重複	11 F 3	42	
							11号土坑と重複			
12	1 1 F	楕円形	(113)	82	46	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm		11 F 5	2	
						P1 25 18 19				
13	1 1 F	長楕円	194	(100)	58			11 F 6	62	
							重複の可あり			
14	1 1 F	楕円形	194	75	38	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm		11 F 2	13	
						P1 116 75 17				
						PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm				41
15	1 1 F	不定形	176	130	51			11 F 4	7	
						P1 36 36				
						P2 47 38 34	2 段			
						市来, 磨石, 石皿				
16	1 1 F	不定形	81	63	37	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm		11 F 1	14	
						P1 28 17				
17	1 1 G	円形	80 (直径)		49	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm		11 G 1	0	
						P1 39 24 19				
18	1 2 A	長楕円	150	112	28			12 A 1	0	
19	1 2 C	不定形	180	97	47	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm		12 C 1	4	
						P1 40 24 12				42
20	1 2 C	長楕円	159	80	60			12 C 3	0	

第13表 土坑観察表 1

No.	検出区	平面形	最大長cm	最大幅cm	最大深cm	主な出土遺物とピット計測値	備 考	旧No.	遺物数	図No.
21	1 2 C	不定形	160	90	41	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 77 57 41		12 C 2	3	
22	1 2 D	長方形	202	83	65	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 46 43 65		12 D 1	89	
23	1 3 D	不定形	170	146	18			13 D 1	61	42
24	1 2 D	不定形	129	105	45	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 69 40 15		12 D 2	39	
25	1 2 E	略方形	113	93	44	石皿		12 E 1	1	
26	1 2 F	不定形	133	94	39			12 F 1	1	
27	1 2 F	不定形	397	185	67	市来, 西平, 石鏃, 礫器 PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 185 112 25		12 F 2	173	
28	1 3 C	略長方形	70	40	34			13 C 3	3	
29	1 3 C	略長方形	116	72	31	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 56 24 8 P2 11 18		13 C 1	4	43
30	1 3 C	楕円形	84	64	29	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 59 35 24・20	2 穴	13 C 2	3	
31	1 3 D	楕円形	70	53	29	石皿	2 段	13 D 2	1	
32	1 3 E	略三角形	103	81	28			13 E 1	0	
33	1 3 E	楕円形	155	87	12	磨石		13 E 2	0	
34	1 3 E	不定形	207	153	16	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 170 60 9		13 E 3	124	
35	1 3 E	不定形	185	113	44	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 28 44		13 E 4	8	
36	1 3 F	略円形	136	111	32	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 60 46 10		13 F 10	13	
37	1 3 F	略円形	(353)	(322)	69	市来, 丸尾, 納曾, 西平, 石鏃 PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 30 23 38 P2 26 23 23 P3 30 28 P4 40 32 40 P5 78 36 35 P6 45 32 23 P7 44 38 36 P8 23 28 P9 24 24	P 7 と重複 P 6 と重複	13 F 1	88	44
38	1 3 F	略長方形	194	127	71	市来, 石匙, 剥片		13 F 3	7	
39	1 3 F	略卵形	184	(134)	65	市来, 丸尾, 辛川, 石核, 剥片	40号と重複	13 F 4	261	
40	1 3 G	略方形	158	127	43	市来, 鐘崎, 西平	39号と重複	13 F 5	19	45
41	1 3 G	長方形	(145)	68	23		40, 42号と重複	13 F 6	0	

第14表 土坑観察表 2

No.	検出区	平面形	最大長cm	最大幅cm	最大深cm	主な出土遺物とピット計測値	備考	旧No.	遺物数	図No.
42	1 3 G	略卵形	68	53	10		41土坑P609重複	13 F 7	0	45
43	1 3 G	略長方形	189	100	37	剥片	P606と重複	13 F 8	58	
44	1 3 G	円形?	(124)	(68)	35		溝で半欠	13 G 1	6	
45	1 4 B	溝状	198	61	50			14 B 1	2	
46	1 4 C	略長方形	(134)	108	12	砥石	47号土坑と重複	14 C 2	24	
47	1 4 C	楕円形	122	98	24		46号土坑と重複	14 C 1	11	46
48	1 4 C	楕円形	157	134	32	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 65 52 14		14 C 3	54	
49	1 4 D	溝状	235	73	18	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 44 31 5 P2 57 48 6		14 D 2	58	
50	1 4 D	楕円形	88	55	11			15 D 2	2	
51	1 4 D	溝状	203	133	47	市来, 丸尾, 納曽, 石鏃, 磨石 PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 156 103 11	重複の可あり	14 D 10	1261	
52	1 4 D	楕円形	119	98	26	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 21 13 P2 33 19 7		14 D 3	1	47
53	1 4 E	楕円形	150	125	21			14 E 1		
54	1 4 E	楕円形	(314)	267	63	丸尾, 納曽, 辛川, メンコ, 石鏃 PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 100 38 11 P2 98 60 21 P3 53 34 45 P4 28 17 21	2段	14 E 4	641	
55	1 4 E	不定形	(219)	115	64	磨石 PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 13 37 P2 13 39	斜 斜	14 E 5	131	
56	1 4 E	不定形	134	120	61	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 30 25 44		14 E 0	36	
57	1 4 F	楕円形	240	133	55	丸尾, 北久根山, 西平, 石鏃 PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 151 94 38		14 F 3	98	48
58	1 4 F	不定形	217	171	39	石核, 剥片 PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 149 107 19		14 F 4	151	
59	1 5 B	略長方形	88	47	15			15 B 2	312	
60	1 5 B	楕円形	82	55	12			15 B 1	68	
61	1 5 C	楕円形	156	99	12	砥石		15 C 2	10	
62	1 5 D	卵形	108	80	12			15 D 5	6	
63	1 5 D	溝状	252	84	41	丸尾, 石鏃, 剥片 PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 68 50 17 P2 43 32 17 P3 17 12 26		15 D 1	188	

第15表 土坑観察表 3

No	検出区	平面形	最大長cm	最大幅cm	最大深cm	主な出土遺物とピット計測値	備考	旧No	遺物数	図No
64	1 5 B	卵形	108	87	29			15 E 3	0	48
65	1 5 B	不定形	238	90	38	辛川, 西平, 剥片, 石核	2 段	15 E 5	176	
66	1 5 B	不定形	298	253	61	丸尾, 辛川, 西平, 石鏃, 石核 丸尾, 辛川, 西平, 石鏢, 石皿 PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm		15 E 4	372	
67	1 5 F	不定形	263	133	58	P1 53 45 12 P2 145 88 35		15 F 2	320	49
68	1 5 F	楕円形	157	90	23			15 F 1	3	
69	1 5 H	楕円形	88	60	57			15 H 1	0	
70	1 5 H	略円形	160	137	48	市来, 北久根山, 深浦, 磨石		15 H 2	69	50
71	1 6 C	卵形	108	95	49	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 25 18 10 P2 38 22 19		16 C 2	13	
72	1 6 F	長方形	80	53	46			16 F 1		
73	1 6 I	略円形	86	80	24			16 I 1		51
74	1 7 D	楕円形	132	96	108	丸尾, 辛川, 西平, 剥片, 石核 PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 84 67 98		17 D 2	90	
75	1 7 F	略方形	170	156	91	市来, 丸尾, 西平, 磨石, 石皿		17 F 1	747	
76	1 7 F	長方形	171	112	46	納曾, 辛川, 西平, 石鏃, 石核		17 F 2	16	50
77	1 8 D	不定形	262	154	48	市来, 丸尾, 西平, 叩石, 剥片 PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 86 62 10 P2 42 26 36 P3 35 33 17 P4 16 26		18 D 1	498	
78	1 8 D	不定形	129	101	15	市来, 使用痕のある剥片		18 D 3	43	
79	1 8 D	長卵形	204	121	8			18 D 4	4	51
80	1 8 D	略円形	234	218	22			18 D 5	70	
81	1 8 E	長方形	143	93	20	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 64 19 20	斜	18 E 1	78	
82	1 8 E	不定形	141	(114)	20	メンコ, 市来 PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 36 22 22 P2 30 19 28	現代溝で半削平 2 段	18 E 2	196	51
83	1 8 F	長方形	123	116	10			18 F 1	67	
84	1 8 F	卵形	81	51	35	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 17 13 18	斜 重複の可あり	18 F 5	1	
85	1 8 F	不定形	122	117	34	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 40 29 4 P2 36 29 19 P3 27 11 7	斜	18 F 4	75	51
86	1 8 F	略円形	115	96	22	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 22 14 9	斜	18 F 2	16	
87	1 8 F	略方形	109	89	12			18 F 3	14	

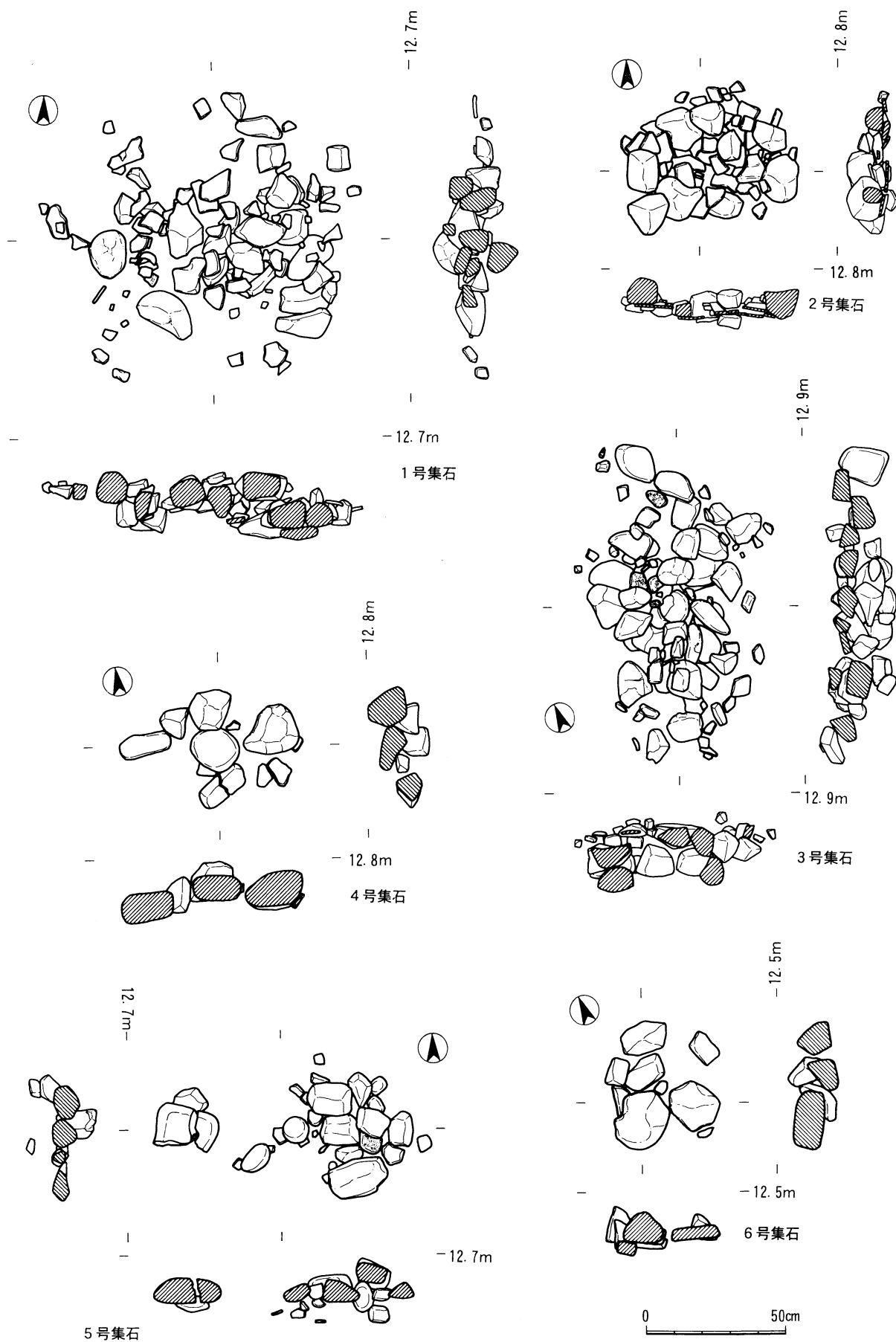
第16表 土坑観察表 4

No.	検出区	平面形	最大長cm	最大幅cm	最大深cm	主な出土遺物とピット計測値	備考	旧No.	遺物数	図No.
88	1 8 F	略円形	66	59	9			18F 7	22	
89	1 8 F	卵形	108	88	27			18F10	3	
90	1 8 F	楕円？	(146)	123	20			18F11	0	
						市来				
						PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm				
91	1 8 F	楕円形	224	133	29			18F12	116	
						P1 62 40 16				
						P2 23 20 31				
92	1 9 F	楕円形	176	98	11			19F 3	0	
93	1 9 F	円形	69	68	4			19F 2	0	52
94	1 9 F	卵形	106	90	11			19F 1	0	
95	1 9 F	不定形	(89)	87	20			19F 4	0	
						PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm				
						P1 48 44 9	現代溝で削平			
						納曽，西平				
96	1 9 E	略円形	110	93	35			19E 1	144	
						PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm				
						P1 48 28 5				
97	1 9 D	略円形	98	85	19	納曽，西平		19E 2	57	
						PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm				
98	2 1 C	長方形	123	87	82			21C 2	14	
						P1 43 40 60・23	2 穴			
						P2 42 40 47				
99	2 1 C	略方形	86	74	16			21C 1	44	
100	2 1 C	不定形	111	84	26			21C 4	0	
						PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm				
						P1 27 17 10				
101	2 1 C	楕円形	(205)	151	72			21C 3	11	53
						PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm				
						P1 38 32 21				
						市来，無文				
102	2 1 D	楕円形	251	135	26			21D 1	369	
						PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm				
						P1 133 58 9				
103	2 1 D	卵形	106	85	26			21D 2	6	
						石皿				
104	2 1 D	楕円形	110	62	50			22D 1	11	
						PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm				
						P1 40 33 34	2 段			
105	2 1 F	略円形	130	113	39			21F 4	0	
106	2 1 F	略三角形	169	131	14				0	
107	2 2 F	略方形	140	131	47	市来		22F 2	57	
108	2 1 F	略方形	167	148	56	市来		21F 3	15	
109	2 2 F	略円形	163	(113)	52	市来	半壊	22F 1	141	
										54
110	2 2 F	溝状	293	73	24			22F 3	0	
111	2 1 F	卵形	121	93	40			21F 2	61	
						PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm				
						P1 55 40 15				
112	1 5 K	不定形	211	154	30		重複の可あり	15K 1	56	
113	1 5 K	長方形	103	72	26			15K 2	1	
										55
114	1 6 L	略円形	100	(55)	22			16L 1	52	
						PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm				
						P1 44 (14) 13				

第17表 土坑観察表 5

No.	検出区	平面形	最大長cm	最大幅cm	最大深cm	主な出土遺物とピット計測値	備考	旧No.	遺物数	図No.
115	1 6 K	溝状	234	57	21			16K 1	5	
116	1 6 K	不定形	126	108	37			16K 2	4	
117	1 7 K	溝状	429	153	69	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 130 114 25		17K 1	18	55
118	1 7 L	不定形	223	182	69	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 35 23 16		18L 1	0	
119	1 7 M	円形	220	(210)	47	西平		17M 1	233	
120	1 7 M	円形	180	166	22			17M 2	1	
121	1 7 N	略円形	161	143	40	市来		17N 1	24	
122	1 8 I	略円形	155	140	23			18I 1	0	
123	1 8 I	略三角形	94	83	16			18I 2	0	
124	1 8 M	略長方形	131	104	51	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 21 20		18M 1	66	
125	1 8 N	不定形	153	108	54	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 26 18 P2 39 25 38 P3 42 24 29 P4 21 19 18	重複の可あり	18N 1	7	56
126	1 8 N	楕円形	142	89	46	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 52 35 22 P2 34 30 19		18N 2	0	
127	1 9 K	円形	79	74	41	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 35 30 15		19K 2	1	
128	1 9 K	不定形	230	139	76	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 65 48 18		19K 1	57	
129	1 9 J	楕円形	94	74	59			19J 1	0	
130	1 9 K	円形	85	80	18			19K 3	1	
131	1 9 L	溝状	157	77	59	PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 47 46	2段	19L 1	0	
132	1 9 K	溝状	178	51	15			19K 5	0	
133	2 0 J	不定形	223	190	59	台付皿, 西平 PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 76 56 22 P2 40 25 14		20J 1	107	57
134	2 0 K	不定形	266	230	29			20K 2	131	
135	2 0 K	不定形	197	109	39	西平 PitNo. 長軸cm 短軸cm 直径cm 深さcm P1 109 84 21 P2 40 25 14		20K 1	66	
136	2 0 J	楕円形	159	87	42	西平		20J 2	91	58
137	2 0 J	不定形	140	104	51	西平, 丸尾, 納曾	2段	20J 3	120	

第18表 土坑観察表 6



第86図 集石遺構

4) 集積遺構

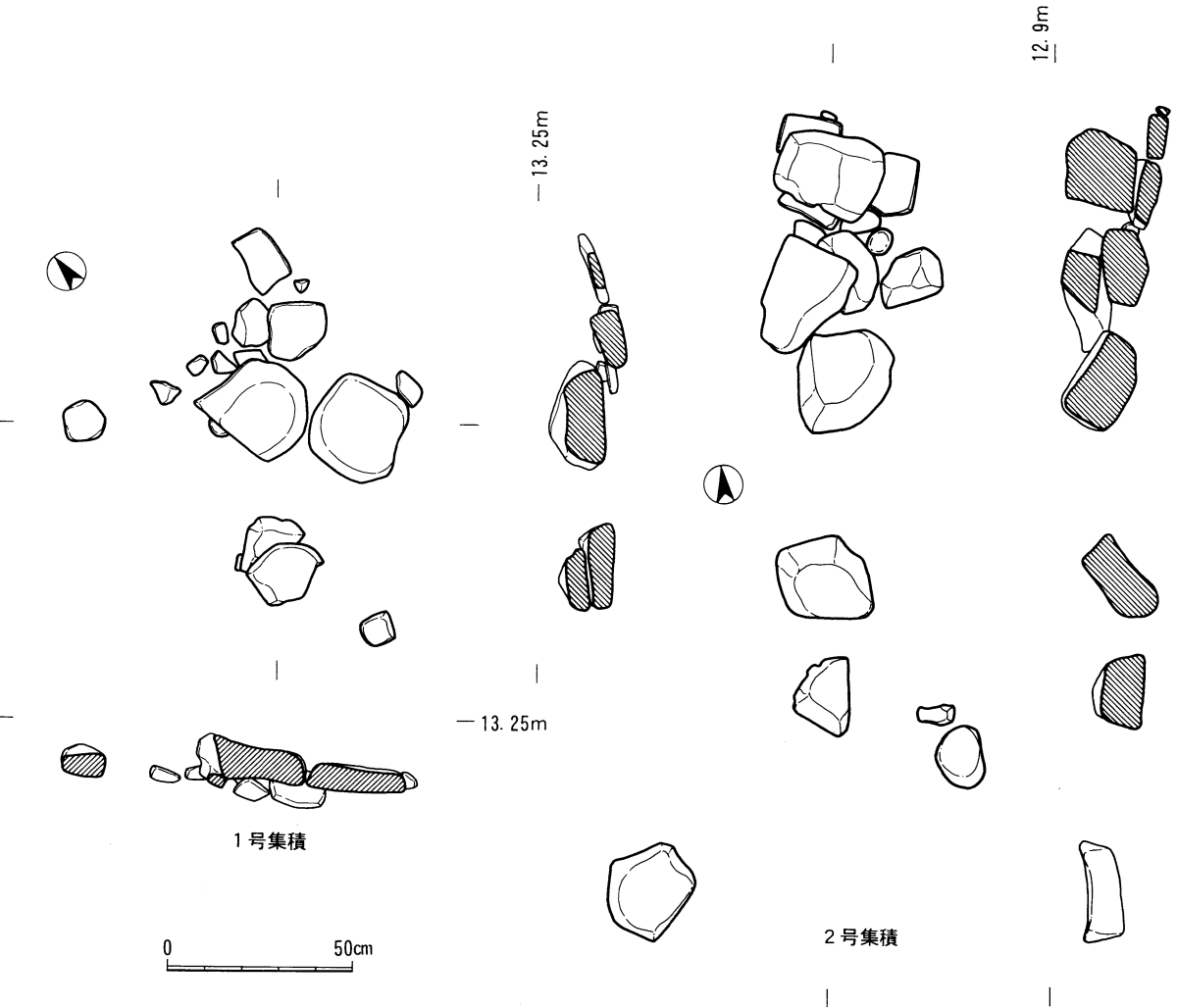
集積遺構としたものが4基検出された。ここでいう集積遺構とは、いわゆる石蒸し料理の機能に関連した施設と考えられる集石遺構とは異なり、同様の遺物を意識的に集積したものとして捉えた遺構である。

1号、2号集積遺構は、石皿状の礫を複数集積したものである。周辺に縄文時代後期の遺物が出土していることから、同時期のものである可能性が高いが、機能も含めて詳細は不明である。

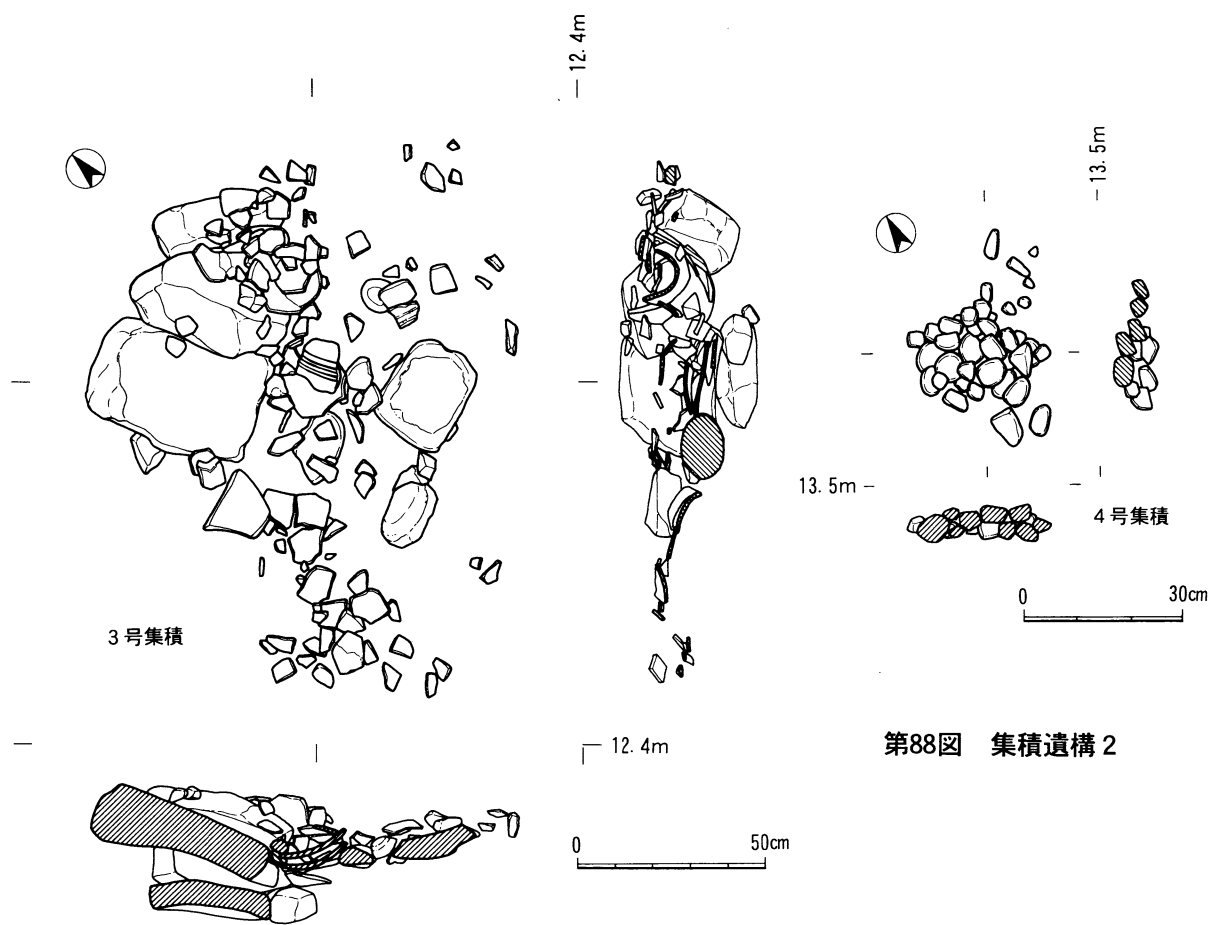
3号は大形の石皿状礫や、辛川式土器片を中心に集積したものである。礫と土器片との関係が不明である。4号は超小形の円礫を集積したもので、どのような目的があったのか興味深い。

番号	検出区	平面形態	規模(m)	掘り込み	礫数	備 考	挿図
1	H-12	不定形	1.10×1.00	無	18	石皿状の礫を使用	87
2	G-11	不定形	2.20×1.00	無	17	石皿状の礫を多数使用	87
3	M-17	略楕円形	1.40×1.20	無	120	石皿状の礫5個を中心に使用。辛川式あり	88
4	E-20	略円形	0.40×0.30	無	39	3～5cm前後の小円礫を使用	89

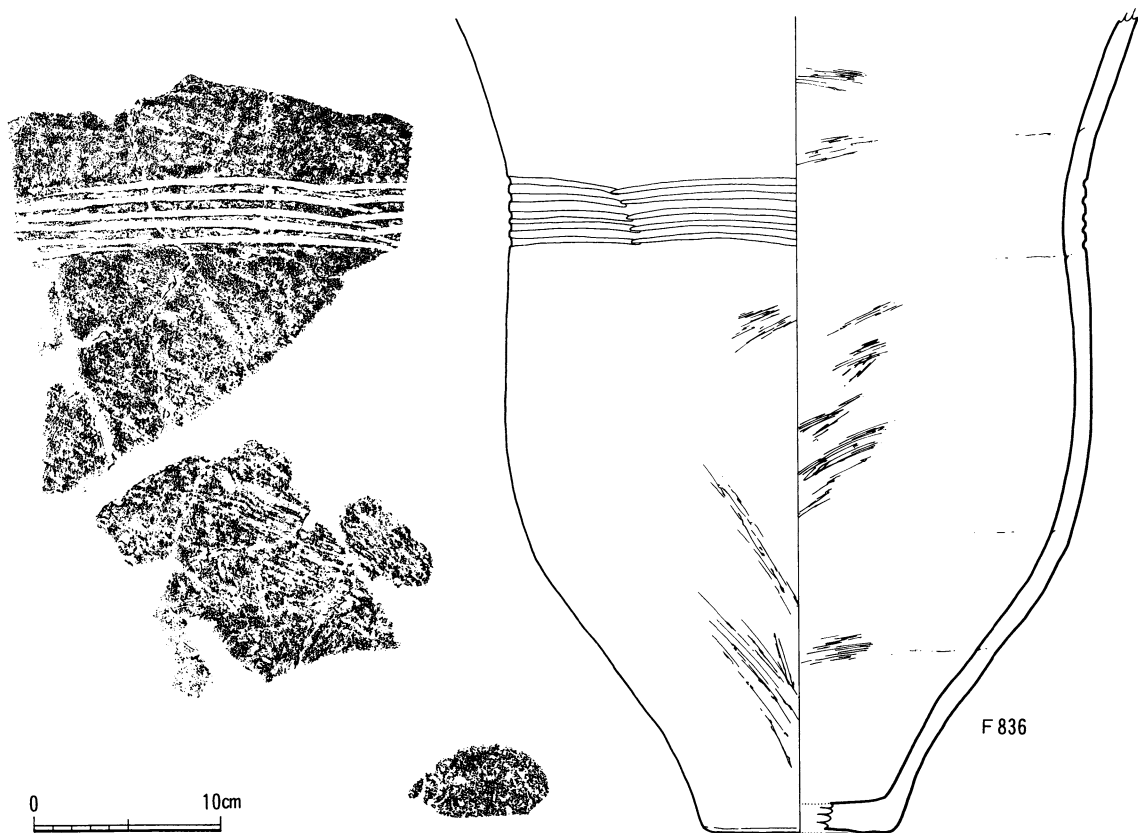
第21表 集積遺構観察表



第87図 集積遺構 1



第88図 集積遺構 2



第89図 3号集積遺構内出土の土器

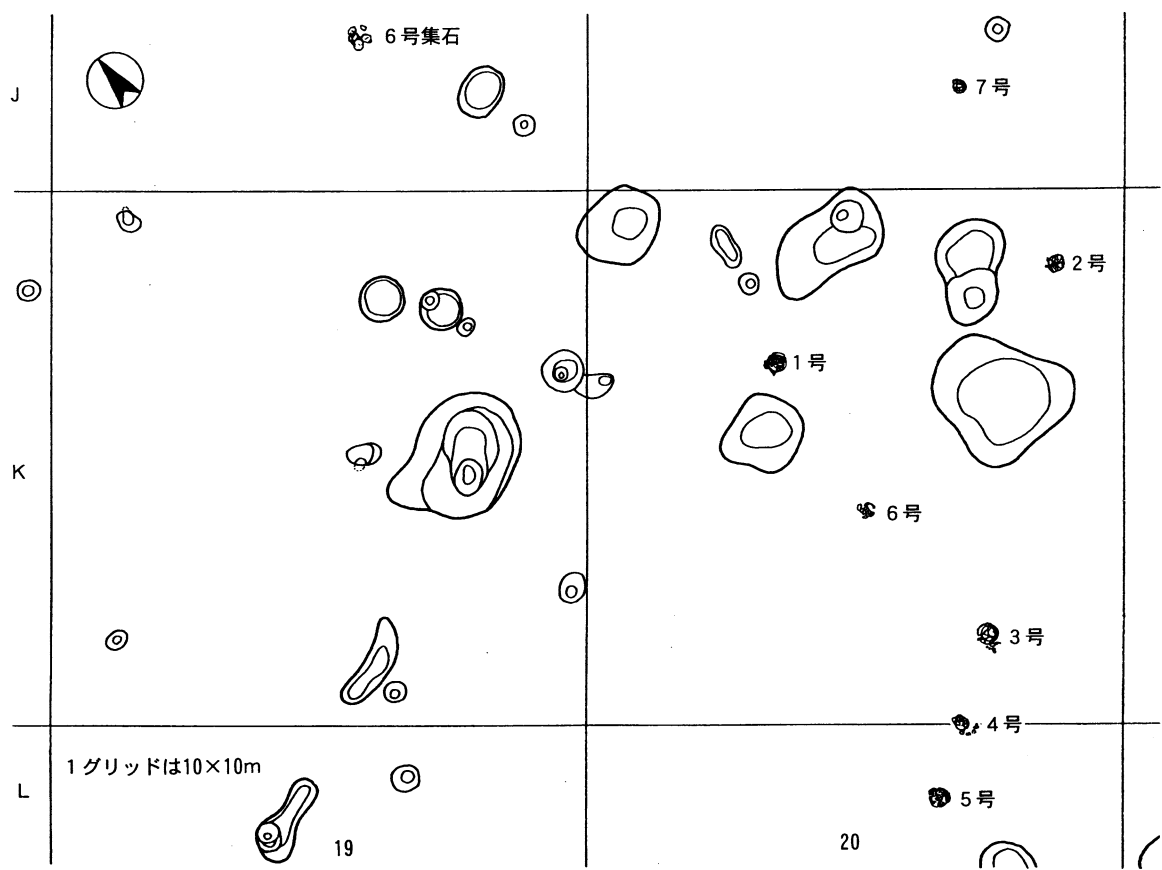
5) 埋設土器

埋設土器として取り扱ったものが10基検出された。いずれも正位で西平式土器あるいはその前後に位置するものと考えられる資料である。特に1～7号はほぼ14×6 mの中で集中して検出されており、かなり意識的な分布を示していると言える。

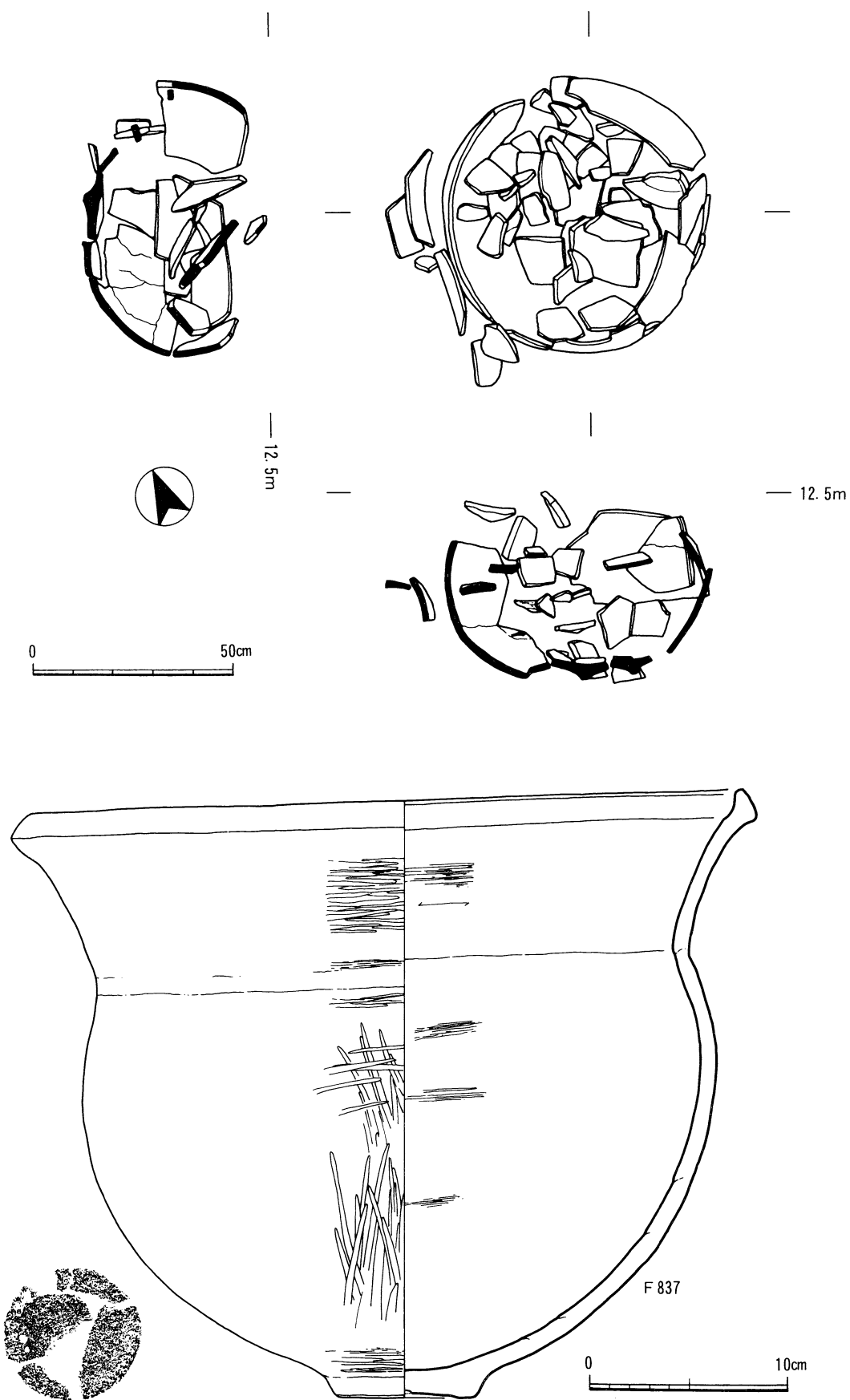
下表に示したように、いわゆる完全土器としての出土はない。比較的残りのよい1号、3号、9号をはじめ、底部やその一部を欠いて検出された資料が多い。その他の多くは胴部から底部のみの検出資料が多いが、特に5～7号などの残りの悪い土器は、上部が後世の攪乱を受けている可能性が高い。F853は10号埋設土器内から出土した焼成粘土塊で葉脈痕が付着した資料である。

番号	検出区	検出層	型式等	土器の残存状況				文様・器面調整等(内/外)	色 調		胎 土				焼成	取り上げNo	挿図	
				口縁	胴部	底部	備 考		内面	外面	状態	石英	長石	カゼン				その他
1	20K	VI上面	西 平	△	○	○	底部付近欠損	無文, ナデ/ミガキ	黒 褐 色		密	○	○	○		良	4 2 5 1 3	91
2	"	"	西平系	×	○	△	底部90%欠損	無文, ナデ/浅いミガキ痕	黒 褐 色	明茶褐色	砂粒多	○	○	○		普	4 2 4 9 4	92
3	"	"	"	○	○	×		口縁・胴部に擬似磨消縄文	暗茶褐色	明茶褐色	"	○	○	○	白粒	良	4 2 6 4 5	93
4	20L	"	"	×	○	△	底部70%欠損	無文, 内外面共にナデ	暗黄茶褐色		"	○		○	茶白	普	4 2 6 0 1	94
5	"	"	西 平	×	○	△	底部50%欠損	無文, ナデ/ミガキ	黒 褐 色	暗茶褐色	"	○	○		茶粒	"	4 2 4 9 3	95
6	20K	"	"	×	×	△	底部40%欠損	無文, 浅いミガキ/ミガキ	明茶褐色		密		○	○	茶粒	良	4 2 6 8 7	96
7	20J	"	西平系	×	△	×		無文, ナデ/浅いミガキ+ナデ	暗 褐 色	明茶褐色	砂粒多				金◎	普	4 2 4 9 5	96
8	16H	"	西 平	×	○	○	底部付近欠損	無文, 内外面共にミガキ	明茶褐色		"	○	○	○	白粒	良	3 7 7 1	97
9	17L	"	"	△	○	×		"	黒 褐 色	暗茶褐色	細粒多			○	白粒	普		98
10	18M	"	西平系	×	△	×		口縁下に連点文	暗茶褐色	暗 褐 色	"	○			白粒	良	4 2 5 1 7	99

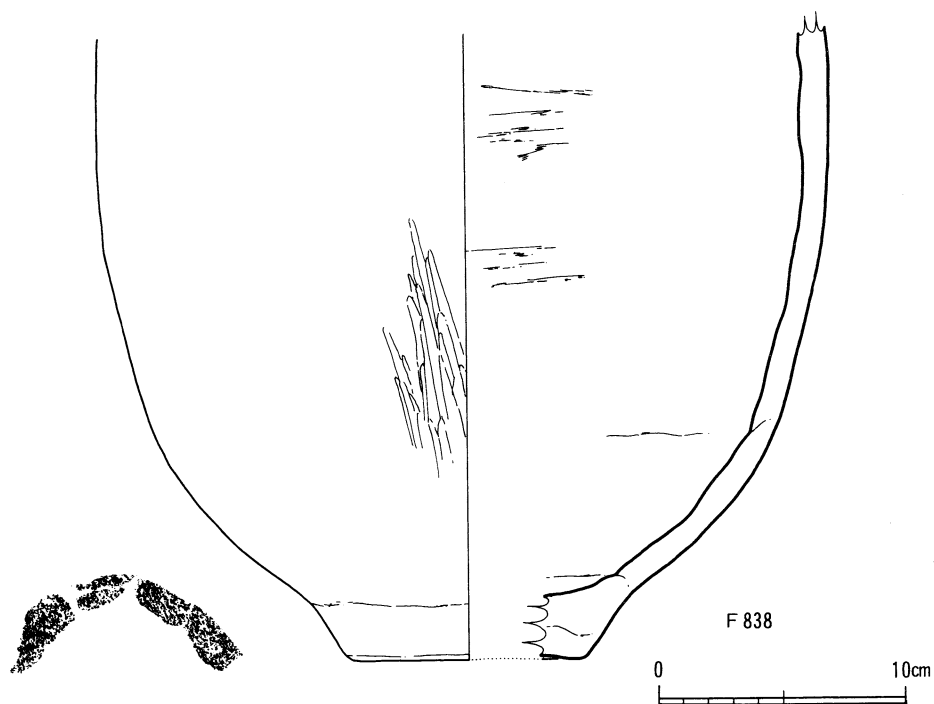
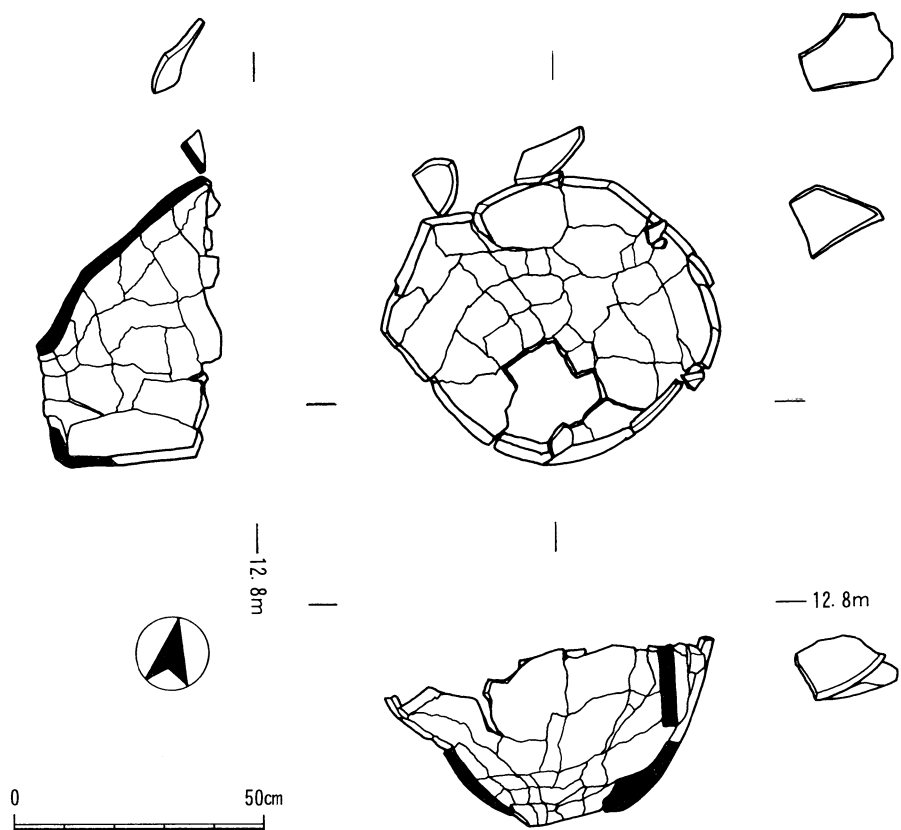
第22表 埋設土器観察表



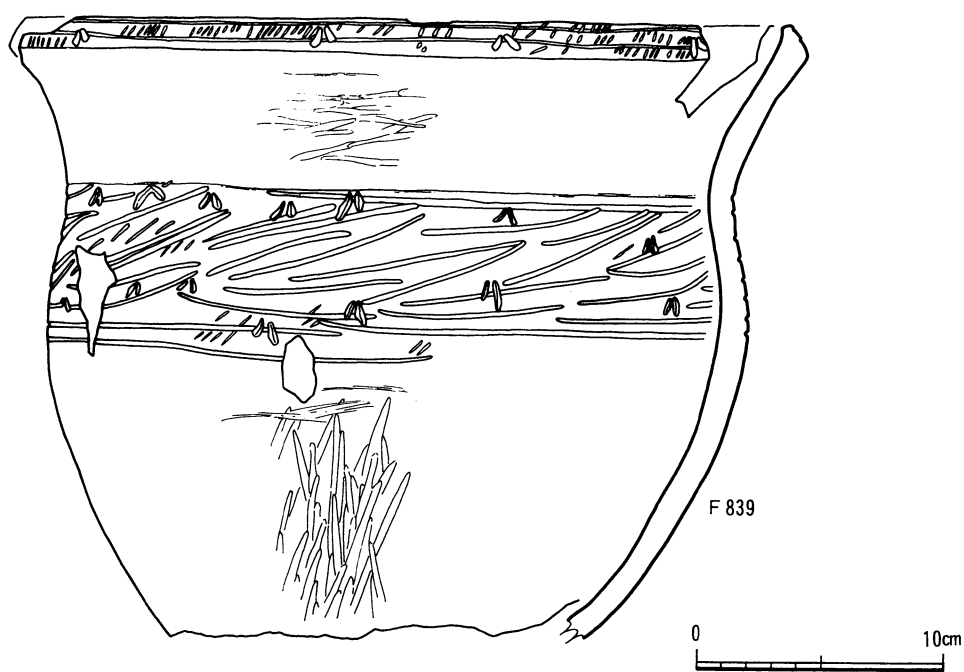
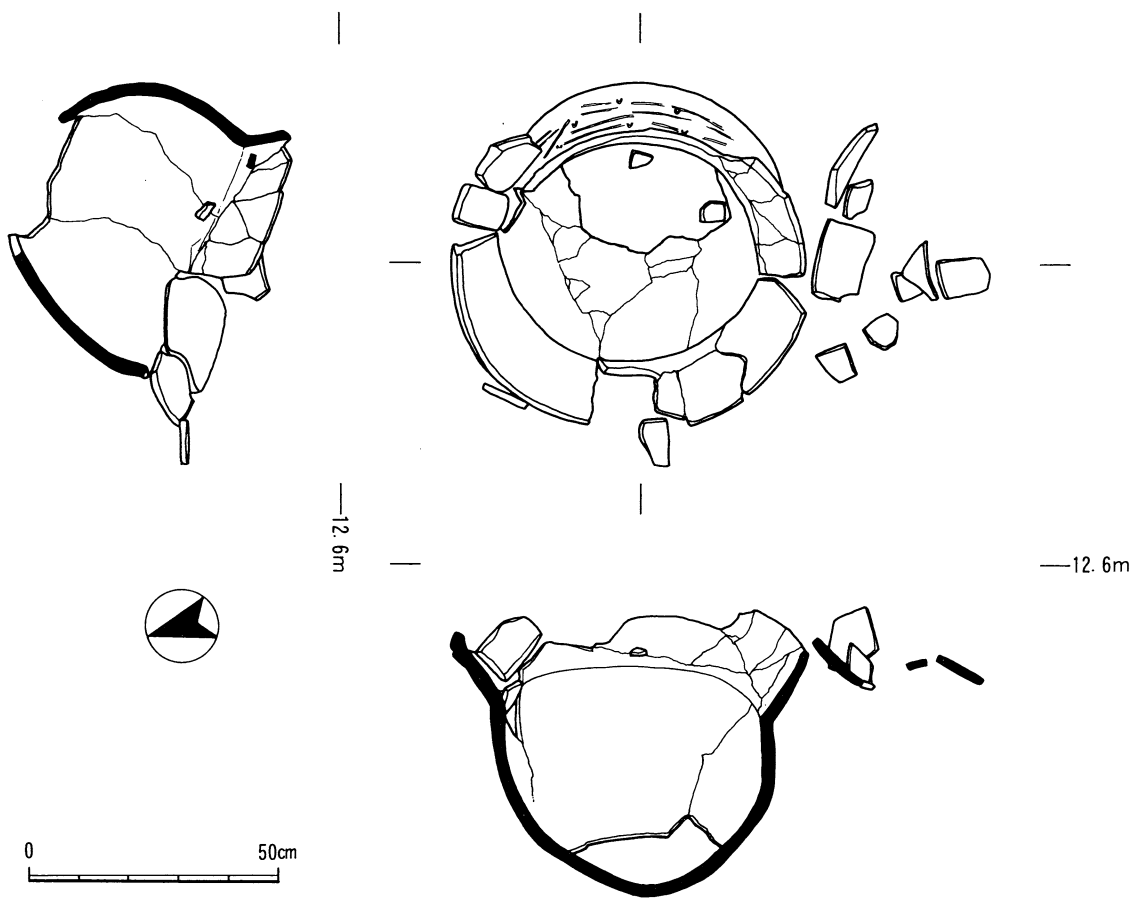
第90図 埋設土器位置図（集中区）



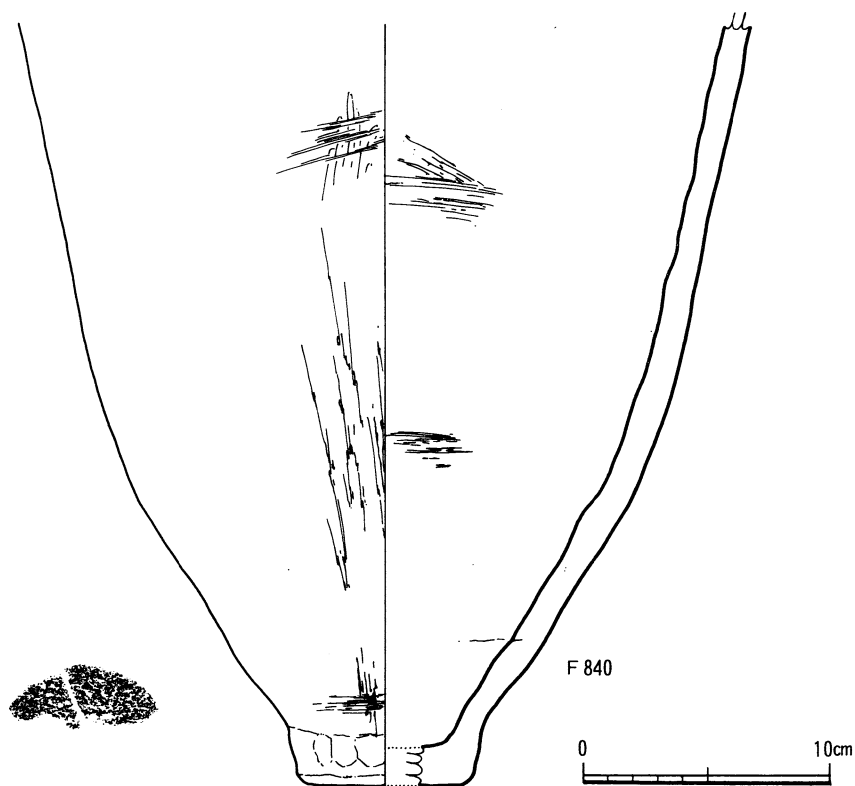
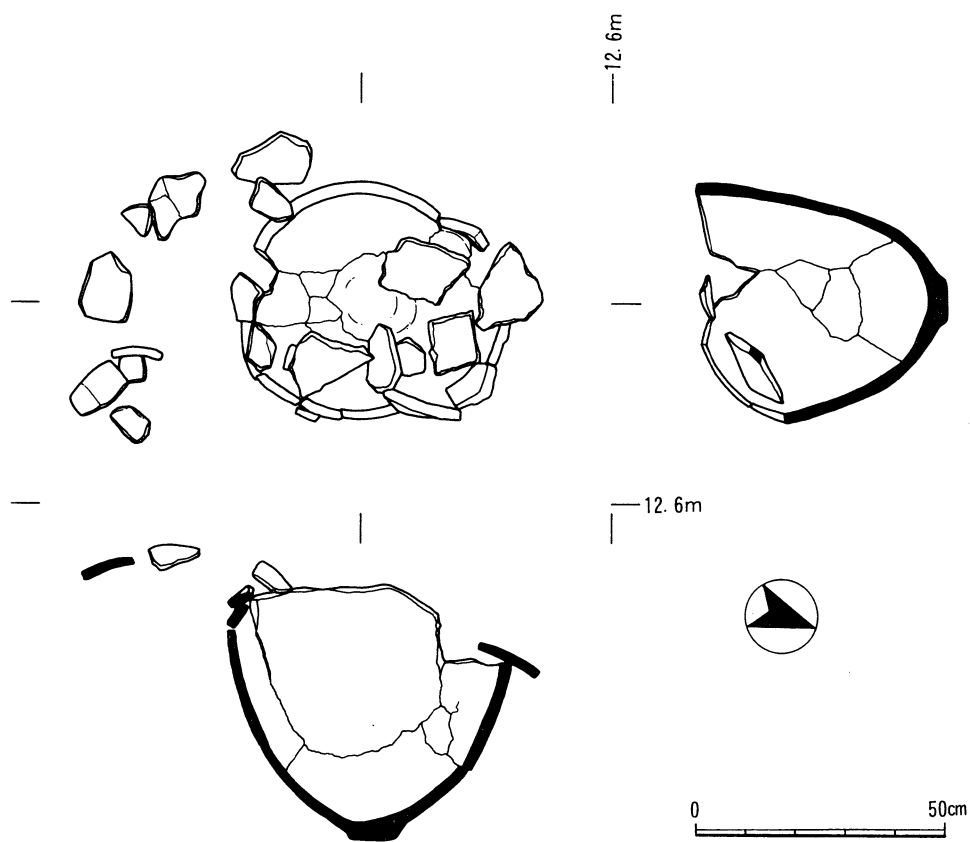
第91図 1号埋設土器



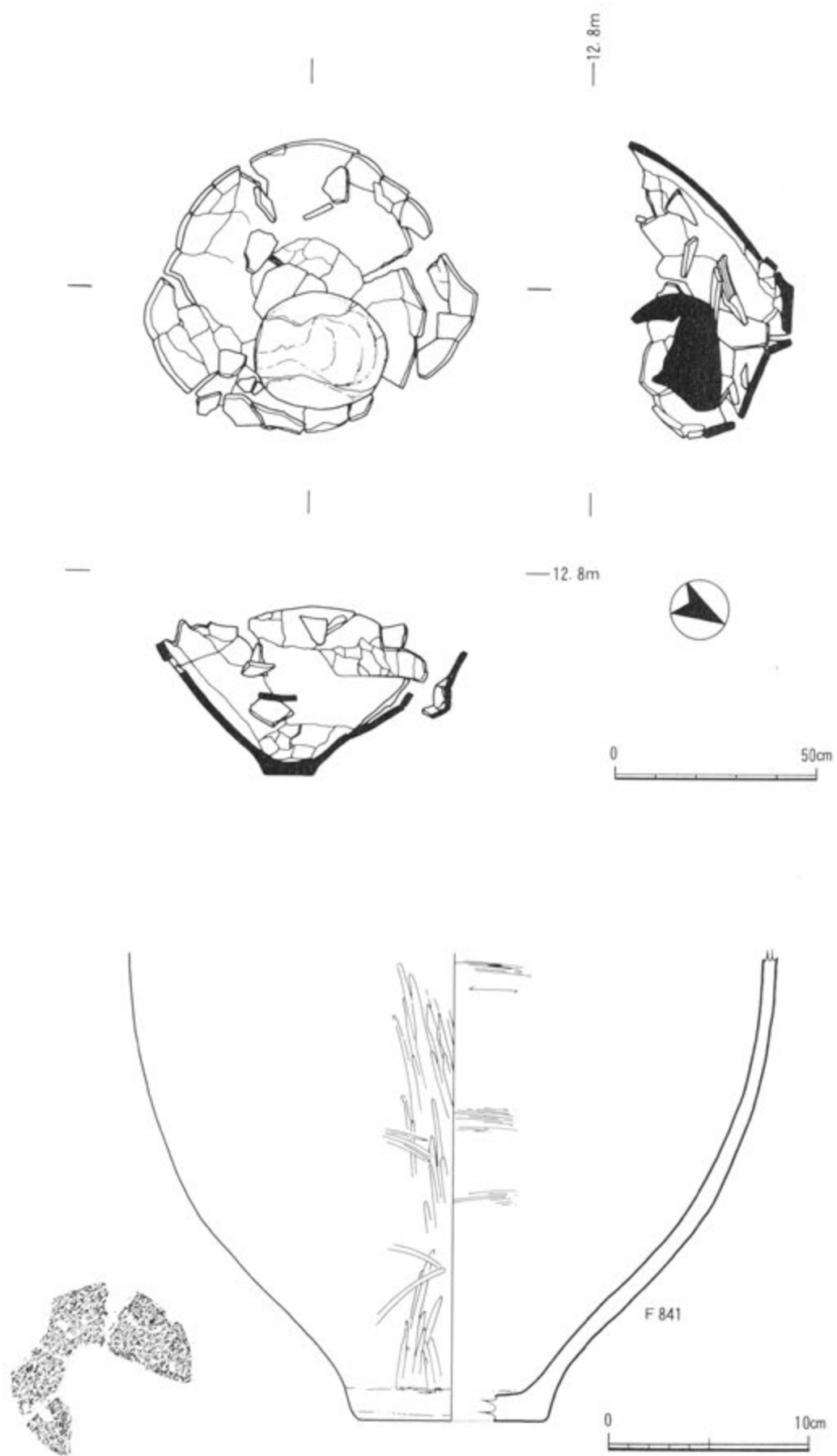
第92図 2号埋設土器



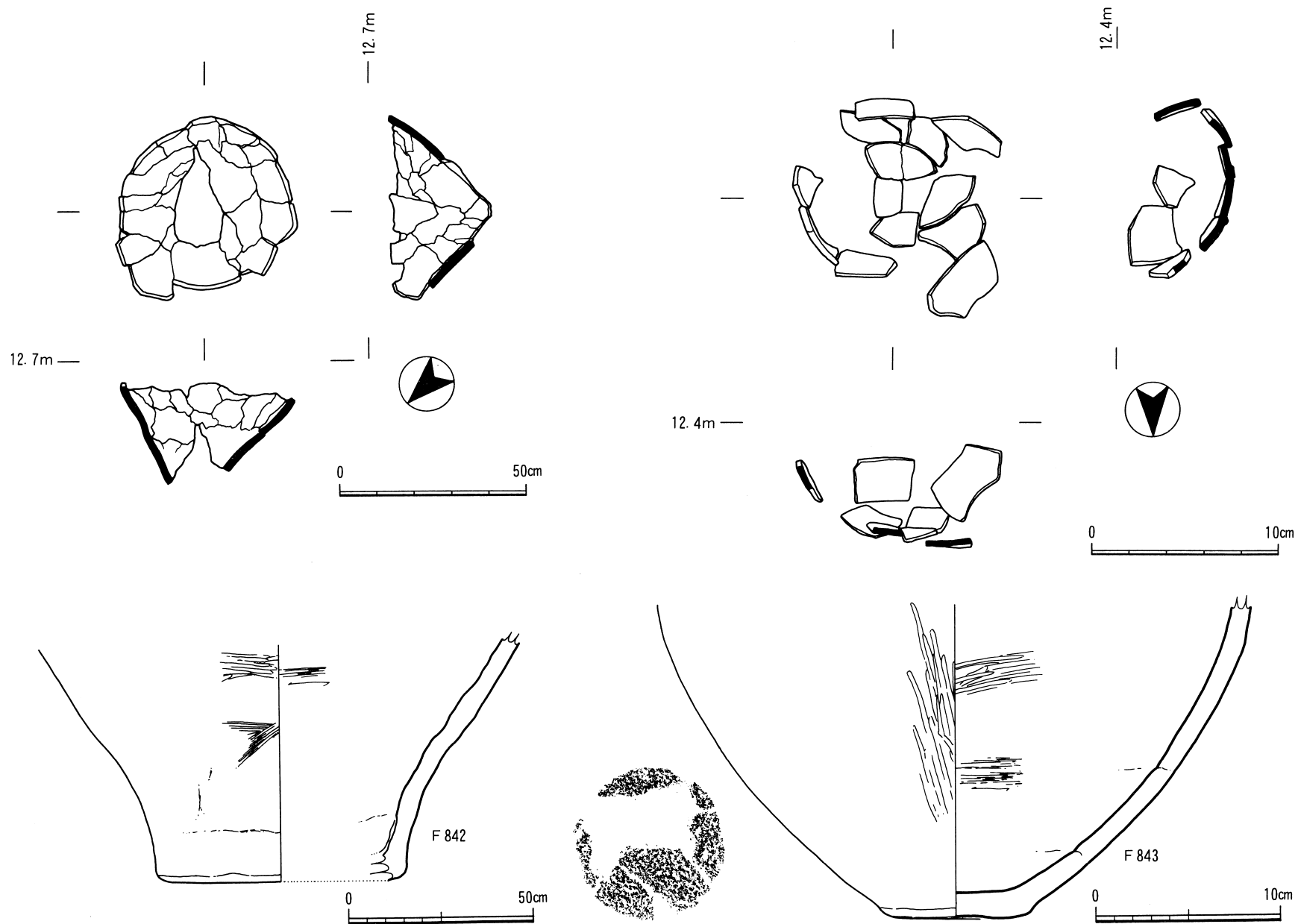
第93図 3号埋設土器



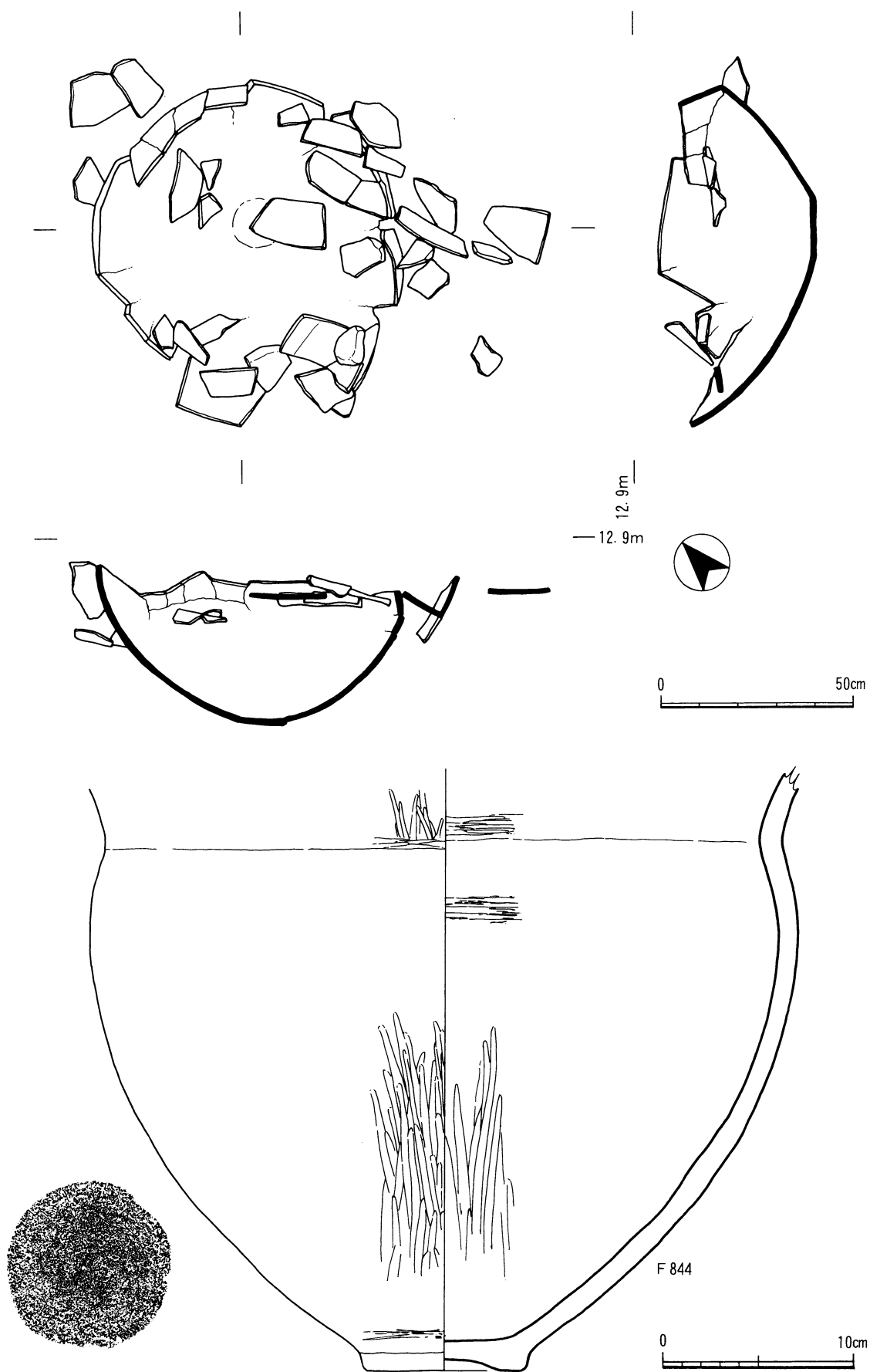
第94図 4号埋設土器



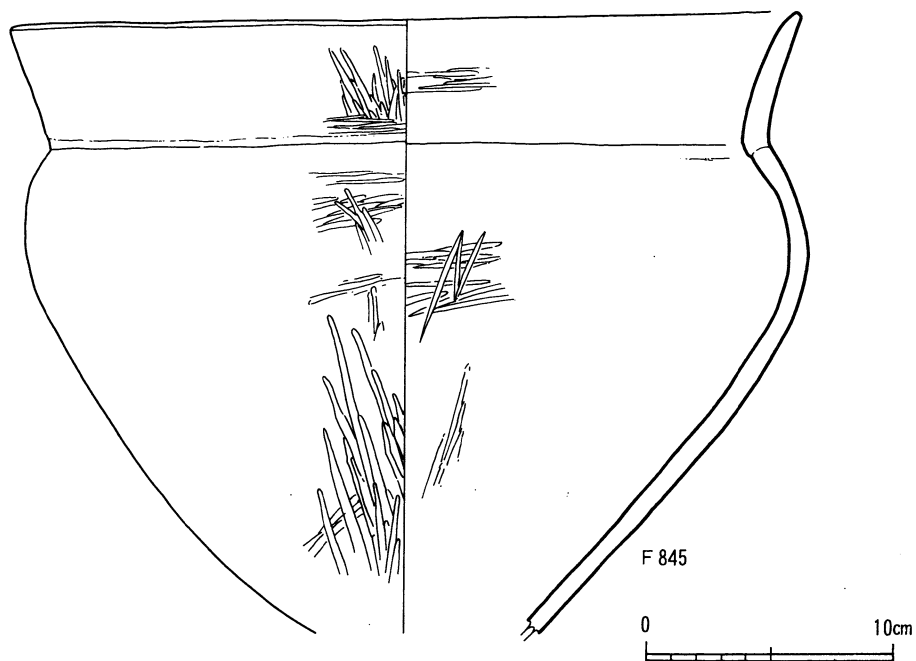
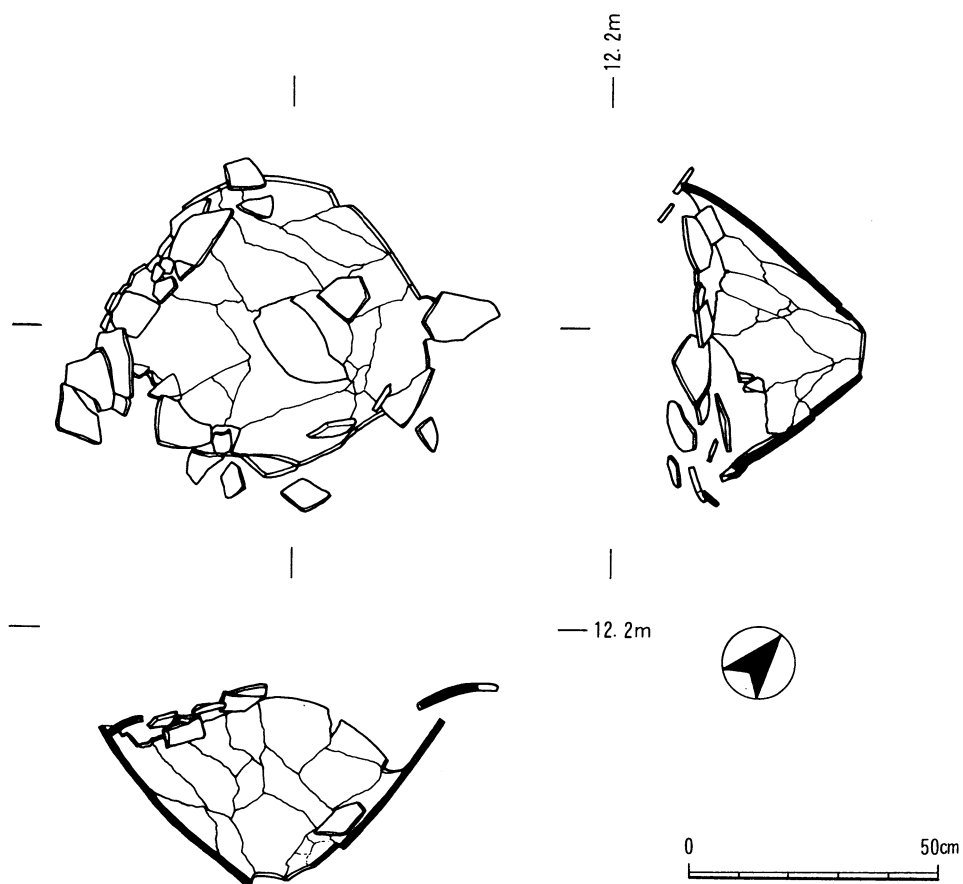
第95図 5号埋設土器



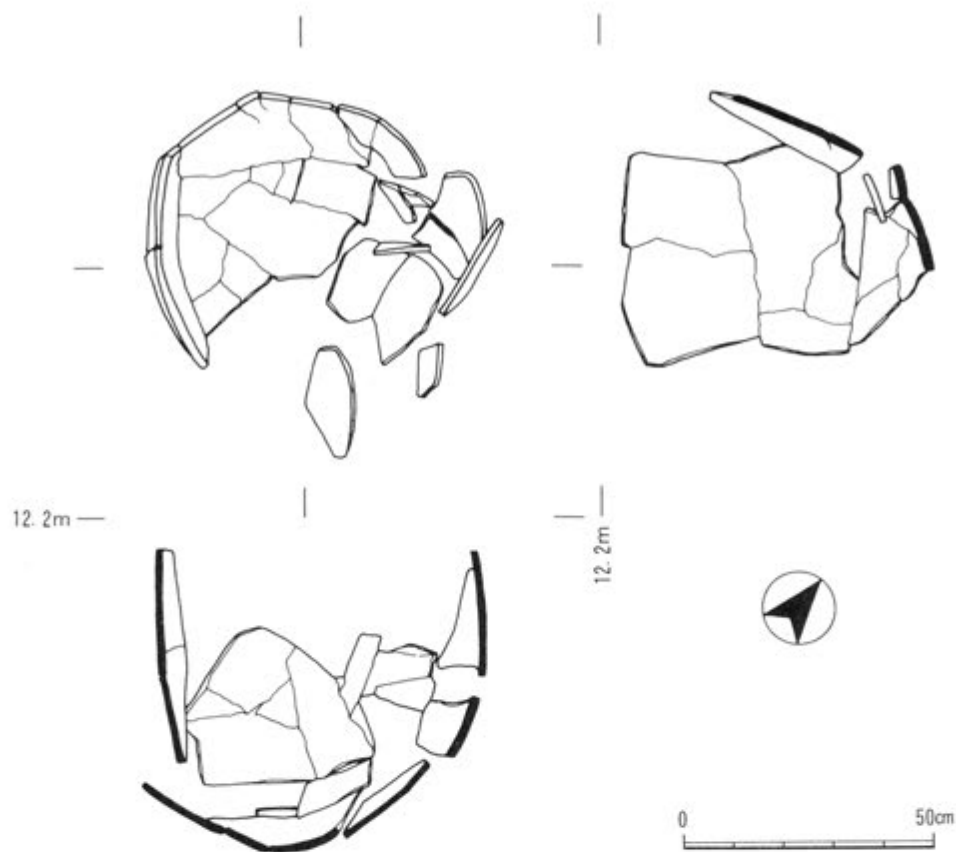
第96図 6号埋設土器 (右), 7号埋設土器 (左)



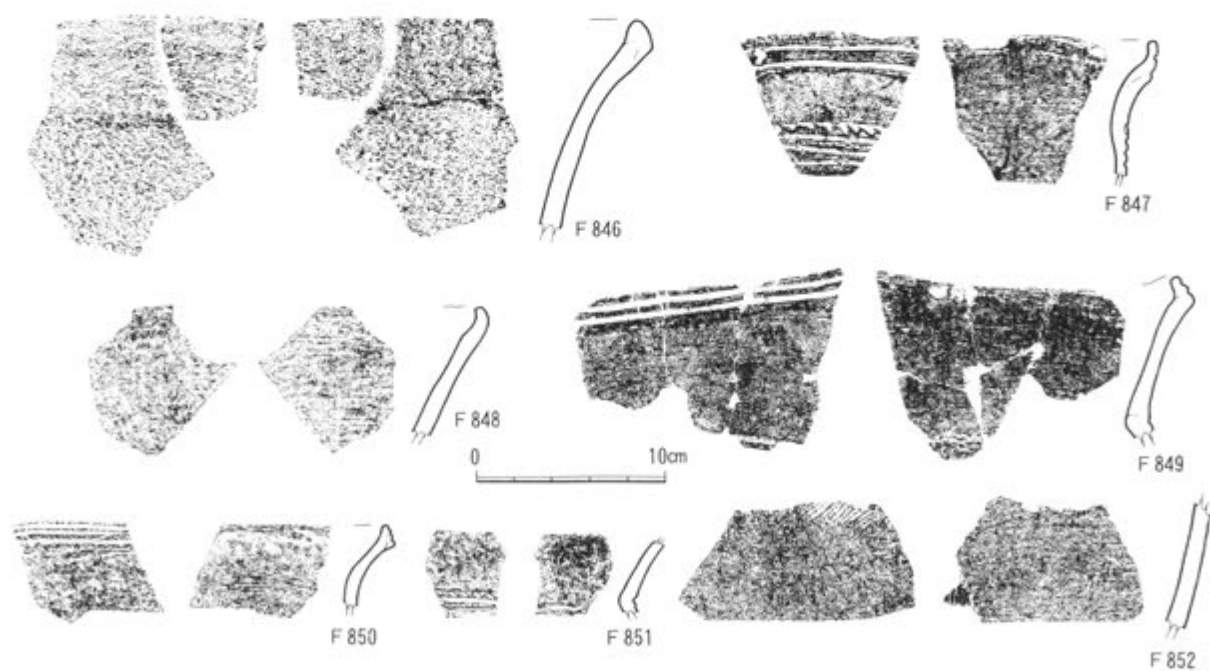
第97図 8号埋設土器



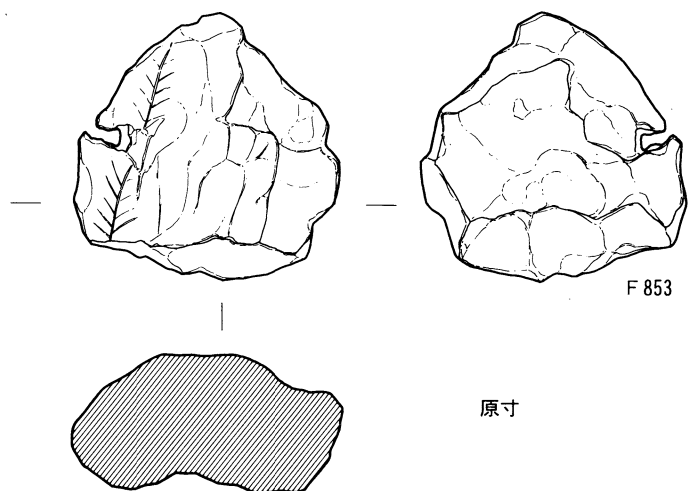
第98図 9号埋設土器



第99図 10号埋設土器1



第100図 埋設土器内出土の遺物1



第101図 埋設土器内出土の遺物 2



第102図 10埋設土器 2

6) 柱穴群

いわゆる柱穴状のピットが総数2094個（他の遺構内からは除く）検出された。特に17～21 C～F区、11D区周辺、18K区周辺に多く見られる傾向がある。時期については縄文時代から江戸時代までのものを含むと考えられるが、埋土が類似しているため特定するには困難な状況であった。

これらの多くは半裁して確認していないため、樹痕も含まれている可能性もあるが、竪穴住居や平地住居、あるいは掘立柱建物などを構成していたピットであった可能性も高い。干迫遺跡出土の遺物の量に比べ、遺構が少ないことからピットのみ痕跡として残存したということかもしれない。

7) 自然流路跡（R 1 と略称）

自然流路跡は、調査区をほぼ東西に横切るように幅約15m、長さ約100mに渡り緩やかに蛇行するような状態で検出された。中央部から東側半分の多くが工事のため破壊されてしまったが、大きくカーブする部分が残存していることから、蛇行の様子をある程度推定することができる。

川床は幅6～10mあり、検出面からの最深部は1.5mを測る。特筆されるのは、流路の埋土中から大量の遺物が出土したことである。本遺跡が発見されたきっかけとなった新設道路の橋脚部分が自然流路のど真ん中に位置していることを考えると、工事による排土の中に大量の遺物が含まれていたであろうことは想像に難くない。

自然流路跡内の遺物は総数84,000点出土した。これらは足の踏み場もないほど密集して出土したため、取り上げ方法に苦慮したが、調査の概要でも述べたように、1m四方の小グリッドを設け、それぞれの検出枚数ごとに取り上げる方法を採用した。出土遺物は下層に市来式土器、上層に丸尾式土器や西平式土器が多いという傾向がみられた。小グリッドは約800コマあり、遺物の傾向がある程度把握できる結果が得られた。

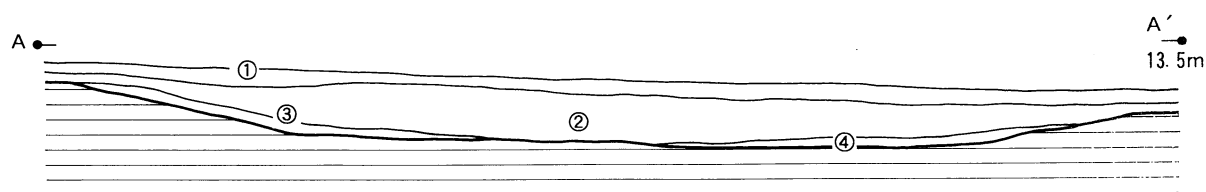
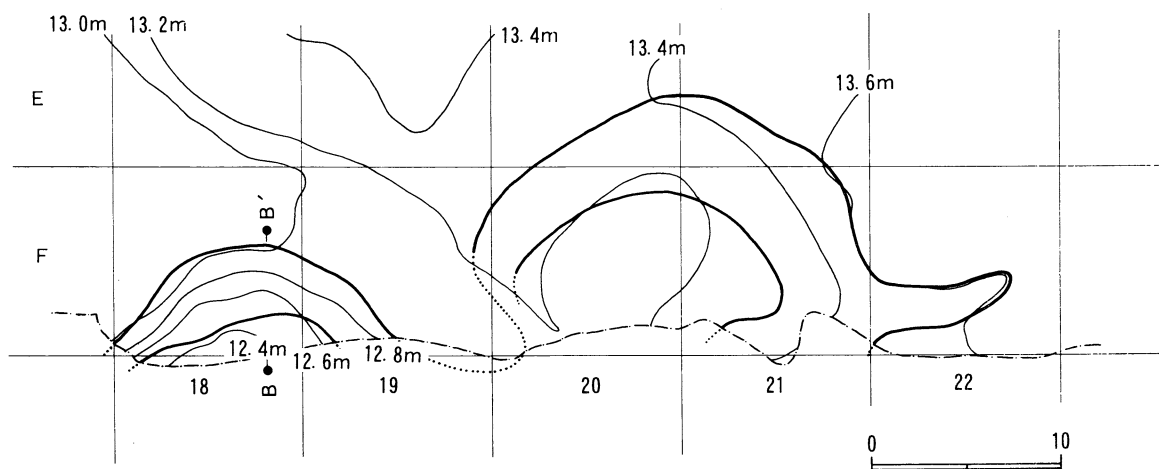
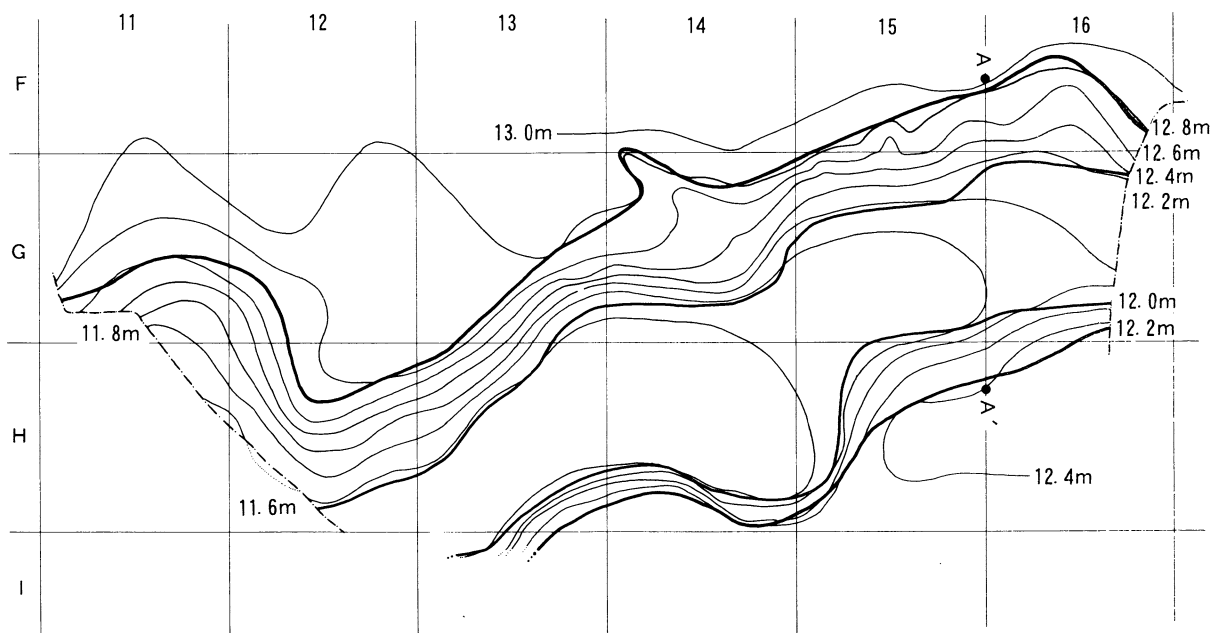
基本的には縄文時代後期の自然流路（凹地）を利用した遺物廃棄場としての機能が考えられ、流路内で検出された集石遺構も含め、今後、集落の在り方を検討する際の好資料と言えよう。

	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
E											2371	
F					974	1747	1	4057	241	8087	13139	181
G	1466	1874	287	4646	13412	11298		121				
H	938	6774	8734	1195	1485	15						
I			957									

総数84000点



第103図 グリッド別 R 1 内出土遺物点数



①茶褐色土層（鉄分が多く黄色が強い）

②黒褐色粘質砂層

③灰褐色粘質砂層

④淡黒褐色銅砂層 ※①, ②は遺物が極めて多い

⑤黄茶褐色砂質土層（鉄分が多い）

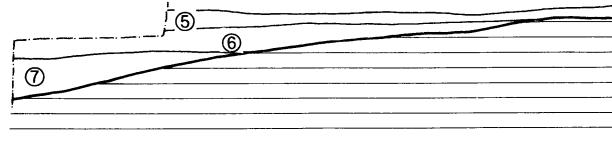
⑥黒褐色粘質砂層

⑦茶褐色粘質砂層

※⑥, ⑦は遺物が多い

B●

B'●



0 2m

第104図 自然流路跡 (= R 1)

8) 地層横転

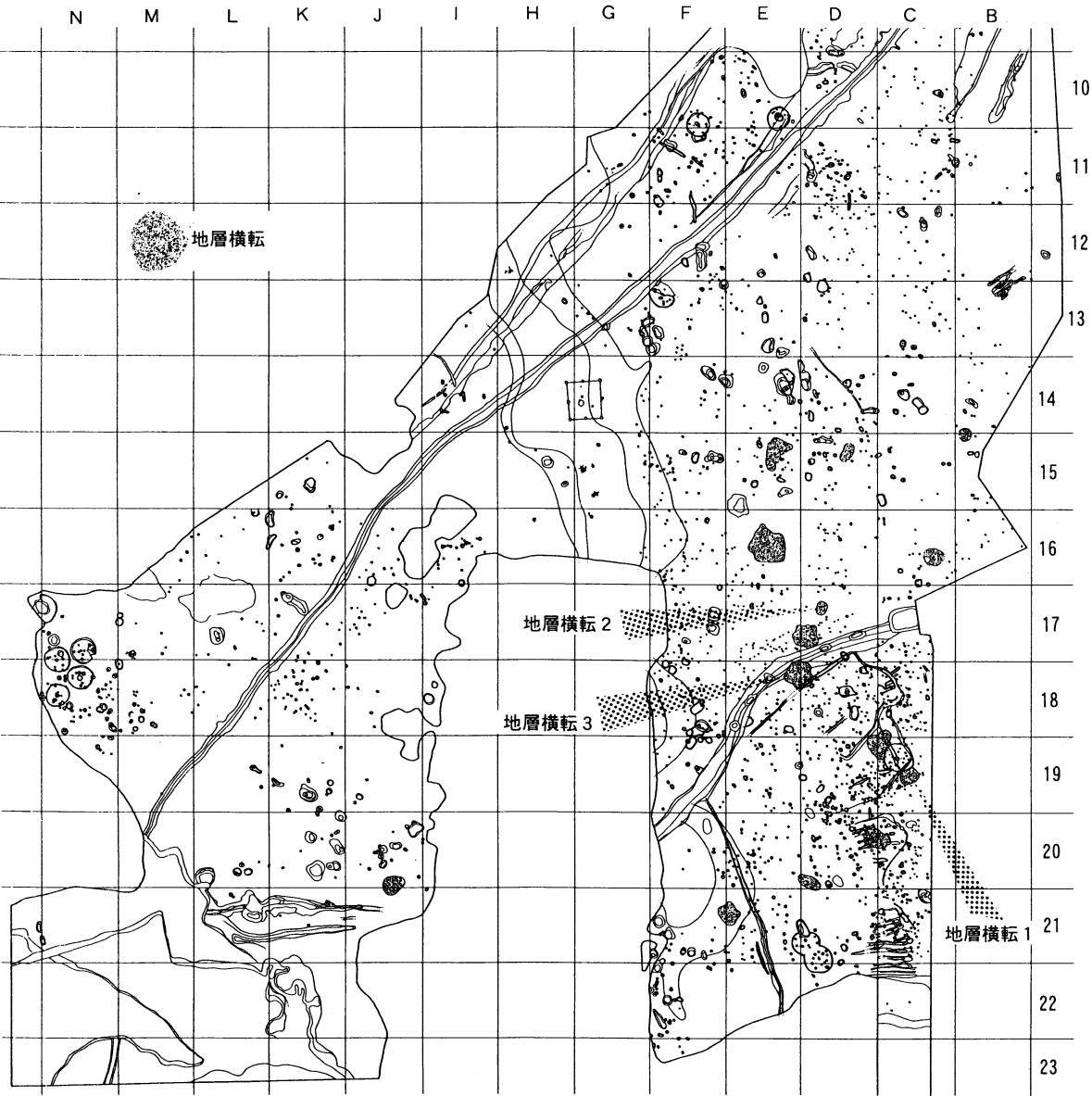
干迫遺跡では総数14か所の地層横転が確認された。その多くが15～21C～E区に集中して検出された。それらの中から代表的な例3か所を図示した。

横転1は3号竪穴住居跡と重複して検出されたもので、竪穴住居が横転を掘り込んだ状況が観察できた。横転検出面でリング状に見られる暗褐色土層中に縄文時代後期の遺物が含まれていた。

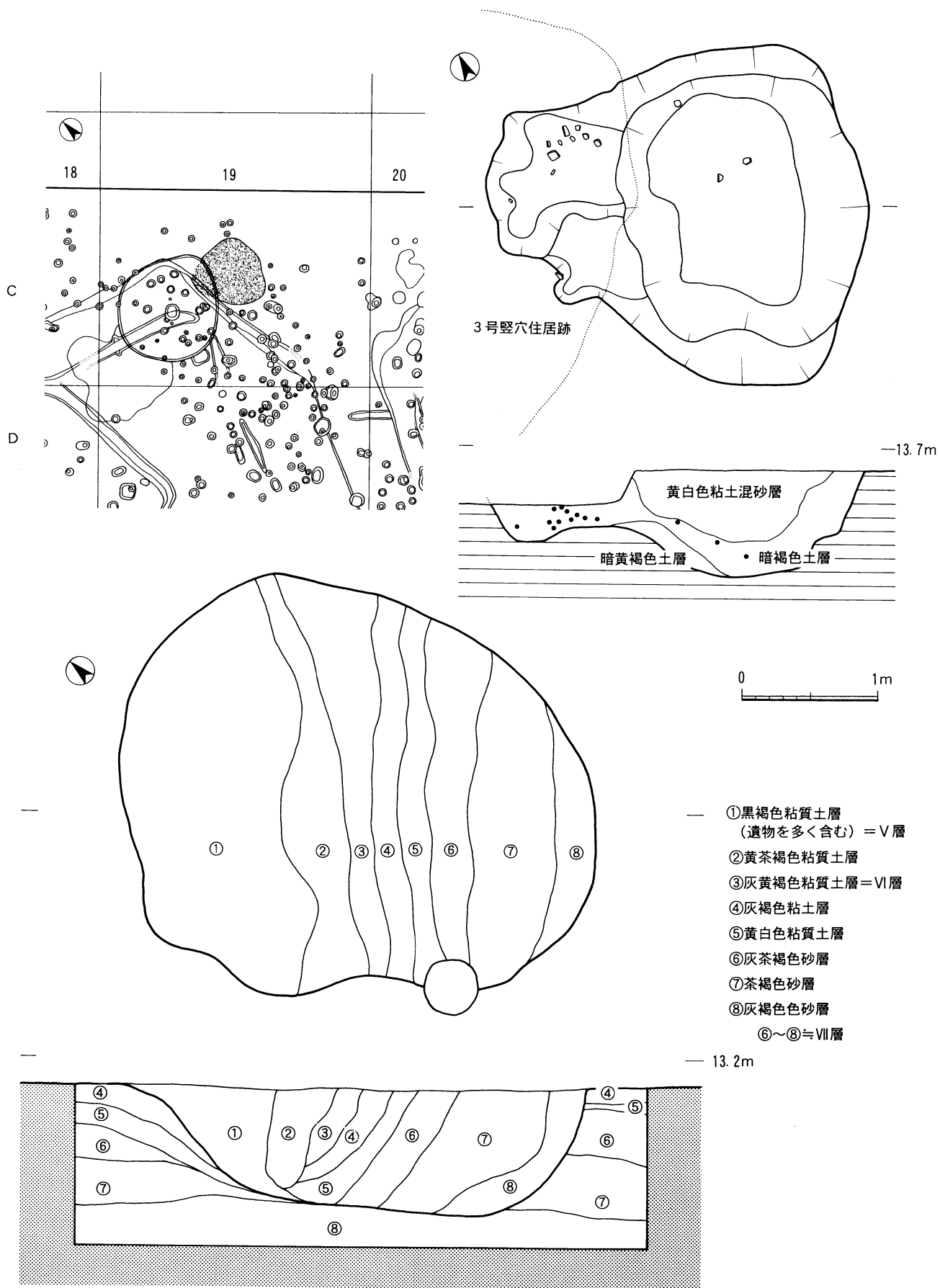
横転2は土層が横倒しになった様子が顕著な例で、南東方向からの力が働いた結果の横転であることがわかる。

横転3は、検出面の平面形が隅丸方形状を呈することから、当初竪穴住居跡の可能性も考慮しながら調査を進めた。しかし、埋土状況や遺物の出土状況などから横転であると認定した。

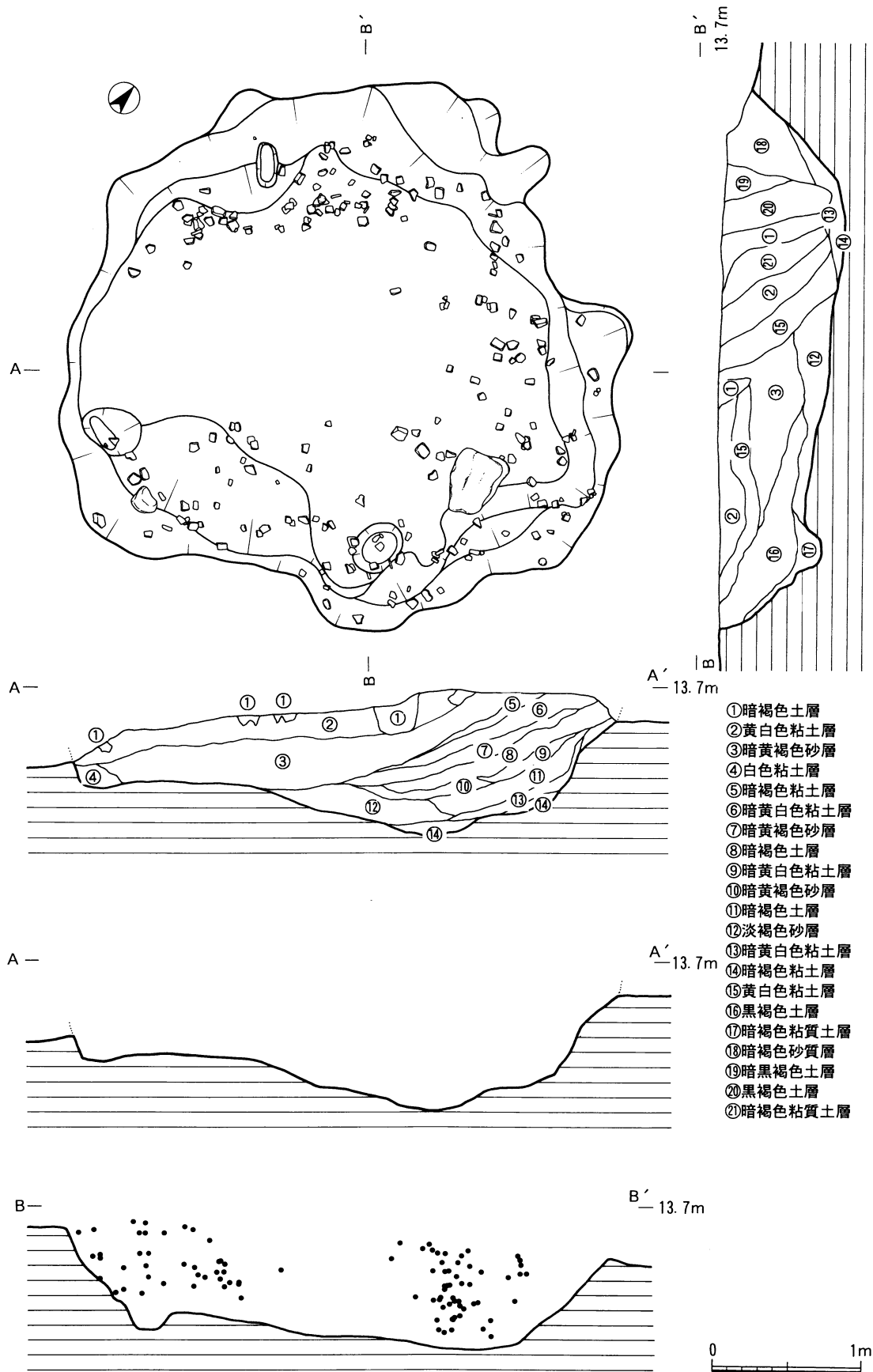
横転の時期については、横転に絡む地層の状況や遺物混入の有無などから、14か所すべてが同時期のものではなさそうである。詳細な時期については個々に検討する必要がある。



第105図 地層横転分布図



第106図 地層横転 1 (上), 2 (下)



第107 図 地層横転 3

番号	区	長軸(cm)	短軸(cm)	直径(cm)	深さ(cm)	備考	番号	区	長軸(cm)	短軸(cm)	直径(cm)	深さ(cm)	備考
1	05A	40	15		18		101	09C	33	25		32	
2	"	22	10		15		102	"	24	20		12	
3	"	19	10		16		103	"	24	20		58	
4	"	22	14		17		104	"			32	12	
5	"			20	10		105	"			21	25	
6	"			33	24		106	"	45	36		60	
7	"	33	27		26		107	"	30	28		18・17 2穴	
8	05B	56	35		25		108	"			18	23	
9	"	46	40		29		109	"			20	27	
10	06A			20	10		110	"	27	22		39	
11	"			28	16		111	"	32	22		46	
12	06B	30	25		29		112	"	-	-	17	-	
13	"			25	27		113	09D			18	10	
14	"			13	5		114	"	35	25		7	
15	"	25	20		17		115	"			20	38	
16	07B	20	10		13		116	"			22	-	
17	"			15	11		117	"			30	-	
18	07C	50	42		60	P3:34069	118	"	31	24		17 2段	
19	"			30	10		119	"	30	28		27 2段	
20	"			20	9		120	"	55	40		25 P1:34064 2段	
21	"			18	13		121	"	42	30		-	
22	"			15	9		122	"	43	30		25	
23	"			12	6		123	"	45	35		30	
24	"			20	13		124	"	27	20		-	
25	"			25	17		125	"	23	16		15	
26	"	50	37		11		126	"	34	22		32	
27	"	35	25		8		127	"			22	45	
28	"	24	18		7		128	"			35	27	
29	"			33	16		129	"			30	9	
30	"			33	38		130	"			36	25	
31	07D			28	20		131	"	23	20		13	
32	"	(27)	22		29		132	"			25	13	
33	08A			30	36		133	"			15	9	
34	"	34	28		16		134	"	23	15		12	
35	"	35	25		11		135	"	(23)	19		12	
36	"	-	-	28	-		136	"			19	11	
37	"	25	20		15		137	"	64	43		32	
38	08B	30	23	-	-		138	"			35	21	
39	"	28	22	-	-		139	"	52	30		14	
40	"	-	-	18	-		140	"	36	27		34	
41	"	-	-	18	-		141	"			22	35	
42	"	-	-	12	-		142	"	-	-	12	-	
43	"	24	21	-	-		143	"	28	19		12	
44	"	27	15	-	-		144	"			24	9	
45	"			24	37		145	"	46	30		11	
46	"	38	30		23		146	"	36	26		34	
47	"			25	13		147	"	40	33		10	
48	"			26	4		148	"	20	16		12	
49	"	30	20		32		149	"	41	31		63	
50	08C	40	36		45	略方形	150	"			21	20	
51	"	35	20		39		151	"	(22)	20		20	
52	"			24	26		152	"			26	24	
53	"	32	26		37		153	10B			19	14	
54	"	43	30		22		154	"			25	17	
55	"			20	37	P1:34051略方形	155	"			14	23	
56	"			22	5		156	"	30	25		41 2段	
57	"	45	25		16		157	"	30	22		26	
58	"	32	(18)		12		158	"	50	25		25	
59	"			18	26		159	"	26	20		24	
60	"			26	40		160	"	20	15		36	
61	"			28	24		161	"	26	19		18	
62	"			26	21		162	"	28	20		23	
63	08D	70	55		23	2段	163	"			24	11	
64	"			18	17		164	"	19	14		27	
65	"	33	(21)		22		165	"	26	18		36 P2	
66	"	26	21		9		166	"	34	26		32 2段	
67	"	37	30		33	P3:34074 2段	167	"	32	20		22	
68	"			20	12		168	"	20	16		38	
69	"			26	15	P4:34075	169	10C	16	13		7	
70	"			27	22		170	"			22	33	
71	"			25	23		171	"	36	27		40	
72	"	22	16		8		172	"	51	44		38 P3:31920	
73	"	36	28		14		173	"			17	16	
74	"	50	45		42		174	"	31	20		42	
75	"	25	20		19		175	"	24	17		33 P1:31032	
76	"	34	24		32		176	"	30	21		24	
77	"	20	15		9		177	"			11	23	
78	09B			22	20		178	"	24	19		33	
79	"			19	23		179	"	38	32		60 2段	
80	"			18	23		180	"			19	15	
81	"	27	15		33		181	"			22	14	
82	"	47	35		36		182	"			21	25	
83	"	56	32		30・23 2穴		183	"	24	19		27	
84	"	30	20		42		184	"	21	14		26	
85	"	24	19		35		185	"	24	22		68	
86	"	40	30		36		186	"			18	18	
87	"			25	36		187	"			37	15 2段	
88	"			23	40		188	"	34	30		32	
89	"			15	28		189	"	23	16		39	
90	"			16	33		190	"	38	31		66 急斜	
91	"			16	33		191	"			17	14	
92	"	25	19		30		192	"	41	23		39 2段	
93	"	22	17		34		193	10D	20	17		-	
94	"			18	38		194	"	26	19		-	
95	"			28	24		195	"			30	-	
96	"			20	15		196	"	112	32		-	
97	"			16	25		197	"	29	22		4	
98	09C			36	5		198	"	30	18		5	
99	"	18	13		25		199	"	72	25		5	
100	"			26	16		200	"			48	32 P1:31896	

第23表 柱穴状ビット計測表 1

番号	区	長軸(cm)	短軸(cm)	直径(cm)	深さ(cm)	備考	番号	区	長軸(cm)	短軸(cm)	直径(cm)	深さ(cm)	備考
201	10D	40	35		36		301	11D			15	17	
202	"	42	31		30		302	"	92	58		47	P6:31904, 丸尾
203	"	21	17		15		303	"			34	28	
204	"	75	53		14		304	"			22	17	
205	"			22	28		305	"			28	14	
206	"	66	44		16	略方形	306	"	29	25		18	
207	"			20	-		307	"	39	25		24	
208	10F	58	42		-		308	"	57	29		53	
209	"	44	26		37		309	"	34	34		16	三角形
210	"			22	30		310	"	33	26		29	P3:31899, 須恵器
211	"			26	45		311	"	23	20		13	
212	"			28	56		312	"			21	23	
213	"			39	22		313	"	52	35		40	P2:31898
214	"			17	21		314	"	75	36		20	
215	"	53	25		37	2段	315	"			22	21	
216	"	61	28		45	2段	316	"	43	20		21	
217	"	80	37		51	P1:25193	317	"	30	22		30	
218	"			46	35	P2:25194	318	"	40	22		-	
219	"			34	27		319	"			28	23	P1:31897
220	"	42	34		40	2段	320	"			28	46	
221	"	84	42		41・36	2穴	321	"			32	31	
222	"	36	30		33		322	"	82	55		33	2段
223	"			44	33	P3:25195	323	"			18	21	
224	"	131	76		33	P4:25196	324	"	46	32		23	2段
225	"	66	34		54	2段	325	"	26	22		8	
226	"	26	20		23		326	"	27	22		34	
227	"			32	39		327	"	41	37		40	
228	"			28	37		328	"	76	44		44	P5:31902
229	"	29	25		34		329	"	34	29		24	
230	10F	75	50		17	P2:25199	330	"			22	21	
231	"	43	35		24		331	"	31	26		41	
232	"	50	40		15		332	"	(30)	(14)		11	
233	"	74	48		62	P1:25198	333	"	74	24		36	P4:31902
234	"			31	31	P3:25200	334	"			18	20	
235	"			24	46		335	"			27	24	
236	"			19	41		336	"			25	26	P9:31907
237	"	56	45		67・67	2穴	337	"			19	24	
238	"	44	30		68	2段	338	"	43	30		16	
239	"	(37)	(14)		49	P8:25603	339	"	25	18		14	
240	"	(31)	(16)		66	P7:25602	340	"	43	34		42	P10:31908
241	"	45	35		54	斜	341	"	19	14		12	
242	"			22	22		342	"			36	14	
243	"	(40)	(28)		36	P6:25601	343	"	57	44		17	
244	"	90	50		29		344	"	63	46		14	
245	"	37	29		17		345	"			24	15	
246	"	40	36		48		346	"	31	26		20	
247	11A	40	30		-		347	12B	36	21		26	
248	"	54	28		20		348	"	38	22		-	
249	11B	40	28		20		349	"	36	28		-	
250	"	32	27		20		350	12C	46	31		27	P1:29914, 西平
251	"			18	24		351	"			25	21	
252	"	47	36		10		352	"	26	19		29	
253	"	33	27		10		353	"	42	29		25	2段
254	"			36	37	P1:31914	354	"	34	26		18	2段
255	"	53	40		36	P2:31915	355	"	(34)	(26)		37	
256	"	23	20		31		356	"			34	29	斜
257	11C	39	18		50		357	"	39	25		15	
258	"			16	11	P1:31033	358	"			22	15	2段
259	"			35	20		359	"			25	33	
260	"	30	19		26		360	"			17	12	
261	"	25	20		30		361	"	33	22		41	
262	"	61	51		15・24	2穴	362	"	24	20		37	斜
263	"	70	31		7		363	"			17	37	
264	"	43	25		5		364	"	38	23		17	
265	"	37	22		8		365	"			19	35	
266	"	128	32		11		366	12D			17	25	
267	"	40	30		11		367	"			19	13	
268	"	30	19		7		368	"			12	12	
269	"	83	45		14	2段	369	"	18	12		14	P10:31912
270	"	20	16		12		370	"	28	24		40	
271	"	32	25		14		371	"	23	18		34	2段
272	"			27	12		372	"	60	24		15	
273	"	23	17		17		373	"	17	11		22	2段
274	"			16	36	斜	374	"	33	27		13	
275	"			21	16		375	"	31	23		28	2段
276	"			30	58		376	"	18	15		22	
277	"	26	20		25		377	"	25	17		17	
278	"			22	7		378	"			17	19	
279	"			33	40	2段	379	"			18	13	
280	"	25	21		20		380	"	21	17		16	P1:29921
281	"	30	24		-		381	"	19	14		11	
282	"			20	-		382	"	21	13		23	
283	"			17	-		383	"	22	9		12	
284	"	27	20		-		384	"			24	10	
285	"	39	21		-		385	"			13	10	
286	"			28	-		386	"	70	38		14	「コ」字形
287	"	36	28		41		387	"	28	14		11	
288	"	31	27		54		388	"	20	10		19	P2:29922
289	11D	24	18		-		389	"	24	17		10	
290	"	22	18		-		390	"	32	15		13	
291	"	37	28		-		391	"	25	20		14	
292	"	23	17		-		392	"	34	30		26	
293	"	30	26		53	2段	393	"			26	49	
294	"	58	38		57	2段	394	"	20	18		18	
295	"	57	(34)		25	P8:31906	395	"	33	24		23	
296	"	35	29		33	P7:31905	396	"			17	7	
297	"	23	19		63	2段	397	"			23	20	
298	"			28	62		398	"	27	22		19	
299	"			26	39		399	"	22	15		17	
300	"	(35)	30		43		400	"			16	15	

第24表 柱穴状ピット計測表 2

番号	区	長軸(cm)	短軸(cm)	直径(cm)	深さ(cm)	備考	番号	区	長軸(cm)	短軸(cm)	直径(cm)	深さ(cm)	備考
401	12D			16	13		501	13C			22	22 2段	
402	"				36		502	"	23	18		9	
403	"	56	28	32	17 斜		503	"	26	22		43 2段	
404	11E	43	34		17		504	"			20	11	
405	"	44	29		50 2段		505	"	24	20		7	
406	"			20	13		506	"	30	25		10	
407	"	35	25		41		507	"			23	14 2段	
408	"	36	32		36		508	"	28	19		16 2段	
409	"	50	37		48 2段		509	"			17	46	
410	"			18	8		510	"	79	45		17 2段	
411	"	38	26		-		511	"	63	32		15・11 2穴	
412	"	39	32		43		512	"	37	22		18 2段	
413	"			42	42		513	"	19	15		9	
414	"	44	28		56		514	"	28	19		10	
415	"	44	40		75		515	13D	25	17		31 2段	
416	"	59	55		75		516	"	15	11		27	
417	"	36	28		17		517	"	25	14		37 2段	
418	"			30	30		518	"			21	34 P6:29932	
419	"			27	28		519	"	27	15		26	
420	"			33	- P2:25554		520	"	28	24		10	
421	"			36	11 P3:25555		521	"	28	22		17 P1:29927	
422	"	31	28		30		522	"			32	27 P2:29928	
423	"			24	22		523	"	24	19		15	
424	11F			26	5 P7:25528		524	"	40	31		18 P3:29929	
425	"	30	25		P6:25553		525	"	35	20		12 P4:29930, 北久根山	
426	"	34	24		15		526	"	25	20		19 P7:29934, 磨製石斧	
427	"			25	9 P8:25569, 市来		527	"	25	18		24	
428	"	38	31		16		528	"			20	9 P5:29931	
429	"	36	24		66 P9:25570		529	"	26	12		-	
430	"			22	30		530	14B	30	21		-	
431	"			20	25		531	"	29	20		-	
432	"			37	63		532	"			22	29	
433	"	49	39		30		533	"			25	28	
434	"			28	7 P1:25512, 市来		534	"			20	14	
435	"	25	22				535	"			25	33 2段	
436	"	45	30		50 P10:25571		536	"	61	39		8 P1:31927	
437	"	30	25		25		537	"			24	20	
438	"			23			538	"	24	17		11	
439	"	58	42		67 P11:25572		539	"	29	19		11	
440	"			41	27		540	"	30	27		27	
441	"	48	30		9 P12:25573		541	"	60	35		28 2段	
442	"	53	31		35 2段		542	"	21	17		12	
443	"	42	31		63 斜		543	14C	86	48		17 2段	
444	"	33	29		52 P2:25513		544	"	84	60		14 2段	
445	"	118	56		57 P3:25522		545	"			20	19	
446	"	42	29		17 P4:25523		546	"	65	52		10 P2:32000	
447	"			27	31 P5:25524		547	14D	30	22		32	
448	"			40	16		548	"	65	45		36	
449	"			17	19		549	"	70	70		25 略方形	
450	"	27	22		10		550	"	33	26		26 2段	
451	"	65	33		48 P13:25581市・丸・西		551	"	47	28		8	
452	"			33	47 P15:25584スケレイバ		552	"	35	20		18	
453	"			21	16		553	"	30	22		17	
454	"	44	28		17 P14:25583		554	"			27	14	
455	11G			30	26		555	"			20	17	
456	"			33	31 P1:25587		556	"			24	12	
457	"	50	35		51		557	"	76	53		12	
458	"			35	50 斜		558	"	24	18		6	
459	"	30	24		27		559	"	41	32		12	
460	"	30	26		45 P2:25600, 丸尾		560	"			30	23	
461	12E			28	37 P5		561	"	33	23		24	
462	"	33	23		11		562	"			24	19	
463	"			32	59 P6:25625, 市・辛		563	"	52	34		11	
464	"	67	45		28		564	"	56	43		48	
465	"	35	20		13		565	"	22	16		9	
466	"			20	60 斜		566	"	127	58		34	
467	"			20	53 斜		567	"	41	25		34	
468	12F			30	13		568	"	152	72		9	
469	"	66	45		66		569	"	34	27		11	
470	"	65	49		35 2段		570	"	26	21		9	
471	"			19	20 斜		571	13E			22	26	
472	"	25	17		17		572	"			22	27 2段	
473	"			16	19		573	"	42	34		68	
474	"			26	17		574	"			21	14 P9	
475	"			33	38 2段		575	"			17	28 P8 斜	
476	"			26	48		576	"	56	45		30 P5 2段	
477	"	40	35		55 P1:25597, 西平		577	"			28	21 P4	
478	"			25	24		578	"	46	27		20 P3, 丸尾	
479	"	55	30		25 2段		579	"			25	27 P2, 丸尾?	
480	12G	54	45		26		580	"	26	21		33 P1	
481	"	70	53		11		581	"	40	19		34 P11 2段	
482	"	60	38		23		582	13F			24	46 P12	
483	12H	35	23		43 P1:25626		583	"			20	36	
484	13B			19	28		584	"			18	13	
485	"			35	34		585	"			17	26 P9	
486	"			22	22		586	"			12	28 P8	
487	"	26	22		36		587	"	65	54		37・69 P7 2穴	
488	"			29	29		588	"	26	19		37 P6	
489	"	42	30		37		589	"			33	28 P5	
490	"	35	25		26		590	"			28	29 P4	
491	"			20	20		591	"			20	24 P3, 市来・丸尾・納曾	
492	"	18	15		21		592	"			30	26 P2, 西平	
493	13C	19	13		10		593	"	37	22		35 P1, 辛川	
494	"			29	34		594	"			28	26	
495	"	41	20		46 2段		595	"			21	16 P17:25614	
496	"	22	12		10		596	"	26	23		56 P18:25615, 砥石	
497	"	22	18		13		597	"			22	36	
498	"	26	22		14		598	"			19	19	
499	"	30	22		15		599	"	24	20		37 P19:25616	
500	"	20	16		37 2段		600	"			24	37 P15:25612, 西平	

第25表 柱穴状ピット計測表 3

番号	区	長軸(cm)	短軸(cm)	直径(cm)	深さ(cm)	備考	番号	区	長軸(cm)	短軸(cm)	直径(cm)	深さ(cm)	備考
601	13F			23	43	P14:25611	701	15D			17	12	P7:31947, 納曾
602	"			14	16		702	"	42	37		14	P5:31945
603	"			17	34		703	"	49	42		15	
604	13G			32	56		704	"	88	68		33	P6:31946
605	"			17	29		705	"	60	54		18	2段
606	"	47	43		43		706	"	33	28		11	2段
607	"			22	36		707	"	18	14		9	
608	"	17	14		15		708	"	25	18		12	
609	"	37	25		43		709	"			25	41	P9:31952
610	"	46	30		54	P3:25607	710	"	32	26		7	
611	"	32	30		52	P2:25606	711	"	26	21		14	P10:31965
612	"	30	23		31		712	16B			13	7	
613	"			25	25		713	"	18	14		13	
614	"			32	66		714	"	24	17		7	
615	"	52	40		33		715	"	19	15		10	
616	"	29	22		45	P1:25599	716	"	17	13		7	
617	"	32	27		40		717	"	15	11		4	
618	14E	84	38		20		718	"	23	17		7	
619	"	42	29		26		719	"	22	17		5	
620	"				22	P1, 納曾	720	"			25	9	
621	"				27	P2	721	"			16	14	
622	"				17	P3	722	"			16	15	
623	"				30		723	"			16	5	
624	"	43	33		13・13	2穴	724	"			17	7	
625	"	29	23		34	P14	725	"			40	13	
626	"			20	55		726	18C	40	27		12	2段
627	"	33	23		44		727	"	23	18		14	
628	"	54	26		19	2段	728	"	29	22		15	
629	"	30	19		15		729	"	35	14		8	
630	14F			26	37	P4 2段, 略方形	730	"	57	43		10	
631	"			27	48	P5	731	"			17	8	
632	"	32	30		43	2段	732	"	22	12		8	
633	"	37	22		56	P2, 西平	733	"	23	15		7	
634	"	45	32		46	2段	734	"	22	16		13	
635	"	30	27		43	P3	735	"	19	14		11	
636	"			23	13		736	"	26	23		10	
637	"	28	22		45	P1:25617	737	"	41	30		10	
638	"			25	44	P13	738	"	51	33		17	2段
639	"	23	19		32		739	"	73	62		22	
640	"	28	24		19		740	"	39	34		17	2段
641	"	35	28		10		741	"			21	19	
642	"	26	17		12		742	"	44	25		6	
643	"			27	34		743	"	25	20		21	
644	14G	14	10		32		744	16D	36	32		19	
645	"			33	13		745	"	(23)	20		8	
646	"			20	51		746	"	31	21		28	斜
647	"	26	21		52	P1, 西平	747	"	49	25		11	P5:31964
648	"	35	21		53	P2, メンコ, 西平	748	"	34	28		9	P4:31963
649	"			22	46	P3, 略方形	749	"			19	8	
650	"			27	-		750	"	20	17		15	P3:31962
651	"			29	-		751	"	44	38		8	
652	"			15	-		752	"			31	13	
653	"			22	-		753	"	22	18		13	P2:31961
654	"			72	-		754	"	20	15		11	
655	13H	90	60		22		755	"	45	18		9	
656	13I	42	32		58		756	"			25	10	
657	"	29	24		37		757	"	18	12		11	
658	"	29	26		15		758	"			30	10	P1:31960
659	"	55	40		65		759	"	24	20		10	
660	14H	69	37		42	2段	760	"	25	21		13	
661	14 I	153	45		12		761	"	15	12		20	
662	"	46	30		35		762	"	19	14		6	
663	"	66	45		32	2段	763	"			18	13	
664	"	54	42		7		764	"	22	18		11	
665	"	43	29		36	2段	765	"	34	25		13	P8:31973, 丸・西
666	"	50	40		33		766	"			14	24	
667	"	68	38		65	2段	767	"	26	21		18	P7:31969
668	15B			25	16	2段	768	"	20	16		11	
669	"	27	18		4		769	"	20	16		40	
670	"			14	11		770	"	23	19		23	斜
671	"	14	11		8		771	15E	29	20		20	
672	"	28	20		23		772	"			25	31	
673	"	39	25		15	2段	773	"			22	14	
674	"	50	33		52	2段	774	"			21	53	P10
675	15C	35	28		9		775	"			27	29	P11
676	"	48	30		5		776	"	61	37		10	P12
677	"	22	15		21		777	"			26	40	P9
678	"	24	19		-		778	"	37	17		15	P8
679	"	60	56		29	P2:31979	779	"			24	15	P7
680	"	73	53		17	2段	780	"	128	52		11	
681	"	57	41		10		781	"	28	19		43	P6 2段
682	"	22	14		5		782	"	32	22		12	P13
683	"	75	50		16	P3:31980	783	"	32	22		31	P1, 納曾
684	"	90	54		12		784	"	110	70		47・26	P2 2穴, 西平
685	15D	35	24		8	P11:31981	785	"			20	14	
686	"	39	27		11		786	"			17	29	P3
687	"	24	13		15		787	"	41	32		33	P4
688	"			30	15	P13:31985	788	"			23	45	P5
689	"	32	26		13		789	"			19	9	
690	"	22	17		11		790	"			20	47	斜
691	"	46	39		18	P12:31982	791	"	55	35		32	P15
692	"	39	28		11	P1:31940, 丸尾	792	"			19	21	
693	"	36	32		13		793	15F			23	27	
694	"	26	21		13	P3:31942	794	"			18	20	
695	"			24	13	P2:31941	795	"	42	30		9	P4, 丸尾・納曾・西平
696	"	24	16		18	P1:31940	796	"			30	44	P3, 市来
697	"	17	14		33		797	"			25	26	
698	"	49	42		30	P8:31948, 納曾	798	"			22	30	
699	"			21	10		799	"	106	52		50	2段
700	"	72	52		12	P4:31943	800	"			30	20	P1, 西平

第26表 柱穴状ピット計測表 4

番号	区	長軸(cm)	短軸(cm)	直径(cm)	深さ(cm)	備考	番号	区	長軸(cm)	短軸(cm)	直径(cm)	深さ(cm)	備考
801	15F	39	27		60	2段	901	16J	29	22		26	
802	"			26	32	斜	902	"	36	26		46	
803	"	66	30		60	2段	903	"	38	25		23	
804	"			30	22		904	"			22	21	
805	"			27	24		905	"	40	30		18	
806	"			27	38		906	"	40	30		40	
807	"			20	22		907	"	37	26		20	
808	"	28	10		31		908	"	30	16		33	
809	"	36	32		27	P2, 曾畑, 西平	909	"			22	33	
810	"			26	52		910	"			18	25	
811	"			31	35		911	17C			30	17	P1:31975
812	"			21	24	P5, 台付皿	912	"	48	30		12	
813	"			24	44	P6, 納曾	913	"	41	26		11	2段
814	"			12	26	P7	914	"	57	31		20	2段
815	"			18	21		915	"	21	17		7	
816	"	33	28		52		916	"	21	17		16	
817	"	34	30		30	略方形	917	"	19	12		13	
818	"	18	15		33		918	"	42	30		14	
819	"	50	33		48	2段	919	"	19	(13)		17	
820	"	75	40		40		920	"			21	15	
821	15G	33	30		23		921	"	34	28		14	
822	"			20	23		922	"			20	27	
823	"	55	34		27	三角形	923	"			23	18	
824	"	28	23		23		924	"			27	14	
825	"			23	31		925	"			25	15	2段
826	"			21	28		926	"	24	19		14	
827	"	47	30		39	P1, 丸尾	927	"	28	24		9	
828	16E			14	9		928	"	32	26		13	
829	"	63	47		17	P2, 市・丸・辛・磨石	929	"	46	24		8	
830	"			18	36	P8	930	"	36	28		13	P11:36194
831	"	30	24		17	P7	931	"	60	44		32	2段
832	"			18	12		932	"			23	11	
833	"			9	12		933	"			26	38	
834	"			31	17	P6	934	"	32	25		13	
835	"			23	24	P5, 市来・丸尾	935	"			20	13	
836	"			18	14		936	"	18	14		-	
837	"			19	28		937	17D	72	28		18	
838	"			15	20		938	"	24	19		11	
839	"	22	17		14		939	"	51	25		15	2段
840	"			25	23		940	"	19	11		4	
841	16F	23	17		19		941	"	30	20		7	
842	"			32	37	2段	942	"	28	23		39	P6
843	"			17	8		943	"			23	11	
844	"	24	18		41	P7	944	"			17	13	
845	"			31	66	P6	945	"	38	26		18	2段
846	"			31	27	P5	946	"	19	16		15	
847	"			27	13	P4, 須恵器	947	"			16	14	
848	"			27	23	P3	948	"			17	14	
849	"			26	19	P2	949	"			17	11	
850	"			24	26	P1	950	"	17	14		17	
851	"			22	42		951	"	20	16		6	
852	"			22	16		952	"			21	12	P1:31970
853	"			11	20		953	"			18	36	
854	"			13	19		954	"	18	13		23	
855	"			30	21		955	"			17	15	
856	"			25	31	P9	956	"			16	17	
857	"			13	19		957	"	37	27		15	P2:31971
858	"			19	27	P8	958	"			15	13	P3:31972
859	"			22	28	P10	959	"			15	29	
860	"	42	30		46	26 P11 2穴	960	"			20	-	
861	"			24	20	P12	961	"	29	22		46	
862	"	21	18		7	P13	962	"	15	13		9	
863	"			20	47		963	"	30	28		24	
864	"	53	27		42	P14, 丸尾	964	"			18	19	
865	"	55	24		67	P15 2段	965	"			19	6	
866	"			22	15		966	"			19	17	
867	"	34	26		19		967	"			20	-	
868	"			27	60	P16	968	18C	32	26		25	
869	"	39	30		7	P17	969	"	22	(10)		23	
870	"	49	34		58	P18 2段	970	"	29	17		9	
871	"	37	30		18	P19	971	"			28	21	2段
872	16G			18	27		972	"	22	19		11	
873	"			23	39		973	"			21	14	
874	"			18	29		974	"	31	27		27	
875	15H			18	20		975	"			37	7	
876	"	28	22		42		976	"			20	26	
877	"	45	27		50		977	"	70	31		22	2段
878	"			39	33		978	"			17	10	
879	16 I				40		979	"	18	16		43	
880	"	(27)	(17)		23		980	"			18	15	
881	"			25	34		981	"	21	16		20	
882	"	29	24		35		982	"	26	21		12	
883	"			54	20	P1:25137(炭化木)	983	"	57	36		17	P2:25710, 納曾
884	"	32	28		36		984	"	43	30		32	2穴
885	"	26	23		41	P2:25138	985	"			20	37	36
886	"	56	50		19	2段	986	"	27	21		18	
887	"	39	28		34		987	"			26	23	
888	"	(41)	37		28		988	"			17	17	
889	"	(30)	(24)		10		989	"			14	22	
890	"	44	38		38		990	"	24	15		24	
891	"	34	(24)		16		991	"	29	26		31	
892	"	(34)	33		20		992	"	71	51		4	
893	"			27	39		993	"			17	11	
894	"			29	34		994	"	51	43		45	2段
895	"	34	(24)		41		995	"			20	21	
896	"	35	28		41		996	"			26	13	
897	"	30	23		30		997	"	34	28		18	
898	"	33	20		31		998	"			26	21	
899	16J	40	32		30	P1:25040, 弥生土器	999	"	55	43		28	2段
900	"			20	13		1000	"	35	30		25	2段

第27表 柱穴状ビット計測表 5

番号	区	長軸(cm)	短軸(cm)	直径(cm)	深さ(cm)	備考	番号	区	長軸(cm)	短軸(cm)	直径(cm)	深さ(cm)	備考
1001	18C	36	25		13		1101	18D	26	20		15	
1002	"			18	16		1102	"			20	12	
1003	"	64	42		38・35 2穴		1103	"			20	11	
1004	"			21	18		1104	"	24	19		15	P26:37122, 市来
1005	"			23	20		1105	"			19	46	P27:37123
1006	"			17	18		1106	"			27	20	
1007	"			22	23		1107	"			29	20	P35:37131, 市来
1008	"	38	33		32 2段		1108	"	17	12		17	
1009	"	27	23		13		1109	"			29	23	P36:37132
1010	"	35	28		13		1110	"			14	31	P33:37129
1011	"	31	29		11		1111	"			15	18	P34:37130
1012	"			21	9		1112	"			20	23	
1013	"			20	9		1113	"			20	15	
1014	"	37	31		30 2段		1114	"	38	25		8	P38:37135, 市来
1015	"	31	21		19		1115	"			18	19	
1016	"	31	18		17		1116	"			19	45	P28:37124
1017	"			22	24 P11:36179		1117	"	27	21		31	P29:37125
1018	"	61	46		23		1118	"	32	27		33	P30:37126, 市来
1019	"			20	23		1119	"			22	39	P31:37127
1020	"	36	25		24・16 2穴		1120	"	25	20		44	P32:37128, 丸尾
1021	"			15	16		1121	"	24	20		14	
1022	"			24	16		1122	"	24	23		17	
1023	"			16	24		1123	"	57	47		15	
1024	"			24	38		1124	"	19	16		23	P7:33858, 納曾
1025	"			21	25		1125	"			18	8	P39:37136
1026	"			28	27		1126	"			18	27	P37:37133, 剥片
1027	"	65	36		27・26 2穴		1127	"			22	15	
1028	"	34	30		24 2段		1128	17E			16	16	
1029	"			24	23		1129	"			18	8	
1030	"	24	18		24		1130	"	42	20		48	P8:37161
1031	"	25	18		15		1131	"	35	17		21	
1032	"	23	19		24		1132	"	40	23		15	2段
1033	"	72	37		29 P12:36195		1133	"	24	21		18	略三角形
1034	"	126	77		40・31・25 3穴		1134	"	88	50		14・12	P7:37166, 2穴
1035	"	27	22		10		1135	"			22	18	2段
1036	"	29	26		43 2段		1136	"			16	17	P5:37158
1037	"	17	14		12 P20		1137	"			18	16	P6:37159
1038	"			26	13		1138	"			24	25	P3:37156
1039	"	20	17		14		1139	"	51	34		38	P1:37154
1040	"			26	22		1140	"			21	28	
1041	"			12	14		1141	"	97	42		22	P4:37157
1042	18D			15	14		1142	"	26	17		13	
1043	"			18	13		1143	"			19	12	
1044	"			18	21 P14:36975		1144	"			21	14	
1045	"	32	25		18 P15:36976		1145	"			20	14	
1046	"	22	17		28 P16:36977		1146	"			22	11	
1047	"			36	18		1147	"			24	41	
1048	"			19	12		1148	"			18	8	P3:37156
1049	"			16	17		1149	"			13	12	
1050	"	28	21		13		1150	"	23	18		34	P4:37157
1051	"			22	20		1151	"			19	15	P1:37154
1052	"	24	19		7 P11:36972		1152	"	34	19		11	P2:37155
1053	"	35	29		17		1153	"			17	22	
1054	"			18	29 P13:36974		1154	"	21	16		13	
1055	"			29	14		1155	"			18	18	
1056	"			19	10 P12:36973		1156	"	22	18		12	
1057	"	26	19		13		1157	"	21	18		48	
1058	"			24	9		1158	"			20	19	2段
1059	"			26	6		1159	"	17	13		10	
1060	"			18	6		1160	"			27	19	
1061	"			16	6		1161	"			20	8	
1062	"	51	45		26 2段		1162	"			15	9	
1063	"			17	10		1163	"	17	14		6	
1064	"	33	24		12		1164	"			20	13	
1065	"	30	25		25 P17:36978, 丸尾		1165	"			16	19	
1066	"			21	6 P18:36979, 丸尾		1166	"			17	12	
1067	"	55	26		21・12・5 3穴		1167	"			13	9	
1068	"	19	17		-		1168	"	22	11		5	
1069	"			18	10		1169	"			15	10	
1070	"	20	16		16		1170	"			18	58	
1071	"	19	15		9 P42:37139		1171	"			19	9	
1072	"	17	15		19		1172	"			18	19	2段
1073	"	15	13		20		1173	"			19	15	
1074	"	25	23		46 P41:37138		1174	"			18	20	2段
1075	"	24	19		22 P5:33856		1175	"	21	15		41	
1076	"			16	24		1176	"	18	13		14	
1077	"	25	18		8		1177	"			14	15	
1078	"	22	18		27 P40:37137, 剥片		1178	"			13	18	
1079	"	30	23		27 2段		1179	"			17	32	
1080	"			19	10		1180	"			15	6	
1081	"			30	9		1181	"			13	8	
1082	"	29	24		11		1182	"			18	7	
1083	"	23	15		36 2段		1183	17F	97	65		11	
1084	"			25	13 P21:37117		1184	"	36	32		63	P3, 西平, 磨石
1085	"			28	23		1185	"			29	56	P2, 西平
1086	"			22	16		1186	"	21	18		9	
1087	"	33	22		19		1187	"			22	12	
1088	"			20	18		1188	"			28	69	P11, 石皿, 磨石
1089	"	37	25		21 P25:37121		1189	"			14	10	
1090	"	33	25		21 P24:37120		1190	"	53	18		11	
1091	"			26	19		1191	"			17	9	
1092	"	37	27		8		1192	"			24	18	
1093	"	23	17		8 P23:37119, メンコ		1193	"			14	17	P9
1094	"	28	22		8		1194	"			26	53	P8:辛川・納曾
1095	"	27	20		4		1195	"			12	8	
1096	"			27	10		1196	"	31	25		18	2段
1097	"	28	21		19		1197	"			41	50	P5, 丸・納・西
1098	"	45	33		25 P22:37119, 市来		1198	"	23	13		10	
1099	"	22	18		23		1199	"			29	25	P6
1100	"			33	8		1200	"			12	22	

第28表 柱穴状ピット計測表 6

番号	区	長軸(cm)	短軸(cm)	直径(cm)	深さ(cm)	備考	番号	区	長軸(cm)	短軸(cm)	直径(cm)	深さ(cm)	備考
1201	17F	40	26		33	P7	1301	19C			19	16	
1202	"			12	13		1302	"			17	21	
1203	"			15	13		1303	"			17	25	
1204	"	31	20		29	P10	1304	"			17	26	
1205	"	20	17		13		1305	"			13	7	
1206	"			12	15	P12, 台付皿, 納曾	1306	"	74	43		56・32	2穴
1207	"			14	15		1307	"	20	18		16	
1208	"			28	14		1308	"	34	18		32	P17:36172
1209	"	115	69		23	P13, 磨石	1309	"			20	21	
1210	"	39	28		30	P15, 2段	1310	"			15	18	
1211	"	62	35		18	P14, 鐘・納・西・石Ⅱ	1311	"	29	25		32	
1212	"	30	25		24		1312	"			34	50	P16:36171
1213	"			13	13		1313	"	53	39		42	P15:36170
1214	"			12	21		1314	"			27	26	
1215	"			18	33	P11:37171	1315	"	37	20		19	P13:36168, 市来
1216	"	24	19		16		1316	"			22	13	
1217	"			17	14		1317	"			17	20	
1218	"			18	17		1318	"	53	42		16	2段
1219	"			19	50	P13:37173	1319	"	22	17		19	斜
1220	"			18	29	P14:37174, 磨石	1320	"	25	22		26	
1221	18E			14	15		1321	"	13	10		24	
1222	"			21	10		1322	"			13	14	
1223	"	22	20		34	P14:37143	1323	"			21	31	
1224	"	35	30		41	2段	1324	"	35	(18)		8	P19:36174
1225	"			18	19		1325	"			28	19	
1226	"	31	25		32	P1:33860	1326	"	27	24		11	
1227	"	36	32		31	P12:37141, 西平	1327	"	35	28		22	斜
1228	"			23	13	P11:37140	1328	"			30	11	
1229	"	33	20		23	P2-P15:33861	1329	"			19	18	
1230	"	16	12		11	P3:33862	1330	"			25	13	
1231	"	25	21		42	P16:37145	1331	"			23	52	P18:36173
1232	"			25	31	P19:37163	1332	"	25	19		36	
1233	"			16	12		1333	"			17	12	
1234	"	30	25		34	P4:33863	1334	"	35	28		26	
1235	"			23	12	P5:33864	1335	"			21	24	
1236	"	40	32		69	2段	1336	"			18	27	
1237	"			25	20		1337	"			25	20	斜
1238	"			18	9	P18:37162	1338	"	46	24		15	P21:36176, 砥石
1239	"	18	14		9	P19:37163	1339	"			17	29	
1240	"			18	20		1340	"	20	18		22	
1241	"			19	20	P22:37167	1341	"			20	18	
1242	"			15	15		1342	"			22	46	
1243	"			14	9		1343	"			17	11	
1244	"			17	13	P21:37166, 市来	1344	"			18	22	
1245	"			23	26	P20:37165	1345	"			15	25	
1246	"	16	12		12		1346	"			12	15	
1247	"			15	18	P23:37168	1347	"			23	47	
1248	18F	25	20		45	P11:37140	1348	"			27	9	
1249	"	19	15		7		1349	"			18	9	P11:36166
1250	"			12	16		1350	"	70	(53)		19	P12:36167
1251	"	53	39		38・20	P19:37181	1351	"			22	-	P14:36169, 剥片
1252	"			18	12	P18:37180, 西平	1352	"	33	26		-	P20:36175
1253	"	20	17		15		1353	"	39	20		-	P21:36176
1254	"	21	15		12	P14:37176	1354	"	26	20		-	P11:32453
1255	"	20	18		23	P13:37175	1355	19D	35	30		29	P14:36180
1256	"	18	12		12	P17:37179	1356	"			18	35	
1257	"	13	10		6		1357	"	38	31		26	
1258	"	18	15		28	P16:37178	1358	"	49	34		27	P11:36163, 磨石
1259	"	15	12		33	P3:36080	1359	"	33	25		11	
1260	"			21	30	P15=P6:36083	1360	"	27	21		22	P12:36164
1261	"			26	20	P4:36081, 市来	1361	"			18	25	
1262	"	40	33		40	P5:36082	1362	"			22	19	
1263	"	19	14		-		1363	"	37	28		20	
1264	"			14	-		1364	"	37	29		19	
1265	"	24	19		46	斜	1365	"			27	28	3段
1266	"	30	27		55	P2:36079	1366	"			25	16	
1267	"			20	14		1367	"			34	30	2段
1268	"			18	16		1368	"	28	(20)		13	
1269	"			20	33	P20:37182	1369	"			39	19	P13:36165
1270	"			21	34		1370	"	33	20		17	
1271	"			14	16		1371	"	18	14		12	
1272	"			13	29		1372	"			28	20	
1273	"	16	13		20		1373	"			25	28	P15:36192, 石鍾
1274	"			17	16		1374	"	24	18		29	
1275	"			17	33		1375	"			14	19	
1276	"			20	19	P21:37183	1376	"			23	27	2段
1277	"			17	9	P22:37184	1377	"	26	18		35	
1278	"			15	12	P23:37185	1378	"	29	20		14	
1279	"	23	22		20		1379	"	65	46		73・36	2穴
1280	"			18	20	P24:37186	1380	"	27	21		9	
1281	"	25	21		21		1381	"	76	60		26	2段
1282	"	20	16		24		1382	"			25	19	
1283	"			17	22		1383	"			26	13	
1284	"	15	13		34		1384	"	54	26		15	P29, 市来
1285	"	24	17		21		1385	"	60	56		33	2段
1286	"			25	8		1386	"	38	30		11	
1287	"	22	17		27	P25:37187	1387	"	55	48		28	2段
1288	"	40	19		32	2段	1388	"	34	30		26	2段
1289	"			18	25		1389	"			27	19	
1290	"			20	51	2段	1390	"	25	21		22	
1291	"	38	31		8		1391	"			25	32	
1292	"	29	24		29	2段	1392	"			23	9	
1293	"			48	7		1393	"	32	26		26	2段
1294	19C			19	9		1394	"			33	31	P30
1295	"			20	16		1395	"			37	24	P31, 市来, 剥片
1296	"	23	18		18		1396	"	38	27		23	
1297	"			20	18		1397	"	25	20		41	P28
1298	"			19	22	P22:36177	1398	"			27	23	P27
1299	"			27	12		1399	"	27	24		24	
1300	"			18	16		1400	"			28	52	P25

第29表 柱穴状ピット計測表 7

番号	区	長軸(cm)	短軸(cm)	直径(cm)	深さ(cm)	備考	番号	区	長軸(cm)	短軸(cm)	直径(cm)	深さ(cm)	備考
1401	19D	35	25		42		1501	20C	18	14		-	
1402	"	40	24		48		1502	"	30	24		-	
1403	"			16	17		1503	"			22	-	
1404	"	83	25		3		1504	"			22	-	
1405	"	16	13		13		1505	"	60	50		-	
1406	"	54	29		11		1506	"			42	-	
1407	"			25	33		1507	"	40	24		-	P15:32449
1408	"	19	13		7		1508	"	66	52		-	P16:32450, 市来
1409	"	23	20		12		1509	"	60	36		-	P17:32451
1410	"	23	19		35		1510	"	62	45		-	
1411	"			14	6		1511	"	50	20		-	
1412	"			19	8		1512	"	36	30		-	
1413	20D			19	6		1513	20D			28	38	
1414	19D	37	24		11		1514	"	38	28		53	
1415	"	35	35		11		1515	"			18	30	
1416	"	42	32		66		1516	"	32	24		58	P2:30283, 北久根止
1417	"			22	18		1517	"	15	9		13	
1418	"	50	39		8		1518	"	24	19		18	
1419	"			20	24		1519	"	30	26		42	
1420	"			20	11		1520	"			19	33	
1421	"	34	25		24		1521	"			17	28	
1422	"			21	20		1522	"	38	24		35	
1423	"	63	40		20		1523	"	19	13		50	
1424	"			21	28		1524	"			45	10	
1425	"	38	26		27		1525	"	47	37		30	P1:30282
1426	"	58	33		48		1526	"			30	34	
1427	"	58	43		20		1527	"	27	23		19	
1428	"	30	25		16		1528	"			23	15	
1429	"	30	34		22		1529	"			28	15	
1430	"	24	20		17		1530	"			22	23	
1431	"	53	30		22		1531	"	33	28		33	
1432	"	60	39		12		1532	"	30	25		10	
1433	"	56	35		17		1533	"			22	14	
1434	"	44	40		24		1534	"	35	22		16	
1435	"	118	59	35・30・20	3穴		1535	"	97	64		51	P17, 2段
1436	"	35	27		34 2段		1536	"			26	12	
1437	"	50	23		7		1537	"	39	30		30	2段
1438	"	78	38		9		1538	"			44	41	P18, 2段
1439	"	38	30		13		1539	"			37	46	2段
1440	"			33	12	P14:36180	1540	"	48	35		15	P19
1441	"	30	26		14	P13:36165	1541	"			29	15	
1442	"			35	24	P12:36164	1542	"	45	40		11	
1443	"			28	60	P11:36163, 磨石	1543	"			23	47	
1444	"			25	11		1544	"	73	37		12	
1445	"	132	53		25	P21	1545	"			30	29	
1446	"			25	14		1546	"	53	30		15	P16
1447	"			22	-		1547	"	37	26		19	P15
1448	"			18	-		1548	"			27	19	
1449	"	33	24		22	P22	1549	"	38	27		18	
1450	20C			12	13		1550	"	60	18		19	
1451	"			19	19		1551	"	65	57		46	P14, 2段, 剥片
1452	"			20	21		1552	"	42	30		16	
1453	"	32	20		15	2段	1553	"			22	15	
1454	"	39	35		61	2段	1554	"			32	11	
1455	"	67	37	22・22・20	3穴		1555	"			29	14	
1456	"			18	18		1556	"	43	34		27	2段
1457	"	19	16		17		1557	"	37	30		25	2段
1458	"			19	22		1558	"	93	45		17	P20, 2段
1459	"			19	13		1559	"			15	15	P21, 剥片
1460	"	90	68	41・34・18	3穴		1560	"	46	35		11	
1461	"			23	29	斜	1561	"	33	28		19	2段
1462	"	38	34		48	2段	1562	"	95	54		15	
1463	"	38	27		25	斜	1563	"	38	32		-	
1464	"			15	11		1564	"			20	-	
1465	"	39	30		41	2段	1565	"			20	15	
1466	"			25	26		1566	"			38	52	2段
1467	"	45	30		37	2段, 斜	1567	"	29	24		40	
1468	"			20	12		1568	"	50	46		48	2段
1469	"			18	26		1569	"	43	36		48	P12, 2段, 剥片
1470	"			25	9		1570	"	36	27		30	
1471	"			21	20		1571	"	43	30		17	P11:市来
1472	"			16	16		1572	"	23	18		14	
1473	"			15	12		1573	"			28	12	
1474	"			17	21		1574	"	102	87		26	P13, 2段, 剥片
1475	"	(57)	30		34		1575	"			18	13	
1476	"	69	(38)		40	P13:32447	1576	"			36	17	
1477	"	64	42		42	P12:32446	1577	"			36	11	
1478	"			13	12		1578	"	50	40		27	・19 2穴
1479	"	41	28		36	P11:32445	1579	"			24	16	
1480	"			24	48	2段	1580	"	32	23		45	
1481	"			22	8	P14:32448	1581	"	26	23		18	
1482	"	32	20		24		1582	18E			33	23	P1:33860
1483	"	30	21		41	2段	1583	"	34	24		65	P5:33864, 西平
1484	"	45	29		7		1584	19E			21	46	P2
1485	"	33	26		14		1585	"			22	14	P3
1486	"			30	9		1586	"			18	13	P4
1487	"	75	45		11		1587	"	35	28		15	P6, 2段
1488	"	43	22		22		1588	"	35	18		15	P7
1489	"	31	24		20		1589	"	21	18		20	P8, 2段
1490	"	27	21		29		1590	"	35	18		10	P9
1491	"	20	13		17		1591	"	30	24		40	P10
1492	"			22	24		1592	"	70	47		14	P11
1493	"			18	8		1593	"			42	58	・52 P12, 2穴, 剥片
1494	"	37	31		44	P18:32452	1594	"	23	18		17	P15
1495	"	30	25		35	斜	1595	"			28	8	P16
1496	"	30	25		9		1596	"	28	23		15	P14
1497	"			22	18		1597	"			18	12	P13
1498	"	(47)	21		-		1598	"			23	8	P17
1499	"	42	24		-		1599	"	34	26		31	P18
1500	"	24	18		-		1600	"	30	26		52	P19

第30表 柱穴状ビット計測表 8

番号	区	長軸(cm)	短軸(cm)	直径(cm)	深さ(cm)	備考	番号	区	長軸(cm)	短軸(cm)	直径(cm)	深さ(cm)	備考
1601	19F				31	16 P21	1701	21C	48	36		19	
1602	"	69	56			19 P20, 2段	1702	"	49	43		34	P15, 2段, 32420
1603	"	48	34			28 P23, 2段	1703	"			30	26	
1604	"	21	16			34 P24	1704	"	40	22		9	
1605	"			19		20 P25	1705	"	29	26		42・42	P14, 2穴, 32419
1606	"			26		13 P26	1706	"			21	11	
1607	20E			29		27 P102, 丸, 納, 剥片	1707	"	39	19		9	
1608	19E	39	26			25 P29	1708	"	34	22		27	袋状
1609	"	52	42			12 P30, 丸尾	1709	"			28	18	
1610	"	60	49		21・18	P31, 2穴, 剥片	1710	"			32	38	
1611	"	28	24		53・37	P32, 2穴	1711	"			20	35	
1612	"			26		12 P33	1712	"			18	36	
1613	"			17		10 P27	1713	"	65	50		19	
1614	"			22		10 P28	1714	"	29	23		30	2段
1615	"			15		27 P34	1715	"			17	14	
1616	20E			28		31 P103	1716	"	22	15		18	2段
1617	"			18		16 P104	1717	"	45	32		27	2段
1618	"	35	27			9 P105, 市来	1718	21D	67	41		33・25	2穴
1619	"	24	21			9 P106	1719	"			18	8	
1620	"	39	31			7 P107, 剥片	1720	"			18	18	
1621	19E	29	24			51 P35, 2段	1721	"	37	32		45・16	2穴
1622	20E			26		16 P108, 石皿	1722	"			32	32	P12:32415, 2段
1623	"	28	23			20 P109, 市来	1723	"	60	34		26	
1624	"	38	33			28 P110	1724	"	30	24		25	
1625	19E	67	30			53 P101, 2段	1725	21C	41	24		38	
1626	"			28		19 P102	1726	"			18	39	
1627	19F			18		12 P103	1727	"	38	28		72	
1628	"			18		40 P104	1728	"			24	29	斜
1629	"	44	35			20 2段	1729	"			23	47	
1630	"	68	56		19・18	P3, 2穴	1730	"			34	19	
1631	"	66	54			24 P2, 2段	1731	"			18	36	
1632	"			19		20 P1	1732	"			18	17	
1633	"			23		11	1733	"	28	22		19	
1634	"	27	22			18	1734	"			22	41	
1635	"	25	21			12	1735	"			26	29	2段
1636	"	24	18			8	1736	"			15	23	
1637	"	70	45			19 P4	1737	"			21	18	
1638	"	45	30			7	1738	"			32	17	2段
1639	"			37		24	1739	"			19	13	
1640	20E	38	30			11 P32	1740	"			16	37	
1641	"	32	25			6	1741	"			19	26	
1642	"	30	19			22 P33	1742	"			22	18	
1643	"	36	32			38	1743	"			17	22	
1644	"			25		47 P31	1744	"			19	17	
1645	"	40	29			8 P30, 剥片	1745	"			15	25	
1646	"	32	28			34 P29	1746	"	25	15		27	斜
1647	"			24		10 P28	1747	"			17	12	
1648	"			34		12 P26	1748	"			15	16	
1649	"			27		10 P24, 市来, 石核	1749	"	28	24		41	2段
1650	"			18		7	1750	"	56	42		37・30	2穴
1651	"	19	16			20 P27, 剥片	1751	"	32	27		18	P13:32418
1652	"	43	23			9 P20, 西平	1752	"	57	38		82	P12:32417, 2段
1653	"	35	23			20 P22, 剥片	1753	"	52	37		49	2段
1654	"	46	36			13 P21	1754	"			17	13	
1655	"	62	38			48 P23, 2段, 剥片	1755	"	60	31		27	2段
1656	"	54	43			45 P25, 2段, 西平, 剥)	1756	"	51	36		19	P11:32416
1657	"	37	25			32	1757	"	42	34		26	P1, 西平
1658	"	27	20			10 P9	1758	"	35	28		25	
1659	"			20		9 P8	1759	21D	24	20		21	
1660	"	34	28			31 P11	1760	"			32	41	
1661	"	32	14			9 P10	1761	"	63	52		46	P11:32414, 2段
1662	"	32	20			20 P7, 2段	1762	"	39	32		-	
1663	"	28	22			19 P6	1763	"			20	22	
1664	"	24	20			24	1764	"			29	22	
1665	"			23		27 P5	1765	"			30	50	P1, 剥片
1666	"	29	26			10 P4, 剥片	1766	"	28	24		22	P2, 丸, 納, 剥片
1667	"			29		26 P3	1767	"	85	47		12	2段
1668	"	34	30			39 P2, 西平	1768	"	29	24		14	
1669	"	29	21			10	1769	"	53	38		58	
1670	"	22	19			35	1770	"	40	25		45	
1671	"	48	41			19 P1	1771	22D	33	23		9	
1672	"			29		22	1772	"	20	17		17	
1673	20F	42	38			26 P2, 2段	1773	"	(20)	18		19	
1674	"	57	38			36 P1	1774	"			14	13	
1675	"	39	25			30 P3, 2段, 市来, 磨斧	1775	"			27	26	
1676	"	32	29			28 P4, 2段, 剥片	1776	"			30	21	
1677	"	37	31			10 P6	1777	22C			15	-	
1678	"	51	34			54 P5	1778	"			23	-	
1679	"	46	39			6 P7	1779	"			15	-	
1680	"	27	21			34 2段	1780	21D	29	23		30	
1681	21C			18		8	1781	"			26	32	
1682	"	41	32			38 P16:32421, 剥片	1782	"			34	10	P3, 剥片
1683	"	43	33			12	1783	21E			18	23	
1684	"	33	22			43 2段	1784	"	32	28		28	
1685	"	53	40			18	1785	"	55	44		14	
1686	"			15		18 P17:32422	1786	"			26	25	
1687	"	(30)	24			33	1787	"			23	28	
1688	"	(23)	19			22	1788	"			25	37	
1689	"			19		12	1789	"			29	11	P12:40145, 北納
1690	"	36	29			22	1790	"			32	13	P14
1691	"			17		23	1791	"	33	27		6	P13
1692	"			24		12	1792	"			50	12	P11, 剥片
1693	"	36	27			33	1793	"	35	28		10	
1694	"			27	20・19	2穴	1794	"			28	22	P15, 磨石
1695	"	19	16			8	1795	"			23	13	
1696	"	(32)	25			7	1796	"	30	25		19	
1697	"			26		11	1797	"	32	26		8	
1698	21D	54	33			22	1798	"	28	22		23	
1699	21C			38		25 2段	1799	"	25	21		12	
1700	"			20		11	1800	"	27	24		14	

第31表 柱穴状ビット計測表 9

番号	区	長軸(cm)	短軸(cm)	直径(cm)	深さ(cm)	備考	番号	区	長軸(cm)	短軸(cm)	直径(cm)	深さ(cm)	備考
1801	21E	35	28		27		1901	17J	28	23		38	
1802	"	35	25		46		1902	"	(43)	32		38	
1803	"	34	28		16		1903	"			32	33	
1804	"	25	21		28		1904	"			33	30	
1805	"	37	32		13	P9:40142, 市来	1905	"	26	(13)		31	
1806	"	43	35		58	略三角形	1906	"			23	35	
1807	"	40	28		8	P7:40140, 市・丸・西	1907	"	39	24		15	
1808	"	30	26		9		1908	"			26	34	
1809	"	86	48		24		1909	"			29	48	
1810	"	23	17		17	P8:40141	1910	"	15	9		29	
1811	"			22	10		1911	"	33	22		35	
1812	"	22	18		22		1912	"	45	26		39	
1813	"	42	30		27	P6:40139	1913	"	37	27		45	
1814	"	48	40		14	P5:40138	1914	"	40	33		32	
1815	"	27	21		26		1915	"	38	28		22	
1816	"			20	10	P4:40137	1916	"	38	24		27	
1817	"			26	15		1917	"			32	13	
1818	"			24	11		1918	"			23	34	
1819	"			27	18	P2:40135, 北, スレ	1919	17K	34	24		39	
1820	"	54	45		38	P1:40134, 2段	1920	"	26	17		28	斜
1821	22E	48	31		56		1921	"	33	26		30	
1822	21F			17	25	P3:40124	1922	"	45	24		27	2段
1823	"	42	30		37		1923	"			19	28	
1824	"			17	8		1924	"	49	20		30	
1825	"			22	10	P4:40125	1925	"	51	25		29・14	2穴
1826	"	29	16		19		1926	"	45	30		25	2段
1827	"	108	65		26		1927	"	45	36		29	
1828	"	96	55		30・29	2穴	1928	"	39	30		38	
1829	"	25	22		16	P10:40131	1929	"	36	28		36	
1830	"	45	30		15	P11:40132	1930	18J	40	33		39	
1831	"	63	41		8		1931	"	47	30		16	
1832	"	25	17		19	P9:40130, 北, 西	1932	"	45	28		54	斜
1833	"			28	16	P7:40128, 無文	1933	"	32	29		30	
1834	"			22	16	P8:40129	1934	"	48	23		61	
1835	"	(65)	63		16	P6:40127	1935	"	57	28		57	P1:34880, 石核
1836	22F	53	45		20	P5:40104, 2段, 台	1936	18K	33	25		26	
1837	"	51	38		22	P2:40101, 前期?	1937	"	46	30		47	
1838	"	53	26		40		1938	"	68	44		19	2段
1839	"	33	24		31	P1:40100	1939	"	60	48		42	P2:34882, 2段
1840	"	43	32		34		1940	"			36	26	
1841	"	34	25		41		1941	"	40	28		29	
1842	"	106	45		52		1942	"	57	30		40	P3:34883, 2段, 西斗
1843	"	40	29		49	P4:40103, 西平	1943	"	54	43		22	
1844	"	80	48		24・17	P3:40102, 2穴	1944	"			32	20	
1845	"	77	(44)		38		1945	"	29	24		38	
1846	"			43	26	2段	1946	"	39	29		42	2段
1847	"	146	58		33		1947	"	54	37		47	2段
1848	"	29	19		14		1948	"	62	42		51	P1:34881, 剥片
1849	"			30	11		1949	"	42	34		37	
1850	"	70	48		47		1950	"	42	32		32	
1851	"	34	30		22		1951	"			28	17	
1852	"	47	30		52		1952	"			27	33	
1853	"			43	57		1953	"			27	20	
1854	"	45	39		13		1954	"			28	21	
1855	"	77	38		11		1955	"			26	13	
1856	"	50	(36)		55		1956	"	40	25		17	
1857	23F	27	20		27		1957	"	33	25		25	
1858	"	32	23		33		1958	"	40	33		10	
1859	"			27	19		1959	"	40	26		21	
1860	"	78	(38)		19		1960	"	40	38		47	
1861	15K			25	13		1961	"			32	17	2段
1862	"	29	26		13		1962	"	87	30		34・27・19	3穴
1863	"	33	30		19		1963	"	27	70		19	
1864	"	30	26		36		1964	"	33	27		18	
1865	"	37	28		45		1965	"	25	20		17	
1866	16K			28	34		1966	"	25	23		26	
1867	"	33	22		19		1967	"	43	29		40	
1868	"	40	36		37		1968	"			30	42	
1869	"	30	25		12		1969	"			25	11	
1870	"	84	54		69		1970	"	30	21		-	
1871	"	89	70		76		1971	"	30	20		-	
1872	"	45	34		43		1972	"			35	24	
1873	"	132	66		21		1973	17L			35	45	
1874	"	44	27		22		1974	"			23	25	
1875	"	52	45		37		1975	"			28	17	
1876	"	44	31		56		1976	"	30	24		25	
1877	"	40	24		29		1977	"	37	22		20	
1878	"	49	25		26		1978	"	70	35		31・21	2穴
1879	"	59	39		11		1979	"	30	26		19	
1880	"			29	13		1980	"	29	22		9	
1881	"	67	52		47		1981	18L	36	30		31	
1882	"	56	47		52・41		1982	"	25	21		16	略三角形
1883	"	52	32		34		1983	"	51	33		28	
1884	"			25	15		1984	"	36	29		13	
1885	"			45	58		1985	"	35	24		25	
1886	16L	25	20		8		1986	"	35	23		28	
1887	"	22	18		14		1987	"	28	22		16	P2
1888	"	28	21		10		1988	"	29	23		31	P1
1889	"	23	15		14		1989	18M			27	17	
1890	"	33	28		12		1990	"	43	35		23	
1891	"			34	12		1991	"	39	30		41	
1892	16M	40	34		27	2段	1992	"	29	18		11	
1893	"	47	37		24		1993	17M	25	20		21	
1894	"	40	31		29		1994	"	23	17		15	
1895	"	33	25		11		1995	"			36	45	
1896	17 I			26	27	P1	1996	"	33	28		51	P1:34950, 剥片
1897	"	25	22		21		1997	"			27	15	
1898	"	108	39		42	P2:25044, 2段	1998	"			39	46	
1899	"	55	48		34		1999	18M			24	27	
1900	17J	(34)	30		23		2000	"			22	34	

第32表 柱穴状ビット計測表 10

番号	区	長軸(cm)	短軸(cm)	直径(cm)	深さ(cm)	備考	番号	区	長軸(cm)	短軸(cm)	直径(cm)	深さ(cm)	備考
2001	18M			20	34		2051	18N	55	34		34	2段
2002	"			24	24		2052	"			18	10	
2003	"			25	24		2053	"			21	9	
2004	"	103	63		50	P1:34941, 2段	2054	"	19	14		7	
2005	"			68	40	P4:34949, 2段, 剥片	2055	"	32	21		10	
2006	"			85	31		2056	"			85	-	2段
2007	"	74	64		30		2057	19K	37	30		17	斜
2008	"	26	17		16		2058	"	70	42		48	P2:42649
2009	"			51	12	P3:34945, 2段, 剥片	2059	"	52	33		58	2段, 斜
2010	"	69	(40)		30		2060	"	43	29		15	
2011	"	57	27		22		2061	"			38	37	P1:42648
2012	"	48	41		51		2062	"	58	42		41	
2013	18N	54	42		47		2063	"			74	50	2段
2014	"	90	54		42	P2:34944, 北・西, 剥片	2064	20 I	46	37		21	
2015	"	61	47		44	P12:34987	2065	"			28	43	
2016	"	68	51		41	P13:34988, 2段, 西	2066	20J	52	42		35	P1:42678
2017	"	19	15		15		2067	"	57	34		21	
2018	"			20	24		2068	"	35	20		34	斜
2019	"			19	18		2069	"	39	30		20	
2020	"	40	30		40		2070	"	57	48		40	
2021	"			21	12		2071	"	41	35		24	2段
2022	"			42	34		2072	"	82	58		45	
2023	"	74	40		58・37	P5:34948, 2穴, 台	2073	"	55	38		44	P3, 剥片
2024	"	40	30		39	P3:34946, スクレ, 剥片	2074	"	88	33		27	
2025	"	38	28		32	P4:34947	2075	"	39	32		28	
2026	"	23	20		43		2076	"	75	38		41	
2027	"	59	34		60	P14:34989, 2段	2077	19L	52	43		41	P2:42647
2028	17N	50	35		39		2078	19M	34	26		61	
2029	"			35	12	P2, 剥片	2079	19N	84	50		20	P1:42646
2030	"	58	42		16	P1, 2段	2080	"	52	42		25	
2031	"	33	27		19		2081	"			25	42	
2032	18N	51	42		25	H5P3, 2段	2082	"			21	17	
2033	"			25	31	H5P4	2083	"	42	27		18	
2034	"	35	26		19		2084	"	79	60		37	
2035	"	70	60		40		2085	20L	60	53		36	
2036	"	48	37		27		2086	21 I	53	40		29	P2
2037	"	55	49		22		2087	21J	130	43		25	
2038	"	60	37		12		2088	21K	134	84		19・17・11	3穴, 2段
2039	"	50	33		13		2089	"			45	20	
2040	"	65	50		19		2090	"	24	18		13	
2041	"	30	23		11	P11:34956, 西平	2091	21L	49	31		36	
2042	"	64	(45)		16	2段	2092	"			30	18	
2043	"	102	(75)		27	3段	2093	"			52	55	3段
2044	"	25	19		10	P9:34954, 前期?	2094	19J	45	35		28	
2045	"			28	11	P8:34953	2095						
2046	"	45	39		29	2段	2096						
2047	"	34	22		21	P7:34952	2097						
2048	"	29	22		10	P6:34951	2098						
2049	"	105	84		14	2段	2099						
2050	"	40	32		26		2100						

第33表 柱穴状ビット計測表 11

遺物番号	種別	器種	部位	型式	類別	遺構名	出土区	標高 m	口縁	文様・器面調整等	色 調		胎 土				焼成	取り上げ番号	挿図No	
											内面	外面	状態	石英	長石	砂粒				他
F 1	縄文土器	深鉢	口～胴	丸尾	Ⅲ 5	1号住居跡	1 1 F	12.60	山形		明茶褐色		砂粒多				金雲	良	3 5 6 7 8	第28図
F 2	"	"	"	納曾	Ⅱ 8	"	"		平縁		明茶褐色	暗褐色	"	○			茶粒	普	2 5 5 3 5	"
F 3	"	"	口縁部	市来	Ⅲ 1	"	"	12.94	山形	刺突文	暗褐色		"			○	"	2 5 5 0 6	第29図	
F 4	"	"	"	"	"	"	"	12.70	"	爪形文+沈線	明茶褐色		"	○		○	"	2 5 3 6 0	"	
F 5	"	"	"	"	"	"	"	12.80	平縁	"	暗茶褐色		"	○		○	"	2 5 2 9 5	"	
F 6	"	"	"	"	"	"	"		"	"	明茶褐色	暗褐色	"	○	○	○	"		"	
F 7	"	"	"	"	"	"	"		山形	"	明褐色	暗茶褐色	密				"		"	
F 8	"	"	"	"	"	"	"		"	"	暗褐色		"			○	良		"	
F 9	"	"	"	"	"	"	"	13.01		爪形文+刺突文	"		砂粒多	○	○		普	2 5 3 1 3	"	
F 10	"	"	"	"	"	"	"	12.89	山形	貝殻刺突文	淡褐色	暗褐色	"	○			良	2 5 3 3 6	"	
F 11	"	"	"	"	"	"	"	12.83	"	"	暗茶褐色		"	○		○	普	2 5 3 3 1	"	
F 12	"	"	"	丸尾	Ⅲ 5	"	"		平縁	貝殻刺突文	暗茶褐色	黒褐色	"	○		○	茶粒	"	"	
F 13	"	"	"	"	"	"	"	12.59	山形	"	明茶褐色	"	密				金雲	良	2 5 3 6 6	
F 14	"	"	"	"	"	"	"	13.03	"	"	明茶褐色		"				"	2 5 2 4 5	"	
F 15	"	"	"	"	"	"	"	12.96	"	"	明茶褐色	暗褐色	砂粒多				"	2 5 3 2 2	"	
F 16	"	"	"	"	"	"	"		"	"	"	黒褐色	"				普		"	
F 17	"	"	"	"	"	"	"	12.96	"	"	明茶褐色		密	○			良	2 5 3 2 2	"	
F 18	"	"	頸部	"	"	"	"	12.85	"	"	暗茶褐色		"	○			"	2 5 3 4 4	"	
F 19	"	台付皿	脚台部		Ⅲ 6	"	"	12.88			明茶褐色		砂粒多				茶粒	普	2 5 2 2 7	
F 20	"	深鉢	底部	市来		"	"	12.71			黒茶褐色		密	○		○	良	2 5 2 9 8	"	
F 21	"	"	"	"		"	"	12.69			黒褐色	黄褐色	砂粒多	○			白粒	普	2 5 3 6 3	
F 22	"	"	"	"		"	"	12.78			明茶褐色		"		○		"	2 5 2 5 3	"	
F 23	"	"	脚台部	市来		"	"	12.51			"		"	○			"	2 5 5 1 8	"	
F 24	"	"	底部	"		"	"	12.85			黒褐色	明茶褐色	"	○			"	2 5 2 0 2	"	
F 25	"	鉢	口縁部	鐘崎	Ⅱ 2	"	"	12.78	平縁	刺突文+沈線、把手	暗褐色		密	○	○		金雲	良	2 5 2 3 5	
F 26	"	深鉢	"	北久根山	Ⅱ 6	"	"	12.68	"	刺突文	黒褐色	淡褐色	砂粒多				"	2 5 3 1 2	"	
F 27	"	鉢	"	"	Ⅱ 5	"	"		"	"	淡黄褐色		"	○			普		"	
F 28	"	深鉢	胴部	辛川	Ⅱ 9	"	"	12.85		磨消縄文	明黄褐色		密		○		金雲	良	2 5 2 6 6	
F 29	"	鉢	"	北久根山	Ⅱ 5	"	"	12.83		"	淡褐色	暗黄褐色	"	"			"	2 5 3 3 1	"	
F 30	"	深鉢	口縁部	辛川	Ⅱ 9	"	"	12.71	平縁	"	"	黒褐色	砂粒多	○		○	茶粒	"	2 5 2 0 4	
F 31	"	"	"	"	"	"	"	12.81		"	淡褐色		密	○			良	2 5 3 0 4	"	
F 32	"	"	胴部	"	"	"	"	12.71		沈線	黒褐色	明茶褐色	砂粒多	○		○	白粒	普	2 5 2 4 2	
F 33	"	"	"	"	"	"	"	13.00		"	淡褐色	黒褐色	密	○		○	良	2 5 2 1 6	"	
F 34	"	"	"	"	"	"	"	12.95		"	黒褐色		砂粒多	○	○		普	2 5 2 0 6	"	
F 35	"	"	口縁部	納曾	Ⅱ 8	"	"	12.85	山形	擬似縄文（貝殻）	淡褐色		密				良	2 5 2 2 0	"	
F 36	"	"	"	"	"	"	"		平縁	沈線	黒褐色	明褐色	"				"		第30図	
F 37	"	"	"	"	"	"	"	12.82	"	"	暗茶褐色		"			○	"	2 5 2 7 7	"	
F 38	"	"	"	"	"	"	"	12.55	"	"	淡褐色		砂粒多	○		○	茶白	普	2 5 5 1 5	
F 39	"	"	"	"	"	"	"	12.78	"	"	明茶褐色	黒褐色	"	○			茶粒	良	2 5 2 2 4	
F 40	"	"	"	"	"	"	"	12.88	"	"	暗茶褐色		"				普	2 5 2 4 9	"	
F 41	"	"	胴部	中ノ原	Ⅱ 10	"	"	12.78		磨消縄文	淡褐色		密			○	金雲	良	2 5 2 2 2 +	
F 42	"	"	口縁部	西平	Ⅱ 11	"	"	12.98	山形	磨消縄文	暗褐色		"	○			"	2 5 3 4 9	"	
F 43	"	"	"	"	"	"	"		平縁	"	"		"				"		"	
F 44	"	"	"	"	"	"	"	12.94	山形	"	黒褐色		"	○		○	"	2 5 3 4 1	"	
F 45	"	"	"	"	"	"	"	12.88	平縁	"	"		砂粒多	○		○	普	2 5 2 7 9	"	
F 46	"	"	"	"	"	"	"	12.95	"	無文	淡褐色	黒褐色	蜜	○	○		良	2 5 3 3 8	"	
F 47	"	"	胴部	"	"	"	"	12.67	"	"	暗褐色		"	○		○	"	2 5 5 2 0	"	
F 48	"	"	口縁部		Ⅲ 7	"	"	12.95	平縁	"	黒褐色	暗茶褐色	砂粒多	○			白粒	普	2 5 2 0 6	
F 49	"	"	"	"	"	"	"	12.56	"	"	暗茶褐色		"			○	"	2 5 2 2 6	"	
F 50	"	"	"	"	"	"	"	12.51	"	"	暗褐色	明褐色	"				茶白	"	2 5 3 4 7	
F 51	"	"	"	"	"	"	"	12.84	"	"	暗茶褐色		"	○			白粒	"	2 5 3 5 1 +	
F 52	"	"	"	"	"	"	"	12.92	"	"	暗褐色	黒褐色	"	○			良	2 5 2 5 9	"	
F 53	"	"	"	"	"	"	"	12.81	"	"	暗茶褐色		"				普	2 5 3 6 4	"	
F 54	"	"	"	"	"	"	"	12.81	"	"	黒褐色		"	○			"	2 5 2 2 8	"	
F 55	"	"	"	"	"	"	"	12.90	"	"	暗褐色		"	○		○	"	2 5 2 0 3	"	
F 56	"	"	"	"	"	"	"	12.74	"	"	黒褐色		密				"	2 5 3 5 9	"	
F 57	"	"	"	"	"	"	"	12.74	"	"	明茶褐色		砂粒多	○		○	良	2 5 2 2 3	"	
F 58	メンコ	"	胴部		"	"	"	12.98	"	"	淡褐色	明茶褐色	密	○		○	普	2 5 2 1 8	"	
F 59	"	"	"	"	"	"	"	12.47	"	"	黒褐色	"	砂粒多	○	○	○	"	2 5 6 2 0	"	
F 60	縄文土器	深鉢	口縁部	市来		2号住居跡	1 0 E	13.06	山形	貝殻刺突文	淡黄褐色		"				"	2 5 5 5 9	"	

第34表 竪穴住居跡出土遺物観察表1

遺物番号	種別	器種	部位	型式	類別	出土地	遺構名	標高 m	口縁	文様・器面調整等	色 調		胎 土				焼成	取り上げ番号	挿図No	
											内面	外面	状態	石英	長石	砂粒				他
F 6 1	縄文土器	深鉢	口縁部	市来	Ⅲ 1	2号住居跡	1 0 E	12.99		貝殻刺突文+沈線	明褐色	黒褐色	密	○	○			良	2 5 5 6	第30図
F 6 2	"	"	"	"	"	3号住居跡	1 9 C	13.34		貝殻刺突文	明茶褐色	暗褐色	"			○		普	2 5 9 8 2	"
F 6 3	"	"	"	"	"	"	"	13.32	山形	刺突文	黒褐色	明茶褐色	砂粒多	○				"	2 5 9 6 0	"
F 6 4	"	"	"	"	"	"	"	13.34	平縁	"	明褐色		"	○		○		"	2 5 9 6 6	"
F 6 5	"	"	"	"	"	"	"	13.46		"	暗褐色		"	○				"	2 5 8 0 2	"
F 6 6	"	"	"	"	"	"	"	13.43		沈線	明茶褐色		"	○	○			"	3 0 2 2 4	第31図
F 6 7	"	"	"	"	"	"	"			貝殻刺突文	暗褐色		"	○		○		"		"
F 6 8	"	"	"	"	"	"	"		山形	沈線	明茶褐色		"			○		"		"
F 6 9	"	"	"	"	"	"	"	13.39	"	"	淡褐色	暗褐色	"					"	3 0 2 1 8	"
F 7 0	"	"	"	"	"	"	"	13.41	"	刺突文	黒褐色		"					"	2 5 8 5 2	"
F 7 1	"	"	"	"	Ⅲ 3	"	"	13.34	"	無文	黒褐色	明茶褐色	"					"	2 5 8 9 5	"
F 7 2	"	"	"	"	"	"	"	13.45	"	"	淡褐色	黒褐色	"					"	2 5 9 2 4	"
F 7 3	"	"	"	"	"	"	"	13.45	"	"	明茶褐色		"			○		"	2 5 9 2 2	"
F 7 4	"	"	"	"	"	"	"	13.40	平縁	"	暗茶褐色		"	○				"	3 0 1 8 2	"
F 7 5	"	"	"	"	"	"	"	13.45	"	"	"		"			○		"	2 5 9 3 5	"
F 7 6	"	"	"	"	"	"	"	13.45	"	"	黒褐色	暗茶褐色	"					"	2 5 8 4 5	"
F 7 7	"	台付皿	"		"	"	"	13.45		W字貼付文	明茶褐色		細粒多	○			白粒	"	3 0 2 0 5	"
F 7 8	"	深鉢	胴部	"	"	"	"	13.45		"	黒褐色	明茶褐色	"	○		○		"	2 5 8 0 3	"
F 7 9	"	"	口縁部	丸尾	Ⅲ 5	"	"	13.32	山形	貝殻刺突文	明茶褐色	暗褐色	"	○	○			"	2 5 8 5 0	"
F 8 0	"	"	"	"	"	"	"	13.33	平縁	"	明茶褐色		"	○				良	2 5 9 5 4	"
F 8 1	"	"	底部	"	"	"	"	13.34			"		"				金雲	普	2 5 8 8 1	"
F 8 2	"	"	口縁部	辛川	Ⅱ 9	"	"	13.36	平縁	沈線	暗褐色		"	○				"	2 5 9 0 3	"
F 8 3	"	"	"	"	"	"	"	13.38	"	"	淡褐色		"	○				"	3 0 2 2 8	"
F 8 4	"	"	"	"	"	"	"	13.37	"	"	暗茶褐色	黒褐色	"	○		○		"	2 5 9 9 9	"
F 8 5	"	"	"	"	"	"	"	13.47		沈線+連点	明褐色	暗褐色	"			○		"	2 5 7 8 9	"
F 8 6	"	"	口~胴	"	"	"	"	13.50	平縁	"	明茶褐色	"	"	○	○		茶粒	"	2 5 7 8 0	"
F 8 7	"	"	口縁部	"	"	"	"	13.43	"	"	暗褐色		"	○				"	2 5 8 1 2	"
F 8 8	"	"	"	"	"	"	"	13.30		沈線	"		"	"				"	2 5 9 5 0 +	"
F 8 9	"	"	"	"	"	"	"	13.40	平縁	沈線+連点	明茶褐色	暗褐色	"					"	2 5 8 5 7	"
F 9 0	"	"	胴部	"	"	"	"	13.35		"	淡褐色	暗茶褐色	"	○	○			普	2 5 8 9 6	"
F 9 1	"	"	口縁部	市来?		"	"	13.41		無文	暗褐色		"	○		○		"	3 0 1 9 2	"
F 9 2	"	"	"	"	Ⅲ 7	"	"	13.40	平縁	"	明茶褐色	暗茶褐色	"					"	2 5 9 1 8	"
F 9 3	"	"	"	"	"	"	"	13.40	"	"	暗茶褐色		"	○				"	2 5 7 9 5	"
F 9 4	メンコ	"	胴部		"	"	"		"	"	黒褐色	淡褐色	"	○		○		"		"
F 9 5	"	"	"		"	"	"	13.36		"	暗褐色	明褐色	"					良	2 5 8 7 4	"
F 9 6	縄文土器	"	口縁部	市来	Ⅲ 1	4号住居跡	1 8 N	12.13		爪形文+沈線	黄褐色		密					普	3 4 8 1 0	第32図
F 9 7	"	"	"	"	"	"	"		山形	"	暗茶褐色		"	○	○			"		"
F 9 8	"	"	"	辛川	Ⅱ 9	"	"	12.18		磨消縄文	暗褐色		"					良	3 4 9 2 5	"
F 9 9	"	"	胴部	"	"	"	"			"	"		砂粒多	○	○			普		"
F 1 0 0	"	"	"	"	"	"	"	12.11		沈線	黒褐色		"					良	3 7 5 1 1	"
F 1 0 1	"	"	"	"	"	"	"	12.14		"	暗褐色	淡褐色	密					"	3 4 8 0 7	"
F 1 0 2	"	"	口縁部	西平	Ⅱ 11	"	"		山形	磨消縄文	明褐色		密					"		"
F 1 0 3	"	"	"	"	"	"	"	12.14		"	黒褐色		"			○		"	3 7 5 1 0	"
F 1 0 4	"	"	"	"	"	"	"			"	明褐色	黒褐色	"	○				"		"
F 1 0 5	"	"	"	"	"	"	"			"	暗褐色		"	○				"		"
F 1 0 6	"	"	"	"	"	"	"	12.19	平縁	無文	"		"					普	3 7 5 1 4	"
F 1 0 7	"	"	胴部	深浦	Ⅰ 5	5号住居跡	"	12.15		連点文	淡黄褐色		"					良	3 4 8 3 0	"
F 1 0 8	"	"	口縁部	市来	Ⅲ 1	"	"	12.19	平縁	爪形文+沈線	明褐色		"	○				"	3 4 8 3 1	"
F 1 0 9	"	"	"	"	"	"	"	12.17		沈線	暗褐色	明褐色	"					"	3 4 8 2 6	"
F 1 1 0	"	"	"	丸尾	Ⅲ 5	"	"	12.19	山形	貝殻刺突文+連点文	暗褐色		"					"	3 4 8 2 3 +	"
F 1 1 1	"	台付皿	"	北久根山		"	"	12.19		W字貼付文+貝殻刺突文	明褐色		"					"	3 4 8 2 2	"
F 1 1 2	"	深鉢	"	西平	Ⅱ 11	"	"	12.24	平縁	無文	淡茶褐色		"	○	○			"	3 4 8 1 2	"
F 1 1 3	"	"	胴部	深浦	Ⅰ 5	6号住居跡	"			押引文	淡褐色		"	○				"		"
F 1 1 4	"	"	口縁部	市来	Ⅲ 1	"	"	12.12	山形	爪形文+沈線	暗茶褐色		"					普	3 4 9 1 2	"
F 1 1 5	"	"	"	西平	Ⅱ 11	"	"	12.14	"	磨消縄文	黒褐色	明茶褐色	"				金雲	"	3 4 8 3 8 +	"
F 1 1 6	"	"	"	"	"	"	"		"	"	暗褐色		"	○				"		"
F 1 1 7	"	"	"	"	"	"	"	12.16	"	沈線	"		砂粒多	○	○		茶粒	普	3 4 8 6 4 +	"
F 1 1 8	"	"	胴部	"	"	"	"	12.16	1 6	磨消縄文	黒褐色		密					良	3 4 8 4 0	"
F 1 1 9	"	"	"	"	"	"	"	12.12	1 2	"	黒褐色	淡暗褐色	"					"	3 4 9 0 9	"
F 1 2 0	"	"	底部	"	"	"	"	12.18	1 8	無文	"	明褐色	砂粒多	○				"	3 4 8 6 9	"

第35表 竪穴住居跡出土遺物観察表2

遺物番号	種別	器種	部位	型式	類別	遺構名	出土区	標高 m	口縁	文様・器面調整等	色 調		胎 土					焼成	取り上げ番号	挿図No
											内面	外面	状態	石英	長石	玢玢	他			
F 1 2 1	縄文土器	深鉢	口縁部	深溝	I 5	7号住居跡	1 7 N	12.04	山形	連点文	淡褐色	黒褐色	細粒多	◎		◎		良	3 7 4 7 5	第32図
F 1 2 2	"	"	"	市来	Ⅲ 1	"	"	12.07	平縁	爪形文	暗褐色		密	○				"	3 7 5 1 9	"
F 1 2 3	"	"	"	"	"	"	"			爪形文+沈線	明茶褐色	暗褐色	細粒多				金雲	"		"
F 1 2 4	"	"	"	"	"	P 2	"			貝殻刺突文	暗褐色		砂粒多					粗		第33図
F 1 2 5	"	台付皿	脚台部	"	Ⅲ 6	"	"			沈線（白色・赤色塗彩）	"		細粒多			○		良		"
F 1 2 6	"	深鉢	口縁部	草野	Ⅲ 4	"	"	12.15	平縁		淡褐色		"				茶粒	普	3 7 4 8 9	"
F 1 2 7	"	"	頸部			P 2	"			爪形文	明褐色	黒褐色	"				金◎	"		"
F 1 2 8	"	"	口～胴	丸尾	Ⅲ 5	"	"	12.09	平縁	貝殻刺突文	明茶褐色	暗茶褐色	密				"	良	3 7 4 8 3	"
F 1 2 9	"	"	口縁部	宮下	Ⅱ 7	"	"	12.14	"	"	淡褐色		"	○		○		"	3 7 5 2 4	"
F 1 3 0	"	"	"		"	"	"			無文	暗褐色		"					"		"
F 1 3 1	"	"	"	西平	Ⅱ 11	"	"			磨消縄文	暗黄褐色		細粒多	○	○			"		"
F 1 3 2	"	"	"	"	"	"	"			沈線	暗茶褐色		密					"		"
F 1 3 3	"	"	"	"	"	"	"			縄文	"		"					"		"
F 1 3 4	"	"	胴部	"	"	"	"	12.09		磨消縄文	淡褐色		"			○		"	3 7 4 9 6	"
F 1 3 5	"	"	"	"	"	"	"			"	暗褐色	黒褐色	細粒多					"		"
F 1 3 6	"	"	口縁部	"	"	"	"			無文	淡褐色		密	○				"		"
F 1 3 7	"	"	口～胴	"	"	"	"	12.13	平縁	"	淡褐色	黒褐色	細粒多			◎		"	3 7 5 1 7	"
F 1 3 8	"	"	口縁部	"	"	"	"	12.18	"	"	暗褐色		密	○		○		"	3 7 4 7 8	"
F 1 3 9	"	"	"	市来	Ⅲ 1	8号跡P 2	2 2 D		山形	沈線	明茶褐色		"					"	4 0 1 1 7	"
F 1 4 0	"	"	"	"	"	"	"	13.35		爪形文	黒褐色	明茶褐色	"	◎				普	3 9 9 3 4	"
F 1 4 1	"	"	"	"	"	"	"		山形	沈線	淡褐色	黒褐色	砂粒多	○		○		"	4 0 0 3 8	"
F 1 4 2	"	"	"	"	Ⅲ 3	"	"	13.35		無文	暗褐色		"			○		"	3 9 9 3 4	"
F 1 4 3	"	"	"		Ⅲ 7	"	"	13.35	平縁	"	明褐色	暗褐色	細粒多	○				"	3 9 9 3 4	"
F 1 4 4	"	"	"	"	"	"	"			"	黒褐色		密	○				良		"
F 1 4 5	"	"	底部		"	"	"	13.35	"	"	黒褐色	明褐色	砂粒多					普	3 9 9 3 4	"
F 1 4 6	"	"	口縁部	草野？	Ⅲ 4	"	"			口唇部に連続刺突文	淡褐色		密	○				良		"
F 1 4 7	"	鉢	"	北久根山	Ⅱ 5	P 3	"		山形	縄文	暗褐色		細粒多					普	4 0 1 1 0	"
F 1 4 8	"	"	"	"	"	"	"		平縁	貝殻文？	淡褐色		"					良		"
F 1 4 9	"	深鉢	"	辛川	Ⅱ 9	P 2	"		"	沈線	"		砂粒多					"	4 0 1 0 7	"
F 1 5 0	"	"	"	"	"	"	"		山形	無文	暗茶褐色		密	○				"		"
F 1 5 1	"	"	"	市来	Ⅲ 1	9号住居跡	2 1 D		"	爪形文+凹線	明茶褐色	黒褐色	砂粒多	○				普	4 0 0 4 3	"
F 1 5 2	"	"	"	"	"	"	"	13.42		爪形文+沈線	暗茶褐色		"				金雲	"	3 9 9 5 0	"
F 1 5 3	"	"	"	"	Ⅲ 3	"	"		平縁	無文？	暗褐色		密	○		○		良	4 0 0 4 4	"
F 1 5 4	"	台付皿	"	"	Ⅲ 6	"	"	13.47		沈線	明褐色		砂粒多	○		○		普	3 9 9 3 9	第34図
F 1 5 5	"	深鉢	"	鐘崎	Ⅱ 2	"	"	13.46	平縁	刺突文+沈線	淡褐色		密	○		○		良	3 9 9 4 0	"
F 1 5 6	"	"	"		Ⅲ 7	"	"		"	無文	暗褐色	暗茶褐色	砂粒多	○				普		"
F 1 5 7	"	"	胴部		"	"	"	13.42		"	明褐色		"	○		○		"	3 9 9 5 0	"
F 1 5 8	"	"	口縁部	西平	Ⅱ 11	"	"	13.46	平縁	"	黒褐色		"	○		○		良	3 9 9 5 1	"
F 1 5 9	"	"	"	市来	Ⅲ 1	10号住居跡	1 7 N	12.10	"	貝殻刺突文+連点文	明褐色		密	○				"	4 2 6 9 0	"

第36表 竪穴住居跡出土遺物観察表3

遺物番号	種別	器種	部位	型式	類別	遺構名	出土区	標高 m	口縁	文様・器面調整等	色 調		胎 土					焼成	取り上げ番号	挿図No
											内面	外面	状態	石英	長石	カセ	他			
F191	縄文土器	深鉢	口縁部	市来	Ⅲ1	1号土坑	9D			沈線	暗褐色	明褐褐色	細粒多					普	34049	第60図
F192	"	"	"	丸尾	Ⅲ5	"	"			貝殻刺突文	明茶褐色		密	○				良	34049	"
F193	"	"	"		Ⅲ7	"	"		山形	無文	暗茶褐色		砂粒多					普		"
F194	"	"	"	辛川	Ⅱ9	"	"	12.87	"	沈線	暗黄褐色	黒褐色	細粒多	○		○		良	34054	"
F195	"	"	底部	西平	Ⅱ11	"	"				明茶褐色		密			○		"	34049	"
F196	メンコ	"	"	辛川?	"	"	"			沈線	淡灰褐色	暗黄褐色	細粒多	○		○		"		"
F197	縄文土器	深鉢	口縁部	市来	Ⅲ1	2号土坑	"		平縁	爪形文	暗茶褐色		密	○				良	34051	"
F198	"	台付皿	"	"	"	3号土坑	"	12.75		無文	明茶褐色		細粒多	○		○		"	34063	"
F199	"	深鉢	胴部	深浦	Ⅰ5	4号土坑	10D	12.95		連点文	暗茶褐色		密			○		"	34057	"
F200	"	"	"	"	"	"	"	12.90		"	"	"	"					"	34034	"
F201	"	"	口縁部	市来	Ⅲ1	"	"	12.79	平縁	爪形文+沈線	"	"	"	○				"	34032	"
F202	"	"	"	"	"	"	"	12.89		沈線	暗褐色	明黄茶褐	"			○		普	34044	"
F203	"	"	"	"	"	"	"	12.93	山形	"	暗茶褐色		"					良	34031	"
F204	"	"	"	丸尾	Ⅲ5	"	"	12.88		貝殻刺突文	明茶褐色	黒褐色	"	○				"	34059	"
F205	"	"	"	"	"	"	"	13.00		"	暗茶褐色	暗褐色	細粒多		○			"	34026	"
F206	"	"	"	"	"	"	"	12.92		"	暗茶褐色		密	○				"	34039	"
F207	"	"	頸部	"	"	"	"	12.96		"	暗黄茶褐色		"	○				"	34045	"
F208	"	"	口縁部	市来	Ⅲ1	"	"	12.96		貝殻刺突文+沈線	暗茶褐色		"	○			茶粒	"	34045	"
F209	"	"	胴部	北久根山	Ⅱ5	"	"	12.99		沈線	暗黄茶褐	淡褐色	"				白粒	"	34036	"
F210	"	"	口縁部	市来	Ⅲ1	8号土坑	11C		平縁		明茶褐色		細粒多				"	普	31917	"
F211	"	"	胴部			10号土坑	11D				暗褐色	明茶褐色	密					良	31900	"
F212	"	"	"	鐘崎	Ⅱ2	"	"			磨消縄文	暗灰褐色		"					"	39900	"
F213	"	"	口縁部			11号土坑	11F	12.55	山形	沈線	黒褐色	暗茶褐色	"	○		○		普	25550	"
F214	"	"	胴部	鐘崎	Ⅱ2	"	"	12.74		"	"	淡茶褐色	"					良	25548	"
F215	"	"	口縁部	市来	Ⅲ1	13号土坑	"		山形	爪形文+沈線	"	暗茶褐色	"	○				"	25604	"
F216	"	"	"	"	"	"	"			爪形文	明茶褐色		"	○				"	25604	"
F217	"	"	"	"	Ⅲ3	"	"		山形	無文	暗茶褐色		細粒多	○			白粒	普	25604	"
F218	"	"	頸部	丸尾	Ⅲ5	"	"				明茶褐色	暗褐色	"				白金	良	25604	"
F219	"	"	胴部	辛川	Ⅱ9	"	"			沈線	黒褐色		密	○				"	25604	"
F220	"	"	口縁部		Ⅲ7	"	"		山形	無文	黒褐色	暗褐色	"	○		○		"	25604	"
F221	"	"	底部			"	"			無文	明茶褐色		細粒多	○		○	白粒	"	25604	"
F222	"	"	口縁部	市来	Ⅲ1	14号土坑	"		平縁	刺突文	黒褐色	淡茶褐色	密			○		"	25582	"
F223	"	"	底部	"		"	"			無文	"	暗褐色	細粒多	○				普	25582	"
F224	"	"	"	"		"	"			"	淡茶褐色		密		○	○		良	25582	"
F225	"	"	口縁部	"	Ⅲ1	" P2	"		平縁	爪形文+沈線	明茶褐色		砂粒多	○			茶粒	普	25588	"
F226	"	"	"	"	"	16号土坑	"		山形	貝殻刺突文	暗茶褐色		密	○				"	25591	第61図
F227	"	"	"	"	"	"	"		"	無文?	"	"	"	○				"	25591	"
F228	"	"	"	"	"	19号土坑	12C				黒褐色	明茶褐色	"					良	29912	"
F229	"	"	底部		"	"	"			無文	"	"	"	○				"	29912	"
F230	"	"	口縁部		Ⅲ7	21号土坑	"		平縁	"	黒褐色		"					"	29913	"
F231	"	"	"		"	"	"		"	"	暗褐色		"					"	29913	"
F232	"	"	"	市来	Ⅲ1	22号土坑	12D				暗茶褐色		細粒多	○	○		白粒	普	29924	"
F233	"	台付皿	"	"	Ⅲ6	"	"			無文	明茶褐色		"	○			"	"	29924	"
F234	"	深鉢	"	"	Ⅲ1	24号土坑	"		平縁		淡茶褐色		密					良	29925	"
F235	"	"	"	丸尾	Ⅲ5	26号土坑	12F		"	貝殻刺突文	明茶褐色		"				金白	"		"
F236	"	"	"	市来	Ⅲ1	27号土坑	"		"		淡黄茶褐色		"			○	金雲	"		"
F237	"	"	"	"	"	"	"		"	貝殻刺突文	黒茶褐色	暗褐色	"	○		○		"		"
F238	"	"	"	"	"	"	"		"	爪形文	暗茶褐色		"				白粒	"		"
F239	"	"	"	"	"	"	"		"	沈線	"		"	○		○		"		"
F240	"	"	"	"	"	"	"			爪形文+凹線	明茶褐色		細粒多				白粒	普		"
F241	"	"	"	"	"	"	"		山形	内面~刺突文	黒褐色		密					良		"
F242	"	"	"		Ⅲ7	"	"		平縁	無文	暗褐色		"					"		"
F243	"	"	"	西平	Ⅱ11	"	"		山形	磨消縄文	黒褐色	灰黄褐色	"			◎		"		"
F244	"	"	胴部	"	"	"	"			"	黒褐色		"	○				"		"
F245	"	"	"	"	"	"	"			縄文	暗褐色		"					"		"
F246	"	"	口縁部	丸尾	Ⅲ5	34号土坑	13E			貝殻刺突文+沈線	"	"	細粒多	○			白粒	"		"
F247	"	"	"	辛川	Ⅱ9	"	"		平縁	沈線	暗褐色	明茶褐色	密					"		"
F248	"	"	"	"	"	"	"		"	沈線+連点	淡黄茶褐色		細粒多	○		○	白粒	"		"
F249	"	"	"	"	"	"	"			沈線	暗茶褐色		"				"	"		"
F250	"	"	"	"	"	"	"		平縁	"	"	"	"	○			茶粒	"		"

第37表 土坑出土遺物観察表1

遺物番号	種別	器種	部位	型式	類別	遺構名	出土区	標高 m	口縁	文様・器面調整等	色 調		胎 土				焼成	取り上げ番号	挿図No	
											内面	外面	状態	石英	長石	玢玢				他
F 2 5 1	縄文土器	深鉢	口縁部	西平	Ⅱ 11	3 4号土坑	1 3 E		平縁	磨消縄文	暗褐色		細粒多	○		○	白粒	良		第61図
F 2 5 2	"	"	"	辛川	Ⅱ 9	"	"		"	"	黒褐色		"	○			"	"		"
F 2 5 3	"	"	底部	西平	Ⅱ 11	3 5号土坑	"			無文	明茶褐色		"	○			"	普		"
F 2 5 4	"	"	口縁部	"	"	"	"		山形	磨消縄文	淡褐色	暗褐色	密	○		○	"	良		"
F 2 5 5	"	"	"	丸尾	Ⅲ 5	3 6号土坑	1 3 F		"	貝殻刺突文	明茶褐色		"		○		金白	"		"
F 2 5 6	"	"	頸部	"	"	"	"		"	"	"		細粒多				"	"		"
F 2 5 7	"	"	"	"	"	"	"		"	"	明茶褐色	暗褐色	密		○		白粒	"		"
F 2 5 8	"	"	胴部	西平	Ⅱ 11	"	"			磨消縄文	明茶褐色		"		○	○	"			"
F 2 5 9	"	"	口縁部	市来	Ⅲ 1	3 7号土坑	"	12.84	山形	沈線	明茶褐色	黒褐色	"				"		2 8 7 9 2	"
F 2 6 0	"	"	"	"	"	"	"	12.75	把手付	"	暗茶褐色		"	○			"		2 8 7 9 1	"
F 2 6 1	"	"	底部	"	"	"	"	12.87	無文	"	黒褐色		細粒多	○			白粒	良	2 8 7 9 7	"
F 2 6 2	"	"	"	"	"	"	"	12.83	"	"	暗茶褐色		密	○			"		2 8 7 7 6	"
F 2 6 3	"	"	口縁部	丸尾	Ⅲ 5	"	"	12.86	貝殻刺突文	"	"		"	○			"		2 8 7 9 6	"
F 2 6 4	"	"	"	"	"	"	"	12.91	山形	"	"		"	○			白粒	"	2 8 7 7 7	第62図
F 2 6 5	"	"	"	納曾	Ⅱ 8	"	"	12.84	平縁	沈線	明茶褐色	黒褐色	細粒多	○			"	普	2 2 7 8 3	"
F 2 6 6	"	"	"	西平	Ⅱ 11	"	"	12.71	"	磨消縄文	暗茶褐色		"	○		○	"	良	2 8 7 9 4	"
F 2 6 7	"	"	"	"	"	"	"		山形	?	淡褐色		密		○		"			"
F 2 6 8	"	"	"	市来	Ⅲ 1	3 8号土坑	"	12.83	"	貝殻刺突文	明茶褐色		砂粒多	○			普	2 8 8 2 6	"	"
F 2 6 9	"	"	"	"	"	"	"			爪形文+沈線	"		"	○			白粒	"		"
F 2 7 0	"	"	"	"	"	"	"		?	"	暗茶褐色		"			○	茶粒	"		"
F 2 7 1	"	台付皿	"	"	Ⅲ 6	"	"	12.70	無文	"	暗褐色	明茶褐色	"	○		○	"	"	2 8 8 2 5	"
F 2 7 2	"	深鉢	胴部	深浦	1 5	3 9号土坑	"	12.89	連点文+沈線	"	暗茶褐色		密				良	2 8 8 5 3	"	"
F 2 7 3	"	"	口縁部	市来	Ⅲ 1	"	"			刺突文	黒褐色		砂粒多	○			普			"
F 2 7 4	"	"	"	"	"	"	"	13.02	爪形文+凹線	"	明茶褐色	暗褐色	"	○			"		2 8 8 6 0	"
F 2 7 5	"	"	"	"	"	"	"			沈線	暗茶褐色		"	○			"			"
F 2 7 6	"	"	"	"	"	"	"			爪形文+沈線	明茶褐色	暗褐色	密	○		○	"	"		"
F 2 7 7	"	"	口～胴	"	Ⅲ 3	"	"	12.75	山形	無文	暗茶褐色		"				"		2 8 8 5 4	"
F 2 7 8	"	"	口縁部	草野?	Ⅲ 4	"	"	12.77	"	沈線	黒褐色	暗茶褐色	"				金雲	良	2 8 8 5 9	"
F 2 7 9	"	"	"	草野?	"	"	"		"	"	黒褐色		"	○			普			"
F 2 8 0	"	"	"	丸尾	Ⅲ 5	"	"			貝殻刺突文	黒褐色	茶褐色	砂粒多	○		○	"			"
F 2 8 1	"	"	"	"	"	"	"		"	"	明茶褐色		"				金白	良		"
F 2 8 2	"	"	"	"	"	"	"		"	"	"		密				"	"		"
F 2 8 3	"	"	"	辛川	Ⅱ 9	"	"		平縁	磨消縄文+連点	暗茶褐色		砂粒多	○		○	"			"
F 2 8 4	"	"	"	"	"	"	"		?	"	黒褐色	暗茶褐色	細粒多	○		○	普			"
F 2 8 5	"	"	口～胴	納曾?	Ⅱ 8	"	"	12.92	平縁	沈線	黒褐色		砂粒多			○	白粒	"	2 8 8 5 5	"
F 2 8 6	"	"	底部	西平	Ⅱ 11	"	"	12.87	無文	"	淡褐色	明茶褐色	密	○		○	"	良	2 8 8 5 2	"
F 2 8 7	"	"	口縁部	市来	Ⅲ 1	4 0号土坑	1 3 G	12.83	山形	沈線	淡褐色		"	○		○	"		2 8 8 1 4	"
F 2 8 8	"	"	"	"	Ⅲ 3	"	"	12.80	"	無文	暗黄褐色	暗褐色	"	○			"		2 8 8 0 8	"
F 2 8 9	"	"	脚台部	"	"	"	"	12.75	"	"	明褐色		砂粒多				普	2 8 8 1 0	"	"
F 2 9 0	"	"	口縁部	?	"	"	"	12.62	平縁	貝殻刺突文	暗茶褐色	黒褐色	密	○			"		2 8 8 1 2	第63図
F 2 9 1	"	"	"	"	"	"	"	12.84	"	"	"	暗茶褐色	"				良	2 8 8 5 6	"	"
F 2 9 2	"	"	胴部	鐘崎	Ⅱ 2	"	"	12.46	無文	"	淡褐色	暗褐色	"	○			"		2 8 8 2 2	"
F 2 9 3	"	"	口縁部	西平	Ⅱ 11	"	"	12.84	平縁	磨消縄文	明褐色	黒褐色	砂粒多	○			"		2 8 8 1 6	"
F 2 9 4	"	"	"	"	"	"	"	12.56	"	無文	黒褐色		密	○	○		"		2 8 8 2 3	"
F 2 9 5	"	"	胴部	"	"	"	"	12.77	"	"	淡褐色	黒褐色	砂粒多	○	○	○	良	2 8 8 1 9	"	"
F 2 9 6	"	"	口縁部	市来	Ⅲ 1	4 3号土坑	"	12.80	山形	爪形文	明茶褐色		"		○	○	普	2 8 8 5 0	"	"
F 2 9 7	"	"	"	丸尾	Ⅲ 5	4 5号土坑	1 4 B		"	貝殻刺突文	"		細粒多			○	金白	"	3 1 9 2 8	"
F 2 9 8	"	"	"	市来	Ⅲ 1	4 8号土坑	1 4 C	13.16	"	沈線	淡黄褐色	淡茶褐色	密				良	3 1 9 7 4	"	"
F 2 9 9	"	"	胴部	辛川	Ⅱ 9	4 9号土坑	1 4 D			連点	淡褐色		砂粒多	○			白茶	"		"
F 3 0 0	"	"	口縁部	市来	Ⅲ 1	5 1号土坑	"	13.12	平縁	刺突文	暗茶褐色		密			○	普	3 1 0 1 2	"	"
F 3 0 1	"	"	"	"	"	"	"	13.17	山形	"	明茶褐色		"	○			白粒	良	2 9 9 4 4	"
F 3 0 2	"	"	"	丸尾	Ⅲ 5	"	"	13.13	貝殻刺突文	"	明茶褐色	暗褐色	細粒多	○			"	"	2 9 9 7 3	"
F 3 0 3	"	"	"	"	"	"	"	13.13	"	"	明茶褐色		"	○			金白		2 9 9 4 2	"
F 3 0 4	"	"	"	"	"	"	"	13.04	山形	"	明茶褐色	暗褐色	"	○		○	白粒	普	2 9 9 5 6	"
F 3 0 5	"	"	"	納曾	Ⅱ 8	"	"	13.19	平縁	沈線	淡褐色	明茶褐色	密		○	○	"	良	2 9 9 3 5	"
F 3 0 6	"	"	"	"	"	"	"			沈線+連点	明茶褐色	黒褐色	細粒多	○			"	普		"
F 3 0 7	"	"	"	"	"	"	"			沈線	淡茶褐色		密	○			"	良		"
F 3 0 8	"	"	胴部	辛川	Ⅱ 9	"	"			沈線	暗茶褐色		"	○		○	茶白	"		"
F 3 0 9	"	"	口縁部	"	"	"	"	13.17		沈線+連点	黒褐色		細粒多	○			"		2 9 9 8 7	"
F 3 1 0	"	"	"	西平	Ⅱ 11	"	"			沈線	暗褐色	暗茶褐色	砂粒多	○		○	白粒	"	3 1 9 3 0	"

第38表 土坑出土遺物観察表2

遺物番号	種別	器種	部位	型式	類別	遺構名	出土区	標高 m	口縁	文様・器面調整等	色 調		胎 土				焼成	取り上げ番号	挿図No	
											内面	外面	状態	石英	長石	カゼン				他
F 3 1 1	縄文土器	深鉢	口縁部	西平	Ⅱ 11	5 1 号土坑	1 4 D			磨消縄文	黒褐色		細粒多	○			金白	普		第63図
F 3 1 2	"	"	"	"	"	"	"		山形	?	暗茶褐色		密		○		白粒	"		"
F 3 1 3	"	"	"	?		5 4 号土坑	1 4 E			口唇部に刻目文	"		細粒多			○	"	良		"
F 3 1 4	"	"	底部	?		"	"			無文	"		"			○	"	"		"
F 3 1 5	"	"	口縁部	丸尾	Ⅲ 5	"	"		平縁	貝殻刺突文	明茶褐色		"	○			金白	"		"
F 3 1 6	"	"	"	"	"	"	"		山形	"	明茶褐色	暗茶褐色	"	○			"	普		"
F 3 1 7	"	"	"	"	"	"	"			"	明茶褐色		"				"	"		"
F 3 1 8	"	"	"	"	"	"	"			"	明茶褐色	暗褐色	"				"	良		"
F 3 1 9	"	"	"	"	"	"	"			"	"		密	○			"	"		"
F 3 2 0	"	"	"	辛川	Ⅱ 9	"	"			磨消縄文	明茶褐色		砂粒多				茶粒	普		"
F 3 2 1	"	"	"	西平	Ⅱ 11	"	"			"	暗茶褐色		密	○			"	"		"
F 3 2 2	"	"	"	辛川	Ⅱ 9	"	"			?	黒褐色		細粒多	○			白粒	"		"
F 3 2 3	"	"	"	"	"	"	"		山形	沈線	暗茶褐色		密	○			良			"
F 3 2 4	"	"	"	納曾	Ⅱ 8	"	"			"	"		"				茶白	"		第64図
F 3 2 5	"	"	"	辛川	Ⅱ 9	"	"			?	暗褐色		細粒多	○			"	普		"
F 3 2 6	"	"	胴部	中ノ原	Ⅱ 10	"	"			?	黒褐色	明黄褐色	"				"	"		"
F 3 2 7	"	"	口縁部	"	"	"	"			?	"	暗黄褐色	"	○			"	"		"
F 3 2 8	"	"	胴部	"	"	"	"			磨消縄文	暗茶褐色		密	○			白粒	良		"
F 3 2 9	"	"	口縁部	西平	Ⅱ 11	"	"		山形	?	暗灰褐色		"	○		○	"	"		"
F 3 3 0	"	"	"	"	"	"	"		"	?	暗褐色		"				普			"
F 3 3 1	"	"	"	"	"	"	"			?	"		"				良			"
F 3 3 2	"	"	"	"	"	"	"		山形	?	暗褐色	明茶褐色	細粒多	○			普			"
F 3 3 3	"	"	"	"	"	"	"			?	明茶褐色		"		○		良			"
F 3 3 4	"	"	"	"	"	"	"		平縁	?	暗褐色		密	○	○		"	"		"
F 3 3 5	"	"	胴部	"	"	"	"			磨消縄文	暗灰褐色	明褐色	"	○			茶粒	"		"
F 3 3 6	メシコ	深鉢				"	"			貝殻文? 1 5 g	明茶褐色	黒褐色	"				金白	普		"
F 3 3 7	"	"				"	"			無文 2 5 g	暗褐色	暗黄褐色	細粒多	○			良			"
F 3 3 8	"	"				"	"			" 1 7 g + α	淡褐色		密	○		○	"	"		"
F 3 3 9	縄文土器	"	口縁部	納曾?		5 5 号土坑	1 4 E			貼付文	淡茶褐色		"	○		○	"	"		"
F 3 4 0	"	"	"	辛川	Ⅱ 9	"	"			?	黒褐色		砂粒多				普			"
F 3 4 1	"	"	"	西平	Ⅱ 11	"	"			?	淡黄褐色		細粒多				"	"		"
F 3 4 2	"	"	"	"	"	"	"			?	暗茶褐色		密	○			良			"
F 3 4 3	"	"	"	"	"	"	"			?	淡褐色		"				"	"		"
F 3 4 4	"	"	"	丸尾	Ⅲ 5	5 6 号土坑	"			貝殻刺突文	暗茶褐色		"		○		金雲	"		"
F 3 4 5	"	"	"	"	"	"	"			"	明茶褐色		"				"	"		"
F 3 4 6	"	"	"	市来	Ⅲ 1	5 7 号土坑	1 4 F		山形	刺突文	黒褐色		"	○		○	"	"		"
F 3 4 7	"	"	"	"	"	"	"		平縁	"	"		"				"	"		"
F 3 4 8	"	"	"	"	Ⅲ 2	"	"		山形	?	暗茶褐色		砂粒多				金白	普		"
F 3 4 9	"	"	"	丸尾	Ⅲ 5	"	"			貝殻刺突文+沈線	明茶褐色	暗褐色	"		○		金雲	良		"
F 3 5 0	"	"	"	"	"	"	"			"	暗茶褐色	"	"		○		"	普		"
F 3 5 1	"	鉢	胴部	北久根山	Ⅱ 5	"	"			沈線	淡褐色		密				良			"
F 3 5 2	"	深鉢	口縁部	西平	Ⅱ 11	"	"		平縁	無文	暗褐色		砂粒多	○		○	白粒	普		"
F 3 5 3	"	"	"	市来	Ⅲ 1	5 8 号土坑	"			爪形文	暗茶褐色		細粒多	○		○	"	"		"
F 3 5 4	"	"	"	丸尾	Ⅲ 5	"	"		山形	貝殻刺突文	"		密		○		金雲	良		"
F 3 5 5	"	"	"	"	"	"	"			"	黒褐色		"	○			白粒	普		"
F 3 5 6	"	"	"	"	"	"	"			"	黒茶褐色		細粒多				金白	"		"
F 3 5 7	"	"	"	辛川	Ⅱ 9	"	"			沈線	明茶褐色		密	○			良			"
F 3 5 8	"	"	"	"	"	"	"			?	暗茶褐色		"			○	"	"		"
F 3 5 9	"	"	胴部	"	"	"	"			磨消縄文	黒褐色	暗茶褐色	"	○		○	"	"		"
F 3 6 0	"	"	"	西平	Ⅱ 11	"	"			磨消縄文（はみ出し）	暗褐色		"	○		○	"	"		"
F 3 6 1	"	"	口縁部	"	"	"	"			?	暗茶褐色		"	○			白粒	"		"
F 3 6 2	"	"	胴部	"	"	"	"			磨消縄文	淡灰褐色	暗褐色	"	○			"	"		"
F 3 6 3	"	"	口縁部	丸尾	Ⅲ 5	6 3 号土坑	1 5 D			貝殻刺突文	暗茶褐色		砂粒多				金白	普	3 1 9 3 7	"
F 3 6 4	"	"	"	市来	Ⅲ 1	6 5 号土坑	1 5 B			沈線	黄褐色		密				"	"		"
F 3 6 5	"	"	"	丸尾	Ⅲ 5	"	"			貝殻刺突文	明茶褐色		砂粒多		○		金雲	良		"
F 3 6 6	"	"	"	西平?	"	"	"			?	淡茶褐色	淡褐色	密	○	○	○	"	"		"
F 3 6 7	"	"	"	辛川	Ⅱ 9	"	"		平縁	磨消縄文	暗黄褐色		砂粒多	○	○	○	白粒	普		"
F 3 6 8	"	"	胴部	西平	Ⅱ 11	"	"			?	黒褐色	明茶褐色	"				"	"		"
F 3 6 9	"	"	"	辛川	Ⅱ 9	"	"			磨消縄文	黒褐色		密	○			良			"
F 3 7 0	"	"	"	西平	Ⅱ 11	"	"			"	淡茶褐色		砂粒多	○			白粒	"		"

第39表 土坑出土遺物観察表3

遺物番号	種別	器種	部位	型式	類別	遺構名	出土区	標高 m	口縁	文様・器面調整等	色 調		胎 土				焼成	取り上げ番号	挿図No	
											内面	外面	状態	石英	長石	砂粒				他
F 3 7 1	縄文土器	深鉢	胴部	辛川	Ⅱ 9	6 5 号土坑	1 5 B			磨消縄文	暗茶褐色		砂粒多			○	茶粒	良		第65図
F 3 7 2	"	"	口縁部	"	"	"	"			沈線	淡褐色	黒褐色	密	○		○		"		"
F 3 7 3	"	"	胴部	"	"	"	"			磨消縄文	"	"	砂粒多	○	○			普		"
F 3 7 4	"	"	口縁部	西平	Ⅱ 11	"	"		山形	"	黒褐色		"		○	○		良		"
F 3 7 5	"	"	胴部	"	"	"	"			沈線	淡灰褐色		密	○			白粒	普		"
F 3 7 6	"	"	"	"	"	"	"			磨消縄文	黒褐色		砂粒多				茶粒	良		"
F 3 7 7	"	"	"	"	"	"	"			"	暗褐色		"	○	○			普		"
F 3 7 8	"	"	口縁部	"	"	"	"			無文	暗茶褐色		"			○	茶白	良		"
F 3 7 9	"	"	"	丸尾	Ⅲ 5	6 6 号土坑	"			貝殻刺突文	"		密	○			茶粒	"		"
F 3 8 0	"	"	"	"	"	"	"		平縁	"	明茶褐色	黒褐色	細粒多	○			茶白	普		"
F 3 8 1	"	"	"	"	"	"	"			"	"	暗茶褐色	"				白粒	良		"
F 3 8 2	"	"	"	"	"	"	"			貝殻刺突文+沈線	明茶褐色		密	○		○		"		"
F 3 8 3	"	"	底部			"	"			無文	淡灰茶褐	明黄茶褐	細粒多	○		○		普		"
F 3 8 4	"	"	口縁部	辛川	Ⅱ 9	"	"			?	明黄褐色		"	○		○	白粒	良		"
F 3 8 5	"	"	"	"	"	"	"			?	黒褐色	暗茶褐色	密			○	"	"		"
F 3 8 6	"	"	胴部	"	"	"	"			磨消縄文	"	明黄茶褐	"	○			○	"		"
F 3 8 7	"	"	"	"	"	"	"			?	暗褐色	"	"	○				"		"
F 3 8 8	"	"	"	中ノ原	Ⅱ 10	"	"			磨消縄文	黒茶褐色		細粒多	○	○		白粒	"		"
F 3 8 9	"	"	"	"	"	"	"			?	暗茶褐色		密	○			茶粒	"		"
F 3 9 0	"	"	"	"	"	"	"			磨消縄文	明茶褐色	暗茶褐色	"	○		○		"		"
F 3 9 1	"	"	"	"	"	"	"			"	"	"	"	○	○			普		"
F 3 9 2	"	"	口縁部	辛川	Ⅱ 9	"	"			沈線	暗茶褐色		"	○			白粒	良		"
F 3 9 3	"	"	"	"	"	"	"		平縁	"	黒褐色	明茶褐色	"	○		○		"		"
F 3 9 4	"	"	"	西平	Ⅱ 11	"	"		"	"	黒茶褐色		"	○			白粒	"		"
F 3 9 5	"	"	"	"	"	"	"		山形	"	淡茶褐色		細粒多	○	○			"		"
F 3 9 6	"	"	"	"	"	"	"			?	暗茶褐色		密	○				"		"
F 3 9 7	"	"	"	"	"	"	"			?	淡褐色		"	○			白粒	"		"
F 3 9 8	"	"	"	"	"	"	"		山形	?	暗褐色	暗茶褐色	"	○				"		"
F 3 9 9	"	"	胴部	"	"	"	"			磨消縄文	黒褐色		"	○		○		"		"
F 4 0 0	"	"	"	"	"	"	"			"	淡黄褐色		"	○	○		白粒			"
F 4 0 1	"	"	"	"	"	"	"			"	黒褐色	暗茶褐色	"			○		"		"
F 4 0 2	"	"	"	"	"	"	"			"	"	"	"			○	茶粒	"		"
F 4 0 3	"	"	"	"	"	"	"			"	黒褐色		"	○	○			"		"
F 4 0 4	"	"	"	"	"	"	"			"	暗褐色	明茶褐色	"	○				"		"
F 4 0 5	"	"	底部	"	"	"	"			無文	暗茶褐色	"	"	○			白粒	"		"
F 4 0 6	"	"	"	"	"	"	"			"	黒褐色	明茶褐色	"	○		○				"
F 4 0 7	メンコ		胴部			"	"			"	"	"	"	○			白粒	"		"
F 4 0 8	縄文土器	深鉢	口縁部	丸尾	Ⅲ 5	6 7 号土坑	1 5 F		山形	貝殻刺突文	明茶褐色	黒茶褐色	"	○	○		"	普		"
F 4 0 9	"	"	"	"	"	"	"		"	"	暗茶褐色		"	○				良		"
F 4 1 0	"	"	"	"	"	"	"			"	明茶褐色		"				金白	"		第66図
F 4 1 1	"	"	"	納曾	Ⅱ 8	"	"			"	暗褐色		"	○				"		"
F 4 1 2	"	"	"	辛川	Ⅱ 9	"	"		平縁	磨消縄文	黒褐色	暗褐色	砂粒多					"		"
F 4 1 3	"	"	"	"	"	"	"		"	"	暗黄茶褐色		密	○		○		"		"
F 4 1 4	"	"	"	西平	Ⅱ 11	"	"		山形	?	暗褐色	明茶褐色	砂粒多		○			"		"
F 4 1 5	"	"	"	"	"	"	"			連点文	暗黄褐色	明褐色	密				金白	"		"
F 4 1 6	"	"	"	"	"	"	"			?	暗褐色		"		○			"		"
F 4 1 7	"	"	"	"	"	"	"			?	淡褐色		"					"		"
F 4 1 8	"	"	"	"	"	"	"		山形	?	暗茶褐色		"					"		"
F 4 1 9	"	"	胴部	"	"	"	"			磨消縄文	"		"	○				"		"
F 4 2 0	"	"	"	"	"	"	"			"	暗茶褐色		"	○				"		"
F 4 2 1	"	"	"	"	"	"	"			"	黒褐色		"			○		"		"
F 4 2 2	メンコ		"			"	"			無文	黒褐色	暗褐色	"			○		"		"
F 4 2 3	縄文土器	深鉢	口縁部	市来	Ⅲ 1	6 8 号土坑	"		平縁	沈線+刺突文	暗茶褐色		"	○		○	"			"
F 4 2 4	"	"	"	深浦	1 5	7 0 号土坑	1 5 H		"	連点文	黒褐色	暗黄褐色	"	○		○		"	2 5 5 9 8	"
F 4 2 5	"	"	"	市来	Ⅲ 1	"	"			?	暗茶褐色		"	○				"	2 5 5 9 8	"
F 4 2 6	"	"	"	"	"	"	"			沈線+爪形文	"		"					"	2 5 5 9 8	"
F 4 2 7	"	"	"	"	"	"	"		平縁	沈線+貝殻刺突文	"		砂粒多	○			普		2 5 5 9 8	"
F 4 2 8	"	鉢	"	北久根山	Ⅱ 5	"	"		"	無文	黒褐色		密					良	2 5 5 9 8	"
F 4 2 9	"	深鉢	"	市来	Ⅲ 1	7 1 号土坑	1 6 C		"	刺突文?	淡黄褐色		細粒多	○				"	3 1 9 2 2	"
F 4 3 0	"	"	"	丸尾	Ⅲ 5	7 4 号土坑	1 7 D	13.10		貝殻刺突文	明茶褐色		"					普	3 6 2 2 5	"

第40表 土坑出土遺物観察表4

遺物番号	種別	器種	部位	型式	類別	遺構名	出土区	標高 m	口縁	文様・器面調整等	色 調		胎 土				焼成	取り上げ番号	挿図No	
											内面	外面	状態	石英	長石	かん				他
F 4 3 1	縄文土器	深鉢	口縁部	丸尾	Ⅲ 5	7 4 号土坑	1 7 D	12.90	山形	貝殻刺突文	明茶褐色	暗褐色	細粒多	○		○		良	3 6 1 9 9	第66図
F 4 3 2	"	"	"	"	"	"	"			"	明茶褐色		密	○				"		"
F 4 3 3	"	"	胴部	"	"	"	"	13.16		"	明茶褐色	黒褐色	細粒多	○		○		普	3 6 2 2 6	"
F 4 3 4	"	"	口縁部	辛川	Ⅱ 9	"	"	13.16		磨消縄文	暗茶褐色	"	砂粒多				白粒	"	3 6 1 9 6	"
F 4 3 5	"	"	胴部	"	"	"	"	13.22		?	淡褐色	"	"	○	○			"	3 6 2 0 0 +	"
F 4 3 6	"	"	"	"	"	"	"	13.10		?	"	"	"	○		○		"	3 6 2 2 5	"
F 4 3 7	"	"	"	西平	Ⅱ 11	"	"			磨消縄文	黒褐色	暗茶褐色	細粒多		○	○		良		"
F 4 3 8	"	"	"	"	"	"	"			"	黒褐色		砂粒多	○	○	○		普		"
F 4 3 9	"	"	口縁部	市来	Ⅲ 1	7 5 号土坑	1 7 F			貝殻刺突文	明茶褐色	暗褐色	密	○		○		良		"
F 4 4 0	"	"	"	"	"	"	"		山形	"	明茶褐色		"	○		○		"		"
F 4 4 1	"	"	"	"	"	"	"		平縁	"	淡褐色		細粒多	○	○			普		"
F 4 4 2	"	"	"	"	"	"	"		"	沈線＋口唇部に刻目	淡黄褐色		"	○			白粒	"		"
F 4 4 3	"	"	"	丸尾	Ⅲ 5	"	"		山形	貝殻刺突文	明茶褐色	暗褐色	密	○		○		良		"
F 4 4 4	"	"	"	"	"	"	"			"	"	暗茶褐色	"	○				"		"
F 4 4 5	"	"	"	"	"	"	"		山形	"	明茶褐色		"				金白	"		"
F 4 4 6	"	"	"	"	"	"	"		"	"	明茶褐色	暗茶褐色	細粒多					普		"
F 4 4 7	"	"	"	"	"	"	"		"	"	明茶褐色		"				"	良		"
F 4 4 8	"	"	"	"	"	"	"		"	"	暗茶褐色		密				"	普		"
F 4 4 9	"	"	頸部	"	"	"	"			"	明茶褐色		"	○		○		良		"
F 4 5 0	"	"	"	"	"	"	"			"	明茶褐色	暗茶褐色	"				金白	普		"
F 4 5 1	"	"	胴部	"	"	"	"			"	暗茶褐色		細粒多				金白	良		"
F 4 5 2	"	"	"	"	"	"	"			"	"		"				金雲	普		"
F 4 5 3	"	"	底部	北久根山		"	"			無文	淡褐色		"		○		白粒	良		第67図
F 4 5 4	"	"	口縁部	辛川	Ⅱ 9	"	"			磨消縄文	黒褐色	明褐色	"					普		"
F 4 5 5	"	"	"	納曾	Ⅱ 8	"	"			沈線＋貝殻刺突文	暗茶褐色		細粒多	○	○			"		"
F 4 5 6	"	"	胴部	辛川	Ⅱ 9	"	"			"	黒褐色		密					良		"
F 4 5 7	"	"	"	"	"	"	"			磨消縄文	黒褐色	暗褐色	"	○				"		"
F 4 5 8	"	"	口縁部	"	"	"	"			沈線＋連続刺突文	暗褐色	"	"			○		"		"
F 4 5 9	"	"	"	"	"	"	"			"	暗茶褐色		"	○		○		"		"
F 4 6 0	"	"	"	"	"	"	"			?	黒褐色	淡褐色	"	○				"		"
F 4 6 1	"	"	口～胴	"	"	"	"			沈線	明茶褐色	暗褐色	"	○	○			"		"
F 4 6 2	"	"	口縁部	"	"	"	"			"	暗褐色		"					"		"
F 4 6 3	"	"	"	"	"	"	"			"	暗茶褐色		砂粒多	○	○			普		"
F 4 6 4	"	"	"	"	"	"	"			"	暗褐色		密					良		"
F 4 6 5	"	"	"	西平	Ⅱ 11	"	"			"	暗茶褐色		細粒多					普		"
F 4 6 6	"	"	"	"	"	"	"			磨消縄文	暗黄茶褐色		密	○	○			良		"
F 4 6 7	"	"	"	"	"	"	"			"	黒褐色	灰褐色	"					"		"
F 4 6 8	"	"	"	"	"	"	"		平縁	"	淡褐色	暗黄褐色	"					"		"
F 4 6 9	"	"	"	"	"	"	"			"	暗黄褐色	黒褐色	"					"		"
F 4 7 0	"	"	"	"	"	"	"		平縁	"	明茶褐色		"	○				"		"
F 4 7 1	"	"	"	"	"	"	"		"	?	暗灰褐色		"					"		"
F 4 7 2	"	"	"	"	"	"	"			?	暗茶褐色		"	○				"		"
F 4 7 3	"	"	"	"	"	"	"		山形	?	淡褐色		細粒多	○		○		"		"
F 4 7 4	"	"	"	"	"	"	"		"	?	"		密	○		○		"		"
F 4 7 5	"	"	"	"	"	"	"			?	暗茶褐色		細粒多					普		"
F 4 7 6	"	"	"	"	"	"	"		山形	?	"		密		○	○		良		"
F 4 7 7	"	"	"	"	"	"	"		山形	?	暗褐色		"			○		"		"
F 4 7 8	"	"	"	"	"	"	"			?	暗茶褐色		"	○				"		"
F 4 7 9	"	"	"	"	"	"	"			?	黒褐色		"	○		○		"		"
F 4 8 0	"	"	"	"	"	"	"		山形	?	淡褐色		"					"		"
F 4 8 1	"	"	胴部	"	"	"	"			磨消縄文	黒褐色		細粒多					"		"
F 4 8 2	"	"	"	"	"	"	"			?	明茶褐色	黒褐色	密					"		"
F 4 8 3	"	"	"	"	"	"	"			磨消縄文	黒褐色		"					"		"
F 4 8 4	"	"	口縁部	"	"	"	"			?	黒褐色	明茶褐色	細粒多	○	○	○		普		"
F 4 8 5	"	"	"	"	"	"	"			?	淡褐色		密					良		"
F 4 8 6	"	"	胴部	"	"	"	"			?	黒褐色		砂粒多					普		"
F 4 8 7	"	"	"	"	"	"	"			?	"		密			◎		良		"
F 4 8 8	"	"	"	"	"	"	"			磨消縄文（はみ出し）	黒褐色	明茶褐色	細粒多	○				普		第68図
F 4 8 9	"	"	口縁部	"	"	"	"		平縁	無文	黒褐色		密	○		○		良		"
F 4 9 0	"	"	"	"	"	"	"		"	"	淡茶褐色		"			○	黒粒	"		"

第41表 土坑出土遺物観察表5

遺物番号	種別	器種	部位	型式	類別	遺構名	出土区	標高 m	口縁	文様・器面調整等	色 調		胎 土				焼成	取り上げ番号	挿図No	
											内面	外面	状態	石英	長石	砂粒				他
F 4 9 1	縄文土器	深鉢	底部	西平	Ⅱ 11	7 5 号土坑	1 7 F			無文	暗茶褐色	明黄茶褐	細粒多	○	○	○		普		第68図
F 4 9 2	"	"	"	"	"	"	"			"	黒褐色	明茶褐色	密					良		"
F 4 9 3	"	"	"	"	"	"	"			"	"	"	"					"		"
F 4 9 4	"	"	"	"	"	"	"			"	"	"	"	○			白粒	"		"
F 4 9 5	"	"	"	"	"	"	"			"	暗褐色	"	"					"		"
F 4 9 6	"	"	口縁部	納曾	Ⅱ 8	7 6 号土坑	"			沈線	黒褐色	"	"					"		"
F 4 9 7	"	"	"	丸尾	Ⅲ 5	"	"			貝殻刺突文	明茶褐色	"	"	○	○			普		"
F 4 9 8	"	"	胴部	辛川	Ⅱ 9	"	"			？	灰黒褐色	淡褐色	"					"		"
F 4 9 9	"	"	"	"	"	"	"			"	暗茶褐色	"	"	○				良		"
F 5 0 0	"	"	口縁部	西平	Ⅱ 11	"	"			平縁？	黒褐色	砂粒多	○	○			白粒	普		"
F 5 0 1	"	"	"	納曾	Ⅱ 8	"	"			？	暗褐色	"	"	○			"	"		"
F 5 0 2	"	"	胴部	西平	Ⅱ 11	"	"			？	暗茶褐色	"	"	○	○			"		"
F 5 0 3	"	"	"	"	"	"	"			無文	淡褐色	暗褐色	細粒多	○				"		"
F 5 0 4	"	"	"	"	"	"	"			"	暗黄褐色	"	密	○	○			良		"
F 5 0 5	"	"	口縁部	市来	Ⅲ 1	7 7 号土坑	1 8 D	13.50		貝殻刺突文	淡褐色	"	"	○				"	3 5 2 0 6	"
F 5 0 6	"	"	"	"	"	"	"	13.46	山形	"	明茶褐色	暗褐色	"		○	○		"	3 5 0 3 3	"
F 5 0 7	"	"	"	"	"	"	"	13.41	"	？	暗褐色	明褐色	"	"			白粒	"	3 5 0 6 4	"
F 5 0 8	"	"	"	"	Ⅲ 3	"	"	13.39		無文	暗茶褐色	"	"	○				"	3 5 2 2 3	"
F 5 0 9	"	"	"	"	"	"	"	13.44	平縁	"	黒褐色	淡茶褐色	"				茶粒	普	3 3 7 7 2	"
F 5 1 0	"	"	"	"	Ⅲ 7	"	"	13.46	"	"	"	暗茶褐色	砂粒多	○		○	"	良	3 3 7 1 7	"
F 5 1 1	"	"	"	市来	Ⅲ 3	"	"	13.43	"	"	"	淡茶褐色	密				"	普	3 5 0 3 1	"
F 5 1 2	"	"	"	"	"	"	"	13.42	平縁	"	明茶褐色	砂粒多	"				"	"	3 5 2 5 1	"
F 5 1 3	"	"	底部	"	"	"	"	13.47	"	"	灰黒褐色	淡褐色	密				茶灰	良	3 3 7 2 3	"
F 5 1 4	"	"	"	"	"	"	"	13.42	"	"	明茶褐色	"	"	○		○		普	3 3 7 0 4	"
F 5 1 5	"	"	口縁部	丸尾	Ⅲ 5	"	"	13.52	平縁	貝殻刺突文	暗茶褐色	黒褐色	砂粒多					良	3 3 7 5 1	"
F 5 1 6	"	"	"	"	"	"	"	13.40	"	"	明茶褐色	密	"			○	白茶	"	3 5 2 4 4	"
F 5 1 7	"	"	"	"	"	"	"	13.49	山形	"	暗茶褐色	"	"				金白	"	3 3 7 2 9	第69図
F 5 1 8	"	"	"	"	"	"	"	13.47	平縁	"	明茶褐色	暗茶褐色	"	"			"	"	3 3 7 3 3 +	"
F 5 1 9	"	"	"	"	"	"	"	13.48	"	"	暗茶褐色	黒茶褐色	"				"	"	3 3 7 3 9	"
F 5 2 0	"	"	口～胴	"	Ⅲ 7	"	"	13.39	"	無文	淡黄茶褐	暗茶褐色	"	○				"	3 5 0 2 5	"
F 5 2 1	"	"	"	鐘崎	Ⅱ 2	"	"	13.40	"	沈線	淡灰褐色	"	"					"	3 5 2 4 3	"
F 5 2 2	"	"	胴部	辛川	Ⅱ 9	"	"	13.40		磨消縄文	暗褐色	暗茶褐色	細粒多	○			白粒	"	3 5 2 3 2	"
F 5 2 3	"	"	口縁部	"	"	"	"	13.48		"	"	"	密	○		○		"	3 3 7 2 5 +	"
F 5 2 4	"	"	"	西平	Ⅱ 11	"	"			"	暗茶褐色	"	"					"	"	"
F 5 2 5	"	"	"	"	"	"	"	13.43	山形	"	黒褐色	明茶褐色	"					"	3 5 0 4 9	"
F 5 2 6	"	"	"	"	"	"	"	13.50	平縁	"	淡黄褐色	砂粒多	"		○	○	白粒	"	3 3 7 3 6 +	"
F 5 2 7	"	"	胴部	"	"	"	"	13.44	"	"	暗黄褐色	密	"					"	3 5 0 5 0	"
F 5 2 8	"	"	口縁部	市来	Ⅲ 1	7 8 号土坑	"	13.49	平縁	刺突文（ヘラ）	黒褐色	明黄茶褐	"				茶粒	"	3 5 2 7 3	"
F 5 2 9	"	"	"	丸尾	Ⅲ 5	7 9 号土坑	"	13.39		貝殻刺突文	暗茶褐色	細粒多	"		○		金白	普	3 6 0 4 7	"
F 5 3 0	"	"	胴部	深浦	Ⅰ 5	8 0 号土坑	"			刻目微隆帯	明茶褐色	密	"	○		○		良		"
F 5 3 1	"	"	口縁部	市来	Ⅲ 1	"	"	13.23	山形	沈線＋連続爪形文	明黄茶褐色	"	"	○				"	3 7 1 1 4	"
F 5 3 2	"	"	"	"	"	"	"	13.19	"	"	暗茶褐色	細粒多	"	○		○	白粒	"	3 7 1 0 9	"
F 5 3 3	"	"	"	西平	Ⅱ 11	"	"			磨消縄文	暗茶褐色	黒褐色	密	○				"	"	"
F 5 3 4	"	"	"	市来	Ⅲ 1	8 1 号土坑	1 8 E	13.41	平縁	連続刺突文	黒褐色	暗茶褐色	"	○				普	3 5 2 6 9	"
F 5 3 5	"	"	"	"	"	"	"	13.34		沈線	明茶褐色	"	"				白粒	良	3 5 2 5 5	"
F 5 3 6	"	"	"	"	"	"	"		平縁	連続刺突文	黒褐色	明茶褐色	細粒多	○		○		普	"	"
F 5 3 7	"	"	"	"	"	"	"	13.36		無文	明茶褐色	暗褐色	密	"				良	3 5 2 6 3	"
F 5 3 8	"	"	"	丸尾	Ⅲ 5	"	"	13.38	平縁	貝殻刺突文	暗褐色	細粒多	"	○	○	○		普	3 5 2 5 9	"
F 5 3 9	"	"	頸部	"	"	"	"			"	暗茶褐色	密	"	○	○			良	"	"
F 5 4 0	"	"	底部	鐘崎	Ⅱ 2	"	"	13.41		無文	暗褐色	"	"			○		"	3 5 2 5 8	"
F 5 4 1	"	"	口縁部	市来	Ⅲ 1	8 2 号土坑	"		平縁	連続刺突文	暗茶褐色	細粒多	"					普	"	"
F 5 4 2	"	"	"	"	"	8 3 号土坑	1 8 F		"	"	明茶褐色	"	"	○		○		"	3 2 6 0 3	"
F 5 4 3	"	"	"	"	"	"	"	13.16		"	"	密	"					良	3 3 4 9 7	"
F 5 4 4	"	"	"	鐘崎	Ⅱ 2	"	"	13.05	平縁	磨消縄文	淡褐色	細粒多	"		○	○		"	3 5 2 3 0	"
F 5 4 5	メンコ		"	市来		8 4 号土坑	"	13.11		連続刺突文	"	"	"	○	○	○		普	3 3 5 0 7	"
F 5 4 6	"		胴部	"	"	"	"			無文	暗茶褐色	明茶褐色	"	"	○	○		"	"	"
F 5 4 7	縄文土器	深鉢	"	辛川	Ⅱ 9	"	"			沈線	暗褐色	暗茶褐色	密	"				良		第70図
F 5 4 8	"	"	口縁部	市来	Ⅲ 3	8 5 号土坑	"	13.05	山形	無文	明茶褐色	"	"	○	○	○		"	3 5 9 8 2	"
F 5 4 9	"	"	底部	"	"	"	"	13.07	"	"	明茶褐色	細粒多	"	○		○	白粒	普	3 5 9 8 9	"
F 5 5 0	"	"	口縁部	"	Ⅲ 7	"	"	13.07	"	"	淡茶褐色	密	"	○		○		良	3 5 9 8 8	"

第42表 土坑出土遺物観察表6

遺物番号	種別	器種	部位	型式	類別	遺構名	出土区	標高 m	口縁	文様・器面調整等	色 調		胎 土				焼成	取り上げ番号	挿図№	
											内面	外面	状態	石英	長石	カセ				他
F551	縄文土器	深鉢	口～胴	西平	Ⅱ11	85号土坑	18F	13.09	山形	沈線	黒褐色		細粒多	○		○		良	35986	第70図
F552	"	"	口縁部	市来	Ⅲ1	91号土坑	"	13.04	平縁	連続刺突文	暗黄褐色	明茶褐色	砂粒多	○			茶白		36245	"
F553	"	"	"	"	"	"	"	13.02	山形	"	黒褐色		細粒多	○			白粒	普	36061	"
F554	"	"	"	"	"	"	"	13.02		沈線	暗黄褐色		砂粒多	○	○		"	粗	36240	"
F555	"	"	"	"	"	"	"	12.03	山形	沈線+連続刺突文（爪形）	明茶褐色		密			○		普	36059	"
F556	"	"	"	"	"	"	"	13.05		連続刺突文	暗茶褐色	明茶褐色	"	○		○		"	36050	"
F557	"	"	"	"	"	"	"	12.98		沈線+連続刺突文（爪形）	明茶褐色		"	○			良	36073	"	"
F558	"	"	胴部	納管	Ⅱ8	96号土坑	19E			沈線	淡黄褐色		"	○		○		普		"
F559	"	"	"	"	"	"	"			"	黒褐色	暗茶褐色	"			○		良		"
F560	"	"	"	西平	Ⅱ11	"	"			磨消縄文	淡褐色		"			○	金雲			"
F561	"	"	"	"	"	"	"			"	"		"	○		○		"		"
F562	"	"	口縁部	"	"	97号土坑	19D	13.38	平縁	無文	"		砂粒多	○		○		普	43303	"
F563	"	"	胴部	深浦	15	102土坑	21D			連点文	明黄茶褐	暗褐色	密					良		"
F564	"	"	口縁部	市来	Ⅲ1	"	"	13.43	山形	連続刺突文	暗茶褐色		砂粒多				茶粒		40052	"
F565	"	"	"	"	"	"	"			"	明黄茶褐色		密	○			"			"
F566	"	"	"	"	"	"	"			"	明茶褐色		"	○			"			"
F567	"	"	"	"	"	"	"	13.43	山形	貝殻刺突文	暗黄褐色		"				"		40052	"
F568	"	"	"	"	"	"	"	13.18	"	沈線+連続刺突文	黒褐色		"	○		○		"	40105	"
F569	"	"	"	"	"	"	"	13.44		沈線	暗茶褐色		砂粒多				金白		40057	"
F570	"	"	"	"	"	"	"			沈線+連続刺突文	明茶褐色		密	○			"			"
F571	"	"	胴部	"	"	"	"	13.40		"	暗茶褐色		細粒多					普	40065	"
F572	"	"	口縁部	"	Ⅲ3	"	"	13.43		無文	黒褐色		砂粒多			○	白粒		40052	"
F573	"	"	"	"	"	"	"		"	"	暗褐色	淡黄茶褐	密					良		"
F574	"	"	底部	"	"	"	"	13.41		"	明茶褐色		"				"		40048	"
F575	"	"	"	"	"	"	"		"	"	黒褐色	明褐色	"	○		○		普		"
F576	"	"	口縁部		Ⅲ7	"	"	13.46	平縁	"	暗茶褐色		"	○				良	40046	"
F577	"	"	"	"	"	"	"		"	"	"		"			○		"		"
F578	"	"	"	"	"	"	"		"	"	明茶褐色		"	○			"			"
F579	"	"	"	"	"	"	"	13.46	山形	"	黒褐色		"				"		40061	第71図
F580	"	"	"	"	"	"	"	13.34	平縁	無文+把手	明黄褐色		"				"		40056	"
F581	"	"	"	"	"	"	"		"	口唇部に刻目	暗茶褐色		"				"			"
F582	"	"	"	西平	Ⅱ11	"	"		山形	沈線	黒褐色		"	○		○		"		"
F583	"	"	"	市来	Ⅲ1	108土坑	21F	13.31	"	連続刺突文	"		砂粒多		○		白粒	普	39376+	"
F584	"	"	"	"	"	"	"	13.60	平縁	"	暗茶褐色	黒褐色	細粒多				茶粒	良	37844	"
F585	"	"	"	"	"	"	"	13.01	"	"	明茶褐色		密				金雲		39379	"
F586	"	"	"	"	"	"	"	13.34	"	"	明黄茶褐	明茶褐色	砂粒多	○	○		白粒		39378	"
F587	"	"	底部	"	"	"	"	13.05		貝殻刺突文	明茶褐色		密				"		39373	"
F588	"	"	口縁部	"	Ⅲ1	109土坑	22F	13.58	平縁	連続刺突文	暗茶褐色		"	○		○		"	37843	"
F589	"	"	口～胴	"	"	"	"	13.42	"	"	明茶褐色	暗黄褐色	"	○		○		"	37847	"
F590	"	"	口縁部	"	"	"	"	13.60	"	"	暗茶褐色		"	○		○		"	37850	"
F591	"	"	"	"	"	"	"		"	"	"		細粒多				茶粒			"
F592	"	"	口～胴	"	"	"	"	13.45	"	"	"		密	○		○		"	37751	"
F593	"	"	口縁部	"	"	"	"	12.91		"	明茶褐色	黒褐色	"				金白		39743	"
F594	"	"	"	"	"	"	"	13.29		"	暗黄褐色		"			○		"	37939	"
F595	"	"	"	"	"	"	"	13.58	平縁	"	暗茶褐色		"	○		○		"	37843	"
F596	"	"	"	"	"	"	"	13.63	"	"	"		"	○			"		37692	"
F597	"	"	"	"	"	"	"	13.36		"	黒褐色		"	○		○		"	37689	"
F598	"	"	"	"	"	111土坑	21F		山形	"	淡褐色		"				"			"
F599	"	"	"	"	"	"	"		"	"	"		"	○	○	○		"		"
F600	"	"	"	"	"	"	"		"	"	淡褐色	黒褐色	"				"			"
F601	"	"	"	"	"	"	"		平縁	"	黒褐色	明茶褐色	"	○			"			"
F602	"	"	"	"	"	"	"			沈線+連続刺突文	明褐色		"	○	○		"			"
F603	"	"	"	西平	Ⅱ11	"	"			沈線	黒褐色		"	○	○	○		"	37082	"
F604	"	"	"	"	"	"	"		平縁	連続刺突文	暗茶褐色		砂粒多		○		金雲	普		"
F605	"	"	胴部	曾畑	13	112土坑	15K			沈線	暗褐色	暗茶褐色	密				白粒	良	34891	"
F606	"	"	"	西平	Ⅱ11	"	"			?	黒褐色		砂粒多			○		"	34891	"
F607	"	"	"	曾畑	13	"	"			沈線	淡褐色	淡黒褐色	密				滑石		34891	"
F608	"	"	口縁部	納管	Ⅱ8	"	"		平縁	沈線+連続刺突文	明茶褐色	暗褐色	"				"		34891	"
F609	"	"	"	西平	Ⅱ11	"	"			無文	暗茶褐色		"				"		34891	"
F610	"	"	胴部	"	"	"	"			磨消縄文	淡灰褐色	暗黄褐色	砂粒多	○			"		34891	"

第43表 土坑出土遺物観察表7

遺物番号	種別	器種	部位	型式	類別	遺構名	出土区	標高 m	口縁	文様・器面調整等	色 調		胎 土				焼成	取り上げ番号	挿図No	
											内面	外面	状態	石英	長石	カゼン				他
F 6 1 1	縄文土器	深鉢	口縁部	西平	Ⅱ 11	1 1 2 土坑	1 5 K		平縁	無文	暗茶褐色	黒褐色	密	○		○		良	3 4 8 9 1	第71図
F 6 1 2	"	"	胴部	"	"	1 1 3 土坑	"			磨消縄文	黒褐色	明茶褐色	砂粒多				茶粒	"	3 4 8 9 2	"
F 6 1 3	"	"	"	曾畑	1 3	1 1 4 土坑	1 6 L			沈線	淡黄褐色	暗茶褐色	密				"	"		"
F 6 1 4	"	"	"	"	"	"	"			"	暗茶褐色	明茶褐色	"	○			"	"		"
F 6 1 5	"	"	口～胴	西平	Ⅱ 11	"	"		平縁	無文	明茶褐色	暗茶褐色	"	○			白粒	"		第72図
F 6 1 6	"	"	口縁部	"	"	"	"		"	"	暗茶褐色		"	○			"	"		"
F 6 1 7	"	"	"	"	"	"	"		"	"			"	○			"	"		"
F 6 1 8	"	"	"	"	"	"	"		"	"			"	○	○		"	"		"
F 6 1 9	"	"	胴部	"	"	"	"		"	"	明茶褐色	黒褐色	"	○	○		"	"		"
F 6 2 0	"	"	底部	"	"	"	"		"	"	明茶褐色		細粒多	○			白粒	普		"
F 6 2 1	"	"	口縁部	"	"	1 1 5 土坑	1 6 K		"	沈線	明茶褐色	暗茶褐色	密	○			"	良	3 4 8 9 3	"
F 6 2 2	"	"	胴部	"	"	1 1 6 土坑	"			無文	"	"	"				"	"	3 4 8 9 4	"
F 6 2 3	"	"	口縁部	"	"	"	"		"	"	暗茶褐色	明茶褐色	"	○		○	"	"	3 4 8 9 4	"
F 6 2 4	"	"	胴部	"	"	1 1 9 土坑	1 7 M			沈線＋連続刺突文	暗茶褐色		"			○	"	"		"
F 6 2 5	"	"	口縁部	"	"	"	"			無文（内面凹線）	黒茶褐色		"	○			"	"		"
F 6 2 6	"	"	"	"	"	"	"		山形	"	暗茶褐色		"		○		"	"		"
F 6 2 7	"	"	"	"	"	"	"		"	無文（内面沈線）	"		"			○	"	"		"
F 6 2 8	"	"	口～胴	"	"	"	"	12.07	平縁	"	淡茶褐色		"	○	○		"	3 7 5 4 3＋		"
F 6 2 9	"	"	"	"	"	"	"	11.92		無文	暗茶褐色		"	○		○	"	3 7 5 5 0＋		"
F 6 3 0	"	"	底部	"	"	"	"	11.84	"	"	暗褐色	明茶褐色	細粒多		○		"	3 7 5 4 5		"
F 6 3 1	"	"	胴部	"	"	"	"	11.96	"	"	淡茶褐色	暗茶褐色	密	○		○	"	3 7 5 4 6		"
F 6 3 2	"	"	口縁部	市来	Ⅲ 1	1 2 1 土坑	1 7 N	12.15		連続刺突文	明茶褐色		"				普	3 4 7 9 1		"
F 6 3 3	"	"	"	西平	Ⅱ 11	1 2 4 土坑	1 8 M		山形	磨消縄文	暗黄褐色		"	○		○	"	良		"
F 6 3 4	"	"	"	"	"	"	"	12.06	平縁	無文（内面浅い凹線）	淡褐色	黒褐色	"	○		○	"	3 7 4 3 7		"
F 6 3 5	"	"	"	"	"	"	"	12.11		無文	暗茶褐色		"	○		○	"	3 7 4 4 6		"
F 6 3 6	"	"	"	"	"	"	"	12.14	平縁	無文（内面沈線）	暗褐色	淡褐色	"			○	"	3 7 4 4 2		"
F 6 3 7	"	"	底部	"	"	"	"			無文、上げ底	明茶褐色		"	○		○	"	"		"
F 6 3 8	"	"	胴部	"	"	"	"	12.04		無文	暗茶褐色		"	○			"	3 7 4 4 0		"
F 6 3 9	"	"	"	"	"	1 2 5 土坑	1 8 N	12.11	"	"	黒褐色	暗茶褐色	"	○		○	"	3 7 4 5 7		"
F 6 4 0	"	"	底部	"	"	"	"	12.09		無文、上げ底	"	淡褐色	"	○		○	"	3 7 4 5 5		"
F 6 4 1	"	"	胴部	曾畑	1 3	1 2 8 土坑	1 9 K			沈線	暗黄茶褐	明茶褐色	"	○		○	"	"		"
F 6 4 2	"	"	"	"	"	"	"			"	明茶褐色	暗褐色	"				滑石	"		"
F 6 4 3	"	"	口縁部	西平	Ⅱ 11	"	"			無文	暗茶褐色		"	○		○	"	"		"
F 6 4 4	"	"	"	"	"	"	"		平縁	"	"		"		○		"	"		"
F 6 4 5	"	"	頸部	"	"	"	"		"	"	暗茶褐色		細粒多	○			白粒	"		第73図
F 6 4 6	"	"	胴部	"	"	"	"		"	"	黒褐色		密	○		○	"	"		"
F 6 4 7	"	"	底部	"	"	"	"		"	"	黒褐色	暗黄褐色	"		○		"	"		"
F 6 4 8	"	台付皿	皿部	市来	Ⅲ 1	1 3 3 土坑	2 0 J			貼付文(W字?), 刺突連点文 点文	暗茶褐色	明茶褐色	"	○			"	"		"
F 6 4 9	"	深鉢	口～胴	西平	Ⅱ 11	"	"		山形	無文（内面沈線）	黒褐色	暗茶褐色	"			○	"	"		"
F 6 5 0	"	"	"	"	"	"	"		"	"	暗灰褐色		"	○			"	"		"
F 6 5 1	"	"	口縁部	"	"	"	"			"（内面沈線）	暗茶褐色	黒褐色	"				普	"		"
F 6 5 2	"	"	"	"	"	"	"			胴部連続刺突文、内面沈線 線	淡褐色		"	○			良	"		"
F 6 5 3	"	"	"	"	"	"	"		平縁	無文	黒褐色		砂粒多	○			"	"		"
F 6 5 4	"	"	"	"	"	"	"		"	"	暗褐色		密				"	"		"
F 6 5 5	"	"	"	"	"	"	"		"	"	黒褐色		"				"	"		"
F 6 5 6	"	"	頸部	"	"	"	"		"	"	"		"	○		○	"	"		"
F 6 5 7	"	"	底部	"	"	"	"		"	"（上げ底）	黒褐色	暗黄褐色	"			○	普	"		"
F 6 5 8	"	"	口縁部	"	"	"	"		平縁	"	暗褐色	黒褐色	"	○			良	"		"
F 6 5 9	"	"	胴部	曾畑	1 3	1 3 4 土坑	2 0 K			沈線	淡褐色	暗褐色	"				"	"		"
F 6 6 0	"	"	口縁部	幸川	Ⅱ 9	"	"		平縁	磨消縄文	淡暗褐色		"				"	"		"
F 6 6 1	"	"	胴部	"	"	"	"			"	暗茶褐色		"	○		○	"	"		"
F 6 6 2	"	"	口縁部	西平	Ⅱ 11	"	"		山形	"	暗褐色		"				"	"		"
F 6 6 3	"	"	"	"	"	"	"			沈線	暗茶褐色		細粒多				普	"		"
F 6 6 4	"	"	胴部	"	"	"	"			磨消縄文	暗褐色	淡褐色	密				"	"		"
F 6 6 5	"	"	口縁部	"	"	"	"		平縁	無文（内面凹線）	暗茶褐色		"				良	"		"
F 6 6 6	"	"	底部	"	"	"	"			無文（上げ底）	淡黄褐色	淡褐色	"	○		○	"	"		"
F 6 6 7	"	"	胴部	深浦	1 5	1 3 5 土坑	"			連点文	淡褐色	暗褐色	"	○		○	"	"		"
F 6 6 8	"	"	口縁部	西平	Ⅱ 11	"	"	12.41		磨消縄文	黒褐色	淡褐色	"				"	4 2 6 6 4		"
F 6 6 9	"	"	"	"	"	"	"	12.44		？	暗茶褐色		"		○	○	"	4 2 6 5 3＋		"
F 6 7 0	"	"	口～胴	"	"	"	"	12.44	山形	磨消縄文	黒褐色		"	○			"	4 2 6 5 9		"

第44表 土坑出土遺物観察表8

遺物番号	種別	器種	部位	型式	類別	遺構名	出土区	標高 m	口縁	文様・器面調整等	色 調		胎 土					焼成	取り上げ番号	挿図No
											内面	外面	状態	石英	長石	かん	他			
F 6 7 1	縄文土器	深鉢	胴部	西平	Ⅱ 11	1 3 5 土坑	2 0 K	12.33		沈線	暗茶褐色		密					良	4 2 6 5 4	第73図
F 6 7 2	"	"	"	"	"	"	"	12.32		磨消縄文	"		"					"	4 2 6 6 9	"
F 6 7 3	"	"	口縁部	"	"	"	"			無文(内面浅い凹線)	暗茶褐色	黒褐色	"	○		○		"		"
F 6 7 4	"	"	底部	"	"	"	"	12.54		無文(上げ底)	"	明茶褐色	"	○	○	○		"	4 2 4 6 4	"
F 6 7 5	"	"	胴部	"	"	"	"	12.44		沈線	黒褐色		"	○				"	4 2 6 5 9	"
F 6 7 6	"	"	略完形	"	"	"	"		山形	磨消縄文	淡褐色	暗褐色	"					"		第74図
F 6 7 7	"	"	口～胴	辛川	Ⅱ 9	"	"	12.48	平縁	"	暗茶褐色		"	○				"	4 2 6 5 2 +	"
F 6 7 8	"	"	"	西平	Ⅱ 11	1 3 6 土坑	2 0 J	12.24	"	無文	"		"	"	○			茶粒	4 2 6 6 7	"
F 6 7 9	"	"	胴部	"	"	1 3 6 土坑	2 0 J			磨消縄文	暗茶褐色	黒褐色	"					"		"
F 6 8 0	"	"	口縁部	"	"	"	"		平縁	無文	暗茶褐色		"			○		"		"
F 6 8 1	"	"	"	"	"	"	"		"	無文(内面浅い凹線)	"		"	"	○			"		"
F 6 8 2	"	"	"	"	"	"	"		"	"	"		"	"	○	○	○	白粒		"
F 6 8 3	"	"	"	"	"	"	"		山形	無文	"		密			○	○	茶粒	"	"
F 6 8 4	"	"	完形	"	"	"	"		平縁	無文(内面浅い沈線)	明茶褐色		砂粒多	○			白茶	"		"
F 6 8 5	"	"	頸部	"	"	"	"			無文	黒褐色		密			○		"		"
F 6 8 6	"	"	口縁部	丸尾	Ⅲ 5	1 3 7 土坑	"			貝殻刺突文	明茶褐色		細粒多	○			白粒	"		"
F 6 8 7	"	"	胴部	納曾	Ⅱ 8	"	"			沈線	淡茶褐色	黒褐色	"	○	○			普		"
F 6 8 8	"	"	"	"	"	"	"			"	暗茶褐色		"	○	○			"		"
F 6 8 9	"	"	"	"	"	"	"			"	淡灰褐色	黒褐色	"				"	"		"
F 6 9 0	"	"	口縁部	西平	Ⅱ 11	"	"		山形	磨消縄文	暗茶褐色		密	○				良		"
F 6 9 1	"	"	"	"	"	"	"		"	"	"		"					"		第75図
F 6 9 2	"	"	口～胴	"	"	"	"		"	"	淡黒褐色		"					"		"
F 6 9 3	"	"	口縁部	"	"	"	"		"	"	黒褐色		"	○				"		"
F 6 9 4	"	"	胴部	"	"	"	"			"	淡茶褐色	黒褐色	"					"		"
F 6 9 5	"	"	口縁部	"	"	"	"		山形	"	暗茶褐色		"	○				"		"
F 6 9 6	"	"	胴部	"	"	"	"			"	"		"	"				"		"
F 6 9 7	"	"	口縁部	"	"	"	"		平縁	無文(内面沈線)	"		"	"				白粒	"	"
F 6 9 8	"	"	"	"	"	"	"		"	無文	"		"	"				"		"
F 6 9 9	"	"	"	"	"	"	"		"	無文(内面沈線)	"		"	"				"		"
F 6 0 0	"	"	"	"	"	"	"			無文	明茶褐色	黒褐色	"					白粒	"	"
F 7 0 1	"	"	底部	"	"	"	"			"	黒褐色	明黄褐色	"	○				普	"	"
F 7 0 2	"	"	口縁部	"	"	"	"		山形	沈線(内面凹線)	黒褐色		"			○		良	"	"
F 7 0 3	"	"	"	"	"	"	"		平縁	無文(内面浅い凹線)	暗黄褐色		"					"		"
F 7 0 4	"	"	"	"	"	"	"			無文(内面沈線)	黒褐色	暗黄褐色	"	○				"		"
F 7 0 5	"	"	"	"	"	"	"		山形	"	黒褐色		"	○				白粒	"	"
F 7 0 6	"	"	頸部	"	"	"	"		平縁	無文	暗茶褐色	暗褐色	細粒多			○	○	白粒	"	"
F 7 0 7	"	"	底部	"	"	"	"	11.89		無文(上げ底)	暗褐色	明茶褐色	密	○				白粒	"	4 2 6 8 5
F 7 0 8	"	"	口縁部	曾畑	Ⅰ 3	1 4 1 土坑	2 0 K		平縁	刺突文／短沈線	淡茶褐色		"	○		○		"		"
F 7 0 9	"	台付皿	皿部	市来	Ⅲ 6	"	"			貼付文	暗黄褐色		"	○				"		"
F 7 1 0	"	深鉢	口縁部	納曾	Ⅱ 8	"	"			貝殻刺突文	淡褐色		"	○		○		"		"
F 7 1 1	"	"	"	西平	Ⅱ 11	"	"			沈線	黒褐色		"	○				"		"
F 7 1 2	"	"	"	"	"	"	"		山形	沈線(内面凹線)	明茶褐色		細粒多	○				白粒	"	"
F 7 1 3	"	"	胴部	"	"	"	"			磨消縄文	黒褐色	暗茶褐色	密	○				"		"
F 7 1 4	"	"	"	辛川	Ⅱ 9	"	"			"	黒褐色		"	○				"		"
F 7 1 5	"	"	"	"	"	"	"		平縁	"	暗褐色	黒褐色	"	○		○		"		"
F 7 1 6	"	"	口縁部	西平	Ⅱ 11	"	"		"	無文(内面凹線)	暗茶褐色	黒褐色	"	○		○		"		"
F 7 1 7	メンコ		胴部	"	"	"	"			無文	黒褐色	暗茶褐色	細粒多	○		○		白粒	"	"
F 7 1 8	縄文土器	深鉢	口縁部	西平	Ⅱ 11	1 4 2 土坑	2 0 L			磨消縄文	暗茶褐色		密	○		○		"		"
F 7 1 9	"	"	"	"	"	"	"		平縁	"	黒褐色	淡褐色	細粒多					白茶	"	"
F 7 2 0	"	"	"	"	"	"	"		"	?	暗褐色	明茶褐色	密	○				"	4 2 6 4 1	"
F 7 2 1	"	"	口～胴	"	"	"	"		山形	磨消縄文	暗茶褐色		"	○		○		"		第76図
F 7 2 2	"	"	胴部	曾畑	Ⅰ 3	1 4 3 土坑	"			沈線	暗茶褐色	黒褐色	"	○				"		"
F 7 2 3	"	"	口縁部	市来	Ⅲ 1	1 4 4 土坑	2 1 O			?	"	明黄褐色	細粒多					白粒	"	"
F 7 2 4	"	"	"	"	"	"	"		山形	連続刺突文(爪・貝)＋沈線	明茶褐色	暗黄茶褐	密	○				"		"
F 7 2 5	"	"	"	"	"	Ⅲ 3	"			無文	暗茶褐色		"	○				白粒	"	"
F 7 2 6	"	台付皿	脚台部	"	"	Ⅲ 6	"			連続刺突文	明茶褐色		"	○		○		"		"
F 7 2 7	"	深鉢	胴～底	曾畑	Ⅰ 3	1 4 6 土坑	2 0 L			沈線	黒褐色	暗茶褐色	"	○				"		"
F 7 2 8	"	"	口縁部	丸尾	Ⅲ 5	"	"		山形	貝殻刺突文	明茶褐色	暗褐色	"	○		○		"		"
F 7 2 9	"	"	"	辛川	Ⅱ 9	"	"		平縁	磨消縄文、連続刺突文	明茶褐色		"	○	○	○		"		"
F 7 3 0	"	"	"	"	"	"	"			沈線	黒褐色		"	○				"		"

第45表 土坑出土遺物観察表9

遺物番号	種別	器種	部位	型式	類別	遺構名	出土区	標高 m	口縁	文様・器面調整等	色 調		胎 土				焼成	取り上げ番号	挿図№	
											内面	外面	状態	石英	長石	かん				他
F 7 3 1	縄文土器	深鉢	口縁部	辛川	Ⅱ 9	1 4 6 土坑	2 0 L		平縁	磨消縄文	暗茶褐色		密		○			良		第76図
F 7 3 2	"	"	口～胴	中ノ原	Ⅱ 10	"	"		"	"	明茶褐色	暗褐色	"	○	○	○		"		"
F 7 3 3	"	"	胴部	"	"	"	"			"	淡褐色	暗茶褐色	"			○		"		"
F 7 3 4	"	"	底部	西平	Ⅱ 11	"	"			無文	暗黒茶褐	明茶褐色	"	○	○	○		"		"
F 7 3 5	"	"	胴部	"	"	"	"			縄文	淡茶褐色		"	○		○		"		"
F 7 3 6	"	"	"	"	"	"	"			?	暗褐色	淡灰褐色	"			○		"		"
F 7 3 7	"	"	"	中ノ原	Ⅱ 10	"	"			磨消縄文	明茶褐色	暗茶褐色	"	○	○	○		"		"
F 7 3 8	"	"	胴～底	西平	Ⅱ 11	"	"			無文(上げ底)	明褐色		"	○		○		"		"
F 7 3 9	メンコ		胴部			"	"			無文	暗黄茶褐	明茶褐色	"	○				"		"
F 7 4 0	"		"			"	"			"	暗茶褐色		"	○				"		"
F 7 4 1	縄文土器	深鉢	"	辛川	Ⅱ 9	"	"			磨消縄文	黒褐色		"	○	○		黒曜	"		"
F 7 4 2	"	"	"	中ノ原	Ⅱ 10	"	"			"	黒褐色	明茶褐色	"			○		"		"
F 7 4 3	"	"	"	辛川	Ⅱ 9	"	"			"	黒褐色		"	○	○	○		"		"

第46表 土坑出土遺物観察表10

鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書(22)

はし ご
干 迫 遺 跡・「I」

発 行 1997年3月

編 集 鹿児島県立埋蔵文化財センター
〒899-56 始良郡始良町平松6252番地
TEL 0995 (65) 8787

印 刷 株式会社トライ社
〒892-08 鹿児島市南林寺12-6
TEL 0992 (26) 0815

干迫

星加坡
The Hoshizako Site

「I」

概要・縄文時代遺構

